

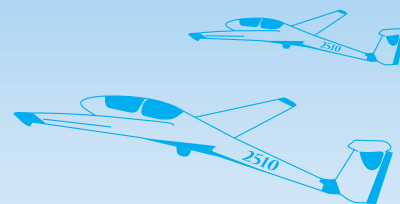
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

7



CONTENTS

- 2009-2010年度 渡邊ガバナーご挨拶 1
- 2009-2010年度 ジョン・ケニー会長メッセージ 2
- 矢橋温郎直前ガバナー・渡邊恭久ガバナーご挨拶 4
- 佐々木正丞ガバナーエレクトご挨拶 5
- 塚原房樹地区研修リーダーご挨拶 6
- ガバナー補佐ご挨拶 7
- ガバナー補佐名簿 10
- ガバナー公式訪問日程 11
- クラブ会長・幹事一覧 12
- 2009-2010年度地区組織図 13
- 2009-2010年度地区予算 14
- 2009-2010年度地区カレンダー(予定表) 15
- ロータリー定期報告関係 16
- ロータリー定期報告先所在地ほか 17
- 例会の変更等および地区大会のご案内 18
- クラブ社会奉仕委員会意見交換会のご案内
文庫通信 19
- ガバナー公式訪問に関するお願い
ガバナー事務所からのお願い 20

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊 恭久





2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



ガバナーに就任して

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー

渡邊 恭久

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

1月18日から25日まで、カリフォルニアのサンディエゴにおいて国際協議会が開催され、世界540地区から配偶者共々1,000名を超える研修対象者と、研修リーダー、それをサポートするスタッフや旅行代理店、販売業者等を含めると1,500名が缶詰となり、硬軟の用意されたプログラムや、本会議での聴講、分科会での研修、討論が行われた。中でも、開会式の本会議では、2009～2010年度RI会長のスコットランドご出身のジョン・ケニー会長エレクトは「The Future of Rotary is in Your Hands」「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と、会長年度の国際ロータリーのテーマを標されました。つまり、ロータリーの先人が築いてきた輝かしい奉仕の歴史は、その時代その時代のロータリアンの確かな理念に基づき、行動をもって責任を果たしてきた事によるもので、われわれはこの偉大な過去を未来につなぐ鎖の輪のような存在であるから、確かな未来に向けて、われわれは、今のこの鎖の輪を強固なものにしなければならないと、訴えられました。更にこの実現に、7つの優先項目を挙げ、これを実施するのはあなたです。ロータリーの未来はあなたの手の中にありますと、テーマを解説されました。

私は、この会長テーマを受けて、確かな活動の年度にするべく、次の地区目標と、具体的な事業について提案をいたします。その基本方針には「環境・人・子どもに目を向けよう」を掲げています。環境は地球人の普遍的なテーマであり、人は等しく生きる権利を有し、子どもは無限な未来を持っています。われわれはそれを拓く支援をしなければなりません。重点目標として、①小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぶちキッズキャンプ」を支援しようであります。病院と自宅との社会しか知らないで人生を終えてしまう難病の子ども達に、医師達の看護や保護の中、キャンプに集まった同じ境遇の仲間達と、大きな空の下で、心地よく肌に触れる風と自然の香りの中で、動物と生を確かめながら、生きる希望や喜びを体験させるアジアでただ一つ、ボランティアで運営されているキャンプを応援しようと思えました。②水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう、であります。当地区のWCS活動は積極的に展開されています。これを支援する地区内クラブの更なる広がりを目指していきます。③会員増強は各クラブ1名を増やして下さい。④職業倫理の醸成と職業奉仕の実践は、ロータリーの基本理念であります。この時代は企業の経営者、働く人たちにとってとても厳しい環境の中にある事は言うまでもありません。このような時代だからこそ、あえて重点目標の中に唱い込みました。どうかこれらのご理解とご共感を頂き奉仕の成果が、この1年、更に前進することを念じてガバナー就任の挨拶といたします。



ロータリーの未来は あなたの手に

2009-2010年度 国際ロータリー会長 **ジョン・ケニー**

John Kenny

一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらす、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとり、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているたとえることができます。

この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなくてはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。また、ロータリーが、明日、次の新たなチャレンジに取りかけられるよう、今日、ポリオのない世界を築くという約束を果たすことも、私たちの責務なのです。

マハトマ・ガンジーは、かつてこのように言いました。「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」第二世紀においてもロータリーの発展を望むのであれば、現状に甘んじているだけでは十分とは言えません。これからの長い道程に備えて地図が必要となりますが、私たちはその地図をすでに携えています。

国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

- 「**ポリオを撲滅する**」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。
- 「**ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める**」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表舞台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。
- 「**他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る**」は、ロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009-10年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけていきます。



- 「**質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する**」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどころとしているからです。資格ある新会員をもたらすことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々への入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。
- 「**ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する**」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。
- 「**国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する**」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮すべきです。
- 「**組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する**」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画はRI理事会が承認したものではありませんが、これを実施するのは皆さんです。RI会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、RI理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもかないません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。

一人ひとりのロータリアンに自らの責務を胸に刻んでいただくために、この真実を2009-10年度のテーマとして選びました。かのウィンストン・チャーチル卿は、「偉大さの代償は責任だ」と述べています。ロータリーは偉大な組織です。私たち一人ひとりが課題に立ち向かい、未来に対する責任を果たすなら、ロータリーはさらに素晴らしい組織へと発展する可能性を秘めているのです。

ロータリーにおいては、「ロータリアン」という肩書きの下、各会員に仕事が与えられています。私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務め、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を全面的に支援することも含まれています。

ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがえのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生きがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球するときです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。



ロータリーの未来を築いて下さい

国際ロータリー 第2510地区

直前ガバナー **矢橋 温郎**

Haruo Yahashi
(札幌西RC)

滝川から初めてのガバナーが誕生しました。

かねてから識見豊かなお人柄の渡邊恭久さんがアメリカ・サンディエゴの国際協議会からお帰りになり、2510地区の皆さんに本年度のRI会長ジョン・ケニー氏の掲げられたテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の手に」を実践すべく地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会を通じて発表されました。

ケニー氏はロータリアンである「私たちは皆この素晴らしい組織に対して責任があります」と云われニュートンの言葉を引用して「遠くを見る事が出来たとするなら、それは私が巨人たちの肩の上に立っているからに他ならない。何世代ものロータリアンの肩の上に立っている私たちは、ロータリーの未来を決定する責務があります」と云っておられます。

強調事項は引き続き、水、健康と飢餓、識字率の向上を挙げられ、渡邊ガバナーはこれに沿って一年間活動される事となります。

地区内73クラブ全部の公式訪問をされると伺っておりますが、滝川商工会議所の会頭としてもご活躍されていると伺っております。滝川の為に又2510地区全域の為に磨かれてきた手腕を以って立派に御指導賜わるものと信じております。

健康に留意しての御活躍を祈念致す次第です。



矢橋温郎パストガバナーご苦労様でした

国際ロータリー 第2510地区

ガバナー **渡邊 恭久**

矢橋PGは、ガバナーノミニーをお受けして以来、おおよそ3年半の長丁場をご健康で個性豊かな指導力と、矢橋温郎ガバナーの持ち味を充分生かしつつ、任務を全うされました矢橋PGに、あらためて先ずはご苦労様でしたと労いを申し上げます。

2年半前、小生が地区ガバナー指名委員会でノミニーに推挙されて以来、矢橋PGが退任する今日まで、その歩む姿の中に、考え方、処し方、行動と対応などを矢橋PGの背中から、或いは直接ご指導を受け学ばせて頂いておりました。矢橋PGは、岐阜のご出身ですが、岐阜のロータリアンに伺いますと、矢橋家はとてつもない、岐阜の由緒ある名門だそうで、ガバナーを輩出しているロータリー一家であることは勿論、何にも臆しない堂々たる所作、振る舞いは天性というのか、お育ちの所為なのかも知れません。更に、フットワークの良さは外国に130ヶ国以上も訪問している国際派であり、長年にわたる地区幹事、地区委員など豊富な経験とロータリー知識は、自信に満ちた地区運営につながったものと言えます。加えて、登美子夫人の内助の功と、時代感性に鋭いご子息の潤一郎氏(札幌東RC)も、陰に陽に矢橋PGのお力になり、活動を支えられて来られたものと思われまます。確かなガバナー年度の足跡を残した矢橋PGは、これからも健康にご留意され、今後の第2510地区の厳しい地区運営にも温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、労いの言葉といたします。



ごあいさつ

国際ロータリー 第2510地区

ガバナーエレクト **佐々木正丞**

Masatsugu Sasaki
(札幌RC)

一昨年12月に、パストガバナーの富原薫さんから2010～2011年度のガバナーに、とおすすめがあった時、ずいぶん先のことだと思っておりました。ガバナーまで2年半前のことです。それまでには、おおいと勉強して、と思っていたのですが、ロータリーのごことは、わかったようでよくわからないところがあります。

しかし、昨年11月、東京で行われたロータリー研究会に出席した時、今までとは違う何かがありました。同期のガバナーノミニーさん達との会合や、小泉元総理の講演など記憶に残るものもありましたが、特に「ポリオに命をかけた二人の日本人ロータリアン」と題する東京京浜クラブのPDG岩井敏氏のお話は胸を打つものがありました。山田ツネ氏と峯英二氏のお二人のことです。インドにおいて山田さんは暗闇の中で昆虫かと思いがうポリオに罹病した少年を見たとき「最初は人間と見なかった自分が恥ずかしい。今後はこのような子供を一人も出してはいけない」と繰り返し語って、峯氏と共に献身的にポリオと闘って、ついには命を落とされた、ということです。これは世界のロータリーでは周知のことなんだそうですが、私は知りませんでした。これがロータリーの社会奉仕、国際奉仕ということか、と思いました。

また、ポール・ハリスが日本に来たとき、何故貴方はロータリーをつくったのかと聞かれて、ただ、「淋しかったから」と答えたということですが、これは、ロータリーの表看板の親睦ということでしょう。このはざまにかけて、我々は活動を進めるわけですが、今年のサンディエゴにおける国際協議会においてビル・ゲイツの劇的なポリオへの拠出金をめぐってRIと日本のロータリークラブとの考え方のニュアンスの差をどう具現化すればよいのか、また、会員増強の現状プラスワンの問題、CLPの問題、等々手にあまる難問に向かって、私はひたすら渡邊ガバナーのおやりになることを見守っていく所存です。

《経歴》

生年月日：1934年4月21日

職業分類：都市ガス供給

勤務先：北海道ガス株式会社 取締役相談役

最終学歴：横浜国立大学 経済学部卒業

[ロータリー歴]

1982年 札幌RC入会

1991年～92年度 クラブ副会長

1998年～99年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー、米山功労者



渡邊年度の門出にあたり

国際ロータリー 第2510地区

地区研修リーダー(PG) **塚原 房樹**

Fusaki Tsukahara
(札幌東RC)

会長、幹事の皆さん、いよいよあなた方の年度が始まります。もう皆さんは既に今年度のPETS、地区協議会でRI会長テーマと地区の重点目標を学んでこられました。

それを踏まえてクラブの活動計画も立てられました。どうかこれからの一年間、クラブの皆さんとともに当初の活動計画達成のためにご尽力ください。クラブは国際ロータリーの会員ですが、クラブが主人公で国際ロータリーは各クラブの奉仕活動と活性化をお手伝いするのが役目です。つまりクラブが元気になれば国際ロータリーも元気になります。会長、幹事さんのリーダーシップに期待いたします。

ここで、皆さんの記念すべき年度の始まりに申し上げたいことがあります。それは「初心」を大事にさせていただきたいということです。「ロータリー殺すにゃ刃物はいらぬ、例年通りやればいい」という言葉がありますが、クラブ運営の大敵はマンネリと工夫がないことです。初心の大切さは慣れることの恐ろしさから自分を守ることです。

若い時だけではなく、壮年期には壮年期の初心があり、老年期には老年期の初心があります。それぞれの年齢に応じてロータリーを改めて見直し、新たに工夫しようとするとき、そこに第二第三の初心があります。今日の門出を初心としてください。そしてみずみずしい初心の心を持ち続けてください。

もう一つ申し上げたいことは、今100年に一度という世界的大不況という受難の時期に遭遇していることです。ロータリアンは皆職業人ですから、不況の下で少なからぬ影響を被ることが予想されます。クラブ運営も試練の時に直面するでしょう。ロータリーはかつて1929年の世界大恐慌を経験しました。会員も減りました。その大きな危機をロータリアンは職業奉仕の実践で乗り切りました。そして「ロータリーの職業奉仕は不況に強い哲学」という評判をとり、その後入会者が増え続けたとあります。

市場経済、グローバル化の今、もはやロータリーの職業奉仕は色褪せたか、いやロータリーの職業奉仕は資本主義社会が続く限り普遍の真理なのです。職業倫理と資本主義は車の両輪で資本の論理だけの社会には人は住めません。職業奉仕を大事にしてください。こういう難しい時だからこそ、ロータリーをエンジョイしながら、例会を大事にしてください。ロータリーは心の住まいです。ロータリーの例会は疲れた職業人の心をリフレッシュしてくれる憩いの場です。

ジョン・ケニーRI会長は「ロータリーの未来はあなたの手の手に」というテーマを掲げられました。過去は作りかえることはできないが、未来は、あなた方の手で作ることができます。どうかクラブの皆さんと一丸となって元気なクラブ作りに挑戦してください。

ガバナー補佐ご挨拶



地区大会を 全員登録で

第1グループ ガバナー補佐

田中公一

Kouichi Tanaka
(留萌RC)

今年度は滝川市で地区大会が開催されます。札幌以北では24年ぶりの開催となります。第1グループ、5クラブの会長・幹事会では、全員登録の協力をしていただける事になりました。

また渡邊ガバナーの重点目標の一つに、小児ガンの子供たちに夢や希望を与える「そらぶちキッズキャンプを支援しよう」があります。会場にも近いので誘い合って自然環境に恵まれた丸加高原を、ぜひ訪れて下さい。1年間、一生懸命努めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



個が全体の 原点です

第2グループ ガバナー補佐

北谷好文

Yoshifumi Kitaya
(砂川RC)

RI会長の「ロータリーの未来はあなたの手に」は解り易く、且つ個々の責務を問われる命題です。個々が自覚を持って行動しましょう。個人の行動が社会の評価となり、クラブ全体の評価になります。普遍的なテーマであります。何とか責任を全うしたいものです。第2グループ丸となって渡邊ガバナーに協力しましょう。私共の公式訪問は11月に集中しておりますが有意義に過ごしたいと存じます。IMは砂川RC40周年時に開催します。ご協力をお願いいたします。



好意と友情に 期待して

第3グループ ガバナー補佐

嵯峨義輝

Yoshiteru Saga
(岩見沢RC)

第3グループのガバナー補佐に就任し、その責務の重さに身が引き締まる思いとともに、不安と緊張の念で一杯であります。渡邊ガバナーは、四つの重点項目を掲げており、その目標達成に向け皆様のご協力を得ながら、微力ではありますが全力を尽くす所存であります。ロータリーも変革の時代を迎えております。この厳しい時代を乗り越えるべく、ガバナーと各クラブのパイプ役を果たせればと思っております。

皆様の友情あるご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



ご挨拶

第4グループ ガバナー補佐

荒紀男

Norio Ara
(札幌RC)

「ロータリーの未来はあなたの手に」、2009～10年度のRIのテーマと共に渡邊ガバナーがスタートしました。私のロータリー歴は36年目になりますが、最新の手続要覧を読みますと随分内容が変わっております。今頃になって慌てている次第ですが、微力ながら役割を果たす所存です。私のロータリーに対する信念は「例会は常に楽しく楽しむべき」であります。クラブによっては内容が違っていても、ロータリーの心をお互いに「分かち合い」前進することです。地区そして第4グループの皆さん、ご協力をお願いいたします。



商業道徳を高め 社会に貢献を

第5グループ ガバナー補佐

江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

ガバナー補佐としての責任の重さに耐えうる知力、体力が備わっているか不安ですが、皆様のご指導ご協力を頂き責任を果たしたいと思います。経済状況を鑑みますと、RC発足時の状況と似た部分も見られます。商業道徳(企業倫理)の低下により社会、地域、家庭が憂慮すべき状況にあります。綱領に「事業の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕する為に、その業務を品位あらしめる事」とあります。ガバナー補佐として、RIのテーマに則ったガバナー方針をクラブに的確に伝え、社会貢献の為に奉仕の理想を皆様と一緒に求める事の喜びを分かち合いたいと思います。



心の触れ合う 第6グループを目指したい

第6グループ ガバナー補佐

見延庄三郎

Shousaburo Minobe
(小樽南RC)

ロータリー活動の主体はクラブにあります。クラブの自主性や独自性を尊重しながらガバナー補佐として、地区とクラブ間のパイプ役を忠実に務めます。その為にクラブが必要とするRIや地区の情報を提供する等してクラブ活動を支援します。

IMの開催、会長幹事会を通してクラブ同士の情報交換を密にし、お互い学び合い支え合う事によって各々のクラブの活動の質を高め、心の触れ合うグループを目指したいものです。



ご挨拶

第7グループ ガバナー補佐

加藤寛治

Kanji Katou
(北広島RC)

昨年12月から諸会議に参加し、改めてロータリーの良さを実感しました。過大化したRIの組織、地区の会員減少による財政難等、ロータリーの抱えている問題点を知りました。当グループも会員数の減少が顕著で、3クラブが20名以下であり、将来のクラブ運営に支障あると考えます。今こそグループの連携、連帯が大事だと考え、出来るだけ多く訪問しクラブ相互の連携の手伝いをしたいと思います。

IMでは「CLP」をテーマに語り合い、ロータリーが直面している課題を受け止め、元気で楽しいクラブ作りを目指したいと思います。



ロータリーの行動を、 今、この時から

第8グループ ガバナー補佐

山田博継

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の手に」が示されました。ロータリーが繁栄するか、低迷するかは私共ロータリアン次第であると言われております。私達一人一人が繁栄あるロータリーの未来を目指すには、今、この時から行動を始めなければなりません。そして渡邊ガバナーの4つの重点目標達成の為に、微力ながら努めたいと思います。

各クラブ会長、幹事、会員の皆様のご助言、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



有意義な 一年に

第9グループ ガバナー補佐

黒田 秀雄

Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

ガバナー補佐として所属室蘭東RCを通じて委嘱を受けました。戸惑いと不安もありましたが、ガバナー補佐会議、PETSを経て年間計画を把握し、新年度に備える心構えも生じてきました。昨年12月に塚原地区研修リーダーからロータリークラブの究極の目的は、文化的価値を追求する事であり、ロータリーの必要な2要素は良質な哲学と合理的な組織であるとのご提示を頂きました。この考えを基に渡邊ガバナーの4つの重点目標をクラブの会長、幹事、会員に協力をお願いし、実現に努力したいと考えます。



今こそ 「ロータリーの未来は あなた(我々)の手に」

第10グループ ガバナー補佐

近藤 宣明

Nobuaki Kondou
(森RC)

今年度の基本方針が渡邊ガバナーの熱い思いで発表されました。「ロータリーの未来はあなたの手に」。正に我々の手にの思いが致します。補佐役としてクラブのパイプ役になればと思っております。

1年間、私自身がロータリーを少しでも学びながら先輩たちの大きな歯車の中の1つに加えていただければと願っております。お世話になります。



ほどほどの 精神で

第11グループ ガバナー補佐

石橋 輝夫

Teruo Ishibashi
(函館北RC)

入会から20数年間、クラブに迷惑をかけない程度の、出席だけの会員でした。突然一昨年、クラブ会長を言われ、終わってやれやれと思っていたら、今度はガバナー補佐をとの事です。補佐の役割はガバナーの意向をクラブに伝え、クラブの要望等をガバナーに伝えるパイプ役だと思えます。

一年間、地区役員、クラブ会長、幹事、会員の方々と交流する機会が増えると思われませんが、ロータリーを楽しみながら、「なにごとも、ほどほどに」の精神でやっていきますのでよろしくお祈りします。



もう一度考えよう、 ロータリーの神髄を

第12グループ ガバナー補佐

菅野 嘉一

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

ガバナー補佐の任命を受け、浅学非才の私ではありますが、一つでもお手伝い出来る事があればと思っております。近年、お互いを思いやる心が薄れがちになっており、百年以上も続いているロータリーの基本である友情と思いやりの心が大切ではないかと思えます。担当であるクラブが親睦とテーマに添った活動が充分に出来る様に協力をし、渡邊ガバナーの方針に合った活動がスムーズに行われる様、協力して行きたいと考えます。

一年間、皆様のご理解とご協力をお願いしながら進んで行きたいと思っております。



■2009-2010年度 ガバナー補佐名簿

(敬称略)

氏名	所属RC	職業分類	勤務先住所・電話番号・FAX メールアドレス	自宅住所・電話番号・FAX メールアドレス
第1グループ担当 田中 公一 たなか こういち	留 萌	歯 科 医	田中歯科医院 院長 〒077-0028 留萌市花園町1丁目1-5 電話(0164)43-0022 FAX(0164)43-0022 E-mail:e9881027@sea.plala.or.jp	〒077-0028 留萌市花園町1丁目1-5 電話(0164)42-1478 FAX(0164)42-1478
第2グループ担当 北谷 好文 きた や よし ふみ	砂 川	建 設 業	(株)北谷組 代表取締役社長 〒073-0134 砂川市東4条南3丁目2-1 電話(0125)54-2033 FAX(0125)54-2034 E-mail:yoshi.k@arion.ocn.ne.jp	〒073-0135 砂川市東5条南3丁目3-8 電話(0125)52-5010 FAX(0125)52-5010
第3グループ担当 嵯峨 義輝 さ が よし てる	岩見沢	測 量 士	(株)嵯峨測量設計 代表取締役 〒068-0824 岩見沢市日の出北1丁目2-1 電話(0126)22-8000 FAX(0126)22-0088 E-mail:saga@saga-sp.co.jp	〒068-0822 岩見沢市日の出台3丁目2-4 電話(0126)23-1526
第4グループ担当 荒 紀 男 あら のり お	札 幌	ビ ル 賃 貸	(株)アラコーポレーション 代表取締役社長 〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目 旭川信金ビル5階 電話(011)281-3773 FAX(011)281-3883	〒001-0025 札幌市北区北25条西13丁目3-13 電話(011)726-0213 FAX(011)726-0213
第5グループ担当 江 口 洸 え ぐち ひろし	札幌清田	土 木 資 材 卸 売	(株)ケー・エフ・シーマスティック 代表取締役 〒007-0834 札幌市東区北34条東9丁目1-1 電話(011)751-3221 FAX(011)751-3899 E-mail:hiroshi.eguchi@kfcmasdic.co.jp	〒004-0847 札幌市清田区清田7条1丁目24-11 電話(011)884-5098 FAX(011)884-5098
第6グループ担当 見延 庄三郎 み のべ しやう さぶ ろう	小樽南	貨 物 運 送		〒047-0008 小樽市築港12番810号 ベンティガーデン小樽サイドA 電話(0134)32-0808 FAX(0134)32-0808 E-mail:sabu-minobe@sea.plala.or.jp
第7グループ担当 加藤 寛治 か とう かん じ	北 広 島	石 油 販 売	(株)常盤興産 代表取締役 〒004-0835 札幌市清田区真栄5条2丁目1-1 電話(011)885-1961 FAX(011)885-2371	〒005-0016 札幌市南区真駒内南町2-2-2 電話(011)582-9780 FAX(011)582-9780
第8グループ担当 山田 博継 やま だ ひろ つく	三 石	佛 教	真宗大谷派大鳳寺 代表役員住職 〒059-3351 日高郡新ひだか町三石歌笛97番地 電話(0146)35-3034 FAX(0146)35-3036	〒059-3351 日高郡新ひだか町三石歌笛97番地 電話(0146)35-3034 FAX(0146)35-3036
第9グループ担当 黒田 秀雄 くろ だ ひで お	室 蘭 東	歯 科 医 師	黒田歯科医院 院長 〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目20-10 電話(0143)44-5049 FAX(0143)43-1839	〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目20-10 電話(0143)43-1839 FAX(0143)43-1839
第10グループ担当 近藤 宣明 こん とう のぶ あき	森	織 維 製 品 小 売 業	(有)近藤商店 顧問 〒049-2326 茅部郡森町字清澄町24-19 電話(01374)2-6661 E-mail:nobukon.8888@ezweb.ne.jp	〒049-2327 茅部郡森町字清澄町24-19 電話(01374)2-6661 E-mail:nobukon.8888@ezweb.ne.jp
第11グループ担当 石橋 輝夫 いし ばし てる お	函 館 北			〒040-0062 函館市大縄町20-7 電話(0138)41-1484 FAX(0138)41-1430
第12グループ担当 菅野 嘉一 すが の よし かず	苫小牧東	自 動 車 整 備 (小 型)	スガノオート(株) 代表取締役 〒053-0053 苫小牧市柳町1丁目5-15 電話(0144)55-4188 FAX(0144)55-4185	〒053-0041 苫小牧市美園町3丁目7-18 電話(0144)36-2310 FAX(0144)36-2310



■2009-2010年度 ガバナー公式訪問日程

No.	月日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事懇談会	クラブ協議会	例会
1	7月9日	木	12	苫小牧東	10:00	11:00	12:30
2	7月10日	金	12	苫小牧	10:00	11:00	12:30
3	7月13日	月	4	札幌北	10:00	11:00	12:30
4	7月14日	火	3	江別西	10:00	11:00	12:30
5			7	北広島	16:30	17:30	18:30
6	7月15日	水	5	札幌真駒内	10:00	11:00	12:30
7	7月16日	木	4	札幌西北	10:00	11:00	12:30
8	7月17日	金	5	札幌幌南	10:00	11:00	12:30
9	7月18日	土	4	札幌手稲	10:00	11:00	12:30
10	7月21日	火	11	江差	10:00	11:00	12:30
11			10	函館セントラル	16:30	17:30	18:30
12	7月22日	水	11	函館北	10:00	11:00	12:30
13	7月23日	木	10	函館	10:00	11:00	12:30
14	7月27日	月	7	長沼	17:00	18:00	19:00
15	7月28日	火	3	岩見沢東	10:00	11:00	12:30
16			4	札幌はまなす	16:00	17:00	18:00
17	7月29日	水	7	恵庭	16:30	17:30	18:30
18	7月30日	木	7	由仁	10:00	11:00	12:15
19			6	小樽銭函	16:00	17:00	18:00
20	8月3日	月	8	三石	10:00	11:00	12:30
21	8月4日	火	8	様似	10:00	11:00	12:15
22			8	浦河	16:30	17:30	18:30
23	8月5日	水	8	静内	10:00	11:00	12:30
24	8月6日	木	8	えりも	10:00	11:00	12:15
25	8月11日	火	4	札幌西	10:00	11:00	12:30
26	8月17日	月	10	函館亀田	10:00	11:00	12:30
27	8月18日	火	11	函館東	10:00	11:00	12:30
28			10	七飯	16:30	17:30	18:30
29	8月19日	水	10	長万部	10:00	11:00	12:10
30			10	森	16:30	17:30	18:30
31	8月20日	木	11	北斗	10:00	11:00	12:30
32	8月21日	金	11	函館五稜郭	10:00	11:00	12:30
33	8月22日	土	11	松前	10:00	11:00	12:15
34	8月24日	月	5	札幌南	10:00	11:00	12:30
35			5	札幌大通公園	16:30	17:30	18:30
36	8月26日	水	4	札幌モーニング	25日 17:30	25日 18:30	7:30
37			5	新札幌	10:00	11:00	12:30

No.	月日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事懇談会	クラブ協議会	例会
38	8月28日	金	6	小樽南	10:00	11:00	12:30
39	9月1日	火	7	千歳セントラル	10:00	11:00	12:30
40	9月2日	水	3	栗沢	10:00	11:00	12:10
41	9月7日	月	6	蘭越	10:00	11:00	12:15
42	9月8日	火	6	小樽	10:00	11:00	12:30
43	9月9日	水	6	倶知安	10:00	11:00	12:15
44			6	余市	16:30	17:30	18:30
45	9月10日	木	6	岩内	10:00	11:00	12:30
46	9月11日	金	4	札幌あけぼの	10:00	11:00	12:30
47	9月15日	火	5	札幌清田	10:00	11:00	12:30
48			5	札幌セントラル	16:30	17:30	18:30
49	9月16日	水	4	札幌	10:00	11:00	12:30
50	9月17日	木	3	江別	10:00	11:00	12:30
51	10月8日	木	7	千歳	10:00	11:00	12:30
52	10月9日	金	9	洞爺湖	10:00	11:00	12:30
53	10月13日	火	9	伊達	10:00	11:00	12:30
54			9	室蘭北	16:30	17:30	18:30
55	10月14日	水	9	室蘭東	10:00	11:00	12:30
56			9	登別	16:30	17:30	18:30
57	10月15日	木	9	室蘭	10:00	11:00	12:30
58	10月20日	火	1	深川	10:00	11:00	12:30
59			1	妹背牛			
60	10月21日	水	1	小平	16:00	17:00	18:30
61			1	羽幌			
62			1	留萌			
63	10月26日	月	3	栗山	10:00	11:00	12:15
64	10月27日	火	12	白老	10:00	11:00	12:30
65			12	苫小牧北	16:00	17:00	18:00
66	10月29日	木	3	岩見沢	10:00	11:00	12:30
67	11月5日	木	5	札幌東	10:00	11:00	12:30
68	11月10日	火	3	当別	10:00	11:00	12:30
69	11月12日	木	2	芦別	10:00	11:00	12:15
70			3	美唄	16:30	17:30	18:30
71	11月24日	火	2	赤平	10:00	11:00	12:30
72	11月25日	水	2	砂川	10:00	11:00	12:30
73	11月26日	木	2	滝川	10:00	11:00	12:30



2009-2010年度 国際ロータリー第2510地区 地区組織図



◎委員長
 ○副委員長
 □オブザーバー



2009-2010年度 地区カレンダー(予定表)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 IM、クラブ周年行事	
2009 (平成21年)		7	4(土) 18(土) 19(日) 25(土) 26(日) 26(日)	各クラブ半期報告・人頭分担金送金 2009-10財団奨学生社行会 社会奉仕委員会 第1,2,3グループ意見交換会(砂川) 社会奉仕委員会 第10,11グループ意見交換会(函館) 社会奉仕委員会 第4,5,6グループ意見交換会(札幌) 社会奉仕委員会 第7,8,9,12グループ意見交換会(苫小牧) 世界社会奉仕委員会 事業計画報告会(砂川)(予定)	1(水) 2(木) 11(土)	第1回ガバナー会 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会(東京) ロータリーの友委員会 ロータリー財団地域セミナー(東京)	函館セントラルRC5周年記念式典	
	会員増強および拡大月間	8		インターアクト海外研修旅行		米山記念奨学会理事会・評議員会		
	新世代のための月間	9	5 ~ 6 (土) (日) 20(日)	地区野球大会(静内) 青少年交換学生秋期キャンプ 地区大会記念囲碁大会 (日本棋院北海道本部)	4 ~ 5 (金) (土) 11 ~ 12 (金) (土) 27(日) 29(日)	第10回ロータリー日韓親善会議(ソウル) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 2010-2011年度地区研修リーダーセミナー	七飯RC40周年記念式典	
	職業奉仕月間 米山月間	10	2(金) 3 ~ 4 (土) (日)	地区大会記念ゴルフ大会 2009-2010年度地区大会(滝川)	17(土) 24(土)		第12グループIM(予定) 函館RC75周年記念式典	
	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 (11/5を含む1週間)	11		ロータリーアクト北海道交流会	17 ~ 18 (火) (水) 19 ~ 20 (木) (金) 28(土)	ロータリー財団地域セミナー他(東京) 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会 ロータリー研究会(東京)	第3グループIM(予定)	
	家族月間	12	12(土)	WCS検証ツアー(予定) 次期ガバナー補佐会議(予定)	14(月)		登別RC40周年記念式典	
2010 (平成22年)	ロータリー理解推進月間	1		各クラブ半期報告・人頭分担金送金 ガバナー補佐会議(予定) 2010学年度米山奨学生選考試験	16(土) 17 ~ 24 (日) (日)	国際協議会(米国・サンディエゴ)	札幌南RC45周年記念式典	
	世界理解月間	2	27(土) 27(土)	ガバナー補佐研修セミナー(札幌) 地区チーム研修セミナー(札幌) 2010年3月終了米山奨学生歡送会	6(土) 12(金) 12(金)		苫小牧北RC40周年記念式典 小樽南RC50周年記念式典 第6グループIM 三石RC40周年記念式典(予定) 第8グループIM(予定) 第9グループIM(予定)	
	識字率向上月間 世界ロータリーアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ロータリーアクトの日 (3/13)	3	13 ~ 14 (土) (日)	会長エレクト研修セミナー(予定) ロータリー財団セミナー・米山セミナー(予定) 青少年交換学生春期スキー・キャンプ(予定)				
	ロータリー雑誌月間	4	2(金) 18(日)	スウェーデン第2630地区よりGSEメンバー受入 (~5/1) 地区協議会(札幌)	11(日) 24(土) 24(土) 25 ~ 30 (日) (金)	第3700地区(韓国)地区大会 2010年規定審議会(米国・シカゴ)	第1グループIM(留萌) 第4・第5グループIM(予定) 伊達RC50周年記念式典	
		5	1(土)	スウェーデン第2630地区へGSEメンバー派遣 (~5/30) 米山学友主催家族懇親会	22(土) 22(土) 29(土)		砂川IRC40周年記念式典 第2グループIM(砂川)(予定) 函館五稜郭RC40周年記念式典	
	RI国際大会 ロータリー親睦活動月間	6		新旧地区委員長・ガバナー補佐合同会議 (引継ぎ会) 帰国財団学友報告会(予定) ロータリーアクト地区年次大会 インターアクト地区年次大会	5(土) 12(土) 20 ~ 23 (日) (水) 26(土)	国際大会(カナダ・モントリオール)	恵庭RC40周年記念式典 栗山RC40周年記念式典 札幌手稲RC40周年記念式典	
		7 8 9		渡邊年度残務整理				

※地区内クラブの周年記念行事等の日程はお早めにご連絡下さい。

2009-2010年度 ロータリー定期報告関係

報告事項	報告書式・方法およびその時期	報告先
半期報告(※)	書類はR I 日本事務局から直接次期幹事へ送付されます。 a.半期報告 b.会員リスト 2009年7月1日、2010年1月1日付で送付して下さい。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
国際ロータリー 取扱分・送金明細書 (人頭分担金・比例人頭 分担金・資料代・WCS)	人頭分担金・資料代:2009年7月1日付で作成 (半期報告書) 2010年1月1日付で作成 比例人頭分担金・資料代:2009年10月1日付で作成 (四半期報告書) 2010年4月1日付で作成	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
新会員の報告(※)	書式見本は「幹事要覧(P.32)会員情報書式」に掲載 新会員入会の都度報告します。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
会員退会届け(※)	書式見本は「幹事要覧(P.32)会員情報書式」に掲載 会員が退会した時に報告します。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
会員の情報変更(※)	書式見本は「幹事要覧(P.32)会員情報書式」に掲載 会員の記載事項が変更になった時報告します。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
月次出席報告	毎月、最終例会終了後15日以内に報告して下さい。 書式は「会員数および出席報告」をコピーしてご使用下さい。	ガバナー事務所
役員または 例会情報の変更(※)	クラブ会長、幹事の氏名及び住所並びに例会場・例会時刻等 の変更があった場合、直ちに報告が必要です。 グループ担当ガバナー補佐へのご連絡もお願い致します。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所 写:グループ内クラブ 写:担当ガバナー補佐
公式名簿記載資料(※)	R I から次年度クラブ役員の公式名簿記載資料が、10~11月頃 送付されます。次年度クラブ役員をもれなく記載し12月末迄に 各々ご送付下さい。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所 写:ガバナーエレクト事務所
地区大会 選挙人指名、信任状証明書	信任状委員会が発行する信任状に記載します。 信任状は選挙人が地区大会に持参することになります。	地区大会信任状委員会
RI国際大会 代議員の選任、委任状に よる代理者の指定、信任状	R I から信任状が送付されてきます。 会員数、代議員数、代議員の選定日を記入し会長、幹事の署名をし ます。代議員に関してはクラブで代議員を定めるか、慣例的に代 理者をガバナー・エレクトに指定することが多くなっています。	国際大会信任状委員会
ロータリー財団	寄付を实践した場合、「ロータリー財団への寄付・送金明細書」に 記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座はP17をご覧ください。	R I 日本事務局 写:ガバナー事務所
(財)ロータリー 米山記念奨学会	寄付を实践した場合、各クラブへ送付されている振込用紙に記 入し提出して下さい。 寄付金の振込口座はP17をご覧ください。	(財)ロータリー 米山記念奨学会 写:ガバナー事務所

(※)印の報告書はRIウェブサイト(www.rotary.org)の「会員アクセスページ」を通じて行えます。



2009-2010年度 ロータリー定期報告先所在地・連絡先と送金の振込口座

名称	所在地	TEL	FAX	送金の目的・種別	銀行振込口座
国際ロータリー	Rotary International One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201 U.S.A.	1-847-866-3000	1-847-328-8554 または 1-847-328-8281	特記事項 1. ロータリーレートはRIより連絡があります。 円に換算時の端数は送金合計金額で切り上げて 処理して下さい。 2. 振込手数料は各クラブでご負担をお願い致します。 3. 送金期限を厳守願います。	
ロータリー財団	The Rotary Foundation One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A.	寄付増進関係 1-847-866-3222 人道的プログラム 1-847-866-3304	1-847-328-5260 1-847-866-1894		
国際ロータリー 日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	奉仕室 03-3903-3161 財団室 03-3903-3192 経理室 03-3903-3183 資料室 03-3903-3194	(各室共通) 03-3903-3781	国際ロータリーへの振込 (人頭分担金・比例人頭 分担金・資料代・WCS等)	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金6733244 国際0-外-日本事務局 事務局長 大島四郎
				ロータリー財団寄付	三井住友銀行 本店営業部 普通預金8719834 国際0-外-日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島四郎
					三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金1528228 国際0-外-日本事務局 事務局長 大島四郎
					三井住友銀行 本店営業部 普通預金0968049 国際0-外-日本事務局 事務局長 大島四郎
					三井住友銀行 新宿通支店 普通預金0100707 国際0-外-日本事務局 事務局長 大島四郎
第2510地区 ガバナー事務所	〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目 大通藤井ビル内	011-207-2510	011-207-2512	一般地区資金 特別地区資金 ガバナー月信購読料	北洋銀行札幌西支店 普通預金 4733333 国際0-外-第2510地区 財務委員長 鈴木英也
ロータリーの友 事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階	03-3436-6651	03-3436-5956	ロータリーの友購読料	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金6326314 ロータリーの友事務所
(財)ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階	03-3434-8681	03-3578-8281	普通寄付 特別寄付	三井住友銀行 京橋支店 普通預金0920373 (財)0-外-米山記念奨学会



〈例会曜日・例会時間・例会場の変更等について〉

- 札幌あけぼのRC** 定例夜間例会の変更について
2009年8月第1例会より定例夜間例会を下記に変更します
例会開始時間 18:30～
定例夜間例会場 石屋製菓コンサドーレサッカー練習場内レストラン「おうるず」
札幌市西区宮の沢2条2丁目 電話(011)666-1713
※休会時の受付はクラブ事務所で行います。
- 江別RC**…………… 7月2日(木)移動例会 12:30～
場所:勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103)
- 室蘭RC**…………… 7月23日(木) 18:00～ 場所:室蘭プリンスホテル
7月30日(木)休会
- 室蘭北RC**…………… 7月28日(火)夜間例会 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 地区大会のご案内

ガバナー 渡邊 恭久
大会実行委員長 篠島 弘
ホストクラブ
滝川RC会長 川口 義弘

ジョン・ケニーRI会長の「ロータリーの未来はあなたの手の手に」のテーマを受け、2510地区渡邊恭久ガバナーは「環境・人・子どもに目を向けよう」との基本方針を示されました。この方針を受けて、かつて人手が加わった自然を本来の環境に取り戻そうと懸命に活動を続けている、NPO法人C・C・C富良野自然塾を主宰している脚本家・劇作家・演出家でもある倉本聰氏を講師としてお招きしての記念講演を予定しております。下記の日程で開催いたしますので、多くのロータリアンおよびご家族の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 2009年 9月20日(日) 記念囲碁大会 …………… 日本棋院北海道本部
10月2日(金) 記念ゴルフ大会 …………… 空知カントリークラブ
10月3日(土) 「大会1日目」
13時30分 会長・幹事会 …………… ホテルスエヒロ
15時00分 地区指導者育成セミナー …………… ホテルスエヒロ
18時00分 RI 会長代理歓迎晩餐会 …………… 滝川ホテル三浦華園
10月4日(日) 「大会2日目」
10時00分 本会議 …………… たきかわ文化センター(旧滝川市文化センター)
13時30分 記念講演 …………… たきかわ文化センター(旧滝川市文化センター)
16時30分 記念懇親会 …………… ホテルスエヒロ
※スパウス・プログラムもございます。

ご登録に関しては、貴クラブに登録申込書を送付いたしますので、クラブ単位でお申し込み下さい。申込期限は**2009年8月12日(水)**とさせていただきます。

地区大会実行委員会事務局 〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ7F
TEL:(0125)22-3344 FAX:(0125)24-2755
E-mail:rid2510odc@rotary.gr.jp



クラブ社会奉仕委員会意見交換会のご案内

地区社会奉仕委員会

クラブ社会奉仕委員長の出席をお願いします。

内 容 / ①各クラブ活動計画、課題などの発表 ②小児ガンの「そらぶちキッズキャンプ」について
③細菌性髄膜炎撲滅運動について

日 時 / Aブロック第1,2,3グループ 2009.7.18(土) 午後2時～4時 於:砂川駅隣「ゆう」
Bブロック第4,5,6グループ 2009.7.25(土) 午後2時～4時 於:札幌市民ホール
Cブロック第7,8,9,12グループ 2009.7.26(日) 午後2時～4時 於:苫小牧市民会館
Dブロック第10,11グループ 2009.7.19(日) 午後2時～4時 於:函館国際ホテル

連絡先 / 鈴木保昭 地区社会奉仕委員 携帯:090-2699-1732 FAX:0136-23-3001 Eメール:2510cs@hirafu.com

文庫 通信

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリーの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちいたしております。

文庫通信(261号) 地区大会記念講演と卓話から

◆「私の出会った素敵な人たち」福島敦子(D.2520)	2008	13P	※
◆「子どもの心を豊かに」松本壽通(D.2700)	2008	12P	※
◆「日本の教育に欠けているもの」石坂公成(D.2800)	2009	5P	※
◆「日本のこれから、日本人のこれから」藤原正彦(D.2600)	2008	6P	※
◆「高齢社会とサクセスフル・エイジング」井村裕夫(D.2690)	2009	11P	※
◆「夢・宇宙」山崎直子(D.2590)	2009	7P	※
◆「世界の平和をめざす国際貢献」佐藤正久(D.2770)	2009	2P	※
◆「人の縁」山本一力(東京六本木RC)	2008	12P	※

※ デジタル化した資料

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- 絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービス致します。一部PDFで閲覧できます。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ビデオテープは有料でダビングを致します。

貸 出 し

- 視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

登録資料の紹介

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

ご 寄 贈

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いづれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009年7月のロータリーレート 1ドル98円



2009-2010年度 ガバナー公式訪問に関するお願い

公式訪問は、「公式訪問日程」の通り7月9日、苫小牧東ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものにするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

① 公式訪問に必要な書類

下記の書類は**貴クラブ訪問日の2週間前**までにガバナー事務所にお送りください。

- ①クラブ定款と細則
- ②今年度(2009-2010)クラブ活動計画書と前年度(2008-2009)活動報告書
※公式訪問が7月のクラブで未決定の場合は、前年度分で代用可能です。
- ③充填・未充填職業分類表
- ④会員名簿
- ⑤クラブ会報(最近の4~5回分)
- ⑥過去5年間の年度別会員入退会者数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑦貴クラブの特徴(クラブの自慢、良い事業等)をご紹介ください。

② 会長・幹事懇談会

会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席ください。

③ クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励してください。
- ②ご連絡載いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて載きます。
- ③訪問時のお心遣いは、固くご辞退致します。

④ ガバナー公式訪問の報告について

クラブ幹事は公式訪問終了後1週間以内にガバナー月信掲載のための公式訪問の報告(350字以内)とスナップ写真3枚をガバナー事務所宛にお送り下さい。(メールでも可)

- ①原稿について
 - 手書きの場合は、必ず原稿用紙に楷書でお書き下さい。
 - クラブのスローガン、創立年月日、認証年月日、スポンサークラブ、例会曜日、開始時間、例会場を別記願います。
- ②写真について
 - デジカメで撮影した写真のデータ形式はJPEGでお願いします。
 - フィルムカメラで撮影した写真は必ずプリントして送って下さい。
- ③その他
 - ご担当された方の連絡先住所、電話、FAX(Eメールアドレス)を必ず記入して下さい。(編集にあたり、ご連絡させて戴くことがありますので、昼間に連絡のとれる所をご記入下さい。)
 - お送り戴いたお写真、原稿は原則として返却致しません。
 - 紙面の都合上、長文の場合は全文掲載されないことがありますのでご了承下さい。

ガバナー事務所からのお願い

1. **クラブの出席報告について**
毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。(FAX・メールもしくは電話可)
2. **変更等のご報告について**
新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告ください。
新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせください。
また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。
3. **クラブ移動例会等について**
地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡ください。
4. **各月ごとのクラブ会報について**
当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付ください。
5. **ガバナー月信への原稿寄稿について**
特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。
原稿締め切り日は毎月10日です。(メールでも可)

ロータリー関連ホームページ

- ロータリー・ジャパン <http://www.rotary.or.jp/>
- 国際ロータリー <http://www.rotary.org/>
- RI2510地区 <http://www.ri2510.gr.jp/>
- ロータリー文庫 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
- (財)ロータリー米山記念奨学会 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp>



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

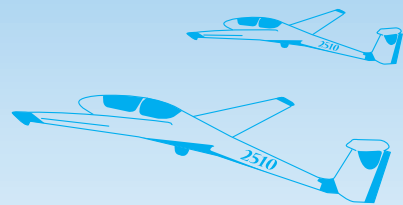
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

8



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………☒1
- 会員増強月間に際して☒……………☒2
- 2009-2010年度地区委員会活動計画…………… 3～10
- 地区会員増強セミナー報告☒……………☒1
- 地区大会のご案内☒……………☒2
- 日台ロータリー親善会議参加ツアーのご案内☒……………☒3
- 例会変更等について
新入会員の紹介・訃報☒……………☒4
- ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い
文庫通信☒……………☒5
- 地区カレンダー(8月・9月)☒……………☒6

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



人と人との出会い

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

パーミンガムの国際大会に行き、又友人を作りました。それは彼に思わぬアクシデントが起き、団体行動から一時離脱、独り行動の小生と一日半にわたり、一緒に移動や夕食などを共にしたことから、沢山の話を交わし彼との間が急接近したことによるものでした。

昨年のロサンゼルス国際大会でも、地区内の新しい友人Oさんが独りで参加されていて一緒に行動をしながら、いろいろな話を重ねた事により親しみが湧き、彼はぼくの友人だと勝手に思っています。

人と人との出会いから始まったロータリーは、その機会をいくつも用意して会員の交友の場を提供しています。

人は生来人を求めて生きています。

生まれて直ぐに母を求め、次には周りの人たちの優しさに傾き、ギャングエイジ、学校では級友、泣いて笑って感動をする青春時代、社会へ独立をしても会社の中で上司、同僚、部下、仕事の上での相手、得意先など、常に人と人との関わりの中で、人を求めていきます。

ロータリーでは例会と言う道場を設け、人間としての向上や職業の倫理観を醸成し、地域社会との関わりの中で人や社会への奉仕を身につけていくものだと確信をしております。

毎週の例会でクラブの会員と出会い、なかなか話の出来ない方と、とりとめのない話をしながら彼自身や、気のつかない地域のことを知り、所属する委員会でもより近く更に酒を酌み交わして意外な一面に出会って意気投合し更に深く。IMやセミナー、地区協議会や近隣クラブの周年行事で、様々な人たちと言葉を交わし、地区大会では今まで話したことがない他クラブのメンバーと挨拶や一寸した事から知り合いとなり、国際大会では、異国で幾日かを生活も共にしながら、話題や関心を持つことを共有しそれが知人や友人にと発展して人の生き方を豊かにしていくことが出来るのではないかと確信をしています。

私はガバナーノミニとして指名を受けたときから当然積極的に前に出て、多くの方と名刺を交換し、数日経てからもその名刺を読み返し彼を思い出すようにしています。こんな幸せなことはない。もっと早くこのような行動をすべきだったと今後悔しながら、このロータリーのステージを生かし、沢山のロータリアンと交友になろうと呼びかけます。友を作るのにこれ以上の条件の揃った舞台は他にないから。今になっていろいろな体験を通して、地区内会員に「友を作ろう」と声高に呼びかけます。この8月は会員増強、拡大月間です。ポール・ハリスが言う、「人の絆」に従い、出会いの幸せと、人とつながる喜び、支えたり支えられたりの生き方を実感しながら、人のために奉仕が出来る確かさをアウトサイダーの方々へ伝え、仲間になって貰うことがロータリークラブの地域における活動を更に強固にすることだと思えます。ロータリークラブで味わえる、人との出会いの価値が更に拡大出来ることを願うものです。

今年一年、地区内の会員の全てと、公式訪問を通して会える事が出来る幸せを楽しみにしている今日この頃です。



会員増強月間に際して

国際ロータリー 第2510地区

会員増強委員長 **矢橋 温郎**

Haruo Yahashi
(札幌西RC・PG)

昨年度R1会長の李東建さんは事の外会員増強に力を入れました。

世界で一番減少していてロータリー会員数世界2番目の国、日本でこんな事ではいけないと年度当初にわざわざ日本を訪れ発破を掛けに来ました。

私達当時のガバナーは全国から呼び集められました。そしてどうしても純増1名を確保するよう要請されました。又、年度途中にも私達は東京に呼び出され現在の増員数を一人ずつ言われました。そして今後共いつ電話で増員状況を聞くかも知れないので携帯の番号を書かされました。

それ程会員増強に力を入れたのですが5月現在で我が地区では8名の減少でしたが、年度末を迎えると例年通り大勢の退会者が出ます。まだ集計出来て居りませんが、本州方面では増員どころか拡大をした地区が3ヶ所ありました。

私はここらが減少の底かと考えて居りましたが、我が地区ではまだ底をついてないようです。

ロータリーばかりではありません。ローターアクトクラブも2つ消滅しました。それもやはり魅力あるクラブ作りが必要になるものと思います。

会員減少の原因はいつも言われているように不安定・不透明な経済環境、中小企業の減少、地方都市の過疎化があげられます。特に我が地区に於いてはこの問題が大きいと思います。

然し拡大増強を急ぎすぎて情操教育が疎かになったり、ロータリーを知らない会員が多くなったり、一人ひとりのロータリーの関心・愛情・熱意が薄れ自らの組織に自信と誇りをなくしている。

出席率、マナーも低下すると言った現象も現れます。

会員増強にはこれらを注意しながら一人でも多くの良質な会員を増強に努めてほしいものだと思います。



2009-2010年度 地区委員会活動計画



地区会員増強委員会

委員長
矢橋 温郎
(札幌西RC・PG)

1. 活動方針

地区内クラブに会員増強の趣旨を理解して戴き、渡邊ガバナー年度の地区重点目標である『会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう』を達成できるように努めます。

2. 活動計画

- ①年度開始前に地区会員増強セミナーを実施する。
(6月14日開催)
- ②地区会員増強委員(地区ガバナー補佐)と連絡を取り合い、各クラブの動向を踏まえて会員の維持、増加に寄与する。
- ③年度末開催の次期地区会員増強セミナーを支援する。



地区拡大委員会

委員長
塚原 房樹
(札幌東RC・PG)

1. 活動方針

ガバナーの任務の第一は、新クラブの結成です。とは言え、当地区では2005年に函館セントラルRCさんが誕生して以来その後、新クラブは結成されていません。地区内の市町村は過疎化と高齢化が進み、都市部でも会員の減少に歯止めがかからず、アディショナル・クラブの結成も難しい現状です。

さらに100年に一度という経済不況の今、拡大は困難な状況にあります。しかし、ロータリーの発展のためには拡大が不可欠です。新クラブの結成には、各クラブの皆さんの情報が頼りです。

- 1 あなたの近郊に、未だロータリークラブのない町村がありませんか？
- 2 あなたのテリトリーで、モーニングクラブやイブニングクラブ設立の可能性を探ってください。
- 3 食事は自前で、活動費のみの会費の安いクラブの設立はいかがでしょうか？

地区拡大委員会では、会員の皆様からの情報をお待ちしております。多少なりとも可能性がある場合、直ちに地区拡大委員会にお知らせください。我々は全面支援の体制で臨みます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地区オン・ツー・ モントリオール委員会

委員長
酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

1. 活動方針

地区会員がモントリオール国際大会に参加しロータリーの理解と友情の輪を育む機会を作ります。

2. 活動計画

- ①モントリオール国際大会をガバナー月信で広報します。
- ②ツアーが必要かを検証します。
- ③北海道ナイトを企画します。



地区文献資料室

委員長
肘井 博行
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

会員の各クラブの利用を増進する。

2. 活動計画

- ①文献資料室資料「貸出しリスト」を改訂する。
- ②ガバナー月信に「文献資料室だより」のコーナーを設け、隔月で資料案内、利用状況について広報して行く。
- ③文献学習についての経験交流を実施する。
- ④新しい文献及び資料を購入、整備する。
- ⑤文献資料のDVD化を進める。



地区クラブ奉仕 委員会

委員長
小田切 房之
(札幌東RC)

1. 活動方針

渡邊ガバナーの方針が各クラブに浸透する様委員会の総力を傾注する。

2. 活動計画

- ①クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の実施方法等について検討する。
- ②「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」をグループ別に集計し、3ヶ年間の推移をまとめる。
- ③地区目標である純増1名以上達成したクラブの事例を紹介する。



地区IC委員会

委員長
光 銭 健 三
(北斗RC)

1. 活動方針

- 1) インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。
- 2) 地区ホームページの充実。
- 3) 地区委員会とクラブの距離を近づけるお手伝いをする。
- 4) クラブのIT化への協力。

2. 活動計画

- ①メールマガジンの配信
 - ・RI、「ロータリーの友」などからインターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ②地区ホームページの作成
 - ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とロータリーの広報に寄与する。
 - ・各地区委員会と連携してすべての委員会のページを制作し、地区委員会とクラブや会員との距離を近づけるお手伝いをする。

- ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。
- ③インターネット活用の普及促進
 - ・RIのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
 - ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。
- ④クラブホームページ作成のお手伝い
 - ・ホームページ作成講習会「5分でできるホームページ作成」を今年度も継続して行う。
- ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。
 - ・オンライン (インターネット上)、オフライン (直接会う委員会) で情報交換を行うことにより、お互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。



地区職業奉仕委員会

委員長
山 本 雅 昭
(苫小牧北RC)

1. 活動方針

2009～2010年度RI会長となりますスコットランド出身のジョン・ケニー会長も自らの国際ロータリーの7項目にわたる今年度テーマの一つに「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」とあります。それに対応してRI第2510地区渡邊ガバナーも「環境は地球人の普遍的テーマ、人は等しく生きる権利がある、子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならぬ」と言う考えから、その基本方針として、「環境・人・子どもに目を向けよう」と言っておられます。

また、挙げられている4つの重点目標の4番目に『会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう』と掲げております。そんな意味で本年度は職業奉仕を考える年度とも言えるのではないかと思います。ロータリーの職業倫理、職業奉仕の啓蒙に務めたいと思います。

2. 活動計画

2009～2010年度地区職業奉仕委員会では、活動計画として、次の様に取り組み、各クラブに啓蒙していきたいと考えております。

- ①職業上の高い道德水準、倫理観を各クラブで独自な形で啓蒙していただきたい。できれば職業奉仕フォーラムを開催し会員同士での意見交換をして



いただければと思います。

- ②四つのテスト・ロータリーの綱領・職業宣言を啓蒙しクラブ会員への理解に努めていただきたい。
- ③子どもたちの出前事業・職場体験に協力していただき、こどもたちの思い出記憶を高めていただきたい。

以上により、本年度は職業奉仕月間ではなく職業奉仕年間とさせていただき、各クラブにおいては職業奉仕の倫理観を理解し、いろいろな形で独自に啓蒙していただければと思います。



地区社会奉仕委員会

委員長
阪崎 健治朗
(札幌西RC)

1. 活動方針

ロータリーの原点はクラブの主体性にあることを確認し、地区委員会は常にクラブと共にあることを自覚し、活動への支援を務めていくことを方針とする。

近年CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の導入が推進されているが、当委員会は導入クラブの目標活動に支援、協力する。次に各クラブの活動をより効果的に進むよう情報交換の機会を作り、さらなる活性化に寄与する。

2. 活動計画

- ①ガバナーの重点目標である「小児がんの子供に夢や希望を与える『そらぷちキッズキャンプ』」の支援要請があれば各クラブとも協議し、理解推進と協力の方法を検討する。
- ②地区が定めたグループ(多少合併する場合がある)ごとに社会奉仕関連委員長会議を年度当初に開催し、活動計画の発表や意見交換を行う。
ブロック別意見交換会の実施
Aブロック(1、2、3グループ)
7月18日(土) 午後2:00~4:00(砂川)
Bブロック(4、5、6グループ)
7月25日(土) 午後2:00~4:00(札幌)
Cブロック(7、8、9、12グループ)
7月26日(日) 午後2:00~4:00(苫小牧)
Dブロック(10、11グループ)
7月19日(日) 午後2:00~4:00(函館)
- ③クラブが推進される新規または継続プログラムに対し、支援、協力の要請があり次第、共に取り組む姿勢を維持する。

- ④各クラブの活動計画書を6月末までに収集し、それらをまとめて「活動計画一覧集」を作成し、グループ会議に活用する。
- ⑤当委員会はすでにホームページを設置しているので有効に活用し、情報の迅速な提供や連携に応じていく。



地区国際奉仕委員会

委員長
中村 真規
(札幌西RC)

1. 活動方針

奉仕の理想に結ばれた事業と専門職の人々の世界的親交により国際間の理解と親善と平和を推進することを目標に、地区内で実施されている各クラブの国際奉仕活動を支援するとともに、各クラブへ適切な情報を提供し、又各クラブより活動情報を収集し、その共有を計ることにより各クラブにおける国際奉仕活動の活性化を進め、又各会員の国際奉仕活動への理解を深める。

2. 活動計画

- ①各クラブへの国際奉仕活動取組み情報の提供
- ②WCSへの協力
- ③ロータリー友情交換への協力
- ④世界理解月間における活動の徹底と世界理解と平和の日(2/23)の啓蒙



地区世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

1. 活動方針

WCSを支援するクラブの意義ある事業実現のため全面的にサポートを行う。

2. 活動計画

- ①〈参加実施へのサポート〉
 1. パートナークラブ、事業案を持っているクラブへ書類受取、フォーマットの提供等を行い、スムーズな事業開始、展開へのサポートを行う。
 2. 地区WCSモデルプランの提供により、各クラブが事業に参加しやすい環境を整える。

②〈調査、検証サポート〉

1. WCS検証ツアーの実施により、各クラブが実際に行った事業の状況を検証できる環境を整えると共に、現地調査による新しいモデルプランの発掘に努める。(2009.11/末~12/初予定)

③〈広報、報告サポート〉

1. ガバナー月信、国際奉仕だより(国際奉仕委員会協力)等において、事業報告等を行う。クラブ独自の現地検証実施後の広報に協力する。
2. 新たに各担当委員長へのアンケート調査を実施し、それに沿った形でのWCS事業報告会を実施したい。
3. 地区大会でのブースへ参加、広報と共に各クラブよりのWCS事業の相談窓口としたい。(モデルプラン、マッチング等の補助金、色々な方面で委員が勉強し知識を持つ)



地区青少年交換
委員会

委員長
渡辺 哲 則
(札幌東RC)

1. 活動方針

青少年交換プログラムは、国際理解推進の機会として推進するという観点から、ロータリアンの子女のみに与えられた特権ではなくて、必要な資格条件を備えた15~19歳の若い人なら誰でも歓迎しています。

この青少年交換プログラム(長期1学年度)は、他に類のない最高のプログラムです。このプログラムに多くのクラブが参加して頂けるように、委員会一丸となって協力していきます。

2. 活動計画

- ①オーストラリア・カナダ・アメリカ・フィンランド4カ国(6地区)受け入れ、派遣。
- ②受け入れ学生歓迎会及び送別会。
- ③派遣学生壮行会。
- ④受け入れ学生・派遣学生のレクリエーションの実施。
- ⑤派遣学生のオリエンテーションの実施。
- ⑥地区行事への参加。
- ⑦インター・ナショナルナイトへの参加。
- ⑧カウンセラー・オリエンテーションの実施。
- ⑨危機管理・オリエンテーションの実施。
- ⑩ROTEX名簿作成。ROTEXとの交流。
- ⑪年間12回の委員会。
- ⑫長期・短期学生募集。



地区新世代委員会

委員長
松見 修 二
(函館北RC)

1. 活動方針

- 1) 新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりに広く理解して頂くように努めます。
- 2) 次世代を担う若者たちにロータリーの基本理念を伝達します。
- 3) 新世代の活動を広報を活用して促進に努めます。

2. 活動計画

- ①各クラブの新世代委員会と情報交換を密にし、地区委員会との連携を深めます。
- ②9月の『新世代月間』で“ロータリアンは青少年の模範”の標語を会報や広報資料に活用するように奨励します。
- ③インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの現状と、提唱しているクラブの関わりを深めます。
- ④青少年交換委員会が実践するプログラムを支援します。



地区インターアクト
委員会

委員長
若松 孝
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

国際ロータリー第2510地区には9つの高校にあるインターアクトクラブと、それぞれを支援、指導している8つの提唱ロータリークラブがあります。

地区委員会として、双方の関係が良好に、またより発展的になるよう少しでも力になるよう活動いたします。

また、地区内73のクラブのロータリアンに、インターアクターの活動をご支援、ご指導戴けるよう、知って戴く機会を増やしていきます。



2. 活動計画

- ①各インターアクトクラブの活動の情報発信
ホームページの充実などを通して、9つのインターアクトクラブの活動状況を知って戴く。
- ②年次大会の開催
- ③研修旅行の実施



地区ローターアクト委員会

委員長
柳 孝一
(札幌南RC)

1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、クラブ会員の方と連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く広報活動に努めます。

2. 活動計画

【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
- ③新世代委員会行事への参加
- ④海外研修の実施の協力と参加
- ⑤第2510地区の地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進
- ⑥ガバナー月信を活用した地区内広報活動

【クラブ運営に関する要望と協力】

- ①クラブの会員増強と体制強化、例会運営
- ②提唱クラブ、ローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR（最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。）

【その他】

- ①北海道ローターアクト交流会のホストクラブへの全面協力とロータリアンの登録推進
(第2510地区で開催、ホスト千歳RAC)
- ②全国研修会への登録、参加

- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議の開催
- ⑥地区主催のアクトキャンプ、温泉交流会への協力と参加
- ⑦地区ローターアクト代表への指導と協力
- ⑧各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請



地区ロータリー財団委員会

委員長
岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

1. 活動方針

財団の認識を高め、世の善行を行うことが1917年にアーチ・クランフが財団への基金を創設した基本理念によりその目標を達成しよう。

2. 活動計画

- ①財団への「毎年あなたも100ドル」を寄付する。
- ②恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力。
- ③ロータリーカードへの協力。
- ④各プログラムに積極的に参加する。
- ⑤2009～2010年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
- ⑥財団の未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の補助金の理解を今年度中に会員に浸透させる。



地区国際親善奨学金委員会

委員長
菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために、1947年初めての奨学生を送り出しました。留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、留学先のロータリークラブの会合に出席して、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割を果たすことが期待されていますし、留学終了後には地元のホストクラブを中心に、留学中

の体験について報告することも期待されています。

当委員会では、こうした奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートもおこないますので、各クラブからの積極的な奨学生の応募を期待しますとともに、留学生を送り出すスポンサークラブになりました場合には、なお特段のご協力をお願いする次第です。

2. 活動計画

- 2009年7月 10-11年度奨学生
第1回オリエンテーション(第1回委員会)
- 2009年7月 9-10年度奨学生 壮行会
- 2009年8月 10-11年度奨学生 英文申請書作成指導
- 2009年9月 10-11年度奨学生
第2回オリエンテーション(第2回委員会)
- 2009年9月 10-11年度奨学生
英文申請書、ロータリー財団本部へ送付
- 2009年12月 11-12年度奨学生
募集要項・ポスター作成
- 2010年1月 第3回委員会(募集要項・ポスター確認・発送)
- 2010年3月 10-11年度奨学生
第3回(最終)オリエンテーション(1泊の合宿予定)
(第4回委員会)
- 2010年5月 11-12年度奨学生候補者
最終面接選考(第5回委員会)
- 6-7月 10-11年度奨学生 壮行会

【11-12年度奨学生選考日程案】

- 募集要項・ポスター印刷完成・送付作業 2010年1月
- 募集開始 2010年2月中旬
- 各クラブへの申請書提出締め切り 4月上旬
- 各クラブから奨学金委員会への提出締め切り 4月末
- 書類審査 5月上旬
- 面接選考 5月下旬
- 合格発表 6月上旬

タリー会員に理解して戴けるように、ロータリー財団事業に対して協力する。

- ④更に魅力あるGSEプログラムにするために、プログラムの内容の充実を検討する。

2. 活動計画

- ①2009~2010年度の受入派遣地区であるスウェーデン2360地区との派遣受入に関する国際渉外活動を進めて行く。
- ②毎月1回委員会を開催し次々年度の受入派遣の準備に併せGSEプログラムの勉強を行う。(2510地区内のクラブに対して、GSEプログラムの理解を深めて戴く為に卓話を行う等)
- ③スウェーデン2360地区からのGSE団員に対する受入を担当するコーディネーター及びホストファミリーを決定し、事業への協力体制を確立する。
- ④2009~2010年度受入時期は、地区大会に絡まないため、引き受けグループにおいてできるだけIM等の機会を使って戴き、より多くの地区内ロータリー会員と接する機会を作る。
- ⑤派遣メンバーに対して、研修を通じてロータリーへの理解を高めプログラムの有効性を高める。

地区財団学友委員会



委員長
齋藤博司
(千歳セントラルRC)

地区GSE委員会



委員長
沼 舘 栞
(札幌清田RC)

1. 活動方針

- ①地区内のロータリー会員に対して、GSE事業に関する理解を促進するための活動を積極的に行う。
- ②GSE事業における受入派遣に関わる費用の見直しを図り、GSE事業がより充実し効果的になるよう、また気軽に実施できる環境づくりを行う。
- ③地区におけるロータリー財団事業を地区内のロー

1. 活動方針

- I 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- II 財団学友のロータリー活動への参加促進。
- III 財団学友に対するロータリークラブ側の理解推進。
- IV 財団学友会の広報。啓蒙活動の推進。

2. 活動計画

- ①委員会の開催
年間5回の委員会を開催。活動計画の検討と確認。
- ②第6回帰国財団学友報告会及び学友会総会、懇親会の開催。
留学した財団国際親善奨学生とGSE団員の体験報告と帰国後の感想と今後の活動について発表する会。
- ③財団学友のクラブ例会での卓話機会の推進
各クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会をより一層作り出すと共に交流を図る。



④財団学友賛助会員の賛助金拠出への御配慮。

財団学友の存在意義を高め、学友を活用すると共に賛助会員としてご支援をお願いします。

学友会の活動費として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めている。

⑤学友ニュースレター発行の支援（学友会活動の報告）

学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに貢献しています。

⑥財団学友の地区大会への促進

スポンサークラブからの積極的な働きかけをお願いする事が重要です。多くの学友が参加して、国際ロータリーへの理解を深めて載きたい。その一環として、ブースの設置を計画しています。これには、ロータリアンの学友会への啓蒙もあわせて検討しております。

⑦学友会と連携してのHP（ホームページ）の開設を計画。

一般市民への啓蒙も検討課題にしています。

⑧財団学友の移動状況の実態の再検討

⑨新規奨学生、GSE団員への支援

52～67ページ）を参照して下さい。

④地区の奉仕を含め各クラブ独自の奉仕活動、地域に密着しての会員自ら汗を流す社会奉仕が基本である。

⑤審査には、④の他に3年前のロータリー財団の寄付状況、自主申告の実績内容を参考にして決定する。

⑥この事は地元の広報機関を通じて、ロータリー活動について周知させる。

⑦補助金審査委員会は、年に2回以上開催する。



地区補助金監督委員会

委員長

中山 裕 視

（札幌真駒内RC）

1. 活動方針

補助金の使用は、ロータリアンの浄財寄付である大切なロータリー財団の資金です。

地区の奉仕活動や人道的活動を支援するために使用することが目的ですので、補助金の支出が効果的であり且つ適切に実行されることを監督いたします。

2. 活動計画

①申請書審査の公平について

②地域社会が参加し、プロジェクトが地域社会のものか

③会員の3分の2以上から賛同を得られるプロジェクトであるか

④クラブの負担、補助金の割合、会員の奉仕度合はどうか

⑤ただの寄付又は賞品の提供などではないか

⑥ロータリアン及びその関係者に補助金が使われていないか

以上の事を基本にして補助金使用、支出の監督をいたします。



地区補助金委員会

委員長

須田 義 雄

（札幌南RC）

1. 活動方針

地区補助金は地域社会のために行われる短期の人道的プロジェクトをロータリー地区が支援する方法です。

地区の奉仕活動や人道的活動を支援する補助金申請に対し、その活動内容について審査する。

地区ガバナー、ロータリー財団委員長、担当委員に加え、監督委員の方も同席して厳正且つ公平に審査を行い決定する。

2. 活動計画

①申請書はロータリー財団セミナーの時、各クラブ会長に配布してあるが、再度交付希望を申し出ればガバナー事務所より発送する。

②申請書の受付は、7月1日～翌年3月31日までとする。

③申請に際して、その内容記載はロータリー財団地域セミナーハンドブック（2008年11月19日付、



地区米山記念奨学 委員会

委員長
黒澤 勝昭
(札幌南RC)

1. 活動方針

米山記念奨学会の使命は、『将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事』と掲げられております。これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

2. 活動計画

- ①委員会活動がスムーズに行えるよう、年3回程度委員会を開催する。
- ②10月の米山月間には、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄付のお願いをする。
- ③地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
- ④地区内奨学生、及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。



地区米山学友委員会

委員長
大石 春雄
(札幌はまなすRC)

1. 活動方針

米山学友委員長として、米山学友会の運営を協働しながら支援し、学友会員が日本と出身国とを結ぶ懸け橋となっただけのように推進すると共に、国際交流と国際親善に貢献できるような活動を担うことを目指します。

2. 活動計画

以下の12項目の実践を目指して活動する予定です。

- ①米山学友会の名簿を最新版へ更新
- ②学友会員との更なる交流と精神的支援の構築

- ③米山月間における各RCへの卓話の実施
- ④米山奨学生交流会への参加
- ⑤米山記念奨学委員会主催 歓送会
- ⑥米山学友会総会及び懇親会の開催
- ⑦米山学友会の家族懇親会の開催
- ⑧米山記念奨学委員会主催 米山奨学生修了者歓送会への参加
- ⑨米山記念奨学委員会 カウンセラー研修会への参加
- ⑩米山奨学生研修旅行への参加
- ⑪長沼RC主催の国際フェスティバルへの参加
- ⑫機関紙「米山だより・北海道」の発行



ロータリーの友

地区委員
中島 健
(滝川RC)

1. 活動方針

ロータリーの重要な情報が沢山載っている「ロータリーの友」誌を多くの会員に読んでいただく様、努める。

2. 活動計画

- ①クラブに「ロータリーの友」を読む機会（例会で触りだけでも報告する等）を作ってください。
- ②ガバナー月信、地区のHPを通して、「ロータリーの友」やHP「ロータリージャパン」とその他の刊行物についてPRし利用していただく。
- ③地区内情報を「友誌編集部」に送り、それを基にした取材に協力することにより「友」誌の編集に協力する。
- ④週報の発行時、ホームページの立ちあげ時に、著作権などの知的所有権（RIのウェブサイトの写真、文書、ロータリーの徽章など）に注意するよう促す。



地区会員増強セミナー報告

国際ロータリー 第2510地区

地区大会実行委員長 **篠島 弘**
(滝川IRC)

去る6月14日(日)、午前10時から、ウェルシティ札幌(北海道厚生年金会館)に於いて地区会員増強セミナーを開催しました。出席者は地区内73クラブのうち68クラブの会員増強委員長で、ガバナ―補佐12名、地区役員、地区幹事など総勢約100名が参集しました。



矢橋温郎ガバナ―の挨拶の後、2008-09年度地区会員増強委員長であった酒井正人パストガバナ―が「地区の会員増強の現況報告」を行った。第2510地区の会員数は1996年の4,254名をピークに減り続けており、本年3月末で2,797人と、最多時の3分の2以下になっている。最近3年間の入退会者数をみると、期首会員数よりも期末会員数の方が少なくなっており、更に入会者数よりも退会者数が多く、地区内会員数は次第に減少している。2008-09年度の当地区の退会理由は、転勤(26%)、多忙(23%)、健康(17%)で、そのほか、不況の影

が色濃く影響を与えている。

次いで、セミナー講師である国際ロータリー会員組織地域コーディネーター(RRIMC)(Regional Rotary International Membership Coordinator)の服部芳樹氏の紹介が次期地区研修リーダーの塚原房樹パストガバナ―により行われた。服部芳樹氏は第2630地区(岐阜県・三重県)の2002-03年度のパストガバナ―であり、岐阜ロータリークラブの会員で、職業分類は耳鼻咽喉科医である。「ロータリーこの不思議の国」という演題で、



増強は会員維持を基本として、現会員の研修(定款、細則の改訂)、新会員の教育(ロータリーの心と姿)が必要と説かれた。それに続いて、決議23-34の解説、ロータリーマジックについて話をされた。

質疑応答後に、渡邊恭久ガバナ―・エレクトの謝辞、最後に佐々木正丞ガバナ―・ノミナーによる閉会の挨拶で地区会員増強セミナーを定刻に終了した。



国際ロータリー 第2510地区 2009~2010年度

地区大会のご案内

ガバナー 渡邊 恭久
 ホストクラブ滝川RC会長 川口 義弘
 大会実行委員長 篠島 弘

環境・人・子どもに目を向けよう

- 9/20(日) 記念囲碁大会 日本棋院北海道本部
- 10/ 2(金) 記念ゴルフ大会 空知カントリークラブ
- 10/ 3(土) 大会1日目
 - ◆会長・幹事会 ホテルスエヒロ
 - ◆地区指導者育成セミナー ホテルスエヒロ
 - ◆RI会長代理歓迎晩餐会 滝川ホテル三浦華園
- 10/ 4(日) 大会2日目
 - ◆本会議 たきかわ文化センター
 - ◆記念講演(倉本聰氏) たきかわ文化センター
 - ◆記念懇親会 ホテルスエヒロ

地区大会実行委員会事務局

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
 ホテルスエヒロ7F
 TEL:(0125)22-3344/FAX:(0125)24-2755
 E-mail:rid2510odc@rotary.gr.jp

登録締切り日

8月12日

期日迄に地区大会事務局にご登録下さい。



日台ロータリー親善会議参加ツアーのご案内

開催日時：2009年10月10日(土)
場 所：台湾“日月潭 雲品酒店”
親善会議プログラム

14時30分 登録開始
15時30分 開会式
17時30分 懇親晩餐会
20時00分 閉会

登録料：10,000円

登録締め切り 2009年8月10日(第一次)
以降は定員になり次第に締め切ります。



幹事地区 第2580地区(日本側)
日台ロータリー親善会議総裁 前川昭一(第2580地区パストガバナー)
日台ロータリー親善会議会長 多田 宏(第2580地区ガバナー)

日本・台湾双方において“日台ロータリー親善会議”が発足し、第1回の日台ロータリー親善会議が2008年5月12日、パシフィックホテル東京で開催され、台湾から約160人、日本から約540人、合わせて700人ほどのロータリアンが参加しました。

本年は、第2回を2009年10月10日(土)に、台湾の日月潭で開催する運びとなりました。この機会に、双方におけるロータリー活動の現状について情報交換を行い、お互いの親善と国際理解を図りたいと存じます。日本全国のロータリアンに、家族とご一緒に、多数参加いただきたくお願い申し上げます。

なお、会議の翌朝は、台湾7地区のパストガバナーが協同で企画したマラソン大会が日月潭で開催される予定になっていますので、ご希望であれば、台湾のロータリアンの奉仕プロジェクトを間近に見て、また、参加者に声援を送ることもできます(旅行日程等の都合がありますので、マラソンを見学したい場合は、事前にご連絡ください)。

- ◆Aコース(台北1泊・台中1泊)
2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日
- ◆Bコース(台北1泊・高雄1泊・日月潭1泊)
2009年10月8日(木)～10月11日(日) 3泊4日
- ◆Cコース(台中2連泊)
2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日
- ◆Dコース(台北1泊・台中1泊観光なしコース)
2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日

お申し込み、お問い合わせは、下記にご連絡下さい。

日台ロータリー親善会議 事務総長 岩尾 碩
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8
全医協連会館1階 第2580地区ガバナー事務所

TEL 03-3538-0211・FAX 03-3538-0212

★地区組織図の変更について

- 地区米山記念奨学委員会について、下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(敬称略)

委員長 黒澤勝昭(札幌南)	委員 大石春雄(札幌はまなす)
副委員長 半田善行(小樽)	委員 武藤哲雄(赤平)
委員 高坂輝雄(札幌あけぼの)	委員 山田雅敏(小樽)
委員 瓜俊雄(砂川)	委員 佐藤茂(滝川)
委員 大作佳範(札幌幌南)	
- 地区ロータリー財団委員会委員として、出村知佳子(札幌北)が選任されました。

★クラブ幹事の変更について (敬称略)

- 小平RCの幹事齊藤展正が退会したため、空橋仁に変更となりました。
- 洞爺湖RCの幹事が亀倉利夫から前谷休市に変更となりました。

★例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

- 羽幌RC：8月6日(木)の例会を8月9日(日)に変更
移動夜間例会 18:00～ 場所：羽幌町役場車庫
8月13日(木) 休会
8月27日(木) 移動夜間例会 場所：端肉店
- 江別RC：8月13日(木) 休会
8月20日(木) 移動夜間例会「夕涼み例会」18:30～
場所：レストラン マキシドルパ(江別市高砂町6)
- 江別西RC：8月11日(火) 納涼親睦夜間例会 18:00～ 場所：レストランあおい
8月18日(火) 休会
- 岩見沢RC：8月13日(木)の例会を8月11日(火)に変更
3クラブ合同納涼夜間例会 18:00点鐘
- 岩見沢東RC：8月11日(火) 3クラブ合同納涼夜間例会 18:00点鐘
場所：岩見沢平安閣
8月18日(火) 通常夜間例会を時間変更 12:30点鐘
- 千歳セントラルRC：8月11日(火) 移動例会「清掃作業」 場所：日航ホテル周辺
8月18日(火) 夜間例会 場所：日航ホテル屋外テラス
8月25日(火) 移動例会「農園作業」 場所：ふれあい農園
- 室蘭RC：8月13日(木) 休会
- 室蘭東RC：8月12日(水) 休会
- 室蘭北RC：8月11日(火) 休会
8月25日(火) 通常例会「臨時クラブ総会」 12:30～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧RC：8月14日(金) 休会
8月21日(金) 夜間例会「会員・家族、納涼の夕べ(ビール例会)」18:00～
場所：グランドホテルニュー王子

新入会員の紹介

(敬称略)



小平RC
板垣 良二
09年7月1日入会



札幌はまなすRC
小山内繁樹
09年7月1日入会



岩見沢RC
青木 稔
09年7月2日入会



苫小牧東RC
奥野 義雄
09年7月2日入会



千歳セントラルRC
鈴木 英範
09年7月7日入会



苫小牧北RC
渋谷 知宏
09年7月7日入会

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますと
ともに、心からご冥福をお祈り
いたします。



神部 弘二会員 (滝川RC・名誉会員)
平成21年6月26日逝去(享年94歳)

ロータリー歴

1958年8月16日 入会(チャーターメンバー)
1963年～1964年度 第6代会長
1994年より 名誉会員

表彰関係

- ロータリー財団
ベネファクター
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- (財)ロータリー米山記念奨学会
米山功労者4回



2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡邊 恭久
地区ガバナー指名委員長 丸山 淳士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

〔参考〕国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

文庫通信

(262号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◆ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』 菅生浩三(D.2660 月信)	2009	4P	※
◆これからのロータリー 渡辺好政(D.2690 地区大会記念誌)	2009	6P	※
◆約束を守ろう！ポリオ撲滅 岩淵 均(D.2770 月信)	2009	8P	※
◆一九一一年のロータリーのToleration(寛容)とPhilosophy(哲学) 坂本俊雄(D.2750 新会員研修セミナー研修資料)	2009	1P	※
◆ロータリーの奉仕・Serviceをめぐる一〇年間の大議論 一九二三年の二一三三四号決議 坂本俊雄(D.2750 新会員研修セミナー研修資料)	2009	2P	※
◆貧困への挑戦 識字プロジェクト 竹腰兼壽(D.2630 月信)	2009	1P	※
◆ロータリーにおける社会奉仕について 勝野露観(D.2640 月信)	2009	10P	※
◆ロータリーの職業倫理訓逐条解説(10)～(12) 青木伸翁(D.2770 月信)	2009	3P	※

※ デジタル化した資料

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円+送料）でコピーサービスを致します。一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

貸出し

- ・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

登録資料の紹介

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

ご寄贈

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強月間		9月 新世代のための月間	
1(土)		1(火)	公式訪問（千歳セントラルRC）
2(日)		2(水)	公式訪問（栗沢RC）
3(月)	公式訪問（三石RC）	3(木)	
4(火)	公式訪問（様似RC、浦河RC） ～7(金) インターアクト海外研修（韓国）	4(金)	～5(土) 第10回ロータリー日韓親善会議（ソウル）
5(水)	公式訪問（静内RC）	5(土)	～6(日) 地区野球大会（静内）
6(木)	公式訪問（えりもRC）	6(日)	
7(金)		7(月)	公式訪問（蘭越RC）
8(土)		8(火)	公式訪問（小樽RC）
9(日)		9(水)	公式訪問（倶知安RC、余市RC）
10(月)		10(木)	公式訪問（岩内RC）
11(火)	公式訪問（札幌西RC）		～12(土)
12(水)		11(金)	第1回ガバナー・エレクト研修セミナー（東京）
13(木)			公式訪問（札幌あけぼのRC）
14(金)		12(土)	札幌南ローターアクトクラブ創立35周年記念式典（札幌）
15(土)		13(日)	
16(日)		14(月)	
17(月)	公式訪問（函館亀田RC）	15(火)	公式訪問（札幌清田RC、札幌セントラルRC）
18(火)	公式訪問（函館東RC、七飯RC）	16(水)	公式訪問（札幌RC）
19(水)	公式訪問（長万部RC、森RC）	17(木)	公式訪問（江別RC）
20(木)	公式訪問（北斗RC）	18(金)	ロータリーの友 ゾーン会議（東京）
21(金)	公式訪問（函館五稜郭RC）	19(土)	
22(土)	公式訪問（松前RC）	20(日)	地区大会記念囲碁大会（札幌）
23(日)		21(月)	敬老の日
24(月)	公式訪問（札幌南RC、札幌大通公園RC）	22(火)	国民の休日
25(火)		23(水)	秋分の日
26(水)	公式訪問（札幌モーニングRC、新札幌RC）	24(木)	
27(木)		25(金)	
28(金)	公式訪問（小樽南RC）	26(土)	
29(土)		27(日)	2010-11年度地区研修リーダーセミナー（東京）
30(日)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会（東京）	28(月)	
31(月)		29(火)	七飯RC創立40周年記念式典
		30(水)	

2009年8月のロータリーレート 1ドル94円



ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

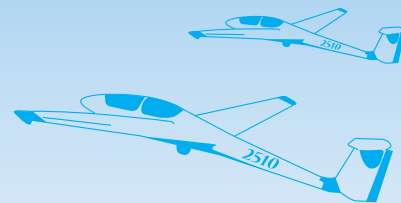
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

9



CONTENTS

- ガバナーレター…………… 1
- 新世代月間によせて…………… 2・3
- 我が地区の素晴らしきインターアクターたち…………… 4
- 新世代月間に向けて…………… 5
- ロータリー財団ゾーンチームに学んで…………… 6・7
- ガバナー公式訪問…………… 8～14
- 地区社会奉仕委員会
ブロック意見交換会から見えるもの…………… 15・16
- WCS説明会及び報告会…………… 17
- ローターアクト提唱クラブ委員長会議、
GSE派遣団員・受入コーディネーターの決定…………… 18
- 2010-11年 青少年交換派遣学生募集要項…………… 19
- 「そらぶちキッズキャンプ」への支援の方策…………… 20
- 例会の変更等・新会員の紹介…………… 21
- ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い、文庫通信…………… 22
- ロータリー財団・米山奨学会への協力に感謝、
地区カレンダー(9月・10月)…………… 23
- 出席率・会員数…………… 24

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



そらぷちキッズキャンプを支援しよう

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

2009年8月8日、丸加山高原は今年一番の暑さ。空は澄み、心地良い風が吹いた北の夏だった。森の中で木を切る子供、これを組み立てる仲間。丘を駆け上る子供。それを追う仲間達。歓声、笑い声、叫ぶ声が山の頂きに広がっていた。長崎から、関西から、関東からは10名の小児ガンの子供達、総勢19名がお医者さんや看護師さんに守られ、沢山のボランティアに支えられ「明日はグライダーに乗るんだ」と本当に夢だった野山で遊ぶ体験の3泊4日を過ごしていた。

小児ガンや心臓疾患など難病と闘っている子どもたちが、全国に20万人がいると言う(2006年)。その子供達は、毎日の治療や体調の急変に備えるため、家族と共に病院と家庭のみの生活を余儀なくされていることが多いと言われる。彼らにとって青空や風の中でゆったりと過ごすことは夢でしかない。そんな夢を実現するためにお医者さんや看護師さんが付添う中で、家族や仲間と共にその子供達が天空の下で、或いは雪山の中で走りまわることが出来ればと、既に開設していたアメリカのコネチカット州ニューヘブンを、日本の専門医等が視察をした。「日本にもキャンプを作り、病魔で希望や夢を持たない子供達に生きるたしかさを感じさせよう」と適地の検討から、滝川市丸加山に設置が決まり、日本小児ガン学会等が中心となって動き始めたものであった。丸加山は標高286メートル。裾野に広大な草原があり、西に暑寒や増毛連峰、東に十勝岳大雪の山並みが見え、眼下に石狩平野から空知野の広がり一望され、春には菜の花が真黄色なジュータンを敷き、秋にはコスモスが風にそよぎ、牛や馬、羊が放牧されているのどかな高原である。子供はこのキャンプで、グライダーに乗って天空から地上を走る車や、歩く人を目で追い、乗馬の体験でドキドキ感を味わい、羊に触れ、輝く太陽の光と風を感じる夢の体験をするのである。「来年も来たい!」これは体験した子供達の真実で正直な願いである。このキャンプは心ある多くの人達の善意によって作られ運営されている。これには公的な資金や補助はない。全てが寄附とボランティアで支えられているのである。

この日のキャンプは今年になって3回目の3泊4日。小児ガンの子供達の為のキャンプで、日本・アジアで唯一のこのキャンプに全国から集まったものだった。

自分の力だけでは生きてゆけない小児ガン等の子供達に、ロータリーらしく我々は手を貸そうと、地区内クラブや会員の皆さんに呼びかけた。例えば、①日本チェーンドラッグストア協会傘下の全国1万3千店のドラッグストアに「そらぷちキッズキャンプ支援の募金箱」が置かれます。積極的に会員の家族、社員、友人に知らせてこれにリトルドロップさせて下さい。②また募金箱をクラブや会社にも置いて頂けませんか。③このキャンプを支える会員になってもらえませんか(会員年額2000円～)④キャンプ支援のボランティアに登録しませんか。⑤他に支援の方法が別があればご提案下さい。これらは、我々が考えた支援のメニューでこの全てに支援をではなく、これらの中から、それぞれが出来る支援を選択して、支援の輪の中に入れていただければと、私は改めて皆さんに呼びかけます。(P20をご参照ください)



『新世代月間によせて』

“ロータリアンは青少年の模範”

地区新世代委員会

委員長 **松見修二**

Shuji Matsumi
(函館北RC)

9月の新世代月間について、地区内各クラブへ今年度新世代を対象にしたプログラム、社会奉仕活動の計画、過年度実施した写真などの情報提供をお願いしました。

結果、呼びかけて僅かな日にちと時間の内に数多くの情報を提供頂きましたことにお礼を申し上げます。紙面の都合で全てを掲載出来ませんでした。頂いた資料は次の機会に紹介致しますのでご了承願います。

●砂川IRC

次世代を託すべき新世代へのアプローチは幼い頃から始める事と認識し、「我が街 砂川」「ふるさと砂川」への思いを持ち未来の担い手となるような機会づくりを目指して、「笑顔」「喜び」「楽しく」を目標に委員会づくり。



子ども家族とともに体験農場植付け



体験農場収穫祭「笑顔・笑い」

●札幌モーニングRC

社会奉仕事業「カミネッコン植樹」で小学生たちに植樹する事の大切さを伝え、植樹する子どもたちを育てたい。



カミネッコン植樹する子供たち



子供たちと共に給食をごちそうになる

●札幌西北RC

札幌山の手高校インターアクトクラブと共に三角山ゴミ拾い。手稲区中学校スポーツ大会を支援。大通りに樽型プランター設置、花植栽。

●札幌手稲RC

第28回ロータリー杯争奪、西区・手稲区中学生スポーツ大会の実施(札幌西北RCと協働)。



三角山ゴミ拾い登山



インターアクターと共に三角山ゴミ拾い

●札幌南RC

提唱している札幌南RACが全国RA研究会に参加報告会で長崎料理の試食会、ロータリアンの協力でフリマに出店、国際親善交流会で市内留学生が国際色豊かに伝統芸能を披露。



ロータリアンの協力でRACフリマ参加



市内留学生を招き国際親善・交流会

●札幌清田RC

児童養護施設への支援として、札幌ドームのスポーツ観戦招待。北広島「天使の園」の児童、職員35名を北海道日本ハムファイターズの試合観戦に招待、お弁当とグッズをプレゼント。



●函館RC

- ・第7回函館RC杯タグラクビー大会の支援
- ・環境保全委員会は函館八幡宮裏山に設置している巣箱の清掃を地元小学生と実施
- ・高文連道南支部ボランティアの高校生と大森浜の清掃、植樹の推進を支援。



●苫小牧RC・苫小牧東RC

苫小牧RC・苫小牧東RC協働で苫小牧少年少女合唱団を設立、未来の文化を担う「新世代のための音楽プログラム委員会」を8年前に設立しています。苫小牧市の協力で「ゴミゼロの街苫小牧」の環境活動を実施。



苫小牧RC・苫小牧東RC協働少年少女合唱祭



苫小牧東RCゴミゼロ作戦



「我が地区の 素晴らしきインターアクターたち」

地区インターアクト委員会

委員長 **若松 孝**

Takashi Wakamatsu
(札幌モーニングRC)

わが地区には、8つの提唱クラブと9つの高校にインターアクトクラブがあります。(静内RCは静内高等学校と静内農業高等学校の2つを提唱)ですのでインターアクトの活動は、それ以外のクラブに所属している会員にはわかりづらい存在だと思えます。

地区インターアクト委員会の活動として、それぞれの提唱クラブとインターアクトクラブがよりよい関係を保てるよう補佐することを第一に考えております。この点におきましては、戸部前委員長はじめ歴代の委員長、委員のご尽力、そしてなにより各提唱ロータリークラブ、各高等学校のご配慮のおかげで大変良い関係が保たれております。

インターアクトクラブの活動には、社会奉仕と国際理解の2つの柱があります。インターアクト要覧には以下の4つが書かれています。

- ニーズを抱える地域社会に援助の手を差し伸べよう。
- 海外の若者たちと協力して、奉仕プロジェクトを始めよう。
- 遠く離れた土地の風習や文化について学ぼう。
- 地元の地域社会に貢献しよう。

ここは声を大にして言いたいのですが、当地区のインターアクター達はとても地域の皆さまに愛され、また必要とされています。地域のさまざまな活動に引っ張りだこです。上の文章と照らしますと、一番目と四番目はこなされているわけです。これも各提唱クラブと各学校の継続した努力の表れです。

地区委員会の第二の役割といたしまして、この充実したインターアクター達の活躍を広くロータリアンに知っていただきご理解を深めていただくことだと考えます。これこそが地区の出番と考えております。

益々のインターアクトへのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。





新世代月間に向けて

地区ローターアクト委員会

委員長 柳 孝一

Kouichi Yanagi
(札幌南RC)

昨年度から地区内のローターアクトクラブ(以下RAC)が8クラブから5クラブに減少し、厳しいスタートになりましたが、熱い思いのローターアクトいる限り、ローターアクトの為に働きたいと決意を新たに一年間精進いたします。

RACは、1967-68年度国際ロータリーの理事会で「国際理解と奉仕活動を通じ指導力と良き市民育成の目的で青年のためのクラブを結成しそれを後援してゆく計画」を採択しました。1968年3月にアメリカでRACが誕生しました。遅れること3ヶ月、日本にもRACが誕生します。同年7月、岩見沢RACが日本で2番目のクラブとして誕生しました。その後、2510地区内にRACがどんどん誕生します。詳しい資料が有りませんが、地区内のRACクラブはピークで16~17クラブあったはずで、それが今年度は5クラブです。

現存するローターアクトがクラブの垣根を越え、地区単位で奉仕活動を行っていますのでそれをご紹介し協力をお願いしたいと思います。

ローターアクト活動

●「エコキャップ活動」

ペットボトルのキャップを回収しリサイクルする活動で、約800個のキャップで一人分のポリオワクチンを送ることが出来ます。捨ててしまえばゴミになるものが、小さな善意でポリオ撲滅に参加できるというプログラムで、一年間通した活動となります。皆さんの参加をお願いします。

●「交通安全自転車リレー」

昨年10月函館から赤平まで延べ40人、約380キロを2日間にわたり、交通安全を啓発しながらローターアクトのPRをいたしました。今年度は、9月22~23日、稚内から赤平までの行程を企画しています。活動そのものは地味なものですが、想像を絶する距離、襷を繋ぐ一体感等、ローターアクトならではの活動です。

●「ホームページの活用」

今年ホームページが復活しました。地区のHPにリンクしています。

最後に

現在、5クラブに約60名の様々なメンバーがいます。ロータリアンの会社の従業員、子弟、インターアクト卒業生、元財団奨学生(学友)、元青少年交換留学生(ローテックス)、現役米山奨学生、米山奨学生の奥さん、元地区外のローターアクター等々、ロータリーのプログラムの受け皿になっていることは間違いありません。これからは元ローターアクトをロータリアンに勧誘する事がロータリーの目標になるでしょう。





ロータリー財団 ゾーンチームに学んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

Hideharu Iwaki
(札幌南RC・PG)

1.はじめに

ロータリー財団会議は、2009年7月1日(水)グランドプリンスホテル高輪で実施されました。

第1ゾーン北清治氏の司会進行により、

- 1.ゾーンの目標設定
- 2.四半期報告書の提出と内容
- 3.世界平和フェローの推薦について
- 4.学友人道奉仕世界賞について
- 5.ポリオ2億ドルチャレンジ寄付について(DDFの活用)
- 6.各地区セミナー開催情報について
- 7.その他

以上のテーマにより、その説明を受け趣旨を理解致しました。

然し、財団の理念、財団の運営と財政、財団の今後の行方の説明がなく、財政状況と未来の夢計画の移行期への説明を質問いたしました。田中財団管理委員は、財政的な心配はない、サブプライムローン問題で投資運用は損失を生じたが、これは直ちに処分することではなく、ペーパーロスだから心配することは無い、と云われておりました。今後は、単一の運用ではなく、経済を見極めて数種の運用方法をとるべきことが必要であることを提言致しました。RI理事の黒田氏も同感されておりましたので、今後の運用による損失は避けられるものと確信致した次第であります。

2.財団地域セミナーについて

2日目は全国のガバナー地区財団委員長ら約330名(当地区からは岩城財団委員長、岡崎G.S.E前委員長、出村W.C.S委員長)が出席して開催されました。

- 1.ロータリー財団年度日程
- 2.ポリオを撲滅するという約束を果たす
- 3.未来の夢計画と投資財政の現状
- 4.毎年あなたも100ドルを
- 5.恒久基金、大口寄付推進計画
- 6.世界平和フェロー



- 7.ロータリー・カードの貢献
- 8.新公益法人制度への移行
- 9.地区補助金と新地区補助金
- 10.学友を中心としたクラブ

以上の10項目にわたって、ポイントだけを紹介する程度でした。

関心の高い新しく始まる「ロータリーの未来の夢計画」について、パイロット地区として、日本からは、第2580、2650、2690、2760、2770、2830の6地区が選ばれて、地区補助金と新地区補助金の申請に関する実務を紹介された程度でした。特に、地区補助金は人道的なものに使用することとし、文化的な事業について補助金の対象外とされたことが大きいと思われます。

また、会員の増強の点から大きく取り上げられたのは、ロータリー財団学友が中心となって創立したロータリークラブの紹介とロータリー世界平和フェローの体験談の紹介でした。

一方、新公益法人制度移行については、整備状況を進めて、2010年1月1日を計画しています。

3.むすび

具体的に未来の夢計画に対する移行の事務手続きは少なく、各プログラムの委員長にとっては、もの足りないセミナーではなかったかと思えます。

そこで、来る10月3日の地区大会の1日目には、片岡ロータリー財団日本事務局財団室長に具体的な事務手続きを解説して貰い、地区の国際親善奨学金委員会、GSE委員会、財団学友委員会、地区補助金委員会、WCS委員会の方により理解をいただくことを願って「地区指導者育成セミナー」において「財団セミナー」を開催いたします。地区委員長、クラブの財団委員長およびガバナー補佐の方々のご出席をいただきたくお願い申し上げます。

地区指導者育成セミナー：10月3日15時00分 ホテルスエヒロ

出席要請：クラブ会長、ガバナー補佐、クラブ財団委員長、地区委員長、クラブで3年以上指導的役割を果たしてきた会員で関心のある者

ガバナー公式訪問

7月

7月9日(木)

12G 苫小牧東ロータリークラブ

渡邊ガバナーが2510地区最初の公式訪問クラブとして当クラブを7月9日鈴木地区財務委員長と訪問くださいました。水元会長、小林会長エレクト、松下幹事との懇談会、そしてクラブ協議会では菅野ガバナー補佐の司会で苫小牧東RC今年度の活動方針の発表を各委員長より行いました。当クラブは昨年度よりCLPを活用しており当クラブ活動方針に対し渡邊ガバナーより的確なアドバイスを頂戴いたしました。12時30分よりの例会では暖かな人柄がにじみ出る卓話を賜り会員一同聞き入りました。例会終了後はガバナー、ガバナー補佐、市内3ロータリークラブの会長、幹事、広報委員長にて苫小牧市長に就任挨拶、北海道新聞苫小牧支社、苫小牧民報社へもご挨拶に訪問いたしました。



スローガン	“全員で考え、全員で行動するクラブ”
設立年月日	1992年6月11日
RI認証年月日	1992年6月26日
スポンサークラブ	苫小牧北ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分(第二木曜日 18時00分)
例会場	グランドホテルニュー王子

7月10日(金)

12G 苫小牧ロータリークラブ

ガバナー公式訪問日の前日7月9日渡邊ガバナー、菅野ガバナー補佐並びに鈴木地区財務委員長をお迎えし苫小牧市内三クラブ会長、幹事合同により苫小牧岩倉市長を表敬訪問いたしました。岩倉市長は当苫小牧RCの名誉会員でもあり渡邊ガバナーの「環境・人・子ども」をテーマにした活動方針にロータリアンの責務を発揮して頑張ってくださいとの激励を頂き、そののち北海道新聞苫小牧支社及び苫小牧民報社へ就任の挨拶回りを行ないました。

翌7月10日公式訪問当日、会場のホテルで会長・幹事懇談会、クラブ協議会、公式訪問例会にご出席いただきました。

会長・幹事会ではガバナーより重点目標の一つ「そらぶちキッズキャンプ」活動を会員一人ひとりが広く周知していくことが重要である旨アドバイスを頂きました。クラブ協議会では四大奉仕委員長よりそれぞれの活動計画を発表した後、渡邊ガバナーより伝統的なクラブ協議会運営方式によるとの講評を頂戴し、RI財団・会員状況等RIクラブ現況についてのお話を頂きました。公式訪問例会では「ロータリーの未来はあなたの手の手に」のRI会長のテーマを具現化した第2510地区運営方針「環境・人・子ども」は正にRC会員それぞれの手の手の中にあることが渡邊ガバナーの講話を頂戴してあらためて認識を深く致し、今年度のクラブ運営に役立てて生きたいと思えます。



設立年月日	1957年1月25日
RI認証年月日	1957年4月15日
スポンサークラブ	室蘭ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分
例会場	グランドホテルニュー王子

7月13日(月)

4G 札幌北ロータリークラブ

渡邊ガバナー、荒ガバナー補佐をお迎えして、午前10時から会長・幹事会を行い、ガバナーより「そらぶちキッズキャンプ」の支援への内容、続いてWCSに関するマッチングGrant及びRIの現状についての説明がありました。11時からのクラブ協議会では28名が出席する中、地区大会について興味深い企画をお聞きした後、各委員会が今年度の活動計画を発表しました。その後、ガバナーよりポリオ・プラスについての現況と地区目標の会員増強・純増1名に関してお話がありました。

例会でもガバナーより活動方針が詳しく説明され、ロータリーの大切さを学びました。当日ピジターに前橋西RCの峰岸祥子さんをお迎えし、大変和やかな時間を過ごしました。



スローガン	ロータリーライフを楽しく
設立年月日	1971年5月24日
RI認証年月日	1971年6月1日(14,819番目)
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
コスポンサークラブ	札幌東ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時30分
例会会場	センチュリーロイヤルホテル 20F

7月14日(火)**3G 江別西ロータリークラブ**

午前10時から渡邊恭久ガバナーをお迎えし嵯峨義輝ガバナー補佐と後藤会長、長谷川エレクト、支部幹事等の6人で懇談会を開催。内容は、周年事業に対する考え方、「そらぷちキッズキャンプ」の具体的な必要性、米山記念奨学会の考え方の啓蒙等についてなど、ロータリーの今後について色々なご示唆をいただきました。

11時からはクラブ協議会を各委員長出席のもと、今年度の活動について伺い、定刻の12時30分より例会となりました。嵯峨ガバナー補佐から渡邊ガバナーの経歴紹介をいただきました。温かな人柄がにじみ出る中にも、ロータリーに対する並々ならぬ思いを込めた卓話を頂き、お話も判りやすく会員一同も、理解した様子でした。

最後に全員で記念撮影を行い、ガバナーが、グッと身近に感じられました。

**7月14日(火)****7G 北広島ロータリークラブ**

例会場は昨年オープンした札幌北広島クラッセホテル。加藤寛治ガバナー補佐(北広島)・真木孝男会長・斉藤洵幹事と懇談…やはり話題は「会員増強」。人口6万3千人に対し、わ

ずか17名。創立29年になるがずっと悩んで来た。①主立った産業が無い、②住民の大半が札幌に通勤し昼間人口が少ない、③商工会など昔からの事業主の多くは既に他団体に入り、④歴史の浅い住宅地で隣人同士の交流が少なく職業情報も乏しい…などの条件が影響。職業分類では医療関係の比重が35%というのも特異だ。

今年度から発足当時と同じ夜間例会に変更し、出席向上と増強を目指す。例会以外のイベントへの参加ポイントを高くし、出席率ではなく参加率120ポイントを目指す。18:30 今例会は会員夫人も出席し、渡邊ガバナーが入会した橋功記(弁護士)君にバッジを付けガッチリ握手。

**7月15日(水)****5G 札幌真駒内ロータリークラブ**

10時より会長・幹事懇談会を開催。柴田会長より当クラブ近況を説明し、第2510地区協議会の際に、時間切れで質問出来なかったことについて質問し、渡邊ガバナーより親切丁寧に返答頂きました。渡邊ガバナーより「そらぷちキッズキャンプ」取組みの経過及び今後の活動計画の説明を受け、一人一人の意識改革によって実現されることが多々あることに共感しました。当クラブとしても、意識改革し原点に立ち返ることが求められているような気がします。

**1. クラブ活動方針**

- ① 会員増強
- ② そらぷちキッズキャンプの支援
- ③ 水の衛生確保と餓死追放のための支援
- ④ ポリオ撲滅運動の協力
- ⑤ 各奉仕活動の充実
- ⑥ 友好クラブ推進
- ⑦ 4つのテストの自覚 = 初心を忘れずに

設立年月日	1974年1月3日
RI認証年月日	1974年2月8日
スポンサークラブ	札幌幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテル ライフォート札幌

7月16日(木)

4G 札幌西北ロータリークラブ

10時から会長・幹事・会長エレクトとの懇談会、11時よりクラブ協議会を通じ当クラブの会長方針「会員増強に取組ましよう。チャレンジ50」を最重要課題とし6つの項目説明が行われ、各委員会から更なる詳細な活動計画が説明されました。穴倉会長より、明るく楽しく出席しやすいクラブづくりが歴代会長から引き継がれた西北の伝統であり今年度もスローガンとして掲げ、更に推進していく決意が示されました。西北の会員の中に渡邊ガバナーと滝川に縁のある会員が4名ほどいまして、あらためて、ロータリーの輪の素晴らしさを実感させられました。例会では渡邊ガバナーから、ガバナーとして誕生までの経緯がジョーク混じりの笑いを誘うかたちで披露され、一辺に和やかな雰囲気になり、会員との一体感が生まれました。

地区方針の「環境・人・子どもに目を向けよう」と踏み込んだ実例をあげた詳細な取組への参加要請が行われ、最後に札幌西北RC全会員と渡邊ガバナーとお供の方を囲み記念の写真撮影が行われ大いに盛り上がりました。



クラブ活動方針

- ① 会員増強を図りましょう。
- ② 青少年の育成に努力しましょう。
- ③ アジアの国際奉仕に目を向け、アジアのRCと連携しよう。
- ④ 例会を楽しく魅力あるようにしましょう。
- ⑤ 奉仕活動、募金活動に積極的に参加しよう。
- ⑥ 効果的なクラブ作りを目指しましょう。

7月17日(金)

5G 札幌幌南ロータリークラブ

7月17日(金)にガバナー公式訪問を受け、渡邊恭久ガバナー、江口ガバナー補佐をお迎えしました。10時からの会長・幹事懇談会に始まり、11時からのクラブ協議会では新世代を含めた五大奉仕委員長を中心として各委員長から当年度の活動計画の発表があり、特にガバナーには、札幌唯一のRACの活動に関してご理解をいただきました。

例会では、「幌南」を「硬軟」と置き換え“かたい”“やわらかい”二つ揃った良いクラブであるとユーモアも交え、そらぶちキッズキャンプ、ロータリー財団や米山記念奨学会のことなど、時間が足りないほどの講話をいただきました。最後に本年45周年を迎える当クラブにエールを送っていただき、来年1月16日(土)開催の記念式典へのご参加を約束され会場を後になさいました。



■ 今年度クラブのスローガン

クラブ年次テーマ『創立45周年を成功させよう!』

- クラブ目標
- ① ロータリー財団に100ドルを寄付しよう
 - ② 親睦と奉仕をバランスよく実行しよう
 - ③ 50周年に向けて会員増強を心がけよう
 - ④ 会員相互に声を掛け合おう

設立年月日	1964年11月13日
RI認証年月日	1965年 1月20日
スポンサークラブ	札幌東ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分(月の最終例会は 18時00分)
例会場	ルネッサンスサッポロホテル

7月18日(土)

4G 札幌手稲ロータリークラブ

渡邊恭久ガバナー、荒紀男ガバナー補佐、福井義昭地区幹事をお迎えて公式訪問が行われました。

10時からの会長・幹事懇談会は、クラブの現況報告と共に今期から導入されたCLP、又高校生を対象とした奨学金制度など質問や助言を戴きました。引き続き11時より行われたクラブ協議会では、各委員長より活動方針を報告すると共にガバナーにそらぶちキッズキャンプの支援方法・目的等につき質問をさせて戴き、短時間の中、簡潔丁寧にご説明戴きました。

例会では渡邊ガバナーが掲げる地区目標の説明があり、「そらぶちキッズキャンプ」には全国1万3千のドラッグストアの店舗に募金箱を設置し、支援に充ててるとの事。興味深く伺いました。

荒ガバナー補佐には、協議会・例会を通して適切なアドバイスを戴き公式訪問を無事終えることができました。この訪問を今年度のクラブ運営にしっかり役立たせていきます。



スローガン	参加しよう・楽しもう
設立年月日	1970年6月29日
RI認証年月日	1970年7月20日
スポンサークラブ	札幌西ロータリークラブ
例会曜日	土曜日
開始時間	12時30分
例会場	三越 4階

7月21日(火)

11G 江差ロータリークラブ

当クラブの例会場は、解放的な窓から日本海を一望できる場所にあります。その、ダイナミックな自然をご覧頂きながら、10:00より会長・幹事・会長エレクトによる懇談会、11:00よりクラブ協議会が行われました。

会員19名、内女性会員2名の小規模クラブであります。今年で48周年を迎えます。江戸時代から拓けた江差のお祭や、歴史を残そうと努力している町の様子にも関心を頂き、話題となりました。

12:30より点鐘の後、「ロータリーソング」を斉唱、「4つのテスト」を唱和して、いつも通りの例会をご覧頂きました。少人数のクラブですので、CLPが自然と導入されている様な状態です。食事のあと、石橋ガバナー補佐より、渡邊ガバナーのご紹介を頂き、「先人のつないできた鎖を、日本人ならではの温故知新の精神でこれからもつないでいこう」というお話に、熱い思いを感じました。また「そらふちキッズキャンプ」や「米山奨学生」についての説明も頂き、渡邊ガバナーの人柄の温かさや細やかさを感じさせるお話を、会員一同聞き入りました。貴重なご指導を頂戴致しました。ありがとうございました。



スローガン	アットホームな例会
設立年月日	1962年6月13日
RI認証年月日	1962年6月29日
スポンサークラブ	函館ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	れすとらん津花館

7月21日(火)

10G 函館セントラルロータリークラブ

当クラブは今年度5周年を迎え7月11日に式典・祝賀会を開催し、ガバナー公式訪問が7月21日に行われました。

午後4時30分より行われました会長・幹事懇談会ではクラブの現状やガバナーの重点目標のひとつであります「そらふちキッズキャンプ」について等、ご意見を頂き和やかかつ貴重な時間を過ごしました。その後5時20分に記念写真を撮り5時30分より四大奉仕をはじめ各委員会より今年度の活動計画の発表を行い、渡邊ガバナーより講評を頂き終了しました。

引き続き18時30分より行われた例会の中で渡邊ガバナーより講話を頂きました。当クラブの式典の際のお話や国際協議会にガバナーが出席された際の今年度のテーマである強固な鎖の輪を作り次の世代へ送るといふ『ロータリーの未来はあなたの手の中に』についてのお話など新しい会員の多い当クラブにとって有意義な時間となりました。

そして19時15分より懇親会を開き渡邊ガバナーにはゆっくりとくつろいでゲームなどで楽しんでいただき終了いたしました。



スローガン	奉仕と親睦
設立年月日	2005年7月 2日
RI認証年月日	2005年7月20日
スポンサークラブ	函館ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	函館国際ホテル

7月22日(水)

11G 函館北ロータリークラブ

7月22日渡邊ガバナーをお迎えして公式訪問が開催されました。ガバナーが予めより希望しておりました洞爺丸海難慰霊碑のご参拝を小雨のなか、会長始めメンバーと共に祭壇に花を捧げ黙祷をし被災者にご冥福を祈りました。

会長・幹事懇談会及びクラブアッセンブリーそして例会に出席して戴き、本年度の活動計画書を各委員長に発表してもらい、ご指示を戴きました。また、最近のRIの事業や会員増強の問題に対してもご助言を戴きました。

ご講話の中で、渡邊ガバナーのロータリーに対する熱き思いが随所に感じられ、特に「環境・人・子供に目を向けよう」の基本方針では、『人は皆等しく生きる権利があり、小児ガンや難病の子供に希望を与える「そらふちキッズキャンプ」を是非成功させたい』との思いが各メンバーの心に力強く訴えられました。



スローガン	ロータリーの和を大切に
設立年月日	1964年 6月16日
RI認証年月日	1964年10月19日
スポンサークラブ	函館東ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会会場	函館国際ホテル

7月23日(木)

10G 函館ロータリークラブ

渡邊恭久ガバナーと近藤宣明ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

午前10時より「会長・幹事会」が開催され、当クラブ会長より「そらぶちキッズキャンプ」について質問があり、ガバナーより丁寧な説明で大変ささくで慈愛に満ちたお人柄がうかがわれました。

11時よりクラブ協議会が開催され、近藤ガバナー補佐の進行により、各委員長より活動計画の発表があり、ガバナーより講評の中で、以前より奨学生制度、環境保全に留意していることを評価され、今後是非継続を、と温かいアドバイスをいただきました。

12時30分より例会が開催され、近藤ガバナー補佐よりガバナーを紹介いただき、渡邊ガバナーより本年度のRI方針、地区の四大目標について説明があり、特に「そらぶちキッズキャンプ」については熱い思いで話されて、会員に感銘を与えられました。

大変有意義に公式訪問が終了いたしました。



スローガン	「元気になロータリー!」
設立年月日	1934年10月25日
RI認証年月日	1935年 1月29日
RI再認証年月日	1949年 9月16日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会会場	五島軒本店

7月27日(月)

7G 長沼ロータリークラブ

7月27日(月)渡邊ガバナー、加藤ガバナー補佐を迎えての公式訪問です。午後5時より会長・幹事会が開かれ、当クラブから会長、幹事、会長エレクトの6名で加藤ガバナー補佐の進行によりクラブの現状や今年度の目標、問題点などの懇談を行いました。6時からのクラブ協議会は加藤ガバナー補佐の議長で始まり、各委員長より今年度の活動計画の報告を行い、最後にガバナーより助言をいただきました。

7時からの例会は渡邊ガバナーから地区の基本方針と重点目標、特に「そらぶちキッズキャンプ」を支援するお話があり、最後に当クラブがこの5年間に一人の退会者もないというお褒めの言葉をいただきました。



スローガン	小さな長沼から世界に眼を向けて
設立年月日	1991年12月1日
RI認証年月日	1992年 1月6日
スポンサークラブ	恵庭ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	19時00分
例会会場	KSインターナショナル 2F

7月28日(火)

3G 岩見沢東ロータリークラブ

10時より会長・幹事長会を開催、地区目標やRIに対する私たちの考えを渡邊ガバナーに聞いて頂き活発な意見交換をさせて頂きました。

クラブ協議会では、9名の委員長による本年度の事業計画の発表にも熱心に耳を傾けて頂き、例会では2名の新会員を迎えることができ、入会式ではガバナーよりバッジを贈呈して頂きました。

その後、渡邊ガバナーの講話では人柄を思わせる地区目標に対する熱い想いを語って頂いて公式訪問を終了いたしました。





スローガン	4つのテストを今一度みんなで理解し合おう
設立年月日	1983年6月28日
RI認証年月日	1983年8月20日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分(第3週目例会:18時00分)
例会場	岩見沢平安閣

7月28日(火)

4G 札幌はまなすロータリークラブ

7月28日(火) 渡邊恭久ガバナーと荒ガバナー補佐をお迎えして、午後4時より会長・幹事会、5時よりクラブ協議会、6時より例会(ガバナー公式訪問)を開催いたしました。

クラブ協議会では当クラブの現況説明と活動計画について説明をし、渡邊ガバナーよりクラブ活動に対する多くの実りある話(菊地親睦委員長のユーモアのあるクラブ活動にという点に感心されていました)と今話題となっている金融危機による財務内容の説明をいただきました。また、荒ガバナー補佐より会員数の減少を解消するべく貴重な考え方をご伝授いただきました。

また、例会では渡邊ガバナーのスピーチでは、ロータリーへの熱い思いをお聞かせいただきました。その中では、そらぶちキッズキャンプについて、米山奨学会について、ポリオプラスの取組状況、新世代の問題点と取組について分かり易く説明をしていただきました。アットホームな雰囲気の中で過ごすことのできた大変実り多い公式訪問でした。



スローガン	クラブの発展はあなたの手の中に
設立年月日	1992年6月7日
RI認証年月日	1992年6月25日 (チャーターナイトは1992年9月23日) 世界の2031番目・2510地区の66番目
スポンサークラブ	札幌北ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分(月の最終例会は午後6時)
例会場	札幌サンプラザホテル

7月29日(水)

7G 恵庭ロータリークラブ

ガバナー公式訪問は、加藤寛治ガバナー補佐司会のもと、終了しました。

当クラブ期首の会員数は35名です。今年度は創立40周年を迎えることとなりますので、会員増強にも力を入れて、40名以上にしたいと思っています。チャーターメンバーも1名(92歳)で、とても元気で例会など100%出席して戴いており、心強い会員です。

事業内容としましては、青少年育成のためにクラブ独自の「歯車基金」として積立を行っており、継続事業であります。

- 小学生の部で地元小学生による「子供相撲大会」350名～400名参加
- 中学生の部で近隣(石狩管内)中学生による「少年野球ロータリー旗争奪戦」
- 高校生の部で「交換留学生」受入17名、派遣18名をしております。
- その他、財団奨学生派遣2名、米山奨学生受入3名等現在進行中です。

これらの費用のため、「歯車基金」など地元地域に密着した奉仕活動をし、会員相互のコミュニケーションを取っているクラブとして自負しております。



7月30日(木)

7G 由仁ロータリークラブ

7月30日のガバナー公式訪問は、渡邊ガバナー、加藤ガバナー補佐、会員でもある町長への表敬訪問から始まりました。

ガバナー、補佐とも行政に深く関わりがあるようで和やかなうちに行政運営全般の話で盛り上がりました。

その後の会長・幹事会では、一年間の方針説明、「そらぶちキッズキャンプ」支援の依頼があり、また会長からはCLPについての質問もありました。

クラブ協議会・例会へと進みガバナーからのお話は私達にとっても親近感がありロータリアンとしての心得をわかりやすく、また「そらぶちキッズキャンプ」の話にも共感させられました。

途中留学生ジョナサン君のシューズ購入の募金箱にも快く協力をいただきました。



スローガン	地域への理解と奉仕を
設立年月日	1992年 9月10日
RI認証年月日	1992年10月 6日
スポンサークラブ	恵庭ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分 (第2木曜日のみ夜間例会 午後6時00分)
例会場	由仁町民センター

7月30日(木)

6G 小樽銭函ロータリークラブ

ガバナー公式訪問は渡邊恭久ガバナー・第6グループ見延庄三郎ガバナー補佐をお迎えして、7月30日午後4時より会長・幹事会を開催いたしました。そこで会長は「そらふちキッズキャンプ」の支援を表明しました。その後、クラブ協議会に会場を移し、当クラブの各委員長より今年度の事業計画および目標を報告、活発な意見交換の中にも和やかに有意義なクラブ協議会となりました。

その後、夜間例会が行われました。渡邊ガバナーより本年度の地区の方針と地区の目標についての説明があり、又、地区大会への多数の参加の要請と「そらふちキッズキャンプ」の支援のあり方について詳しい説明があり、会員一同その趣旨に賛同し、盛会なうちに公式訪問を終了しました。

今後、当クラブも目標達成に向け邁進していきたいと思えます。



スローガン	財団に一人100ドル、一クラブ1,000ドルの寄付に協力したい
設立年月日	1975年 9月18日
RI認証年月日	1975年10月21日
スポンサークラブ	小樽南ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分(月の最終例会は18時00分)
例会場	和風レストラン銭函大山



2009-2010
国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ 滝川ロータリークラブ

環境・人・子どもに
目を向けよう

第1日 10/3^土

- 13:30 ● 会長・幹事会(ホテル スエヒロ)
- 15:00 ● 地区指導者育成セミナー(ホテル スエヒロ)
- 18:00 ● RI会長代理歓迎晩餐会(滝川ホテル 三浦華園)

第2日 10/4^日

- 10:00 ● 本会議(たきかわ文化センター)
 - 13:30 ● 記念講演(たきかわ文化センター)
 - 15:00 ● 本会議(たきかわ文化センター)
 - 16:30 ● 記念懇親会(ホテル スエヒロ)
- スパウス・プログラムを用意してございます

記念囲碁大会

9/20^日

- 会場 / 日本棋院北海道本部
囲碁会館
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル7階
TEL (011) 219-2340

● 会費 / 5,000円

記念ゴルフ大会

10/2^金 9:00スタート

- 会場 / 空知カントリークラブ
砂川市富平396 TEL (0125) 53-3081
- 会費 / 5,000円

2009-2010年度 国際ロータリー 第2510地区 **地区大会事務局**

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテル スエヒロ 7F
TEL (0125) 22-3344 FAX (0125) 24-2755
E-mail: rid2510odc@rotary.gr.jp



地区社会奉仕委員会 ブロック意見交換会から見えるもの

地区社会奉仕委員会

委員長 阪崎 健治郎

Kenjiro Sakazaki
(札幌西RC)

1.はじめに

地区社会奉仕委員会の恒例活動になった「ブロック別意見交換会」は、7月の後半2週間を使い、砂川、函館、札幌、苫小牧を会場に開催しました。

全クラブから提出いただいた「活動計画書」を基に、各クラブから活動計画の交流をいたしました。

4つのグループ、[10、11]（函館管内）[7、8、9、12]（苫小牧管内）[4、5、6]（札幌管内）[1、2、3]（滝川管内）に分かれて実施し、それぞれにガバナー補佐のご出席もいただき、励ましと助言を受け、新しい意欲を持って散会しました。

2.会員減少に腐心するクラブの健闘

地区社会奉仕委員会は本年度も基本的な方針に、「ロータリーは志を同じくする運動体であり、その活動の主体はクラブやロータリアン一人ひとりにあることを確認し、地区はあくまでも側面的に支援する役割をもつ」と伝えました。

印象として、会員の減少傾向は本年度も見られました。減少はクラブ活動にとって致命的な打撃でもありませんが、それでもロータリーの精神を根底に置きながら誇りを持って取り組むクラブばかりです。会員の減少は委員会設置にこだわらず、全員参加型に移行し結束力を強める効果もあるとの報告も伺いました。一方、会員数の多いクラブは担当委員会を設け活力を感じましたが、その中でも肝心の委員会は開かれず、委員長も特段の指示も出さないことから、沈滞化や意欲の減退、さらに恒例化したプログラムの継続に費やしているクラブもありました。横の連携や新しい空気の入替えなど、一工夫あってもよいのではないのでしょうか。意義ある活動を何年も継続し、効果を挙げることは大切ですが、同時に常に新鮮味のある活動も重要です。



3.視点を変えたプログラムの検証

多くのクラブは何らかの形で地域との接触を推進しています。特に栗山RCは防犯パトロール隊を結成し、子どもの安全を積極的に推進し、揃いのジャケットを着て地域を歩き、校門に立ち、子どもたちにも声をかけ、親たちや学校からも感謝されているそうです。また野球少年たちのために「バットの森」を作り、150年後の夢を子どもに託す植樹も目を引きました。

このような人命保護や植林や植樹は息の長い活動で、安易に取り組めるものではありません。

経験を持ったクラブに学ぶことが重要でしょう。また青少年に対しての活動もスポーツ・文化・伝統芸能その他さまざまな活動は煌びやかで単体で見ると、行事の羅列に見えますが、視点を変えてみると、これはまさに教育、環境、福祉、地域開発など未来志向の取り組みと言えます。そうした視点でプログラムを検証していただくと、今取り組んでおられるプログラムはもっと深まりをもつでしょう。

4.「そらぷちキッズキャンプ」の取り組みについて

すでにガバナーから発信されていますように、重点目標の第一に挙げられているこのキャンプにことさら支援の協力と関心をもつ理由は、日本で最初、しかもアジアでも初めての小児ガンや難病と闘う子どもたちのために多くの関係者の善意を結集して「生きる喜び」を体感させたいという「いのちへの真摯な取り組み」にあるからです。とはいえ私たちが何をすべきかはクラブや会員一人ひとりに託されているのです。足並みをそろえて同じことをする必要はないのです。未来のある子どもたちを愛し、少しでも希望を持たせるために私たちの志を一つにすることだと思えます。

私たちは過去幾多の困難な人のために、あるいは自然を守るために、寄付という発想で支援してきました。効果も挙げました。しかしロータリーは寄付をする団体ではありません。その行動はすべて自由でなければなりません。この機会にロータリーのあり方を再考したいものです。

5.終わりに

年度は始まったばかり。十分に活動計画をご検証いただき、ロータリー運動の理念に沿って活動がうまく推進されることを期待しております。地区社会奉仕委員会は独自のホームページも開設しました。互いのコミュニケーションを高めるために大いにご活用いただきたいと願っています。

ご協力に感謝します。



「WCS説明会及び報告会」

地区世界社会奉仕委員会

委員長 **出村 知佳子**

Chikako Demura
(札幌北RC)

2009年7月26日(日)、砂川「ゆう」にて2510地区WCSの説明会および報告会を行いました。初めての試みでしたが、日曜日にも関わらず参加者38名と多くのクラブの会長、担当委員長にご参加を頂きました。冒頭、渡邊恭久ガバナーから、今年度の地区目標に「WCS」を支援するクラブへの応援を、という御挨拶を頂き、次に現地を視察、訪問された酒井正人パストガバナーのWCS事業の様子やその意義についてのお話を伺いました。WCS委員会からの事業報告説明、検証ツアー参加者の声ということで参加者の皆さんからの実際に参加しての感想を頂きました。休憩時間には砂川クラブからの砂川名産のお菓子やお茶を美味しく頂きました。休憩後、今年度事業について神部洋史地区代表幹事から補助金システムの変更も含めたお話を伺い、続いて地区WCS委員会から、今年度モデル事業案や事業申請についての説明を致しました。

参加者の皆さんから、WCS事業についてのご感想を頂くことができ、各クラブの活動の取り組みと地区WCS活動がより近いものになったことを感じた報告会でした。いよいよ今年度の具体的なWCS活動がスタートします。各クラブの皆様の活動にこれが少しでも役立って頂けます事を願っております。また今回の会合の開催にあたり、砂川ロータリークラブの皆様にも全面的にサポートを頂き、これを開催することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。



ローターアクト提唱クラブ委員長会議

地区ローターアクト委員会

委員長 **柳 孝一**

Kouichi Yanagi
(札幌南RC)

7月11日(土)、カデル27(札幌市中央区)に於いてローターアクト提唱クラブ委員長、地区委員会議を行いました。神部地区代表幹事、函館東、室蘭北、千歳、千歳セントラル、札幌南、赤平RCが集まり、現状報告、活動の活性化や地区での取り組み、今後のスケジュール等を確認行いました。その後、アクトクラブ会長・幹事会にオブザーバーとして参加し、約3時間の会議を終了しました。

今年度6クラブからのスタートとなり、地区内のローターアクトを取り巻く環境は厳しい状況ですが、提唱クラブはローターアクトへの熱い思いの方々ばかりで、今後の地区運営にもアドバイスを頂きました。その成果を発揮でききるよう、三者一体となって盛り上げて行くことを確認しました。



GSE派遣団員・受入コーディネーターの決定

地区GSE委員会

委員長 **沼 舘 栞**

Shiori Numadate
(札幌清田RC)

RI第2360地区とのGSE交換事業の派遣団員が最終選考会の結果、下記のように決定いたしました。なお、今回は医療介護・社会福祉の分野に絞った重点的GSEとして募集選考を行ないました。

氏名	スポンサークラブ	勤務先
鈴木 洋史	札幌手稲RC	財団法人 北海道難病連
竹内 孝	札幌清田RC	社会福祉法人 北海道リハビリ
羽田野 真須美	札幌東RC	社会福祉法人 ノマド福祉会
松本 かな	札幌北RC	北海道大学附属病院

また、青田美穂氏及び大山毅氏の両名は、補欠団員として登録されております。

RI第2360地区からのGSE団員受入について、第1グループ、第5グループ、第7グループおよび第9グループが担当となっただき、それぞれの会員が受入コーディネーターとして決定されました。

第1グループ	西谷 英樹(留萌RC)	第7グループ	瀬川 五水(北広島RC)
第5グループ	大島 清幸(札幌東RC)	第9グループ	村木 一夫(室蘭東RC)

受入日程は2010年4月2日から5月1日まで、派遣日程は2010年5月1日から5月30日までとなっております。地区の皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。



国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会 2010-11年 青少年交換派遣学生募集要項(二次募集) (アメリカ・カナダ・フィンランド・オーストラリア他)

当地区の青少年交換プログラムとして、2010-11年の派遣学生を下記の要領に基づいて募集致します。ロータリーの親善使節としてふさわしい高校生をご推薦頂くようお願い致します。1クラブ2名までの推薦ができませんが、原則として、受入時期のずれるオーストラリア1名とオーストラリア以外の交換国1名の計2名となります。

派遣期間: 2010年7～8月からの1学年間(11ヶ月以上1年未満)

派遣予定国: ★アメリカ2または3地区(オレゴン州1地区、ニューヨーク州 1または2地区)

★カナダ1地区(アルバータ州)★フィンランド・マルチ1地区(フィンランド全域)

★オーストラリア2または3地区(東海岸地域3地区)

募集人員: 2～3名の予定。

応募資格: 2010年1月現在で15歳以上19歳未満で、中程度以上の学業成績があり、ロータリーの親善使節としての留学に対して積極的な態度を持つ男女。ロータリー会員の子であるか否とは問いませんが、保護者と在籍高校(受入高校)および推薦ロータリークラブの全面的支援(受入学生のホストを含む)を必要とします。

自己負担分: 往復の旅費・保険、その他、渡航に必要な費用(航空券・保険については、地区委員会指定の代理店から購入することが条件です)。

応募の方法: 推薦ロータリークラブから2009年9月30日(水)(必着)で応募書類をお送り下さい。

選考方法: 英語・小論文・面接により選考します。

選考日: 2009年10月中旬を予定しています。

結果の通知: 選考日から約2週間後までに推薦ロータリークラブ宛に通知致します。

注意事項

- ① 推薦した学生が派遣されることになると、推薦クラブで相手地区からの留学生をホストしていただくことになります。これには受入留学生のための高校及びホストファミリーの手配が含まれます。この際、派遣学生の在籍高校に留学生を受入頂くよう努力して下さい。
- ② 派遣学生の出発はすべての交換国とも2010年7～8月頃です。交換国の学生の受入はオーストラリアの場合2010年1月、オーストラリア以外の交換国では2010年8月です。
- ③ 受入留学生を他のクラブと共同してホストする場合、あるいは、他クラブがホストすることが内定している場合は、選考結果通知後、直ちに当委員会にお伝え下さい。
- ④ アメリカに派遣が決定した場合、予防接種が追加で必要になりますので、事前に学生や保護者の方へお伝え下さい。(例えばポリオの場合、オレゴン州の場合は計4～5回、ニューヨーク州の場合は計3回になるように追加で接種が必要です。)アメリカ以外の派遣国でも必要な場合があります。
- ⑤ クラブで推薦する前に、必ず、応募学生・保護者との面接を行い、ロータリー活動やロータリー青少年交換事業の目的を説明する機会を必ず持つて下さい。1クラブから2名まで推薦できますが、原則としてオーストラリア1名と受入時期のずれる他の交換国1名の計2名となります。
- ⑥ 派遣する相手地区との交換は確認していますが、相手地区の多くは現地で選ばれた学生の人数に応じた交換をおこなっています。また、多くの国で縮小の傾向が見られます。したがって、時として、相手地区ならびに学生の事情により派遣・受入が一時的に中止される可能性があることをご理解下さい。このことは必ず、応募学生ならびに保護者に対しても事前にお話し下さい。相手国からのビザが発給されるまでは、あくまでも派遣「候補」学生です。
- ⑦ 派遣候補学生・保護者・推薦クラブ担当者は、当地区青少年交換委員会が実施するオリエンテーションに出席することが義務づけられます。
- ⑧ 交換学生の募集・選考・派遣・受入は年度をさみみます。現年度及び次年度のクラブ会長・幹事・青少年交換担当者をはじめ、関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【問い合わせ・応募書類請求・送付先】

国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会事務局

〒001-0020 札幌市北区北20条西4丁目2-17 北陽ビル3階301

TEL:011-729-2510 FAX:011-729-2512 Email:d-2510yec@lemon.plala.or.jp

(不在の場合)渡邊委員長携帯 090-3114-1710

執務時間:月・水・金 10:00～15:00

「そらぷちキッズキャンプ」への支援の方策(会長資料)

以下の提案は一つの例でございますが、クラブのご事情に応じて最もふさわしい方法を一つ或いは複数でもご選択いただき、支援の輪の中に入れていただければ幸いです。

(そらぷちキッズキャンプのホームページ <http://www.solaputi.jp/>)

■ 支援選択内容

1. クラブ、会員とご家族、さらに社員の方、友人・知人への啓発活動。
(この際、必要なチラシやポスターなどは地区で用意します)
全国のドラッグストアに置かれる募金箱へ、リトルドロップの推進とロータリーのネットワークを使って募金の啓発活動。
2. ロータリーのネットワークを用いて地区を越えて関係者へ協力をお願い。
3. クラブ例会やさまざまな活動の場に募金箱を置き、自主的な小口募金の実行。
4. ロータリアンのご家庭、企業に募金箱を置き、一般の方々からもご協力をお願い。
5. 直接「そらぷちキッズキャンプ」の維持会員としてご登録いただく方法。
(その場合は直接キャンプ側と交渉することになります)
6. 「そらぷちキッズキャンプ」へのボランティア登録(実際にキャンプ場に出向く)
7. クラブ独自で企画し、直接「キャンプ」側に支援金を送金する方法。
8. その他クラブご自身が考えられるご自由な方法。
9. 関心はあるが当面事情により支援計画を見送る。

■ 支援の方法と経過(実施される場合)

1. 募金箱は各クラブでご自由な製作をお願い。
2. 募金箱は回収のお願いをするまで管理していただく。
3. チラシは地区で作成する。(PDFで供給するチラシをクラブで増刷いただきたい)
4. 予定では活動計画の内容と進捗については、11月と5月にお伺いする。
5. この任を地区社会奉仕委員会(阪崎健治朗委員長)に委託する。
6. 振込みなどの方法や詳細については後日連絡させていただきます。

■ 今後の連絡

1. 情報のご依頼やご報告はできるだけメールをご活用いただきたいと思います。
必要に応じて、地区社会奉仕委員会がクラブにお尋ねする場合がございます。
2. まず地区に支援法の選択のご一報いただきますが、書式は後日送付します。
お問い合わせがあれば、
そらぷちキッズキャンプ関連メール rid2510sskc@rotary.gr.jp
3. 何かご質問があれば、
地区社会奉仕委員長 阪崎健治朗 qqw88e59@ceres.ocn.ne.jp
電話:090-2813-2343 ご質問へのご助言をさせていただきます。



例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別RC	9月24日(休) 休会
岩見沢東RC	9月22日(火) 休会 9月29日(火)の例会を下記に変更 9月23日(水) 第12回岩見沢東RC杯争奪少年サッカー大会 9:00～ 場所:岡山スポーツフィールド
当別RC	9月 8日(火) 移動例会「職場訪問」 12:30～ 場所:ふれあいサロン 9月22日(火) 休会 9月29日(火) 移動夜間例会(時間・場所等未定)
室蘭RC	9月 3日(休)の例会を下記に変更 9月 5日(土) 移動例会「ぼっぼらん公園イベント」 9:00～ 場所:羅針盤事務所 9月17日(休) 夜間例会 18:00～ 場所:室蘭プリンスホテル
室蘭東RC	9月13日(日) 家族同伴野外例会 9月16日(水) 振替休会 9月23日(水) 休会
室蘭北RC	9月22日(火) 休会 9月27日(日) 移動家族例会 9月29日(火) 夜間例会 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
苫小牧北RC	9月29日(火) 移動夜間例会 18:00～ 場所:金剛園

新会員の紹介 (敬称略)

 <p>三浦 永一 みうら えいいち (札幌あけぼのRC) ■ 入会 / 7月1日 ■ 職業分類 / 内装工事</p>	 <p>本間 幸弘 ほんま こうひろ (羽幌RC) ■ 入会 / 7月2日 ■ 職業分類 / 副町長</p>	 <p>道端 孝 みちはた たかし (羽幌RC) ■ 入会 / 7月2日 ■ 職業分類 / 塗装業</p>	 <p>戎谷 侑男 えびすたに ゆきお (滝川IRC) ■ 入会 / 7月2日 ■ 職業分類 / 旅行業</p>	 <p>野口 徹 のぐち とおる (室蘭北RC) ■ 入会 / 7月7日 ■ 職業分類 / 大学経営</p>
 <p>櫛田 秀一 くした しゅういち (芦別RC) ■ 入会 / 7月9日 ■ 職業分類 / 土石製品製造業</p>	 <p>平向 満 ひらむかい みつる (羽幌RC) ■ 入会 / 7月16日 ■ 職業分類 / 砂利運搬業</p>	 <p>武田 弘樹 ただた ひろき (羽幌RC) ■ 入会 / 7月23日 ■ 職業分類 / 自動車整備業</p>	 <p>大岩 均 おおいわ ひとし (苫小牧RC) ■ 入会 / 7月24日 ■ 職業分類 / 私立総合病院</p>	 <p>林 宏行 はやし ひろゆき (苫小牧RC) ■ 入会 / 8月7日 ■ 職業分類 / 電力供給</p>

2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡 邊 恭 久
地区ガバナー指名委員長 丸 山 淳 士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所 気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適用していることを要します。

[参考]国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

文庫 通信

(263号)

ガバナー月信より

書 名	著者/出版社	発行年	ページ	
◆ロータリーの綱領について	豊田章二(D.2670 月信)	2009	2P	※
◆『奉仕の理想』に関する一考察	岩淵 均(D.2770 月信)	2009	3P	※
◆なぜ決議23-34が重要なのか	山崎淳一(D.2830 月信)	2009	2P	※
◆ゴール無きロータリーの行方(年表的考察)	諏訪昭登(D.2710 月信)	2009	4P	※
◆日本における正三の“職業倫理観”とロータリーの“職業奉仕”	綱木保利(D.2510 月信)	2009	2P	※
◆ロータリアンの誇りと自覚(責任)	伊藤政一(D.2800 月信)	2009	2P	※
◆DLP(District Leadership Plan)に関して	服部芳樹(D.2630 月信)	2009	2P	※

※ デジタル化した資料

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービス致します。一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

貸 出 し

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

登録資料の紹介

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

ご 寄 贈

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009年9月のロータリーレート 1ドル=94円



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

蘭 越RC 志比川 武 会員(1回) 7月31日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌RC 中田 輝夫 会員(2回) 7月14日

札幌西RC 森谷 明弘 会員(7回) 7月28日

札幌北RC 竹原 巖 会員(10回) 7月15日

苫小牧RC 佐藤 俊生 会員(2回) 7月27日

地区カレンダー (9月・10月)

9月 新世代のための月間	
1(火)	公式訪問(千歳セントラルRC)
2(水)	公式訪問(栗沢RC)
3(木)	
4(金)	～5(土)第10回ロータリー日韓親善会議(ソウル)
5(土)	～6(日)地区野球大会(静内)
6(日)	
7(月)	公式訪問(蘭越RC)
8(火)	公式訪問(小樽RC)
9(水)	公式訪問(倶知安RC、余市RC)
10(木)	公式訪問(岩内RC)
11(金)	～12(土) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(札幌あけぼのRC)
12(土)	札幌南ローターアクトクラブ創立35周年記念式典(札幌)
13(日)	
14(月)	
15(火)	公式訪問(札幌清田RC、札幌セントラルRC)
16(水)	識学率向上セミナー(尼崎) 公式訪問(札幌RC)
17(木)	公式訪問(江別RC)
18(金)	ロータリーの友 ゾーン会議(東京)
19(土)	
20(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
21(月)	敬老の日
22(火)	国民の休日
23(水)	秋分の日
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	2010-11年度地区研修リーダーセミナー(東京)
28(月)	
29(火)	七飯RC創立40周年記念式典
30(水)	

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1(木)	
2(金)	地区大会記念ゴルフ大会(砂川)
3(土)	2009-10年度地区大会(滝川)
4(日)	2009-10年度地区大会(滝川)
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	公式訪問(千歳RC)
9(金)	公式訪問(洞爺湖RC)
10(土)	
11(日)	
12(月)	体育の日
13(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
14(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC) 第1ゾーン各地区増強委員会議(仙台)
15(木)	公式訪問(室蘭RC)
16(金)	
17(土)	第12グループIM
18(日)	
19(月)	
20(火)	公式訪問(深川RC、妹背牛RC)
21(水)	公式訪問(小平RC、羽幌RC、留萌RC)
22(木)	
23(金)	
24(土)	函館RC創立75周年記念式典(函館)
25(日)	
26(月)	公式訪問(栗山RC)
27(火)	公式訪問(白老RC、苫小牧北RC)
28(水)	
29(木)	公式訪問(岩見沢RC)
30(金)	
31(土)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.07.31	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	2	91.42
	羽幌	4	45	49	4	1	79.69
	妹背牛	4	9	9	0	0	88.89
	小平	3	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	1	90.47
	小計		138	145	7	4	86.46
2	赤平	4	29	30	1	1	88.40
	芦別	4	37	37	0	0	84.46
	砂川	5	55	55	0	0	96.00
	滝川	5	96	96	0	2	75.00
	小計		217	218	1	3	85.97
3	美唄	5	33	33	0	0	91.85
	江別	5	34	34	0	1	87.65
	江別西	4	30	30	0	3	83.33
	岩見沢	5	85	86	1	0	96.67
	岩見沢東	4	33	35	2	4	85.70
	栗沢	5	24	24	0	1	98.18
	栗山	3	27	28	1	2	96.05
	当別	4	31	31	0	0	78.66
小計		297	301	4	11	89.76	
4	札幌幌	5	102	117	15	0	97.51
	札幌あけぼの	5	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	89.47
	札幌北	3	43	43	0	5	96.83
	札幌モーニング	5	51	51	0	0	81.47
	札幌西	4	58	58	0	4	92.75
	札幌西北	5	40	40	0	5	97.42
	札幌手稲	4	33	33	0	2	87.88
	小計		359	375	16	21	92.92
5	札幌東	5	118	120	2	0	98.41
	札幌清田	4	18	18	0	4	95.00
	札幌幌南	5	61	63	2	0	100.00
	札幌真駒内	5	31	31	0	3	100.00
	札幌南	3	80	80	0	0	98.75
	札幌大通公園	3	12	13	1	4	92.10
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	82.50
	新札幌	5	28	28	0	2	89.17
小計		358	363	5	19	94.49	
6	岩内	4	19	21	2	0	78.95
	倶知安	5	40	40	0	4	77.00
	小樽	4	65	67	2	0	88.84
	小樽南	5	76	76	0	1	86.93
	小樽銭函	5	22	22	0	2	72.00
	蘭越	3	9	9	0	0	100.00
	余市	5	41	41	0	3	89.00
小計		272	276	4	10	84.67	

7月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,764人(102人)
増加会員数	64人
当月平均出席率	86.45%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.07.31	増減	内女性	
7	千歳	5	57	58	1	3	77.60
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	74.30
	恵庭	4	35	38	3	1	94.97
	北広島	4	16	16	0	0	90.63
	長沼	3	20	20	0	3	75.00
	由仁	5	11	11	0	1	78.00
小計		176	181	5	10	81.75	
8	えりも	4	21	22	1	0	89.77
	三石	3	15	15	0	1	93.33
	様似	4	22	22	0	1	76.10
	静内	5	70	72	2	1	81.00
	浦河	4	36	36	0	2	74.31
	小計		164	167	3	5	82.90
9	伊達	4	55	55	0	0	76.36
	室蘭	4	41	44	3	0	91.28
	室蘭東	5	36	39	3	0	83.58
	室蘭北	4	35	36	1	2	94.40
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	5	7	7	0	0	91.40
小計		205	212	7	3	86.82	
10	函館	5	83	85	2	0	81.26
	函館亀田	3	42	42	0	2	96.67
	森	4	34	38	4	0	73.68
	七飯	4	17	17	0	0	73.50
	長万部	4	9	9	0	0	88.80
	函館セントラル	4	31	31	0	1	66.94
小計		216	222	6	3	80.14	
11	江差	4	18	18	0	2	83.00
	函館五稜郭	5	55	55	0	0	99.22
	函館東	4	43	44	1	4	86.78
	函館北	5	28	30	2	0	90.00
	北斗	5	17	17	0	1	69.40
	松前	2	5	6	1	0	40.00
小計		166	170	4	7	78.07	
12	白老	4	28	28	0	0	77.80
	苫小牧	5	48	48	0	2	82.61
	苫小牧東	4	27	28	1	2	92.85
	苫小牧北	4	29	30	1	2	96.46
	小計		132	134	2	6	87.43
合計		2,700	2,764	64	102	86.45	

ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2009-2010
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第2510地区
2009-2010年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡邊 恭久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail: rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

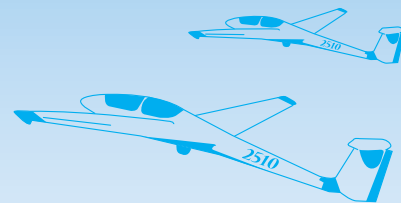
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

10



CONTENTS

- ガバナーレター…………… 1
- 職業奉仕月間にちなんで…………… 2
- 米山月間に寄せて…………… 3
- 米山記念奨学事業にご理解を…………… 4
- 米山学友会について…………… 5
- 第10回 韓日親善会議…………… 6
- ローターアクト地区交流キャンプ…………… 7
- 第2510地区 親睦野球大会…………… 8
- ワンコインが社会奉仕活動に
活かされました…………… 9
- ガバナー公式訪問…………… 10～16
- 新会員紹介・訃報…………… 16
- 「そらぶちキッズキャンプ」
支援に関するお願い…………… 17
- 地区大会来訪 RI会長代理のご紹介
例会日・例会時間・例会場の変更等について…………… 18
- ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い
文庫通信…………… 19
- ローター財団・米山記念奨学会へのご協力に感謝
地区カレンダー…………… 20
- 出席率・会員数…………… 21

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



若者の職業観

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川RC)

高校を出て未だ就職のできない子供たちのために、これは大変な事だと、厚労省と経産省は76億円の補助金を用意し、企業に彼らを採用させようとしている。

文科省も子供たちに生きる事は職業に就くことだと、明確に示していない。家庭でも子供に生きることは働くこと、社会人になることは職業を持つことと、しついで教えていない。

相変わらず、ニートやフリーターはその数を止めていない。

この7月の完全失業率は5.7%で、歴史に残る高い比率は失業者の氾濫を物語っている。この経済不況は未だ底をついたと言えないし、高卒者の就職がその背景の中で困難な事は明確である。この結果に、基本的な若者たちの発達過程で、職業観を身につけさせる働きかけの怠りに目を向けずに、結果に社会は困惑し、対策をこまねいている今である。

元を正せば、それは若者たちが就職するとか職業に就くことが、社会に対し役割と責任を持ち、社会人として大きな歩みの始まりであることを深く認識していない事から始まる。就職は決して楽しいものではない。働くことは人間として生きるために大切な行為であることをまず、自覚しなければならないのである。

就職や働くことは、趣味や好き嫌いや、給料が高いとか安いとか、綺麗とか汚いとか、格好いいとか悪いとかは働くことの選択の基準にはならない。仕事は厳しいほどそれをなした時に感動が生まれ、仕事の進む過程で完成への夢や成し遂げた喜びを後で感じるものである。仕事や働くことは、人間にとって誇らしい行為である。給料だけがすべてではないし、何時間働いてお金をもらう感覚だけでは、そこには主体性もなく、仕事の誇りも充実感も味わえない。

かつて、僕の子供の頃、夜、父が仕事を終え居間に入って来ると、先ず上着を脱ぎ、冷たいタオルで上半身の汗を何も言わずに拭いている父の幅広い背中をみたときに、家族のために働き、真摯に生きている父の強さや、働く父に畏敬や信頼を寄せたものであった。

日本は今、恵まれすぎて好きな仕事が見つかるまでと、就職を探す一番いい時にその機会を逸し、フリーターで親の世話になることを恥ずかしいとか、何が何でも自立しようとかを思わず、夢や自分探し、楽しさだけを追っている若者が後を絶たない。地域のためとか、世の中のために役立ちたいとかは、世界に比べて低く、日本の若者の著しい公共心の欠如が、このところ話題となっている。

ロータリーは職業を軸にした団体であり、すべての職業に有用な価値と敬意を持つ集まりでもある。子供に仕事をする大切さ、職業に就く事、働いて社会の役割を担い義務を果たす事を肌で自覚させる家庭のしつけや、国の行う教育の部分、職業体験豊かなロータリアンが補わなければならない。これも職業奉仕の大事な分野に違いないと、職業奉仕月間にあたって今、思っていることである。



職業奉仕月間にちなんで

「ロータリー職業倫理における 終末開放的な発展」

地区職業奉仕委員会

委員長 **山本 雅昭**

Masaaki Yamamoto
(苫小牧北RC)

ある学者が、「ロータリーとは、人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である」と断言しております。この倫理運動であると言う視点を見失うとロータリーと言うものがわからなくなり、職業奉仕が理解できなくなるのではないかと思います。しかし、職業人としての倫理観に帰納すべき結果があるのかを考えると、一つの疑問があります。

茂木健一郎という脳科学者がこんなことを言っています。「頭の良さは遺伝子で決まるのか、それとも環境で決まるのか、といういわゆる『氏か育ちか』の問題が良く取りざたされることがあります。結論から言うと、人間の知性の本質は、『終末開放性』にあるのではないかと思います。」

つまり、人間の脳は、心臓と同じで、休む事がない。それに伴って、脳内の回路は一生学習をし続けます。大人になっても、脳の組織が完成し固定化してしまうことなどなく、神経細胞のシナプス結合のパターンは生涯の間変化する。ここまで回路が出来上がったら、それで完成と言う事はないのです。

従って、人間の脳が遺伝子で決まったとしても、その「完成形」は原理的に存在しないことになる。たとえその最終的な「落ち着きどころ」が存在したとしても、せいぜい100年の寿命しかない人間の生涯では、最終形をとるには至らない。人間の才能が、仮に遺伝子によって完全に決定付けられていたとしても、私たちはその最終的帰結を見ないままに、死んでしまう。人間の知性とは、いつまでたっても完成形を迎えることのない『終末開放性』をその特徴としています。だから、たとえ、遺伝子によってかなりの部分が決まっていたとしても、実際的な意味では決まっていないのと同じなのです。遺伝子によって決まっているという運命論など気にすることなく、前向きに生きれば良いのです。

個人の人生を離れて、人類全体としての歴史を見ても、終末開放的な発展は、まさに知性の本質であります。人間の欲望について考察する時も、終末開放性に寄り添った欲望であるならば、結果として良質のものになるのは当然であります。ロータリーの職業倫理に関する変遷もこの100年間に多くの倫理観を経て今日にいたっております。しかし、そこには、未だに完成形として帰結すべきものではなく、さらに終末開放的な発展を遂げるべき欲望を内に秘めていると理解しても良いのではないかと。そして、新たなる倫理観を探求するとは、生きると言うこと自体を探求することではないのかと思われます。



米山月間に寄せて

(財)ロータリー 米山記念奨学会

理事 伊藤 長英

Chouei Itou
(苫小牧北RC・PG)

私は、2003年8月30日より3期6年間(財)ロータリー米山記念奨学会の常務理事を務めさせて頂きました。この事業が、日本のロータリーの多地区合同奉仕活動として、如何に大切で重要な事業であるかを痛感しております。この度、地区ガバナーより推薦を頂きましたので理事としての役割を果たす決意でございます。今回は、今年度のトピックスを二つご紹介します。

1) 中国に米山学友会が誕生

今や国籍別の米山奨学生数及び学友数のトップを占める中国。国情から正式なロータリークラブも認められていませんが、この度ついに、中国在住の学友が力を合わせて「米山記念奨学会中国学友会」を発足。その設立総会が3月28日に北京市内のホテルで開催され、中国と日本から87名の学友が駆けつけ、盛大に執り行われました。初代会長には、中国学友会華北分会会長の姫軍(ジジュン)さん(1995~97/東京臨海RC)が、副会長には、同上海分会会長の張晋岩(チョウシンガン)さん(1993~95/鈴鹿西RC)がそれぞれ選任されました。奨学会を代表して出席した板橋敏雄理事長は、“この度私は米山記念奨学会中国学友会設立総会に出席し、生涯忘れ得ぬ深い感動を味わうことができました。その第1の理由は、この記念すべき中国学友会の設立総会に、北京、上海をはじめ、内モンゴルや海南島、そして日本から、何と90名近い学友が駆けつけてくれた事です。第2の感動は、北京で開催されたこの総会が、私たち奨学会関係者を除く全員が中国人であるにも拘らず、最初から最後まですべて日本語で進められた事です。第3の感動は、この中国学友会が単なる親睦の会ではないということです。初代会長となった姫軍氏は、スピーチの中で「中国学友会の設立は、私たち中国学友の夢でした。この夢をかたちにしたのは、全員に共通する感謝の気持ちです。今、中国で日本を最もよく知っているのは我々をおいて他にいません。我々の知っている日本を次世代に伝え、今後の日中友好関係を発展させることが、我々の大きな目的です」。私は感動に震えながら、中国学友会の皆さん一人一人の気持ちを日本のロータリアンに伝えなければならないと心に誓いました。”

2) 現職の駐日韓国大使は米山学友

昨年4月に第18代駐日韓国大使に就任した権哲賢(クオンチョルヒョン)氏は、筑波大学大学院博士課程在学中の3年間(1984~87年)を米山記念奨学生として過ごしました。帰国後は東亜大学教授などを務め、96年から国会議員に3回連続当選。大統領選では李明博(イミョンバク)氏の補佐官を務め、李政権誕生を機に、駐日韓国大使に任命されました。近年の韓国政界では数少ない知日派の1人として知られています。

権大使は、世話クラブの佐野東RC(第2550地区)との交流を続けており、昨年7月にはクラブの例会を訪れ、10月には会員を大使公邸での晩餐会に招待。また、今年3月17日には李東建RI会長や日本の歴代RI理事、佐野東RCの元会員や親交のある韓国出身のロータリアンを大使公邸での晩餐会に招き、日本のロータリーへの感謝を述べられました。

米山学友の駐日韓国大使は、第14代の崔相龍氏に次いで2人目です。

3) 寄付について

2008~09年度の一人当たり平均寄付額は、全国平均15,758円です。当地区の平均寄付額は10,712円で全国34地区中23位でした。渡邊ガバナーが、今年3月1日に行われた米山セミナーにおいて示された目標額は前年度と同額です。

●普通寄付金:4,000円 ●特別寄付金:1か月1,000円として12,000円 ●普通寄付金+特別寄付金=16,000円

2008~09年度に目標を達成できたのは、13クラブ、全国平均を上回ったのも13クラブでした。

クラブ創立記念特別寄付及び地区大会記念寄付も各クラブや各地区から頂いています。

米山記念奨学事業へのご理解を深めて頂き、ご協力をお願い申し上げます。



米山奨学事業にご理解を

地区米山記念奨学委員会

委員長 **黒澤 勝昭**

Katsuaki Kurosawa
(札幌南RC)

日頃、財団法人ロータリー米山記念奨学会にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする、国際理解と親善に寄与することを目的としています。

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄附金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

事業内容は、①奨学金の支給 ②世話クラブ・カウンセラー制度 ③ロータリアンと奨学生との交流 ④国内外での学友会活動です。

ロータリー米山記念奨学事業の財源は、ロータリアンからの寄附のみで支えられています。

第2510地区の寄附実績の状況は表1のとおりです。普通寄附額の平均単価は微増の傾向にありますが、特別寄附額の平均単価、個人平均寄附額は減少の一途をたどっております。これは会員数の減少が大きな要因であります。全地区の個人平均寄附額は14,904円(2007-08)となっております。今後、地区(73クラブ)の1人あたりの寄附の目標額を1カ月1,000円、1年間12,000円を目指して奨学生採用枠の拡大に努力したいと思っておりますので、地区ロータリアンのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(記事内容はロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」(2008-09)等から抜粋しました)

【表1:寄附実績】

年 度	普通寄附 平均 @	特別寄附額 平均 @	個人平均 寄 附 額	会 員 数 (09.1.1)	普通寄附額	特別寄附額	寄附金合計
2008-2009	3,252	7,459	10,712	2,825	9,189,400	21,074,168	30,263,568
2007-2008	3,241	7,776	11,018	2,913	9,443,895	22,853,101	32,096,996
2006-2007	3,257	8,141	11,398	2,969	9,669,900	24,169,551	33,839,451
2005-2006	3,109	8,667	11,777	3,046	9,470,300	26,401,027	35,871,327
2004-2005	3,068	7,505	10,574	3,135	9,619,200	23,529,725	33,148,925

【表2:地区採用数の変遷】

	2009学年度	2008学年度	2007学年度	2006学年度	2005学年度	2004学年度
地区採用数	18	19	18	17	16	21



米山学友会について

地区米山学友委員会

委員長 **大石 春雄**

Haruo Ooishi
(札幌はまなすRC)

米山学友会は、1983年1月台湾で『扶輪米山会』が設立したのが最初であり、その2年後1985年5月、日本で最初の『関東学友会』が誕生しました。現在は、国内29団体、海外3団体の32団体となっております。海外3団体は、台湾、韓国、中国です。特に中国は米山奨学生・学友の人数が最も多く、元奨学生による学友会の設立が悲願とされながらも、国情から実現に至りませんでした。しかしついに中国在住の学友が力を合わせて『米山記念奨学会中国学友会』を発足させ、設立総会が2009年3月23日に北京市内のホテルで開催されました。米山記念奨学会からは、板橋敏雄理事長、加納泉理事、坂下博康事務局長が参加、中国、日本から87名の学友が駆けつけ、初代会長には、中国学友会華北分会会長の姫軍(シジュン)さん(1995-97/東京臨海RC)が選任され、米山学友会が誕生しました。

2009年8月現在、学友全体では113カ国14,303名がおりますが、母国に帰国している学友は、韓国2,617名、台湾2,253名、中国1,958名、日本には26.6%の3,808名おり、それぞれの国で活躍しております。特に台湾では、学友が中心となって設立されたロータリークラブは、日本語を公用語とし、日本との親善交流に尽力している『台北東海RC』、台湾の学友が中心となって誕生し、初代会長・会長エレクト・会長ノミニーが元米山奨学生の『台中文心RC』があります。

北海道では、(財)ロータリー米山記念奨学会常務理事(苫小牧北RC)伊藤長英氏がガバナーでありました1998年12月14日に発足し11年目を迎えました。現在学友は93名おり、初代会長、台湾の陳省仁氏を中心に交流の輪を広げております。

私の所属する地区米山学友委員会は、学友会発足と同時に誕生し、初代委員長は見延庄三郎氏(小樽南RC)、米谷龍三氏(札幌東RC)、村上淳氏(札幌東RC)と続き今年7月から私が引き継ぐこととなりました。北海道には学友会が1団体しかなく第2500地区の学友が16名おります。両地区の学友が全員参加して総会の開催、そして交流ができるよう努力して参る所存です。

ロータリアンになった学友は、現在100名おり、そのうち日本のロータリー所属学友は18名おります。今年の4月に第2510地区の学友が札幌大通公園ロータリークラブに1名入会しました。今後多くの学友がロータリアンになってくれるものと思えます。日本と世界の架け橋になってくれるであろう学友に、私たち学友委員会も全力でサポートして行きたいと考えています。





第10回 韓日親善会議

日韓親善会議委員会

委員 塚原 房樹

Fusaki Tsukahara
(札幌東RC・PG)

第10回韓日親善会議は9月4日～5日の2日間、ソウルのハイアットホテルで開催されました。この会議は2年に1度日本と韓国で交互に開催されます。参加者は日本から約600名、韓国から700名で大変な盛会でした。当地区からは矢橋直前ガバナーと私が出席しました。第一日は歓迎セレモニーと歓迎晩餐会が開かれました。総勢1500名を超える大人数で会場を2つに分けて行われました。2日目が本会議で特別公演は、韓国の前駐日大使の孔魯明氏による、なぜ「近くて遠い国・韓国」なのかというテーマで「ヤスクニ」と「トクト」問題を話されました。韓国の司会者がロータリーでは政治の話は禁句となっているのにと日本の参加者を気遣うコメントがありました。しかし我々もまた過去の「負の認識」を忘れてはならないでしょう。



記念講演は今井鎮雄日韓親善委員長の「新たなロータリーの課題」というタイトルで該博な歴史認識の裏付けのもと、見事に現代社会の「病い」の原因を明らかに示されました。そして若者の「ニート」「ワーキングプア」は本人の怠惰のせいではない、彼らを取り巻く社会が無関心なので、社会が彼らを暖かくインクルージョン(包み込む)しようと熱く語られ日韓のロータリアンに深い感動を与えられました。さらにこれからはアーピング・トフラーの説く第3の波の時代、青少年奉仕は今までの価値観でいいのか、ロータリーのビジョンを実現化するには、今の非人間化の時代とは何かを理解しようと語られました。

この会議の大きな収穫は韓国ロータリーの指導者の方々と、胸襟を開いて語り合える得がたい機会でした。彼らの多くは、少年時代に日本の教育を受けました。私よりむしろ日本の心を持っている方々でした。余談になりますが、テーブルには素晴らしいバラの花が飾られていました。そこで隣席の韓国のPDGに韓国の国花はなんですかと聞きました。即座にペンをとり「無窮花」(むくげ)と書かれました。そして「無窮」とは天地とともに永遠に続くことですねと言われました。そして自分は漢字教育を受けたので、ハングル文字はむしろ苦手ですともいわれました。日本では薄れてしまった良き時代の日本の心が風化せずに彼らの中に残っていました。東アジアを代表する日本と韓国のロータリアンが一堂に会した、実に和やかで有意義な2日間でした。今やアジアの時代といわれます。韓国と日本のロータリアンが交流を重ね、手を携え、ロータリーの未来を築いてゆかねばなりません。

2011年の日韓親善会議は、東京のディズニーシーで開催されます。日本から1000名を超える参加者が見込まれています。ぜひ第2510地区からも大勢のロータリアンが参加されることを期待しています。



南星姫パストガバナーと一緒に



第3700地区の皆さんと矢橋直前ガバナー



ローターアクト地区交流キャンプ

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Andou
(札幌南RAC)

2009年7月25日(土)～26日(日)に余市町豊浜にてローターアクト地区交流キャンプを行いました。ゲスト2名や新入会員を含む24名が参加して2日間のキャンプを楽しみました。天気には恵まれず2日間雨続きでした。その分たくさん話をすることができ、朝まで語り交流も深まりました。

キャンプのメインは、2日目の毎年恒例の『ごみ拾い』です。お世話になった砂浜のごみをきれいに拾いました。今年から札幌市でもごみの分別方法が変わり、専用ごみ袋ができ、みんなが正しくごみが分別できるように、今回は札幌以外のメンバーもいましたが参加人数が一番多かったこともあり札幌市の分別方法でごみを拾いました。

今年のローターアクトの地区活動として『エコキャップ活動』を行っています。ペットボトルのキャップを集めていることもあり、キャップもきちんと分けて持ち帰りました。

地区交流キャンプを通して、ローターアクトのつながりを改めて感じる事が出来ました。以前は千歳ローターアクトクラブに所属していた学生で就職して本州に行ってしまった2名の元アクターが休みを合わせてキャンプに参加してくれました。一緒に活動していたメンバーは2人が参加してくれて懐かしく、そして今いるメンバーとも楽しく過ごしたと思います。ローターアクトの繋がりはメンバーにとってかけがえのないものになるでしょう!

一人一人が、エコに対する意識・ローターアクトとしての意識をきちんと持って活動していけたらと思います。



第2510地区 親睦野球大会

静内ロータリークラブ

幹事 **福田 義信**

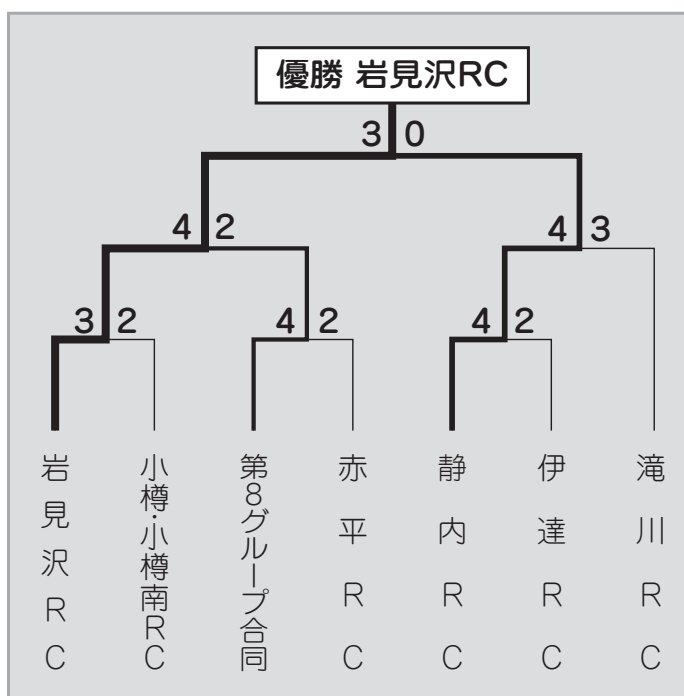
Yoshinobu Hukuda

9月6日(日)第28回全国ロータリークラブ野球大会(甲子園球場)地区予選、第2510地区親睦野球大会が、第8グループ静内RCのホストにより、新ひだか町古川公園球場で開催されました。

前日5日午後6時、静内RCの例会に続いて開催された前夜祭には参加7チームの監督・選手・応援団・ホストクラブ会員140人が出席、山田博継ガバナー補佐の開会の言葉、細川好弘大会実行委員長の歓迎の言葉に続き、中島滋新ひだか町議会議長発声の祝杯で開宴、続いて試合の組み合わせ抽選が競走馬の生産地らしく競馬ゲームによって行われ、組み合わせが決定されました。続いて静内の阿波踊り・参加チームのクラブ自慢・野菜の重量あてゲームなどが賑やかに進行され、ご多忙の中を駆けつけていただいた渡邊ガバナーの祝辞で最高潮となり終了しました。前夜祭の後は繁華街で各チーム毎に作戦会議が行われ、明日の試合への鋭気?を養いました。

晴天に恵まれた試合当日は午前7時に静内インターアクトクラブ生徒の先導で各クラブの選手が入場、開会式のあと渡邊ガバナーが始球式に臨み、キャッチャーミットに収まった記念ボールが細川実行委員長からガバナーに贈呈され、早速試合の幕が切って落とされました。

前々日当地を襲った落雷により、電光掲示板が使用不能に陥るアクシデントもありましたが、試合は順調に進められ、決勝戦で静内RCを3対0で破った岩見沢RCが優勝、甲子園の出場権を獲得しました。なお次年度は小樽RCのホストにより開催される予定です。ご参加の皆様お疲れ様でした。



クラブ事業報告

ワンコインが社会奉仕活動に活かされました

札幌大通公園ロータリークラブ

会長 **高橋 宏**

Hiroshi Takahashi

札幌大通公園ロータリークラブは平成19年10月から受付の際にはワンコインをニコニコBOXに入れて頂くことを皆様にお願ひしてまいりました。受付の際に記名して頂くだけでなく、ニコニコBOXに協力していただければその資金を使って、何らかの社会奉仕活動を企画できると考えたからです。そのことによって受付での記名が奉仕の理想につながることになり、それが大きな意味を持つと考えたからです。小さなクラブの故でしょうか、期待したほどの額ではありませんでしたが、平成21年6月までに49,778円が集まりました。

ロータリアンから集まったこの浄財をどのような社会奉仕活動に使うのが適切かと考慮を重ねました。その結果、札幌大通公園にある優れた彫刻作品を若い人達に紹介する無料のバスツアーを企画しました。札幌大通公園には札幌二中(現札幌西高校)出身の本郷新、佐藤忠良、山内壮夫等の世界に誇る彫刻作品が数多くあります。その他にも世界的に賞賛をあげているイサム・ノグチ、安田侃等の作品があり、札幌大通公園は無料の彫刻美術館と言われているほどです。高校生を中心に20名が参加しました。

その主な内容は次のとおりです。

大通公園から始まる彫刻めぐり

主 催:札幌大通公園ロータリークラブ

後 援:札幌彫刻美術館友の会

日 時:平成21年8月12日

集 合:大通西8丁目 ブラック・スライド・マントラ(イサム・ノグチ作)前

行 程:①大通公園の彫刻を解説員の説明と共に鑑賞

②本郷新記念札幌彫刻美術館

③芸術の森美術館(レストランにて食事)



ガバナー公式訪問

8月

8月3日(月)

8G 三石ロータリークラブ

8月3日、渡邊ガバナー・鈴木地区財務委員長・中島ロータリーの友地区委員をお迎えして公式訪問が開催されました。午前10時からの懇談会では、合併後の町の抱える問題点やクラブ運営、会員増強等についての話し合いが行われ、ガバナーからいろいろと貴重な助言を頂きました。続いて開催されたクラブ協議会では、各委員会の委員長から本年度の活動についての説明があり、ガバナーの総評では「ロータリー精神に基づくふれの無い活動」と評価して頂き、会員一同大変喜んでおります。例会でのガバナーの卓話は、自身がガバナーを引き受けることになった経緯と就任してからのご苦労をなさったお話や、地区の4つの重点目標について述べられました。特に「そらぶちキッズキャンプ」の支援については、その必要性和意義について熱のこもった説明をして下さいました。出席した会員も全員が共感しており、三石クラブも出来るだけ支援に協力させていただきたく所存です。



創立年月日	1970年11月18日
RI認証年月日	1970年12月3日
スポンサークラブ	浦河ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時30分
例会場	新ひだか町商工会三石支所

8月4日(火)

8G 様似ロータリークラブ

例会場をアポイ山荘に移し、渡邊ガバナー、鈴木財務委員長、山田ガバナー補佐の三氏を迎え、10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会、12時から例会を行いました。終始和やかな雰囲気の中で行われたクラブ協議会では、クラブの活動状況や問題点などを説明し、ガバナーより実例を交えてのご意見やアドバイスをいただきました。例会では、地区の重点目標でもあるWCS活動と「そらぶちキッズキャンプ」支援活動に関する卓話を戴き、最後に地区大会への多数の参加を確認し、全員で記念写真を撮り例会を終了しま

した。例会後、様似町長を表敬訪問していただきました。短い時間でしたが、ガバナーの温かいお人柄に接することができとても有意義な公式訪問でした。



スローガン	地域の子供たちをたいせつに
創立年月日	1968年7月26日
RI認証年月日	1968年9月16日
スポンサークラブ	浦河ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時15分
例会場	日高信用金庫大通支店会議室

8月4日(火)

8G 浦河ロータリークラブ

午後4時30分から、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会でクラブの現況を話し、それに対しガバナーから、RIの方針などを交えながらお話をいただきました。

午後5時30分からは、クラブ協議会を行い、各委員長から活動方針や事業を説明、ガバナーはそれら一つ一つにご自分の経験や各地の例などを挙げながらお答えいただきました。

午後6時半からは、例会を開催しガバナーには講話をしていただきましたが、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のRI会長方針やクラブへのアドバイスなど時間が足りなくなるほどの有意義な内容となり、ガバナーの温かいお人柄には、会員一同感激いたしました。

不行き届きの点が多々あったと思いますが、お別れに「ありがとう。がんばって下さい。」と手を振ってくれたガバナーの笑顔に感謝しこれからのロータリー活動に邁進いたします。





スローガン	退会防止と例会出席率を向上させ、埋もれている人材を発掘し新会員を獲得しよう!
創立年月日	1961年 9月10日
RI認証年月日	1961年10月12日
スポンサークラブ	苫小牧ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時40分
例会場	浦河ウエルントンホテル 4F

8月5日(水)

8G 静内ロータリークラブ

8月5日渡邊恭久ガバナーと山田博継ガバナー補佐、鈴木英也財務委員長を迎えて公式訪問が行われました。午前10時からの会長・幹事会では、佐藤会長より本年度の活動方針について説明が行われ、その一つ一つに丁寧に渡邊ガバナーより率直なご意見を戴き、なごやかなムードの中会議を終える事が出来ました。

クラブ協議会では、当クラブの活動計画を四大奉仕委員長から説明後、山田ガバナー補佐よりコメントを戴き、最後に渡邊ガバナーより質問のお答えと講評を戴きました。

公式訪問例会では、2名の新入会員に渡邊ガバナーよりバッジを付けて戴き、出席会員より祝福を受けられました。その後、渡邊ガバナーより自身がガバナーの指名を受けてから引き受けるまでの経過と、地区目標の「そらぶちキッズキャンプ」について講話を戴き、渡邊ガバナーの人柄、ロータリーへの熱い思いを感じさせてもらい、会員の理解を得られたと思います。

最後に9月6日に静内ロータリークラブがホスト役で行われる地区野球大会で又お会いする事を約束し全員で記念撮影を行い公式訪問は無事終了しました。



スローガン	出席率向上・ロータリー理解
創立年月日	1971年6月28日
RI認証年月日	1971年7月23日
スポンサークラブ	三石ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	静内ウエルントンホテル 2F

8月6日(木)

8G えりもロータリークラブ

8月6日、渡邊恭久ガバナーの公式訪問を受け、山田ガバナー補佐、鈴木財務委員長のご同行を頂きました。10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会が行われ、四大奉仕委員長及びクラブ奉仕委員長から今年度の活動計画について説明をさせて頂きました。山田ガバナー補佐からは、三石RCの「WCS」の活動支援状況の報告を受け、小さなクラブでも着実に活動を取り組むことが重要であることを助言されました。

例会での渡邊ガバナーのスピーチでは、今年度の基本方針と四大重点目標の説明を受け、特に「そらぶちキッズキャンプ」に対する熱い思いと支援の取り組みについての協力量請がありました。

遠いえりもの地、第8グループ最後の公式訪問ありがとうございました。



創立年月日	1972年 9月8日
RI認証年月日	1972年10月7日
スポンサークラブ	様似ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分
例会場	日高信用金庫えりも支店

8月11日(火)

4G 札幌西ロータリークラブ

今年度の地区の重点目標の一つ、「そらぶちキッズキャンプ」に関して所見を次の様に述べられました。

「すでにプレキャンプと称し、実践が始まっており、今年も子どもたちの笑顔がキャンプ場いっぱい広がっている。ボランティア、家族、多くの方々に囲まれてひとときを過ごし、別れる時には再会を願って、互いに涙でそれぞれの地に戻っていく。

このキャンプは一握りの手で行われるものではなく、これこそロータリーに最も相応しい活動だと確信する。そしてその成功の鍵はクラブと一人一人の志の結集にあると信じる。何をすべきかはクラブの主体に委ねたい。一人でも多くの理解と共感を得て支えていきたいと願っている。」

熱い思いで話され、会員に深い感銘を与えられました。有意義なガバナー公式訪問でした。



スローガン	基本は職業奉仕、でも楽しくなければロータリーではない
創立年月日	1960年 9月27日
RI認証年月日	1960年11月 3日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ・札幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	三越札幌支店4F ライラック

8月17日(月)

10G 函館亀田ロータリークラブ

午前10時より、渡邊恭久ガバナーと近藤宣明第10グループガバナー補佐の出席のもとに、会長、幹事、玉井会長エレクトが同席して、懇談会を行いました。

午前11時からクラブ協議会を行い、各委員長より活動計画について発表し、ガバナーよりアドバイスをいただきました。

午後0時30分からの例会では、ガバナーより、地区目標、特に「そらぶちキッズキャンプ」についての熱心な講話をいただき、大変和やかなうちに公式訪問例会を終了致しました。



スローガン	「以和為貴」和を以て貴しと為す
創立年月日	1972年5月29日
RI認証年月日	1972年6月20日
スポンサークラブ	函館東ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時30分
例会場	ロワジュールホテル函館

8月18日(火)

11G 函館東ロータリークラブ

午前10時より渡邊ガバナー及び石橋ガバナー補佐をお迎えし、会長・会長エレクト・幹事及び副幹事を交えた懇談会を行いました。特に、CLPの導入の現状やローターアクトの事でいろいろとガバナーのご意見を伺う事ができました。クラブ協議会では、今年度の活動計画を各委員長より報告し、質疑応答がありクラブ協議会を終了しました。

例会では、渡邊ガバナーより今年度地区重点目標の一つである小児ガンの子供に夢や希望を与える『そらぶちキッズキャンプ』について詳細に且つ分かりやすくお話をさせていただきました。出席した会員は、支援方法について十分な理解と感銘を受けた事と思われました。残念な事に、衆議院議員選挙の告示日と重なったため会員の出席が少なかった事が悔やまれました。



スローガン	変革とチャレンジ みんな くらぶ つくり 会員で函館東RCの未来を創造しましょう!
創立年月日	1957年8月29日
RI認証年月日	1958年1月 2日
スポンサークラブ	函館ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテル函館ロイヤル

8月18日(火)

10G 七飯ロータリークラブ

午後4時半より、渡邊恭久ガバナーと、近藤宣明ガバナー補佐をお迎えして、会長・幹事懇談会、午後5時半よりクラブ協議会そして、午後7時半の例会まで開催いたしました。懇談会ではプライベートなお話なども交えながら和やかに始まりました。クラブ協議会では、当クラブの活動計画を報告させていただき、ガバナーよりの確かなアドバイスや御教示をいただき大変参考になり、七飯ロータリークラブのこれからの方向性の指針とさせていただきますと思っています。

例会では、ガバナーが今年度の地区重点目標の中でも並々ならぬ取組をなさっている、「そらぶちキッズキャンプ」について、その概要と今後の取組、支援について分かりやすく、そして情熱的に話されたのが印象的でした。

ガバナーにおかれましても、地区目標達成のためにますますの御活躍をお祈りいたします。



スローガン	コンパクトでも、パワー全開「奉仕と親睦」を!
創立年月日	1970年4月18日
RI認証年月日	1970年5月20日
スポンサークラブ	函館北ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	18時30分
例会場	函館大沼プリンスホテル

8月19日(水)

10G 長万部ロータリークラブ

8月19日(水)にガバナー公式訪問例会が渡邊恭久ガバナー、近藤宣明ガバナー補佐を迎えて開催されました。

1年でもっとも緊張感のある、クラブ協議会そして例会となりましたが、渡邊ガバナーはとても穏やかで、会員一同笑顔のある公式訪問例会となりました。

午前10時から会長・幹事に始まり、会員でもある長万部町長への表敬訪問の後クラブ協議会へと移りました。

表敬訪問の際には、昨年地区補助金を頂いた長万部RC創立40周年記念事業の花時計をご覧になって頂き、花時計の花も渡邊ガバナーを歓迎するかのように当日は鮮やかに咲き誇っていました。

クラブ協議会では各委員長からの活動方針の説明後、渡邊ガバナーからは当クラブの実情を良く理解され、ミニクラブながらの創立40周年事業の花時計設置にお褒めの言葉を頂き、会員純増1名を一丸となって達成することと共に50周年に向け新たな長万部RCの歴史を刻んで下さいとの励ましのお言葉を頂きました。

例会の卓話では渡邊ガバナーの今年度の重点目標でもある「そらぶちキッズキャンプ」について詳しく話され、渡邊ガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」を応援する心が伝わってきた卓話でした。当クラブも何らかの支援を検討していきたいと思えます。



創立年月日	1968年2月13日
RI認証年月日	1968年3月14日
スポンサークラブ	森ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時10分(第2水曜日のみ夜間例会18時00分)
例会場	長万部商工会館(第2水曜日のみ丸金旅館)

8月19日(水)

10G 森ロータリークラブ

8月19日渡邊恭久ガバナー、近藤宣明ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問が行われました。

午後4時30分より会長・幹事懇談会が向中野会長、福地会長エレクト、西村幹事が出席して行われクラブ運営についての助言を頂きました。

5時30分より行われたクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動計画の内容について説明し、ガバナーよりの確かなアドバイスを頂きました。

6時30分より会員を交えての穏やかなうちにも緊張感のある例会が行われ、渡邊ガバナーが掲げる地区目標について具体的な説明を頂きました。特に「そらぶちキッズキャンプ」の支援については、十分な時間をとって頂き会長をはじめ会員も感動しました。当クラブとしても、支援したいと思います。



スローガン	ロータリーメンバー皆平等で楽しさを分かち合える環境作りを目指します
創立年月日	1964年3月22日
RI認証年月日	1964年4月 4日
スポンサークラブ	函館ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時00分 (第2、第4水曜日は夜間例会 18時30分)
例会場	森商工会議所 2F (第2、第4水曜日はプラザ「武蔵」)

8月20日(木)

11G 北斗ロータリークラブ

8月20日、渡邊恭久ガバナー、石橋輝夫ガバナー補佐をお迎えして、午後5時より会長・幹事・会長エレクト懇談会、クラブ協議会では四大奉仕委員長を加え、クラブ活動計画の発表。その後、渡邊ガバナーより総括として貴重なご意見、アドバイスを戴きました。

例会の卓話では、ロータリークラブの現況等の話があり、特に会員増強、退会防止についてはとても参考になりました。定例会とは違い大変勉強させられた例会でした。

また地区の重点目標「そらぷちキッズキャンプ」に関しては、どのような支援ができるか検討し、協力して行きたいと思っております。



スローガン	ロータリーを楽しみましょう
創立年月日	1996年 9月26日(上磯ロータリークラブ)
RI認証年月日	1996年10月16日(上磯ロータリークラブ) 2006年12月 6日(北斗ロータリークラブ)
スポンサークラブ	函館五稜郭ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会会場	函館スパビーチ内

8月21日(金)

11G 函館五稜郭ロータリークラブ

会長・幹事懇談会は石橋ガバナー補佐の司会で終始なごやかに行われました。渡邊ガバナーより当クラブのCLPについての取り組み、ホームクラブ出席率100%についての質問がありました。未来を支える子供たちへの渡邊ガバナーの思いが伝わり、時間を忘れる懇談会となりました。

クラブアッセンブリーは1時間20分にわたり「クラブ管理」「会員組織」「奉仕プロジェクト」「財団」の各委員長の司会で進められ、渡邊ガバナーは委員会ごとに質問され、総評を丁寧にされました。

例会講話で渡邊ガバナーは「そらぷちキッズキャンプ」支援へのお願いについて話され、会員の理解を深めました。



スローガン	創立40周年記念事業を成功させよう
創立年月日	1970年1月24日
RI認証年月日	1970年2月 6日
スポンサークラブ	函館東ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分
例会会場	ホテル法華クラブ

8月24日(月)

5G 札幌南ロータリークラブ

8月24日(月)、渡邊恭久ガバナーと江口光第5グループ担当ガバナー補佐、並びに福井義昭地区幹事をお迎えして、午前10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会を開催しました。

会長・幹事会では地区重点目標やCLPなどにつき率直な意見交換がなされました。続くクラブ協議会では、当クラブより、親睦活動重視のクラブ運営や会員増強運動への取り組み、また地区重点目標に沿った奉仕活動計画の策定など当クラブの現況をご説明しましたが、それに対し渡邊ガバナーより各委員会の活動に貴重なご意見を頂きました。

例会でのガバナーの卓話では、ガバナーご就任の経緯という身近な話題から、地区の最重要目標である「そらぷちキッズキャンプ」のお話まで熱心にわかりやすくお話し頂き、とても有意義な公式訪問でありました。



スローガン	ロータリーは私たちの心のオアシスです
創立年月日	1956年6月22日
RI認証年月日	1956年6月29日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時30分
例会会場	札幌パークホテル

8月24日(月)

5G 札幌大通公園ロータリークラブ

当クラブでは、大通公園のすぐそばにあるビルの会議室を借りて例会を行っています。会場設営も会員が行い、食事も出し弁当を注文して、手作りの例会を心がけています。質素すぎて、渡邊ガバナーを少し驚かせてしまうかもしれないと思っておりましたが、渡邊ガバナーのお心は広く、杞憂でした。当ク



クラブの会員数は13名ですが、ガバナー公式訪問を初めて経験する会員が4名もあり、会員の当日における意気込みは高く、出席率も100パーセントでした。懇談会、クラブ協議会、例会とも、渡邊ガバナーや江口ガバナー補佐から適切なアドバイスを頂きました。とりわけ、「そらぷちキッズキャンプ」に関するお話では、渡邊ガバナーの熱意に我々は心を打たれました。今回の訪問を今年度のクラブ運営にしっかりと役立たせていこうと思います。



スローガン	ロータリーを学び、実践し、広めよう
創立年月日	2001年6月11日
RI認証年月日	2001年6月20日
スポンサークラブ	札幌幌南ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	18時30分
例会場	大通藤井ビル 7F 会議室

8月26日(水)

4G 札幌モーニングロータリークラブ

8月25日(火)午後5時30分から会長・幹事懇談会、引き続きクラブ協議会が開催された。翌日、8月26日(水)は早朝例会にふさわしい晴天で、札幌センチュリーロイヤルホテル20階の例会場の窓からは眩しいくらいの夏の陽光が差し込む中、渡邊恭久第2510地区ガバナーをお迎えした。ラジオ体操に始まり、児玉会長の点鐘、四つのテストの唱和、クラブソング「さわやかな朝に」を元気な声で合唱し、山賀幹事より改めて渡邊ガバナー、荒紀男ガバナー補佐の紹介があり、会務報告の後、朝食をとりながら会員同士の親睦を図った。

荒ガバナー補佐より、ガバナーは滝川商工会議所会頭をはじめ空知地区、北海道において経済界の要職につかれ活動し、そして若い技術者を育てる教育者としても大変活躍されている旨報告された。

渡邊ガバナーの講話の内容として、1つ目は、本日は天気も良く体操とクラブソングから始まり、早朝例会クラブとして本当にさわやかなクラブと感じたと言われた。2つ目は滝川市からガバナーを選出することになりノミネートされるまでのご苦労話があり、今日、ガバナーとして2ヶ月で35クラブを訪問してきたこと。3つ目はガバナー研修会において、RI会長ジョン・ケニー氏の講話でロータリーの活動は鎖のつながりで輪になって、未来をつくり、次の時代に強固なロータリーを、ロータリーの未来をあなたの手にパトントンタッチをしてもらうというお話。4つ目に小児ガンや難病とたたかう子供たちの喜びを豊かにす

る「そらぷちキッズキャンプ」支援について話された。一つだけのクラブの取り組む課題ではなく、ロータリアンの大きな視野で、いささかでも支援していただければ幸いと申されていた。渡邊ガバナーのロータリーの奉仕の理想の深遠さに心打たれました。



スローガン	「きずな(絆)」
創立年月日	1988年6月23日
RI認証年月日	1988年6月30日
スポンサークラブ	札幌北ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	7時30分
例会場	センチュリーロイヤルホテル

8月26日(水)

5G 新札幌ロータリークラブ

公式訪問当日、会場のシェラトンホテル入口でお待ちしていました。「やあ!」と気さくに声を掛けて頂きました。この日は、早朝の札幌モーニングクラブへの訪問に続いてのお運び。「新札幌で37クラブ目。まだまだ半ばですよ。」と何の気負いも無く言われた言葉にお人柄を感じました。

会長・幹事懇談会は和やかに、清水会長より当クラブの概要・ヒブワクチン支援等の活動目標について、又幹事より青少年交換受入などのお話を聴いて頂きました。続いてのクラブ協議会では、各委員会の報告を丁寧に聞いて下さり要所にアドバイスを頂きました。

例会では、ご自分がガバナーになったいきさつや「そらぷちキッズキャンプ」への思いを熱く語られ、ガバナーの恵まれない子供への強いお気持ちに感銘を受けた次第です。

またアメリカからの受入学生、リンジーさんの初めての例会出席と重なりガバナーより激励していただきました。



創立年月日	1984年6月21日
RI認証年月日	1984年6月27日
スポンサークラブ	札幌東ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会会場	シエトランホテル札幌

8月28日(金)

6G 小樽南ロータリークラブ

8月28日(金)小雨の生憎な天候の中、ガバナーが訪問されました。会長・幹事懇談会は、斎田義孝会長、北野明宣次期会長と松浦幹事が出席いたしました。ポリオ・プラス、会員増強など現状抱えている問題と対策を穏やかな中にも真摯に意見交換を行いました。クラブ協議会は、新入会員を含め18名が参加し、各委員長より、活動計画を発表しました。特に、酒田RC、横浜中RCとの他クラブ姉妹、友好交流には賛意を示され、50周年を超えると、より一層良いクラブに纏まり成長すると励まされました。例会では、“そらぶちキッズキャンプ”の建設の趣旨、経過、そして現状を、キャンプに参加したい重い病を抱えた子供達の生き生きとした姿やボランティアの看護師との心の交流を話され、クラブ会員は真剣な眼差しで聞き入り心からの拍手を送りました。



スローガン	“小樽南ロータリークラブを楽しもう”
創立年月日	1960年2月5日
RI認証年月日	1960年2月12日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分
例会会場	ニュー三幸

新会員の紹介 (敬称略)



佐々木 一晃
ささき かずあき (小樽RC)

■入会/7月1日
■職業分類/外科



宮本 伸司
みやもと しんじ (千歳RC)

■入会/7月2日
■職業分類/ガス工事



横手 義信
よこて よしのぶ (恵庭RC)

■入会/7月10日
■職業分類/医療事務



上浦 庸司
かみうら ようじ (小樽RC)

■入会/7月21日
■職業分類/歯科補綴



Chua Kim Song
チュア・キムソン (小樽RC)

■入会/7月21日
■職業分類/ホテル業



中川 潔
なかがわ きよし (岩見沢東RC)

■入会/7月28日
■職業分類/酒類小売業



小倉 和敏
おくら かずとし (岩見沢東RC)

■入会/7月28日
■職業分類/観光関連業



山下 晃
やました あきら (恵庭RC)

■入会/7月29日
■職業分類/薬種商



館内 正子
たてうち まさこ (恵庭RC)

■入会/7月29日
■職業分類/飲食業



小沢 正晴
おざわ まさはる (小樽RC)

■入会/8月4日
■職業分類/新聞発行配布



高橋 一彦
たかはし かずひこ (岩見沢RC)

■入会/8月20日
■職業分類/車輛販売



佐々木 一志
ささき ひとし (岩見沢RC)

■入会/8月20日
■職業分類/一般旅行業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



上参郷 眞章 会員
かみさんごう まさあき (小樽RC)

●平成21年7月21日逝去 享年83歳
●ロータリー歴
1984年5月1日 入会
ポール・ハリス・フェロー



金田 弘夫 会員
かねた ひろお (札幌北RC)

●平成21年8月13日逝去 享年88歳
●ロータリー歴
1972年10月9日 入会
1988年~89年度 会長
1993年~94年度 米山記念奨学委員会 委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者、
33年間100%出席

「そらぷちキッズキャンプ」 支援に関するお願い



地区社会奉仕委員会

委員長 **阪崎 健治郎**

Kenjiro Sakasaki
(札幌西RC)

渡邊ガバナーが提唱する「そらぷちキッズキャンプ」への支援について、以下にお願い事項を示しますので、クラブの事情に応じ最もふさわしい方法を選択し支援して戴ければ幸いです。

①取組み項目に関する進捗報告は11月と5月を目途に集計を致しますが、それまでは報告の必要はありません。

②募金箱による活動に関しては管理上の問題から、ロータリーマーク、地区名、グループ名、クラブ、管理責任者名および連絡先電話番号を明示して頂けるようお願いいたします。この措置はロータリーの責任において実行していることを明示しているもので、関係のない団体や個人に悪用されない様に、キャンプ側にさまざまな負担をかけないための措置であることをご理解戴きたいと存じます。

地区では、ホームページ上からハガキサイズのシールをダウンロードできるようにしておりますので、CDの空のケース、100円ショップで販売しているような軽便なものに貼り付け、各クラブでご用意くださるようお願いいたします。

③ポスターはそらぷちキッズキャンプが制作したオリジナルを基礎とし、募金箱と同様にロータリーマーク等を明示出来るものを用意してありますのでご利用下さい。

④募金の送金はその都度、または11月と5月に地区からお願いをするまで管理を願います。

お振込先:北洋銀行 滝川支店(店番号061) 普通預金 3940419

RI第2510地区 代表幹事 神部 洋史

(お願い)送金の際には、判別のため送金者のお名前の前に"SSKC"とお入れ下さい。

⑤この事業の連絡先及び資料の入手先

地区ガバナー事務所: rid2510@rotary.gr.jp

地区社会奉仕委員長 阪崎 健治郎: qqw88e59@ceres.ocn.ne.jp

資料の入手先:地区ホームページ(<http://www.ri2510.gr.jp>)の左側サイトの下部にある

【そらぷちキッズキャンプ支援】の項目を選択(クリック)

以上、ご支援を戴きますようお願い申し上げます。

2009-10年度 国際ロータリー 第2510地区

地区大会来訪 RI会長代理のご紹介

お名前 田口 良一 様
 生年月日 1926年3月23日
 出生地 滝川市
 職業 (株)岩手フジカラー 代表取締役会長
 職業分類 写真機配布
 所属クラブ 第2520地区 盛岡北RC
 (1987-88年度) RI第2520地区(宮城・岩手)ガバナー
 1998年 RI規定審議会地区代表議員(ベネズエラ・カラカス)
 2004年 RI理事指名委員・招集者



褒章・叙勲 大蔵大臣表彰 勲五等双光旭日章
 盛岡市政振興功労者 カナダ・ビクトリア市名誉市民

奥様 絢子 様
 盛岡北RC次期会長

職業分類 音楽教師
 2006-2009 RI公共イメージ支援グループ第1ゾーン・コーディネーター
 2009年度 ロータリーの友 地区委員
 2009年 フランス・1710地区G・S・E団長
 (株)岩手県法人会連合会女性部会連絡協議会 会長
 盛岡市入札等監視委員会委員
 カナダ・ビクトリア市名誉市民

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別RC	10月 8日(木) 移動例会 12:30～ 場所:セレモニーホールはやし野幌 10月22日(木) 移動夜間例会「江別・江別西RC合同例会」 18:30～ 場所:レストラン マキシドルパ
岩見沢RC	10月 1日(木)の例会を10月4日(日)地区大会に振替 10月 8日(木) 移動夜間例会 18:00～ 場所:割烹酔月
岩見沢東RC	10月20日(火) 休会
当別RC	10月13日(火) 移動例会 場所:北海道医療大学薬草園訪問(予定) 10月20日(火)の例会を下記に変更 10月22日(木) 当別ロータリークラブ&当別ライオンズクラブ交流合同例会 親睦ゴルフ大会
北広島RC	8月より「通常夜間例会(18:30点鐘)」に変更となりました。
伊達RC	10月 6日(火) 移動例会 12:30～ 場所:ミネルバ病院
室蘭RC	10月22日(木) 夜間例会 18:00～ 10月29日(木) 休会
室蘭東RC	10月28日(水) 休会
室蘭北RC	10月13日(火) 夜間例会「ガバナー公式訪問」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭 10月27日(火) 夜間例会「クラブフォーラム」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
苫小牧RC	10月 9日(金)の例会を下記に変更 10月 8日(木) 移動夜間例会 18:00～ 場所:旬三昧ふくまる 10月16日(金)の例会を下記に変更 10月17日(土) 第12グループIM 場所:グランドホテルニュー王子 15:30点鐘



2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡 邊 恭 久
地区ガバナー指名委員長 丸 山 淳 士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所 気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

〔参考〕国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

文庫通信

(264号)

ロータリー情報 — 地区大会の講演から

書名	著者/出版社	発行年	ページ	
◆「永遠の課題・職業倫理」	深川純一(D.2670)	2009	12P	※
◆「永遠の課題・職業倫理」	深川純一(D.2710)	2009	15P	※
◆「職業奉仕の原理と実践」	深川純一(D.2720)	2009	14P	※
◆「ロータリーの原点・基本に返ろう」	廣畑富雄(D.2530)	2009	2P	※
◆「『決議23-34』への熱き思い—終章」	渡辺好政(D.2580)	2009	9P	※
◆「RIの難関の一つは会員増強と会員維持」	渡辺好政(D.2580)	2009	6P	※
◆「『ロータリーとは?』 —ロータリアンであることの意義」	成川守彦(D.2760)	2009	15P	※

※ デジタル化した資料

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円+送料）でコピーサービスを致します。一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

貸出し

- ・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

登録資料の紹介

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

ご寄贈

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009年10月のロータリーレート 1ドル=90円



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC 高橋 麗秋 会員 7月31日

新札幌RC 瀬川 俊男 会員 8月31日

ポール・ハリス・フェローのメダルについて

2009-10年度よりポール・ハリス・フェローのメダルは有料(\$15)になりました。ご購入希望の方は別途お申し込み下さい。
 なお、認証状とピンは無料でお送りします。マルチプル、ベネファクターの認証品には変更ありません。(RI日本事務所 財団室)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩内RC 井戸 幸夫 会員(1回) 8月10日

浦河RC 高杉 保廣 会員(1回) 8月19日

地区カレンダー (10月・11月)

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1(木)	
2(金)	地区大会記念ゴルフ大会(砂川)
3(土)	2009-10年度地区大会(滝川)
4(日)	2009-10年度地区大会(滝川)
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	公式訪問(千歳RC)
9(金)	公式訪問(洞爺湖RC)
10(土)	第2回 日台ロータリー親善会議(台湾)
11(日)	
12(月)	体育の日
13(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
14(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC) 第1ゾーン各地区増強委員長会議(仙台)
15(木)	公式訪問(室蘭RC)
16(金)	
17(土)	第12グループIM(苫小牧) ローターアクト地区協議会(赤平)
18(日)	
19(月)	
20(火)	公式訪問(深川IRC、妹背牛RC)
21(水)	公式訪問(小平RC、羽幌RC、留萌RC)
22(木)	
23(金)	
24(土)	函館RC創立75周年記念式典(函館)
25(日)	
26(月)	公式訪問(栗山RC)
27(火)	公式訪問(白老RC、苫小牧北RC)
28(水)	
29(木)	公式訪問(岩見沢RC)
30(金)	
31(土)	

11月 ロータリー財団月間	
1(日)	
2(月)	
3(火)	文化の日
4(水)	
5(木)	公式訪問(札幌東RC)
6(金)	
7(土)	
8(日)	
9(月)	
10(火)	公式訪問(当別RC)
11(水)	
12(木)	公式訪問(芦別RC、美唄RC)
13(金)	
14(土)	
15(日)	
16(月)	
17(火)	ロータリー財団地域セミナー(東京)
18(水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京)
19(木)	ロータリー研究会(東京)
20(金)	ロータリー研究会(東京)
21(土)	
22(日)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳)
23(月)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳) 勤労感謝の日
24(火)	公式訪問(赤平RC)
25(水)	公式訪問(砂川IRC)
26(木)	公式訪問(滝川IRC)
27(金)	
28(土)	第3グループIM(岩見沢)
29(日)	
30(月)	



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.08.31	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	89.41
	羽幌	3	45	49	4	1	88.89
	妹背牛	4	9	9	0	0	72.23
	小平	3	11	11	0	0	78.79
	留萌	4	41	43	2	1	89.73
小計			138	145	7	4	83.81
2	赤平	3	29	32	3	1	77.80
	芦別	4	37	37	0	0	83.78
	砂川	3	55	55	0	0	95.51
	滝川	4	96	96	0	2	76.50
小計			217	220	3	3	83.40
3	美唄	3	33	33	0	0	90.13
	江別	3	34	34	0	1	90.19
	江別西	3	30	30	0	3	85.50
	岩見沢	4	85	87	2	0	92.55
	岩見沢東	4	33	35	2	4	90.13
	栗沢	3	24	24	0	1	98.50
	栗山	5	27	28	1	2	95.83
当別	3	31	31	0	0	83.46	
小計			297	302	5	11	90.79
4	札幌	3	102	119	17	0	99.08
	札幌あけぼの	3	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	81.58
	札幌北	4	43	42	-1	5	96.43
	札幌モーニング	3	51	51	0	0	78.35
	札幌西	3	58	58	0	4	93.07
	札幌西北	3	40	40	0	5	98.23
	札幌手稲	4	33	34	1	2	89.55
小計			359	377	18	21	92.04
5	札幌東	3	118	121	3	0	99.12
	札幌清田	3	18	18	0	4	97.77
	札幌幌南	3	61	63	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	100.00
	札幌南	4	80	81	1	0	97.83
	札幌大通公園	4	12	13	1	4	92.30
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	72.50
	新札幌	3	28	28	0	2	91.23
小計			358	365	7	19	93.84
6	岩内	3	19	21	2	0	76.70
	倶知安	4	40	40	0	4	79.50
	小樽	3	65	68	3	0	87.10
	小樽南	3	76	76	0	1	81.08
	小樽銭函	4	22	23	1	2	77.00
	蘭越	5	9	9	0	0	100.00
	余市	3	41	41	0	4	70.00
小計			272	278	6	11	81.63

8月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,778人(104人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	85.53%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.08.31	増減	内女性	
7	千歳	3	57	58	1	3	79.30
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	79.60
	恵庭	3	35	39	4	1	83.58
	北広島	3	16	16	0	0	85.42
	長沼	4	20	20	0	3	80.00
	由仁	3	11	11	0	1	80.00
小計			176	182	6	10	81.32
8	えりも	3	21	22	1	0	87.87
	三石	3	15	15	0	1	93.30
	様似	4	22	22	0	1	69.30
	静内	4	70	74	4	1	86.29
	浦河	3	36	36	0	2	96.30
小計			164	169	5	5	86.61
9	伊達	4	55	55	0	0	78.18
	室蘭	3	41	44	3	0	81.40
	室蘭東	3	36	39	3	0	72.70
	室蘭北	3	35	37	2	3	100.00
	登別	3	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	7	7	0	0	91.00
小計			205	213	8	4	84.53
10	函館	3	83	85	2	0	78.27
	函館亀田	5	42	41	-1	2	96.49
	森	3	34	38	4	0	59.60
	七飯	3	17	17	0	0	72.50
	長万部	4	9	9	0	0	83.25
函館セントラル	4	31	32	1	1	64.52	
小計			216	222	6	3	75.77
11	江差	3	18	18	0	2	74.00
	函館五稜郭	3	55	55	0	0	98.10
	函館東	3	43	44	1	4	86.37
	函館北	3	28	30	2	0	95.55
	北斗	3	17	17	0	1	70.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
小計			166	170	4	7	79.00
12	白老	3	28	28	0	0	81.00
	苫小牧	3	48	49	1	2	82.94
	苫小牧東	3	27	28	1	2	88.09
	苫小牧北	4	29	30	1	2	97.86
小計			132	135	3	6	87.47
合計			2,700	2,778	78	104	85.53

7月の会員数について:余市RCの女性会員が4名、室蘭北RCの女性会員が3名に変更となりましたので会員数2,764名(内女性会員104名)に変更致します。

ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2009-2010
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡邊 恭久

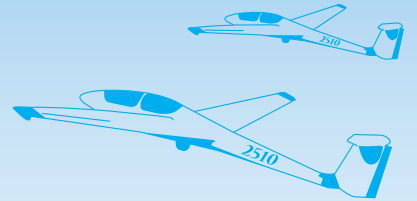
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

11



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1
- ロータリー財団月間にあたり☒……………2～4
- 地区ロータリー財団国際親善奨学生について☒……………5
- 地区財団学友の活動☒……………6
- ロータリー財団GSE活動について☒……………7
- 新しい地区補助金について☒……………8
- 識字率向上(貧困の連鎖を断ち切る)☒……………9
- 地区大会スナップ☒……………10
- 創立35周年を迎えて☒……………11
- ガバナー公式訪問☒……………12～15
- モントリオール国際大会のご案内☒……………16～17
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について「兵庫県西北部豪雨災害」と「台湾台風災害」義援金報告新入会員の紹介……………18
- ガバナー・ノミニニー候補者推薦のお願い
インターアクトクラブ活動
文庫通信☒……………19
- ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ポール・ハリス・フェローメダル購入方法について……………20
- 地区カレンダー(11月・12月)☒……………21
- 出席率・会員数☒……………22

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊 恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度
【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



地区大会を終えて

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

2009～2010年度RI第2510地区地区大会が記念囲碁大会、ゴルフ大会を経て、10月3日～4日に1,480人が参集して、道央の地方都市滝川市で開催された。

地区大会は、地区内会員が一年に一度集まり討議や協議、提案をする総会であり、感銘を与える講演を聞いたり、セミナーに参加し学習をする場でもあり、出合いや友愛を高め交流をするお祭りであります。それには、会員が参加しやすい場所、日時、一同が会せる会場、周到な準備とプログラム、当日の無駄の少ない運営が必要になります。

この度の地方の小都市滝川市は、幹線はともかく閉会時間を早めに切り上げなければ最終列車に間に合わないなどの交通の便も悪く、会場が狭隘、施設の不自由さ、宿泊者を受け入れる容量の少なさ、地区大会主管の経験がないことなどで、最初から難題を持つ厳しい条件の中での滝川クラブ主管であった。それらを認識した上で、地区大会実行委員長や大会幹事、滝川クラブ会長は、滝川クラブ会員の全員野球をと、また第2グループ芦別、赤平、砂川の応援を頂き、手作りで知恵と工夫による「真心のおもてなし」をコンセプトに掲げて実践した。

更にととても幸いなことに、RI会長代理が国内のPastガバナーであり、更に滝川出身と言うこともあって、ご出向がご決定されて以来、田口良一RI会長代理、絢子令夫人歓迎への高まりが日ごとに強くなって、当日を迎えたのである。

それにお応え頂いた会長代理は、積極的に地区や地域の情報を事前に充分ご収集されてご来道、全ての地区大会プログラムには勿論、キッズキャンプの現地にも足を運ばれ、永年に亘るロータリー歴と、輝かしいロータリーでのお立場からのご体験は、深い知識、高い見識となってご指導を頂き、加えて包み込む温かい人間性は参加会員を魅了し、地区大会を感動的に且つ地区の熱い想いをご自身でドキュメンタリクに幕を降ろして下さったのである。

地区大会はロータリー会員にとって、ロータリーを高める最も有効な機会である。クラブを超えて友人を作り、ロータリーを知り、歓びを分かち合い、発展させるステージであることを確信する。その意味で地区大会を主管した滝川クラブの全員野球と真心に、改めてこの紙面から敬意と感謝を表したい。

何もしなければ感動は生まれない。感動は心と汗による成果から生まれるのだと、この地区大会から再び学んだ。



ロータリー財団月間にあたり

ロータリー財団について 考えてみよう

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

Hideharu Iwaki
(札幌南RC・PG)

ロータリー財団は、ロータリーの国際的な人道的奉仕を動かすエンジンの役割を担っています。ロータリー財団がなければ、ロータリーのプログラムの存在はなかったでしょう。

それは人道的補助金、国際親善奨学金、GSEもなかったと思われま

す。今年のRI第2510地区として、次のような目標を示しております。

1. 活動方針として

財団の認識を高め、世の善行を行うことが、1917年にアーチ・クラフが財団への基金を創設した基本理念によりその目標を達成しよう。

2. 活動計画としては

- ① 財団へ個人100ドルと、クラブ1,000ドルを寄付する。
- ② 恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティーへの協力と推進。
- ③ 各種プログラムを積極的に推進する。
- ④ 各小委員会のプログラムを推進する。
- ⑤ 2009-2010年度の年次寄付目標を30万ドルとする。
- ⑥ 財団の未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の補助金の理解を今年度中に会員に浸透させる。

昨年は、ロータリーカードの目標数を達成致しましたが、今年はRIからカードを使用するように推奨されております。

プログラムの活動は、そのIとして、教育プログラムです。

(1) 国際親善奨学金

男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。

地区では奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートを行っております。

地区からは09-10年度奨学生を6月頃に壮行会を開いて激励をしております。

当地区からは毎年6名の奨学生を送り出しております。

2010年-2011年度よりは、1学年度の1種類となりました。

(2) 研究グループ交換(GSE)

25歳から40歳までのチーム・メンバー4人とロータリアンのチーム・リーダーが、GSEチームを構成し、2ヶ国がGSEチームを交換し、互いの国の文化の違い等について学ぶもので、07-08年度では、RI3300のマレーシア・クアラルンプールとの交換でありました。08-09年度はありませんでしたが、2009-2010年においては、2010年4月に当地区とRI2360地区(スウェーデン)との交換の請約ができておりまして、チーム・リーダーは、札幌東クラブの奥貫一之氏が就任されております。

チームのメンバー4名はすでに決定しております。

今後の予定としては、受入れ(スウェーデンのメンバー)は、2010年4月2日(金)に到着となっております。当地区の派遣メンバーは、5月1日頃に出発予定となっております。なお、2012-13年度はGSEプログラムは最終年度となります。

(3) 財団学友(FA)

世界中で、緒方貞子氏を始め多数の優秀な学友が活躍しています。

当地区では、留学した元財団親善奨学生と元GSE団員の派遣体験を報告し、帰国後の活動について発表する会を実施しております。

(4) ロータリー平和および紛争解決研究プログラム(RPCS)

06年7月1日より始まった3年間の試験的プログラムですが、タイ、バンコクのチュラロンコーン大学で3ヶ月間紛争解決について学ぶもので、3年間の試験的期間は2009年4月に終了した。

2009-10年度にチュラロンコーン大学の短期の平和研究プログラムは、ロータリー・センタープロ



グラムに統合されました。

そのⅡとして、人道的プログラムです。

(1) 保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金

国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として

- ① 健康状態を改善する。
- ② 飢餓を救済。
- ③ 人間的社会的発展を図る。

(2) 地区補助金(DSG)

2000年4月にCAPが出来ましたが、2003年7月に地区補助金となりました。

地区補助金は特に人道的プログラムにのみ使うことにし、2008年-09年からは文化的活動には使用できなくなりました。

(1) 奉仕活動や寄贈品は、地域でかなえられていないニーズを満足しているでしょうか。

(2) プロジェクトは、恵まれない人々の役に立っているでしょうか。

(3) 地区補助金がなければ、このニーズを満たすことができたでしょうか。

- ① 高等教育活動、研究、自己開発または専門能力強化クラブがセミナーを主催する場合には、参加できるのは、高校生、小学生などで、災害等に見舞われた中学生、高校生などの授業料等の支払いに補助金を使いたい。
- ② 募金活動は、チャリティー・コンサートを主催して収益を地域社会のニーズに直接役立つような奉仕活動や寄贈品の購入に使う場合。
- ③ 地区大会または創立記念日などのロータリーの行事に関連する費用とし、周年行事として事業を計画した場合の費用。
- ④ 人道的な側面をもたない娯楽費、接待、1人暮らしの高齢者を食事に招く費用。

(3) ボランティア奉仕活動補助金(V.S.G)

05年7月1日より、個人向け補助金は一時停止され、06年7月1日より復活し、今の名称に改められました。

この奉仕活動は、医療、歯科、地域開発、教育、給水、医療品や設備等で、プロジェクトの現場となった国は、ケニヤ、インド、ウガンダ、グアテマラ、メキシコといった開発途上国です。

支出項目は、① 旅費、最小限の生活費、その他の費用。

② 期間は5日間から60日間。

(4) マッチング・グラント(MG)

地区によっては、世界社会奉仕(WCS)として、ある国のロータリークラブが人道的プロジェクトを実施しようとしたが、資金や専門知識が不足している場合、海外に援助を求めてきます。または、他の国のために尽したいと思っているロータリークラブや地区が貢献できる場を探します。この場合、援助をするのが世界社会奉仕であり、そのプロジェクトの補助金を申請しますと、ロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントになります。2ヶ国以上のロータリークラブが協力し合い、それを補うことがマッチング・グラントです。

(5) ポリオ・プラス・プログラム

ロータリーは、1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。RIの75周年基金から補助金が授与された。

ポリオと共に、ハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としているため、ポリオ・プラスと呼んでいます。

1クラブ1,000ドルを「1億ドルのチャレンジ」に、3年寄付すれば1億ドルの目標を達成できます。地区のDDF残高の20%以上を寄贈した地区には、RI会長他の感謝状が贈られます。

そのⅢとして、未来の夢計画に基づく新補助金

新補助金制度は、RI理事会の2008年6月の会合で、ロータリー財団の未来の夢計画を承認され、100地区を除く地区は既存のプログラムをそのまま利用し、2013年-14年度から新補助金に移行します。

(1) 補助金は2種類となります。

① ロータリー財団新地区補助金

② ロータリー財団グローバル補助金

・パッケージ・グラント 2009年10月の管理委員会で決定する。

・クラブ及び地区計画補助金

この事項については、今後の研修項目により明らかになります。



ロータリー財団への寄付

A 寄付の種類

1. 年次寄付

ロータリー財団には二つの寄付方法があり、その一つです。年次寄付は、財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たしています。毎年、クラブと地区は年次寄付の目標額を設定しています。「年次」というのは毎年続けられ、3年後にはプログラムに使われます。2001年規定審議会で、05年までに毎年1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。

2. 恒久基金

目標は25年までに10億ドルにすることです。恒久基金は金額を問わず、いくらでも寄付することができます。1,000ドルの寄付者はベネファクターとして、バッジを受け取ることができます。

3. 冠名奨学金

個人、団体が1学年間の留学費用全額を寄付することによって、自己の氏名を冠した奨学金を寄付することができます。

4. 冠名奨学金基金

15万ドル以上の寄付によって、冠名奨学金基金の設立ができ、その元金の収益金が1学年度間の留学費用に達したとき、1件の冠名奨学金が授与されます。

B 寄付の増進

1. 大口寄付者

寄付の種類を問わず、年次寄付、使途指定寄付、恒久基金寄付の合計で、10,000ドル以上寄付した人を大口寄付者といいます。大口寄付者は、09年7月末現在、日本では939人です。

2. ポール・ハリス・ソサエティー

毎年1,000ドルの年次寄付、使途指定寄付をする人を認証するプログラムで、2009年7月現在、日本では275名のメンバーがいます。

3. アーチ・クランフ・ソサエティー

寄付累計が25万ドルを超えますとメンバーとなり、メンバーの写真が世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られます。日本では13名です。

4. ロータリー・カード

07年9月末には5,000人が保有者です。購入額の0.3%のロイヤリティーが日本事務局に振り込まれます。

C 税制上の優遇措置

日本では03年10月より、「特定寄附金制度」を通して、毎年のお申し込みを行っております。ただし、教育的プログラムで一括20万円以上の寄附です。

手続きは「税制上の優遇措置扱い分申込書」に記入し、日本事務局財団室に送ります。

その上で、寄付金を日本事務局財団室の「日本ロータリー奨学金委員会口座」に送金します。

国際ロータリー日本事務局財団室では、6月と12月の年2回分を取りまとめ、国際交流基金特定寄付金取扱規定に送金します。2009年の所得に対する税制上の優遇措置を受けることを希望する方は、12月10日までに振り込むようお願いいたします。

もう一つには、特定非営利活動法人ロータリー日本財団

02年10月のロータリー財団管理委員会は、特定非営利活動法人ロータリー日本財団の設立を承認しました。03年4月に(特活)ロータリー財団を登記しましたが08年9月10日をもって解散しました。

新公益法人関連3法が08年12月1日に施行されたのに伴い、2009年6月に一般財団法人ロータリー日本財団を登記し、公益認定の申請は早急に行う予定です。

以上、財団月間にあたりまして、大変現実的な理論構成でご説明を申しあげましたが、やはり、100年前にロータリーの原点であるポール・ハリスの考え方に賛同した者と致しましては、「人類が私たちの仕事」であり、「夢をかたちに」でありましょう。

その目的を達成するために、更なるご精進致しますことをご期待とお願いを申し上げます。



地区ロータリー財団 国際親善奨学生について

地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二

Shuji Sugawara
(札幌大通公園RC)

当地区における国際親善奨学金には、文化研修と呼ばれる3ヵ月または6ヵ月の集中語学研修プログラムと、1学年度またはマルチ・イヤー奨学金という1学年または2年間の主として大学院での勉学を助成するためのプログラムがありました。しかし、2010-11年度からは、1年前倒しでマルチ・イヤー奨学金と文化研修プログラムが廃止され、1学年度の奨学金1種類になりました。新補助金のもとで、新しい奨学金制度が発足するまで、しばらく1学年度の奨学金のみを募集することとなります。

さて、2009-10年度の奨学生6名のうち、すでに数名の奨学生は出発し現地で活動をしています。写真は本年7月4日に開催された壮行会のときの写真です。メンバーは次のとおりです。櫛引友美子(6ヵ月、オーストラリアかカナダ、札幌はまなすRC)、田中栄子(6ヵ月、アメリカ、札幌幌南RC)、西出佳代(1学年度、ルクセンブルク、札幌北RC)、三浦順子(1学年度、アメリカ、札幌大通公園RC)、芳住啓輔(マルチ・イヤー、オーストラリア、札幌東RC)、田中慎吾(マルチ・イヤー、室蘭北RC)。奨学生の壮行会は本年7月4日に盛大に行なわれ、多くのロータリアンの方や学友会から、出発にあたっての激励の言葉をいただきました。

2010-11年度の奨学生は、先に述べたようにすべて1学年度の奨学生として6名決定しており、すでに2回のオリエンテーションを受け、申請書類は財団本部に提出済みです。

下の写真は、壮行会と同日に開催された第1回のオリエンテーションのときのものです。6名の候補者は次のとおりです。泰地裕子(ドイツ、札幌手稲RC)、長屋さくら(フランス、札幌北RC)、加藤綾(ドイツ、北広島RC)、田村理(イギリス、札幌大通公園RC)、磯尾けい子(アメリカ、札幌東RC)、松本圭介(小樽RC)。特に文化研修から1学年度に変更し、選考された方はいきなり大学院あるいは大学への進学となり、入学手続きの面で苦労しています。スポンサークラブのカウンセラーの方には、例年以上のご支援をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、2011-12年度の奨学生に関しましては、募集要項やポスターを年明けの1月に配布、2010年の2月頃から募集を開始いたします。応募に際しましてはクラブの推薦が必要ですので、応募があった場合には、面接などのご対応をお願いいたします。





地区財団学友の活動

地区財団学友委員会

委員長 齊藤博司

Hiroshi Saitoh
(千歳セントラルRC)

2510地区での当委員会は、国際親善奨学金委員会とGSE委員会の選考で派遣されて帰国したOG・OBで組織する財団学友会を広くロータリアンに浸透・啓蒙を推進し、かつOG・OBのロータリー会員として活動していただくように導くことを積極的にやっております。

この学友会は、国際的な組織として各国で活躍しております。

(2008年のロサンゼルス国際大会ではロータリー財団学友世界大会を開きました)

ロータリアンの寄付金による留学ですから、帰国してから推薦RCへのReport、他クラブでの卓話、そして海外での見聞及び自身の学びでの成果を社会に還元していただかなければなりません。

啓蒙としての事業は、年1回以上の帰国報告会があります。これは、ガバナーをはじめガバナー補佐、各担当委員会メンバー、そして推薦RCの会長を筆頭にロータリアン、学友会関係者などで外国語が飛び交う中で行われます。留学前の初々しい姿の中にも緊張がみなぎっていた奨学生も、帰国してからの堂々としたものごし、態度「あぁー留学したらこんなになるんだ！」と楽しくなります。

もう1つは、地区大会でのブースの設置。このブースでは歴代の推薦RC・留学生名・派遣国などを掲示し、その国での親善ぶりがメンバーに詳しく説明できるようにします。また、ブースでは「学友会とは何ぞや！」を理解してもらいたく工夫をこらしております。

次に財団学友会(帰国留学生組織)と財団学友委員会(ロータリアン)で共有できる学友会メンバーの名簿作りの更新をしております。地区内各RCの推薦ではありますが、道外に在住されておられるOG・OBも多数おられ、把握に懸命になっております。

この名簿は卓話派遣のスムーズな進行、誰がどの地域に、何を目的に、何年留学され、現在は何の様に社会で活躍されているかを把握するものです。

そして、学友出身のロータリアンを多数輩出できるきっかけにし、ひいては留学生を中心にしてのRCの設立までも考えております。

最後に、学友会のホームページの立ち上げを検討しております。いつ・どこでどの様な事業を行うとか、各々地域に散っているOG・OB達への連絡や2510地区におけるロータリー関係の行事開催のお知らせなど。学友会と疎遠になっている学友への積極的な参加へのお誘いなどに利用していきたいと思っております。



ロータリー財団GSE活動について

地区GSE委員会

委員長 沼 舘 栞

Shiori Numadate
(札幌清田RC)

GSEは、ロータリー財団の代表的な教育的プログラムです。このプログラムは、地区内の若い職業人を海外に派遣し、そこでの生活体験を通じて職業、文化、親善などの様々な分野での国際理解を促すとともに、得られた体験を広く地域社会に還元できるよう支援するものです。

訪問地区の組織的なプログラムに職業人として参加し、各団員の専門に応じて意見を交換しながら、他国における職業の実践状況を視察します。

訪問地区では地域住民との交流や文化施設の見学を通じて生活様式、国民性などを学び、地域について理解を深めます。派遣団員と受入地区のロータリアンが友好と善意のもとに意見を交わし、また受入家族と生活をともにしながら互いの問題や将来について語り合い、永続的な友情と相互理解を深めるようにします。これらの有意義な異文化体験は最終的に派遣と受入の両地区社会に広く貢献することになります。

1971年以来、米国、カナダ、オーストラリア、フィリピン、タイ、マレーシアと計14回実施してきました。今年度はヨーロッパ地区における最初のプログラムとしてスウェーデン南西部RI2360地区との交流を行ないます。同地区はスウェーデン第二の都市イエーテイボリを中心とした地区で、今回、2510地区では初めての“特別重点的GSE”(特定の職業人ばかりを集めてのプログラム)を実施します。今回は社会福祉・介護に関する職業(障害者支援・高齢者支援)の方々を選び、福祉先進国のスウェーデンで視察・研修を5週間に渡り体験して頂きますが、4名のメンバーは決まっております。毎月研修を受けております。チームリーダーは奥貫一之会員(札幌東RC)に決定済みです。奥貫会員は北海道リハビリの理事長をされており、今回の福祉介護の特別重点的GSEチームのリーダーには最適の方です。派遣期間は2010年5月1日から5月30日。またスウェーデンからの受入は4月1日から5月1日の予定です。尚、RI2360地区からの受入チームは不特定の職業の方々となります。

今期スウェーデン2360地区との交換プログラムに当たり、地区内の皆様の御協力を頂き、交換プログラムの準備も着々と進んでおります。ご協力のほど心より感謝申し上げます。



スウェーデン大使、北大留学生ジェシカ(スウェーデン出身)とメンバー



スウェーデンの国、宗教、ノーベル賞について勉強中。



ジェシカご夫妻お別れ会



新しい地区補助金について

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄

Yoshio Suda
(札幌南RC)

2003年7月1日から地区補助金がスタートしました。ロータリー財団に3年前に寄付した金額の50%が地区財団活動資金(DDF)として戻され、その内約20%が地区補助金として使える事になりました。

年々条件が厳しくなり以前文化的活動にも支出されていたのが、2008-09年度から使う事が出来なくなりました。2009-10年度は申請方法が変わり、地区がロータリー財団に提出する地区補助金授与計画に名前の無いクラブは補助金を受けられない事になりました。

あらかじめプロジェクトの概要についてその意思があるかどうか、また、補助金で購入する品目を具体的に記入して、ガバナー事務所に提出する事が必須となりました。人道的かつ会員が自らその企画に参画するのがポイントで、緊急を要しない場合は却下される可能性があります。2510地区の補助金授与計画を本部に報告し、その内容についてあらかじめ適応が無い場合は申請は無理との伝達を受けました。そのことを73クラブに通知いたしました。

7月までに予備申請書が提出されたのは17クラブでその各々に関して報告と指導をさせていただきました。

交通安全運動、植樹、小鳥の巣箱作成、公園のプランター設置、車いす、AED(心除細動器)などの寄贈、子供達への学習支援、スポーツ観戦、絵画展示会、WCSに伴う手作りカメラ・望遠鏡などの試作、キッズアドベンチャー防災キャンプの実施、環境看板の設置などであります。少年野球大会・サッカー大会の実施、創業記念事業に付随するものは駄目になりました。障害を持った人達のためのスポーツ観戦の移動のバス代・チケット代など、認めるが各種展示会のコンテストは認められません。ただ、広く絵画を募集するのは承認可能であり、防災キャンプについては、キャンプに係る費用は認められませんが、募集する広告費、AEDなどの実習のために材料を借りる費用は認められます。植樹については、公共的な場所で行う事が条件で、苗と培養土は承認されます。

9月現在8件の正式な補助金申請書が届いています。今回初めて地区大会を利用して、補助金委員会を開催しました。現場での審査状況をオープンで開示する事も検討しています。

昨年4月の地区協議会で、申請は特に面倒ではなく人道的活動且つ地域のニーズに応えるものであれば、各クラブの社会奉仕委員会を中心に、地域と密着したプランを立てその一部を補助金として支給することを説明したのですが、申請件数は最終的には11件の申請に留まりました。

この申請件数の少ないのは周知徹底が行われてなかった事が起因すると考え、今年4月の地区協議会では、毎年補助金が余り本部に返金してきたので、申請して頂くようお願いいたしました。ぜひ小さなクラブでもロータリー財団の寄付金額に関係なく申請し、地域にロータリーの活動を知らせるチャンスを生かして頂ければと思います。



識字率向上（貧困の連鎖を断ち切る）

国際ロータリー識字率向上支援グループ

第1ゾーン・コーディネーター **塚原 房樹**

Fusaki Tsukahara
(札幌東RC・PG)

9月16日、大阪で第1、第2、第3ゾーンのRI識字率コーディネーターによる識字率向上セミナーが開催されました。黒田RI理事、重田元RI理事をはじめ各地区のコーディネーターが参加され当地区からは矢橋直前ガバナーが出席されました。

現在世界では10億人、つまり世界人口の6分の1の人々が文字を読むことが出来ないと推定されています。「読み書き」ができないということは、貧困をはじめとする諸悪の根源であり地球規模の問題です。読み書き能力不能者の悲劇は、悪質なごまかしにあい極度の貧困生活を強いられ、人間としての「尊厳」を喪失することです。それはまた経済的、政治的、社会的、個人的な発展の障害であり、その結果国際間の理解、協力を欠き世界平和をはばむ障害物になります。しかし日本では「読み書き」のできない人は稀で、この問題は実感がなく、いま一つ関心が薄く対岸の火事のような観さえあります。我々は文字文化から隔絶され、社会から置き去りにされた悲惨な人々に、今手を差し伸べなければ途上国の社会不安は一層増大するでしょう。国連は非識字を経済、政治、社会開発における最も重大な障害の一つと断定しました。

RIにとっても識字率の向上はポリオの後を継ぐ重要なプログラムです。この問題の唯一の解決策は我々が率先して、すべての人たちへ識字教育を適切に実施することです。日本のロータリー・クラブの多くが低開発地区の「読み書き」の訓練に必要なツールを支援しております。人道的プロジェクト(ハードの面)では「読み書き」教育用の書籍を提供したり、「読書と言葉教室」を作って後援したり、ボランティアの教師を世話したりしています。

ロータリアンの使命はこのように発展途上国の識字率向上のために、いろいろな機会を通じて識字プロジェクトを促進させることです。言い換えるならば、地球という相互依存のタペストリーの中で暮らしている我々は識字率向上を推進するために「他人の問題」として片付けない、傍観者でいてはならないからです。教育的プロジェクト(ソフト面)としては、1997年度のグレン・キンロスRI会長は世界中の多数の非識字者を減少させるため語学教育としてCLE(語学集中講座)を用いたライトハウス識字率向上プロジェクトを導入し識字率向上に著しい効果を上げています。なおこれらの詳細についてはRIのウェブサイトを開いて、検索するとさまざまなパンフレット、プロジェクトの例、連絡先など豊富な情報を見つかけられます。100年に一度という大不況のさなかにいる我々ですが、だからと言って一日1\$未満で生活している最貧困にあえぐ人たちを見過ごすことはできません。

なにとぞ識字率向上プロジェクトの重要性をご理解いただき、RIの識字率向上運動にご協力くださるようお願い申し上げます。

10月3日(土)～4日(日) RI第2510地区 地区大会スナップ(滝川市にて)



記念囲碁大会(9月20日)



記念ゴルフ大会(10月2日)



ゴルフ大会表彰式



RI会長代理歓迎晩餐会(10月3日)



田口RI会長代理とお孫さん



本会議 田口RI会長代理挨拶(10月4日)



渡邊ガバナー挨拶



記念講演会 倉本聡氏



記念懇親会(10月4日)



手に手つないで



創立35周年を迎えて

札幌南ローターアクトクラブ

創立35周年実行委員長 **川下 和光**

Kazuteru Kawashita

札幌南ローターアクトクラブ創立35周年記念式典に提唱ロータークラブをはじめ区内から多数のロータリアン・ローターアクターのご登録・ご参加いただき誠にありがとうございました。

さて、私たち札幌南ローターアクトクラブは、1974年12月11日に札幌南RCの提唱をうけて札幌大学ローターアクトとして発会いたしました。

発会当初は学生ベースとして22年間活動を続けていましたが会員の減少やローターアクトクラブとしての活動ができておらず、1996年から札幌南ローターアクトクラブへ名称を変更しこの年度から社会人ベースへの変更を行い会員の増強・活動の活発化を図りました。

これにより、会員増強・活動の活発化につながり、区内への貢献も高くなりました。現在では、札幌南RCの熱いご厚意により会員増となっております。(男性9名、女性12名、計21名・区内最多人数)

クラブの主な活動は、札幌この実会第2この実会、児童施設天使の園などとの交流、イベントのお手伝いを行っております。札幌この実会第2この実会、知的障害者の方が入居しております。日々自立される為の訓練や絵やパッチワークや木工作業などを行っています。私たちは、パークゴルフやボーリング・カラオケなどで交流を深めています。今回は創立35周年記念事業として敷地内にある庭の一角にガーデニングを行いました。創立30周年の記念事業で寄贈した本棚の本の入れ替えは今でも定期的に行っています。

児童施設天使の園は北広島市にある施設で、入居している子供たちはとても元気がよく明るい子供たちです。天使の園とはイベントのお手伝いなどで年2回交流を行っています。私たち札幌南ローターアクトクラブは、昨年度より札幌市唯一のクラブとなってしまいました。昨年度の始めから札幌北ローターアクトクラブに在籍していた会員を提唱クラブの札幌南RCのご理解、ご協力で全会員を受け入れることが出来ました。これを期に会員30名を目指して昨年度より、札幌南ローターアクトクラブを札幌市内外の方にも知って頂けるように精力的に活動を行っています。会員増強を行うためにポラナビに会員募集の広告を載せるなど行っています。

私たちが40年・50年と存続する為には、札幌南ローターアクトクラブの知名度を上げるとともに会員の増強を行っていき今まで先輩方が行ってきた事業の継続発展を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、札幌南RCをはじめ区内のロータリアンの皆様ローターアクター・OB、OGの皆様方のご理解、ご協力をお願いするとともにご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。



ガバナー公式訪問

9月

9月1日(火)

7G 千歳セントラルロータリークラブ

午前10時、渡邊恭久ガバナーと加藤寛治ガバナー補佐をお迎えし、高塚会長、坂井会長エレクト、大野幹事の5名で、懇談会が行われました。インターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブ、国際青少年交換事業などの青少年育成に関する話題を中心に質問し、簡潔丁寧にご説明戴きました。また渡邊ガバナーから、千歳セントラルロータリークラブが当地区で先駆的に取り組み、導入しているCLPについて、その経過と状況のご質問を戴き、地区内の導入活性化に向け積極的な役割を務めるようご提案を戴きました。引き続き午前11時からは、各理事が出席し理事会を開催し、各事業計画についての的確なアドバイスを戴きました。

例会では、渡邊ガバナーが掲げる基本方針「環境・人・子どもに目を向けよう」の説明、「そらぶちキッズキャンプ」の概要などの講話を戴き、全員一同、興味深く拝聴させて戴きました。大変有意義な公式訪問が終了致しました。



スローガン	チャレンジ精神で地域づくりに貢献
創立年月日	1990年11月19日
RI認証年月日	1990年12月12日
スポンサークラブ	千歳ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分(第3週は18時30分)
例会会場	ホテル日航千歳

9月2日(水)

3G 栗沢ロータリークラブ

9月2日(水)、渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐が当クラブをご訪問下さいました。9時30分より、会長・幹事との懇談、そして10時より栗沢クラブ川幡会長ほか各委員長一同列席し、当クラブの事業計画、活動の様子を一通り確認下さいました。

その後、会員全員の例会に参加くださいまして、「そらぶちキッズキャンプ」への支援に対する熱い思いをお聞かせいただきました。

とても気さくなお人柄で、終始和やかな雰囲気でお迎えすることができました。



創立年月日	1964年 6月 3日
RI認証年月日	1964年 6月10日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時10分
例会会場	いわみざわ商工会館二階

9月7日(月)

6G 蘭越ロータリークラブ

時々冷たい秋雨の降る、当町八幡神社秋祭りのこの日、午前10時から2510地区渡邊恭久ガバナーと見延庄三郎ガバナー補佐をお迎えし、志比川会長・高橋会長エレクト・白石幹事の5名で会長・幹事会を開催した。

志比川会長は地区世界社会奉仕委員会副委員長を務めており、WCS事業についての話題を中心にクラブの内容などを親しくお話しさせていただきました。

ガバナーからは、特に少人数のクラブですが、ポールハリスフェローの多いことに触れ奉仕の念厚いクラブとお褒めをいただきました。

11時からクラブ協議会を開催し、見延ガバナー補佐の司会進行で進められ、各委員会より2009~2010年度の計画について説明された。ガバナーからは各委員会の計画についての的確にアドバイスを頂き、当クラブが抱える課題についてご助言をいただきました。例会では、今年度ガバナーが基本方針として掲げられた「環境・人・子供に目を向けよう」を説明され、特に「そらぶちキッズ・キャンプ」についてのお話しを詳しくお聞かせいただきました。会員から「そらぶちキッズ・キャンプ」についての質問もあり、会員一同協力・支援することを確認いたしました。





創立年月日	1968年 4月22日
RI認証年月日	1968年 6月 3日
スポンサークラブ	俱知安ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時15分
例会場	ふれあいプラザ21

9月8日(火)**6G 小樽ロータリークラブ**

9月8日に渡邊恭久ガバナーと見延庄三郎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。会長・幹事会では、当クラブの現状説明のほか、ロータリークラブの歴史・伝統といったものの継承のあり方などについても話し合われました。

クラブ協議会では、各委員長より今年度の方針や現在までの取組状況についての説明を行い、ガバナーからひとつひとつ示唆に富んだ講評を頂きました。また、数日前に静内で開催された試合が偶々「小樽・小樽南クラブ」対「岩見沢クラブ」の試合であったことから話が大変盛り上がりしました。

例会では、特にガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」への熱い思いが会員全員に伝わり、これからの取組みに一層の気合いが入った中で、公式訪問は終了いたしました。



スローガン	例会を心のオアシスに！
創立年月日	1933年12月12日
RI認証年月日	1934年 2月26日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	グランドパーク小樽

9月9日(水)**6G 俱知安ロータリークラブ**

前日の夕方より、渡邊恭久ガバナーと見延ガバナー補佐、広瀬ガバナー補佐事務局長が来訪され、当クラブのチャーターメンバー中井会員他7名の会員とRCについての思い出、熱い思いを語り合った楽しい一時を過ごさせて頂きました。

公式訪問当日は、余計な緊張感がなく会長・幹事会、クラブ協議会を行うことができました。

例会では、「そらぶちキッズキャンプ」支援について小児ガンの子供達の心の中の奥深い喜びの笑顔に涙する感動と、これから立ち上がっていくキャンプにロータリアンとしての強制ではない心からの支援を送りたいとガバナーが

ら熱いメッセージがありました。当クラブ全員ガバナーの思いに答える様気持ちをつにしました例会でした。



スローガン	ロータリアンである喜びを感じよう!!
創立年月日	1964年12月 3日
RI認証年月日	1965年 1月 9日
スポンサークラブ	岩内ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時15分
例会場	ホテル 第一会館

9月9日(水)**6G 余市ロータリークラブ**

ガバナー公式訪問は、渡邊恭久ガバナー、見延庄三郎ガバナー補佐、広瀬事務局長をお迎えして、9月9日、午後4時30分より、会長・幹事会を開催致しました。

ガバナーより、クラブ会員の年齢別の実態、CLPの取り組み、交換留学生、IT委員会ホームページ、会津若松城南RCとの姉妹クラブのいきさつ等、実のあるお話を伺いました。

クラブ協議会に会場を移し、当クラブ各委員長より、今年度の活動計画及び目標の報告と、活発な意見交換を致しました。

特に、地区に当クラブより2名出向して活動していることに、ガバナーは感謝しておりました。

その後の夜間例会では、渡邊ガバナーより本年度の地区の方針と地区目標について説明があり、会員一同、その趣旨に賛同し、盛会のうちに公式訪問は終了しました。



スローガン	楽しもう、ロータリーライフ
創立年月日	1961年 4月29日
RI認証年月日	1961年 5月18日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	北海信用金庫 本店

9月10日(木)

6G 岩内ロータリークラブ

9月10日(木)渡邊ガバナー、見延ガバナー補佐、広瀬ガバナー補佐事務局長を迎えての公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事が開かれ当クラブから会長、幹事(会長エレクト)の2名とともにクラブの現状について掘り下げた意見交換を行うことができました。続いて11時より見延ガバナー補佐の進行のもとクラブ協議会を開催。

その中で今年度のクラブ目標を紹介し、ガバナーの助言を頂くとともに当クラブからもいくつかの要請もありました。

12時30分からの例会では当クラブが出席100%でガバナーの公式訪問をお迎えすることができ、渡邊ガバナーに対し最大級の感謝を表すことができました。また渡邊ガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」の支援に対して、さっそく当クラブの井戸会長から禁煙宣言とともにタバコ代を支援に使いたいとの発表があり、おおいに機運の高まりを感じることができました。



スローガン	クラブに新しい活力を!
創立年月日	1962年 4月10日
RI認証年月日	1962年 4月24日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	日本海

9月11日(金)

4G 札幌あけぼのロータリークラブ

渡邊ガバナーの公式訪問は、9月11日でした。午前10時には、荒ガバナー補佐と共に、例会場の「白い恋人パーク」にお越し頂き、会長・幹事・会長エレクトとの協議に於いて、実情報告を申し上げ、ご意見、ご指導を頂きました。14名の小規模クラブの悩みを率直に申し上げて、同様の悩みを抱えている他クラブを例示されて、決して大きい、小さいが問題でない旨を、諭されました。その後クラブアッセンブリー、例会に参加頂き、ロータリアンとして今に至る経緯をお話されました。空知地区で初めてガバナーを輩出したご苦労話、そらぶちキッズキャンプ場における、小児がん、難病の子供達が自然の中で、病める心と肉体を、仲間と共に癒される姿を見て、ロータリーは永く関っていくべきと説かれておりました。「そらぶちキッズキャンプ」は行政、あるいは医療の管轄と考えていたのが、まったく違って、民間の善意で運営されていて、誰もが参加できる、自分自身の心で考えるテーマであると、認識致しました。前日は岩内を公式訪問され、当日はその後、旭川に走り、2500地

区大会に出席と、大変お忙しい中8時間余り当クラブに費やして頂き、温厚なお人柄でご丁寧なご指導を賜り、会員一同深く感謝申し上げます。



スローガン	魅力ある例会を
創立年月日	1991年 3月15日
RI認証年月日	1991年 4月 8日
スポンサークラブ	札幌手稲ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分(第1週は18時30分)
例会場	石屋製菓 白い恋人パーク内 会議室

9月15日(火)

5G 札幌清田ロータリークラブ

滝川市のシンボルの花、コスモスと共に、渡邊恭久ガバナー、福井義昭地区幹事をお迎えし、当クラブの江口洗ガバナー補佐のリードのもとに公式訪問が行なわれました。渡邊ガバナーの公人としてのロータリー活動への熱い思いのメッセージをいただき、和やかな会長・幹事懇談会からクラブ協議会では、緊張の中にも四大奉仕委員長より活動報告があり、更に各委員会から細部の取り組みについて発表しました。出席者全員参画の中で当クラブの現状を見ていただきました。質問に簡潔丁寧なご説明と講評をいただき例会へと移りました。渡邊ガバナーの掲げる地区目標の説明と共に「そらぶちキッズキャンプ」のお話を、会員一同胸に迫るものを感じながら拝聴しました。沢山のアドバイス、励ましのお言葉をいただき感動の中に無事公式訪問を終了しました。



スローガン	明朗・愛和
創立年月日	1997年10月14日
RI認証年月日	1997年10月22日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ルネッサンスサッポロホテル



9月15日(火)

5G 札幌セントラルロータリークラブ

渡邊恭久ガバナー、江口洸ガバナー補佐をお迎えして17時より会長・幹事会、18時よりクラブ協議会、例会の順で公式訪問が行われました。上野会長より今年度の活動計画の紹介後各会員の自己紹介及び奉仕分野の紹介がありました。当クラブで翻訳中の「The Golden Wheel」に関しガバナーより助言を頂きました。すっかり打解けた雰囲気の中でガバナーより「そらぶちキッズキャンプ」創設発起人の方がいることから、すでに募金で支援する計画で8月より毎週会員のポケットマネーを募金し意識的に参加する形で取り組んでおります。そのお話をガバナーが聴かれ大変喜んでおられました。当日は2度目の訪問でしたがお疲れの様子も見せずには和やかな雰囲気ですべて終了しました。



スローガン	充実した楽しい例会を
創立年月日	2002年 4月25日
RI認証年月日	2002年 8月 7日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	18時30分
例会場	札幌プリンスホテル・パミール館

9月16日(水)

4G 札幌ロータリークラブ

ガバナー公式訪問にあたり、まず10時からの会長・幹事懇談会においては、当クラブの中田会長より主に会員増強についてご報告しました。次いで11時からのクラブ協議会では四大奉仕委員会の各委員長より本年度の事業内容をご説明申し上げ、渡邊ガバナーより一つひとつ丁寧な講評を頂戴致しました。

例会においては、まず他クラブの活動状況をいくつかご紹介いただいた後、本年度ガバナーが掲げる4項目の重点目標のご説明がありました。特に「そらぶちキッズキャンプ」の支援については、その経緯及び意義を熱い言葉で語っていただき、メンバー全員にガバナーのこの事業にける情熱が十分に伝わったものと思います。これを受けて当クラブにおける具体的支援内容を今後詰めて参ります。



創立年月日	1932年12月 3日
RI認証年月日	1933年 1月18日
スポンサークラブ	東京ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	札幌グランドホテル

9月17日(木)

3G 江別ロータリークラブ

9月17日(木)渡邊恭久ガバナー、嵯峨ガバナー補佐をお迎えし、10:00会長・幹事会、11:00クラブ協議会、12:30よりガバナー公式訪問例会が開催されました。

ガバナーの温かな聞き取り姿勢とお話、嵯峨ガバナー補佐の的確な進行で我がロータリークラブの現状・2510地区の取り組みが確認されました。「そらぶちキッズキャンプ」に関しましても直接お話を伺い出来たことで、その現状・熱い思いを感じ取れました。また、私達が普段粛々としている普通の行為が、実はオリジナリティ溢れる取り組みであることもガバナーとの会話の中で確認できました。

今後さらに精進を重ねて参りたいと存じます。



創立年月日	1962年 2月 3日
RI認証年月日	1962年 2月19日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	江別市民会館



モンリオール国際大会のご案内 (第一報)

2010年6月20～23日

地区オン・ツー・モンリオール委員会

委員長 酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

2010年RI国際大会は2010年6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モンリオールで開催されます。当地区のオン・ツー・モンリオール委員会は国際大会参加のためA・Bの2コースを企画致しました。

Aコースはモンリオール滞在型で大会出席を主体としており、お忙しい会員向きでしょう。モンリオールは、人口200万を誇るカナダ第2の都市であり、見所が多いので滞在期間中は退屈することはないでしょう。

Bコースはバンクーバーからカルガリー、パンフをへてモンリオールへ入る旅程で世界遺産カナディアンロッキーを訪れます。ロッキー山脈のパノラマやクロウフット氷河や「カナディアンロッキーの宝石」にたとえられるレイクヒルズやバイトレイク等、大自然の魅力を存分に堪能できます。

また、A、Bコース共にモンリオールでは日本人親善朝食会と北海道ナイトを計画しておりますのでご家族お誘いあわせになり参加して世界中から集まるロータリーの友人と知り合い、新たな感動をみつけませんか。

尚、旅行費用等確定するには12月中旬を予定しておりますので第二報はガバナー月信1月号または2月号を予定しております。

〔申込締切〕

2010年1月22日(金)

* 当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機の座席の関係から、先着順で受け付け満員になり次第締め切らせて頂きます。

〔お問合せ・お申込先〕

株式会社 日本旅行北海道 札幌支店

札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階

電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174

担当：斉藤・西村



(イメージ) 写真提供/ケベック州観光局

【国際大会登録に関して】

国際大会の第一次締切日は2009年12月15日です。事前登録の最終締切りは3月31日で、それ以降現地での登録となります。事前登録は登録書式を日本事務局奉仕室までクラブでお取り纏めの上お送り戴いてもかまいません。その際、登録料のお支払いはクレジットカードもしくは銀行振込みとなります。

銀行振込みの場合は、下記の口座にお振込みの上、登録書式をご送付下さい。

(国際ロータリー取り扱い分専用口座) 振込先：三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244
名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

また、事前登録の締切日は、厳格に定められております。登録書式も締切日必着でございますし、登録料も上記口座に締切日までに着金していることが必要となります(翌日扱いは無効となります)。

※登録書式は全てアルファベットでご記入下さい。署名は日本語でも結構です。



Aコース行程表

国際大会参加とモンリオール6日間
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

日次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/18(金)	新千歳発	08:15	航空機	国内線にて成田へ	×	×	機
		成田着	09:55		出国審査後、空路シカゴ経由又北米内乗継			
		成田発	11:45	航空機	にてモンリオールへ(日付変更線通過)	機	×	×
		シカゴ着	09:15					
		シカゴ発	11:15	航空機		機	×	×
		モンリオール着	14:25		着後: 入国審査を済ませ、ホテルへ (モンリオール泊)	機	×	×
2	6/19(土)	モンリオール滞	終日		■終日自由行動 (モンリオール泊)	ホテル	×	×
3	6/20(日)	モンリオール滞	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(19:00~予定) (モンリオール泊)	ホテル	×	×
4	6/21(月)	モンリオール滞	終日		■終日自由行動 (モンリオール泊)	ホテル	×	×
5	6/22(火)	モンリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、	ホテル	機	機
		ニューヨーク着	11:30		ニューヨーク又は北米内乗継にて帰国の途へ			
		ニューヨーク発	13:10	航空機		機	×	×
		成田着	16:10		入国手続き後、国内線にて新千歳へ	機	×	×
		成田発	18:40	航空機		機	×	×
		新千歳着	20:25		着後解散	機	×	×

※ご注意: 発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル: デルタセンタービル、ハイアット・モンリオール又は同等クラス。★最少催行人員: 6名。★添乗員: 現地係員がご案内いたします。

Bコース行程表

国際大会参加とバンクーバー・カナディアンロッキー周遊8日間コース
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

日次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/15(火)	新千歳発	13:45	航空機	国内線にて成田へ	×	×	機
		成田着	15:25		出国審査後、空路バンクーバー経由へ			
		成田発	18:05	航空機	(日付変更線通過)	機	○	○
		バンクーバー着	10:45	専用バス	着後: バンクーバー市内観光とキャピラノ深谷観光 (バンクーバー泊)	機	○	○
2	6/16(水)	バンクーバー滞	終日	フェリー	〔終日〕ブッチャートガーデンとビクトリア市内観光。フェリーでビクトリアへ。四季折々の花々が美しいブッチャートガーデン・州会議事堂を観光 (バンクーバー泊)	ホテル	○	○
3	6/17(木)	バンクーバー発	午前	航空機	空路、カナディアンロッキーの玄関口、カルガリーへ	ホテル	○	○
		カルガリー着	午後	バス	着後: パンフへ ◆サルファー山の展望台からロッキーの山々のパノラマをお楽しみいただきます。			
		パンフ着			着後: ホテルへ (パンフ泊)	ホテル	○	○
4	6/18(金)	バンフカナディアンロッキー滞	終日	専用バス	〔終日〕世界遺産カナディアンロッキー観光。◆クローフト氷河の雄大な山々の景観や、「カナディアンロッキーの宝石」とたたえられるレイクルイーズ、ペイトレイク等の魅力を存分にお楽しみください。コロンビア大氷原では、雪上車による観光をお楽しみください。(バンフ泊)	ホテル	○	○
5	6/19(土)	バンフカルガリー発	午前	航空機	バスにてカルガリーへ	ホテル	○	○
		カルガリー着	午後	航空機	空路、モンリオールへ(カナダ国内乗継あり)			
		モンリオール着			着後: ホテルへ (モンリオール泊)	ホテル	○	○
6	6/20(日)	モンリオール滞	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(19:00~予定) (モンリオール泊)	ホテル	○	○
7	6/21(月)	モンリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、	ホテル	機	機
		ニューヨーク着	11:30		ニューヨーク又は北米内乗継にて帰国の途へ			
		ニューヨーク発	13:10	航空機		機	×	×
		成田着	16:10		入国手続き後、国内線にて新千歳へ	機	×	×
		成田発	18:40	航空機		機	×	×
		新千歳着	20:25		着後解散	機	×	×

※ご注意: 発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル

*バンクーバー: ハイアットリージェンシー、シェラトン・ウォールセンター又は同等クラス。*パンフ: パンフ・パークロッジ、フォックスホテル又は同等クラス。

*モンリオール: デルタセンタービル、ハイアット・モンリオール又は同等クラス。

★最少催行人員: 15名。★添乗員: 全行程同行いたします。

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別RC	11月12日(木)、11月19日(木) 移動例会 12:30～ 場所: セレモニーホールはやし野幌(江別市野幌町54-5) 11月26日(木)の例会を11月28日(土)の第3グループIMに変更
岩見沢東RC	11月 3日(火) 休会
小樽RC	11月 3日(火) 休会
千歳RC	11月12日(木)の例会を11月 1日(日)分収造林作業に変更
千歳セントラルRC	11月 3日(火) 休会 11月10日(火) 夜間例会「創立19周年&通算900回記念例会」 場所: ホテル日航千歳 11月17日(火) 通常例会に変更
室蘭東RC	11月18日(水) 休会 11月25日(水)の例会を下記に変更 11月28日(土)～29日(日) 移動例会 場所: 登別万世閣
室蘭北RC	11月 3日(火) 休会
白老RC	11月 3日(火) 休会 11月10日(火)の例会を下記に変更 11月 6日(金) 移動例会「仙台西ロータリークラブ訪問」12:30～ 場所: 仙台エクセルホテル東急(仙台市青葉区一番町2-9-25)

「兵庫県西・北部豪雨災害」と「台湾台風災害」義援金報告
～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました『兵庫県西・北部豪雨災害』と『台湾台風災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の50クラブから総額1,726,081円を頂戴し10月7日に兵庫県西・北部豪雨災害義援金口座に873,541円、台湾台風災害義援金口座に852,540円をお振込み致しましたのでご報告致します。

深川RC、妹背牛RC、赤平RC、芦別RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、倶知安RC、小樽南RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、長沼RC、由仁RC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭北RC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

新入会員の紹介
(敬称略)



たちばな あつり
橋 功記
(北広島RC)
入会/7月1日
職業分類/弁護士



なかむら きみひこ
中村 公彦
(余市RC)
入会/7月1日
職業分類/総合建設業



せと ゆきお
瀬戸 行雄
(室蘭北RC)
入会/8月18日
職業分類/セメント輸送



いとう みのも
伊藤 稔
(恵庭RC)
入会/9月2日
職業分類/生命保険代理店



ふじた よしひろ
佛田 好広
(岩見沢RC)
入会/9月3日
職業分類/一般土木建築工事



つるさわ きみはる
敦澤 君治
(恵庭RC)
入会/9月9日
職業分類/産業廃棄物処理業



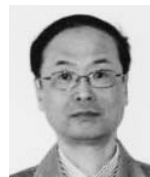
ふくだ ゆうじ
福田 雄二
(苫小牧RC)
入会/9月18日
職業分類/一般建設工事



はやし ひでき
林 秀樹
(芦別RC)
入会/9月24日
職業分類/タクシー業



かみさんこうこうすけ
上参郷光祐
(小樽RC)
入会/10月6日
職業分類/灯油配布



あおき たけひさ
青木 威尚
(苫小牧RC)
入会/10月8日
職業分類/環境リサイクル



2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡 邊 恭 久
地区ガバナー指名委員長 丸 山 淳 士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考]国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

インターアクトクラブ活動

★ブログ開設のお知らせと ブログ閲覧のお願い★

地区インターアクト委員会
委員長 若松 孝
Takashi Wakamatsu
(札幌モーニングRC)

このたびインターアクトクラブでは活動内容を少しでも知っていただこうと、ブログを開いたしました。パソコンもしくは携帯電話で閲覧いただけます。

* 閲覧の方法

1. パソコン、携帯電話で直接
URL:<http://ameblo.jp/2510interact/>を入力する。
2. パソコン又は携帯の検索サイトで「アメーバブログ」を検索し、「アメーバブログ」内で「ロータリー」または「インターアクトクラブ」で検索する。

文庫 通信

(265号)

ロータリー情報 — ガバナー月信他から

書 名	著者/地区	発行年	ページ	
◆「ロータリーの魅力について」	牧田静二(D.2620)	2009	2P	※
◆「大連RCの『ロータリー宣言』(大連宣言)について」	岩淵 均(D.2770)	2009	2P	※
◆「よねやま雑感」	板橋敏雄(D.2550)	2009	1P	※
◆「三井報恩会(初代理事長米山梅吉)の結核撲滅と救済援助」	長谷川了	2009	3P	※
◆「概説-我が国に於ける戦前のロータリー運動」	金子秀隆	2009	6P	※
◆「ロータリーを語る-ロータリー鼎談」	足立功一(D.2500IM報告書)	2009	4P	※
◆「ロータリアンが取り組んだ平和への道標」	坂本俊雄	2009	42P	※
◆「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝②」	戸田 孝(D.2660)	2009	228P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009年11月のロータリーレート 1ドル90円



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

札幌真駒内RC 吉村 洋吉 会員 9月24日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 荒木 英雄 会員(1回) 9月30日

倉増 秀昭 会員(4回) 9月30日

札幌南RC クリステンセントーキル 会員(3回) 9月18日

平 昌夫 会員(1回) 9月18日

田嶋 久嗣 会員(1回) 9月18日

苫小牧北RC 紺野 誠一 会員(6回) 9月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

札幌南RC 勿利地トキ 会員(10回) 9月16日

村山 圭一 会員(1回) 9月16日

佐藤源五郎 会員(5回) 9月16日

田嶋 久嗣 会員(1回) 9月16日

浦河RC 秋山 靖典 会員(1回) 9月17日

福士 幹紀 会員(1回) 9月17日

小関 孝雄 会員(1回) 9月17日

奥田 宗夫 会員(1回) 9月17日

武田 豊 会員(1回) 9月17日

種本 尚志 会員(1回) 9月17日

函館五稜郭RC 青田 基 会員(2回) 9月25日

濱中 公也 会員(2回) 9月25日

金道 雅樹 会員(2回) 9月25日

工藤 将幸 会員(1回) 9月25日

函館五稜郭RC 村田 信吾 会員(2回) 9月25日

中村 喜憲 会員(3回) 9月25日

中川 正光 会員(2回) 9月25日

上加 淳悦 会員(2回) 9月25日

千葉 光夫 会員(2回) 9月25日

函館北RC 小笠原 孝 会員(12回) 9月17日

苫小牧北RC 伊藤 長英 会員(34回) 9月28日

丸屋 憲一 会員(7回) 9月28日

谷岡 裕司 会員(5回) 9月28日

山本 秀子 会員(3回) 9月28日

■米山功労クラブ

札幌南RC 34回 9月16日

函館五稜郭RC 18回 9月25日

苫小牧北RC 16回 9月28日

ポール・ハリス・フェローメダル購入方法について

2009-10年度よりポール・ハリス・フェローのメダルが有料(\$15)になりました。ご購入される方は別途お申し込みが必要となりましたが、その購入方法についてお知らせします。

先月、「ポール・ハリス・フェローメダル注文書」にて注文するとご案内いたしましたが、今後は前払いにて資料室(Tel: 03-3903-3194, Fax: 03-3903-3781)よりお求め下さい。

ご注文の流れは下記の通りです。

1. 電話、FAX等、ご都合の良い方法でご注文下さい。
2. 在庫確認後、折り返し、請求額と振込口座をご連絡申し上げます。
3. 入金確認後、領収書を同封して、発送させていただきます。

国際ロータリー 日本事務局
財団室 長 淵 孝 久
Tel. 03-3903-3192 Fax.03-3903-3781



地区カレンダー(11月・12月)

11月 ローターリー財団月間		12月 家族月間	
1(日)		1(火)	
2(月)		2(水)	
3(火)	文化の日	3(木)	
4(水)		4(金)	
5(木)	公式訪問(札幌東RC)	5(土)	
6(金)		6(日)	
7(土)	2009年度米山学友会定時総会・懇親会(札幌)	7(月)	
8(日)		8(火)	
9(月)		9(水)	
10(火)	公式訪問(当別RC)	10(木)	
11(水)		11(金)	
12(木)	公式訪問(芦別RC、美唄RC)	12(土)	次期地区ガバナー補佐会議(札幌)
13(金)		13(日)	
14(土)		14(月)	登別RC創立40周年記念式典(登別)
15(日)		15(火)	
16(月)		16(水)	
17(火)	ロータリー財団地域セミナー(東京)	17(木)	
18(水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)	18(金)	
		19(土)	
19(木)	ロータリー研究会(東京)	20(日)	
20(金)	ロータリー研究会(東京)	21(月)	
21(土)		22(火)	
22(日)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳)	23(水)	天皇誕生日
23(月)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳) 勤労感謝の日	24(木)	
		25(金)	
24(火)	公式訪問(赤平RC)	26(土)	
25(水)	公式訪問(砂川RC)	27(日)	
26(木)	公式訪問(滝川RC)	28(月)	
27(金)		29(火)	
28(土)	第3グループIM(岩見沢)	30(水)	
29(日)		31(木)	
30(月)			

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.09.30	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	88.33
	羽幌	4	45	48	3	1	86.94
	妹背牛	4	9	9	0	0	80.55
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	1	87.07
	小計		138	144	6	4	84.94
2	赤平	4	29	32	3	1	81.00
	芦別	4	37	37	0	0	84.44
	砂川	4	55	55	0	0	96.77
	滝川	4	96	96	0	2	81.00
	小計		217	220	3	3	85.80
3	美唄	4	33	33	0	0	92.60
	江別	3	34	34	0	1	87.25
	江別西	4	30	30	0	3	75.00
	岩見沢	4	85	88	3	0	93.32
	岩見沢東	4	33	35	2	4	86.15
	栗沢	4	24	24	0	1	93.60
	栗山	4	27	28	1	2	97.04
	当別	4	31	31	0	0	80.85
	小計		297	303	6	11	88.23
4	札幌幌	4	102	119	17	0	96.53
	札幌あげぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	89.47
	札幌北	3	43	42	-1	5	96.03
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	78.03
	札幌幌西	4	58	58	0	4	94.19
	札幌西北	4	40	40	0	5	98.70
	札幌手稲	3	33	35	2	2	90.28
	小計		359	378	19	21	92.90
5	札幌東	4	118	122	4	0	97.83
	札幌清田	4	18	18	0	4	93.33
	札幌幌南	3	61	64	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	99.17
	札幌南	3	80	82	2	0	98.78
	札幌大通公園	3	12	13	1	4	84.90
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	77.60
	新札幌	4	28	28	0	2	80.62
	小計		358	368	10	19	91.53
6	岩内	4	19	21	2	0	89.32
	倶知安	4	40	40	0	4	75.50
	小樽	4	65	68	3	0	90.73
	小樽南	4	76	76	0	1	88.39
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	3	9	9	0	0	85.18
	余市	4	41	41	0	4	86.00
	小計		272	278	6	11	83.87

9月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,782人(104人)
増加会員数	82人
当月平均出席率	85.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.09.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	77.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	77.50
	恵庭	4	35	40	5	1	84.77
	北広島	4	16	16	0	0	90.63
	長沼	3	20	20	0	3	81.60
	由仁	4	11	11	0	1	80.00
	小計		176	183	7	10	81.95
8	えりも	4	21	22	1	0	85.22
	三石	3	15	15	0	1	91.10
	様似	4	22	23	1	1	70.60
	静内	4	70	76	6	1	86.12
	浦河	4	36	36	0	2	92.36
	小計		164	172	8	5	85.08
9	伊達	4	55	55	0	0	80.00
	室蘭	4	41	44	3	0	100.00
	室蘭東	4	36	39	3	0	82.70
	室蘭北	5	35	37	2	3	100.00
	登別	5	31	31	0	1	80.65
	洞爺湖	4	7	7	0	0	100.00
	小計		205	213	8	4	90.56
10	函館	4	83	85	2	0	75.87
	函館亀田	3	42	39	-3	2	93.01
	森	4	34	39	5	0	71.78
	七飯	4	17	17	0	0	70.50
	長万部	4	9	9	0	0	69.35
	函館セントラル	4	31	31	0	1	60.48
	小計		216	220	4	3	73.50
11	江差	4	18	18	0	2	66.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	98.57
	函館東	4	43	44	1	4	85.63
	函館北	4	28	28	0	0	92.06
	北斗	4	17	17	0	1	64.70
	松前	2	5	6	1	0	50.00
	小計		166	168	2	7	76.16
12	白老	4	28	28	0	0	82.00
	苫小牧	4	48	50	2	2	82.29
	苫小牧東	4	27	27	0	2	87.50
	苫小牧北	4	29	30	1	2	100.00
	小計		132	135	3	6	87.95
合計		2,700	2,782	82	104	85.57	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

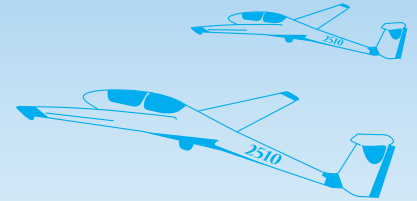
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

12



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1
- 追悼 竹山涼一元RI理事ご逝去☒……………2～5
- 地区大会を省みて☒……………6
- 田口良一RI会長代理ご夫妻をお迎えして☒……………7
- 地区大会記念囲碁大会
地区大会記念ゴルフ大会を終えて☒……………8
- 記念講演を終えて☒……………9
- スパウス(配偶者)・新世代プログラム
そらぶちキッズキャンプへの寄付☒……………10
- ガバナー補佐レポート☒……………11～12
- 第2回台日国際扶輪親善会報告
2009～2010年度RRIMC主催会員増強委員会会議報告☒……………13
- ガバナー公式訪問☒……………14～18
- 第37回ローターアクト地区協議会を終えて☒……………19
- モントリオール国際大会のご案内
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます☒……………20
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
例会日・例会時間・例会場の変更等について☒……………21
- 計報・新入会員の紹介・文献資料室便り☒……………22
- 文庫通信
地区カレンダー(12月・1月)☒……………23
- 出席率・会員数☒……………24

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



公式訪問から

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

7月9日から始めた公式訪問は11月13日現在73クラブ中、70クラブを終え、残り3クラブとなった。訪問は、ガバナー補佐、地区幹事との同行であったが、訪ねたクラブの全ては、とても温かくわれわれを迎えて頂き、その多くは周到な準備と、クラブ資料を用意し、担当のクラブ役員は勿論、クラブ各委員会委員長が同席、説明、そして意見の交換がスムーズに且つ適切に進められた。この訪問で感じたひとつに、それぞれのクラブが独自の味わいを持っていること、地域の文化やクラブの伝統を確実に引き継ぎ、地域に根ざした奉仕活動を永い間ロータリーの名のもとに実践してきたことであった。

例えば5年間一人も退会者なしの長沼、蘭越。クラブの会員が減少傾向の中で第8グループ日高の浦河は5年前に比べ2名、様似は5名、静内は8名と増強をされていた。会員が皆、足並みを揃えてということでは、会員全員が同時にポールハリスフェローを蘭越、ロータリーカードを森、石狩市ボランティア証の交付を受けた札幌はまなす。新入会員に年齢の若い方を入会させ平均年齢を下げた江差52才、函館北斗51才、函館セントラル50才、札幌大通公園は50才であった。創立以来76年以上の歴史がある小樽の会員平均年齢が57才というのは、確実に若い新入会員で増強を図っているのに他なく、地区の平均年齢を遙かに下回っていることに敬意を表したい。また印象に残った小生のこの好みのクラブテーマは「ロータリーは、私たちの心のオアシス」を標語にした札幌南、「良い話、良い食事で例会を楽しもう」の札幌、「美味しい例会」の白老の公式訪問当日は地産のすき焼きで美味だった。例会でラジオ体操をやり、ロータリーソングをクラブで独自に3曲も作り、楽しく有効的な例会をもっている札幌モーニング。クラブフラッグの原画を東郷青児に注文して作った洞爺湖。地域のイベント協賛や手伝いは地方のクラブでは当然求められるが、それぞれのクラブは、そこに応えた地域の奉仕団体としての役割をしっかりと果たしていた。更に余市の「全日本ジャンプ大会」、函館の「ロータリー杯ラグビー大会」などは、地域色豊かな行事でこれを支えていく事も大切な事だと実感したし、札幌東の「ヒブワクチン接種促進運動」は地域に限った運動ではなく、行政には勿論、広く道民や国民に呼びかけてゆく発信活動として評価すべきと感じたことである。町中にロータリーを知って貰おうとロータリーとは何かの両面新聞を作り、折り込みチラシで市内全戸配布した芦別。クラブ独自の奨学金制度を持つ函館、札幌、苫小牧、札幌手稲、函館五稜郭、当別などは、長く実践してきたその継続と成果は、地域に高く評価されている筈である。

この紹介は全クラブの1例には過ぎないが、他にも独特な特色を持ってクラブの活動をしているロータリークラブが多いことを改めて確認をしてきた訪問でもあった。

ロータリーの奉仕はロータリークラブやロータリアンの奉仕の総和であり、その基本はよく見える最も身近な周囲から発展していくものと考えられる。その意味ではクラブの存在している地域からの信頼と期待、あるいは公平でぶれない問題の発見姿勢がこれからより求められるだろうと、各ロータリークラブの活動を公式訪問で見聞きして思ったことであった。

追悼

竹山涼一元RI理事 ご逝去

2009年10月10日午後11時10分ご永眠（享年86歳）



元RI理事
竹山 涼一 氏

- 生年月日（出身地） 1924年 3月24日（札幌市）
- 所属クラブ 札幌南ロータリークラブ
- 勤務先・役職 竹山食品工業（株）取締役会長
- 職業分類 保存食料品製造
- 主な略歴
 - 1943年 小樽高商（現小樽商科大学）卒業
 - 1970年 竹山食品工業（株）取締役社長就任
 - 1989年 藍綬褒章受章
 - 1998年 勲5等瑞宝章叙勲
 - 2003年 竹山食品工業（株）取締役会長就任
- 主なロータリー歴
 - 1956年 札幌南RC入会
 - 1977～78年度 札幌南RC会長（第22代）
 - 1978年 「わがロータリーへの道・抄録」（翻訳・出版）
 - 1983～84年度 RI第2510地区ガバナー
 - 1984年 国際ロータリー会長より地区ガバナー賞を受賞
 - 1989年 RI規定審議会代表議員
 - 1993～94年度 RI世界親睦活動アジア コーディネーター
 - 1997～99年 国際ロータリー理事
 - 2006年 RI会長より50年永続会員表彰
 - 2009年10月 8日 最後の例会出席登録
 - 米山功労者マルチプル（3回）
 - ロータリー財団大口寄付者

追悼記

故竹山涼一元RI理事を偲んで

国際ロータリー 第2510地区
ガバナー 渡 邊 恭 久
(滝川IRC)

故竹山涼一元国際ロータリー理事を偲ぶ会が10月22日札幌パークホテルで生前故人とご交誼のあった方々、会社関係の方々とともに、独立してロータリー関係者の受付が設置され、氏のホームクラブである札幌南クラブの会長はじめ会員が参会のロータリアンを案内し、行われた。偲ぶ会の大きな会場には竹山涼一元理事の遺影が真っ白い菊の花に囲まれ、笑顔で「皆さん有り難う」と参会者に語りかけていた。参会者は祭壇の前で

献花。ご挨拶でお立ちになっておられた令夫人はじめご長男、ご遺族にご弔問とお悔やみを申し上げ、別室にしつらえた会場で食事を頂きながら、放映されていた故竹山元RI理事の在りし日のDVDを通し、竹山涼一氏を偲ぶお別れの会であった。

黒田正宏RI理事はジョン・ケニー国際ロータリー会長名代として八戸から、また田中作治元国際ロータリー理事は栃木からもこの偲ぶ会にお駆けつけ下さり、また地区内クラブから多数のロータリアンが参会するなど、さすが元理事のお別れ会だなど、その偉業を改めて認識をしたことでもあった。



竹山涼一元国際ロータリー理事には、私がガバナーノミニーに指名された2007年までは、地方の単なるロータリアンと言うことでもあり、竹山元理事は正直に雲の上のような存在で、お会いして直接お話をする機会は勿論なかった事ですが、小生がガバナー諮問委員会でノミニーに指名されたことから2007年2月竹山元理事の札幌の会社にご挨拶にお伺いしたものでした。残念ながら氏はご不在で、会社の方に宜しくと伝言をお願いし辞しましたところ、早速竹山氏から滝川にお電話をいただき、更には後日、激励のお手紙を頂戴したことでした。「大変な仕事だけれど指名されたことは皆さんの期待ですから、健康には留意して頑張って下さい」と言うようなお手紙だったと思います。

以来毎年3～4回開催されるガバナー諮問委員会や、折に触れお会いしたときに感じるオーラや緊張感の中でご高見を拝聴したり、またご指導を頂戴したものです。氏はロータリーについてリーダーとしての深いご体験は勿論、ポール・ハリスについての翻訳もなされ、熱心に研究をしてこられた大先輩でありました。まだまだお話を聞かねばならないことがたくさん、我々に遺されてついに旅だたれました。「地区ロータリーの巨星落つ」まさにその言葉が相応しい氏のご逝去であります。

ロータリー環境は、RIもR財団も地区もクラブも厳しい時代を迎えています。当地区も竹山涼一元国際ロータリー理事のお力をお借りしたく思っていた矢先のことでご逝去は惜しみて余るものがあります。どうか天空よりRI第2510地区をお守り下さいますようお願いしご冥福をお祈りいたします。合掌

竹山先生を偲んで

国際ロータリー 第2520地区
 パストガバナー **田 口 良 一**
 (盛岡北RC)

月日の流れは速いと申しますが、竹山先生がご逝去されてから、はや2ヶ月になろうとしています。心から哀悼の意を表します。

去る9月、私が第2510地区の地区大会にRI会長代理として何うことになったことを、お電話でご報告したところ、「よかったね」と仰ったやさしいお声が私の耳に残っています。地区大会ではお会いできませんでしたが、かならずいつかお目に掛かれることと思っておりました。今となってはまことに残念でなりません。

私が北海道出身ということで、大変親身になってご指導頂きました。

1996年、盛岡で地区大会が開催され、RI会長代理として竹山先生がお出でになりました。会長代理メッセージの中で先生はご自身の体験を話されておられます。

1956年32才で札幌南ロータリークラブに入会、ロータリアンとしてかならずしも優等生ではなかった、多分に懐疑的であったと申されています。そしてそのときにポール・ハリスの自叙伝に出会い、まだ日本では翻訳されていなかったその本を翻訳、先生はそこではじめてロータリーを感じることが出来たと話されています。

先生のメッセージの中で特に「新入会員が入ってよかったとしみじみ思うクラブづくりを皆さんのクラブの中で考えてみて下さい」と問いかけておられます。まさに竹山先生のこころの内からのことばではなかったでしょうか。いまま先生のこのことばは、地区で語り継がれています。

私と妻は竹山先生のお誘いで、ポール・ハリス没後50周年の追悼式に参加致しました。



ポール・ハリスの眠るマウント・ホープ墓地での追悼式で竹山先生は、仏教のお祈りを捧げました。

竹山先生のご案内で、私たちはポール・ハリスの住んでいた家に立ち寄ったり、またエバンストンのRI本部の中を見学したりいたしました。竹山先生のライフワークであった「歴史と伝統の会」のメンバーの塚原PG、矢橋PGと一緒でした。夜には晩餐会が500人以上のロータリアンと家族の人たちで開催され、ハーブ・ブラウン会長からルイス・ジアイ会長へと「リーダーシップのたいまつ」が引き渡されました。

次々と走馬燈のように思い出が蘇って参ります。このような貴重な体験をさせていただいたのも、竹山先生との出会いがあったからこそと改めて感謝しています。

温厚でやさしく、いつも笑顔の先生、いつも奥さまにやさしく寄り添っておられた先生、いままでのご指導ありがとうございました。どうぞ、安らかにお眠り下さい。

合掌

謹んで竹山元RI理事のご冥福をお祈りいたします

国際ロータリー 第2510地区
パストガバナー **塚原 房樹**
(札幌東RC)

今回、元国際ロータリー理事竹山様の突然の訃報に接して驚きました。心よりお悔やみを申し上げます。竹山理事は札幌南RCに1956年にご入会、1983年ガバナー、1997-99年度の国際ロータリー理事にご就任されました。

国際ロータリーの理事として豊富な国際的人脈をお持ちになり、また内外のロータリー文献にも通じ、当地区の優れた指導者としてばかりではなく、日本のロータリー発展のために多大の貢献をなされました。我々は大変大事な指導者を失ってしまいました。

私の30年のロータリー人生を振り返ると、実に多くのことを竹山理事から学びました。中でも私の印象に深いことは「ロータリー歴史と伝統の会」で一緒に活動させていただいたことです。「ロータリー歴史と伝統の会」の目的はロータリーの史跡を永久に保存維持することでした。

1978年竹山理事は「わがロータリーへの道」というポール・ハリスの自叙伝を初めて邦訳されました。この本はポール・ハリスが少年時代を過ごしたウォーリング・フォード村の人情と豊かな自然が広く紹介されています。この本は多くのロータリアンにロータリーの原点を訓え、また感銘を与えてくれました。

この翻訳が、ご自身がロータリーの歴史を究めるきっかけとなりました。

そして長い間その存在が分からなかったハリスがかつて住んでいたシカゴ郊外の自宅を突き止められ、その買い取り保存運動が理事のライフワークとなりました。そのために「ロータリー歴史と伝統の会」を立ち上げ本部理事に就任され、ハリス邸の購入に精力的に貢献されました。30万\$の購入資金を集めるために韓国、台湾に支部を作られました。よくお伴をしてシカゴのハリス邸を尋ねました。竹山理事のご努力が実り、ハリス邸はロータリー100周年を機に永久保存されることになりました。

竹山理事は国際ロータリーより、いくたの奉仕活動の実践により数々の表彰を受けられました。中でも「国際ロータリー在籍50年会員表彰」は大きな勲章といえるでしょう。「立派な規則や組織だけでは今日のロータリーはあり得なかつたろう。ポール・ハリスの心に共鳴した人々がごたまのごとく反応し合った結果であろう」この言葉の通り、竹山理事はロータリーの心を大切にされた方でした。ブルーマウンテンのお好きだった個人のご冥福を謹んでお祈りしてお別れの言葉とします。



竹山先生は1996年、南部PGの地区大会の時、盛岡にRI会長代理としてお越し頂いています。

実は、私たちは、同じ日に開催された大宮の地区2770地区にRI会長代理として行っていたので竹山先生とはお会い出来ませんでした。

南部PGは靖国神社の宮司を務められていたのですが、この1月に靖国神社でお勤め中、急逝されました。

すばらしいパストガバナーでした。

記録を見ますと南部ガバナーの地区大会は竹山先生をRI会長代理としてお迎えして大変盛大な地区大会でした。

1996年ですから竹山先生はRI理事エレクトでした。

私たちがシカゴのポール・ハリス没後50周年にご一緒したのは、カルガリー大会の会場で突然「田口さん、一緒に行きましょう」とお誘いされ、急遽カナダからシカゴに飛んだのです。

竹山先生は私たちのホテルも用意して下さいました。

夏頃、奥さまから懐かしい写真です、とお便りが来ました。

南部PGと一緒にの写真でした。早速お電話して南部さんが亡くなったことなどをお話ししました。その時も少し竹山先生ともお話ししました。

2510地区は竹山先生がお亡くなりになって当時のPGは伊藤義郎先生だけになりましたね。

でも若い年度のPGの皆様が大勢おられますのできっとますます充実した地区になられることでしょう。写真は1996年カルガリー大会の後、竹山先生のお供をしてシカゴに行った時のものです。

(盛岡北RC会長エレクト 田口 絢子)



地区大会回顧

地区大会を省みて

地区大会実行委員会

副幹事 **松原 章**

Akira Matsubara

「無事終わった！」と全ての催事が終了した時の達成感と脱力感とのほざまの中で、一番最初に出てきた言葉でした。

振りかえてみますと、昨年10月26日札幌で開催された地区大会での本会議において、次期ホストクラブの紹介から約1年間、短くもあり長くもあったなという思いでいっぱいです。

一方滝川クラブでは、その年の11月25日に地区大会実行委員会の最初の役員会が開催し、各部会の組織を編成し、会員全員が実行委員会に所属し、それからは毎月の様に部会・実行委員会を昼夜を問わず開催され、成功に向け、実行委員長の卓越した指導力のもと、会員一人一人が一致団結し、それぞれの立場で協力を頂きその結果が滝川クラブ創立50年で初めての地区大会でありましたが、素晴らしい結果を導いたのではないかと考えております。

又、ご協力いただきました関係各位に心から感謝いたします。

さて私の担当は、10月3日に開催されました「RI会長代理歓迎晩餐会」の部会長に任命され、前年の地区大会に参加をし多くの事を学習したつもりでしたが、いざ引き受けてみますと準備段階から解決すべき諸問題があることに驚きました。地方都市の開催ですので参加される会員皆様にご満足頂けるのかと悩みましたが、実行委員会役員や部会部員に助けられ一つ一つ解決をした事が、今一番思い出しますし、人生の中でも貴重な事を体験させて頂いたと感謝をしております。

又、もう一つ私の担当が、4日に開催された本会議での司会をさせていただいた事であります。当日は緊張と独特な雰囲気につつまれた会場での司会も何とか無事に終えたことは私にとっては、素晴らしい経験をしたと感じております。

今振り返ってこう思います。

「努力した者が、全て報われるとは限らない。しかし、成功した者はすべからく努力している」



地区大会回顧

田口良一RI会長代理ご夫妻をお迎えして

柳 義文

Yoshifumi Yanagi
(滝川IRC)

滝川IRC初のガバナー、渡邊恭久ガバナーが誕生し、RI会長代理田口良一様、絢子様ご夫妻をお迎えして、RI第2510地区地区大会が道央の地方都市、滝川に於いて、地区内外から1480名が集いて開催されました。

滝川クラブ会員が一丸となり、準備を進めてきた甲斐があって、無事に終了出来たことに安堵し、滝川クラブの川口会長はじめ、担当地区幹事及び大会関係者総ての皆様へ感謝申し上げます。

昨年7月、滝川IRCは創立50周年記念の節目を祝い、迎えた本年は念願のガバナー輩出に伴い地区大会開催となり、これらの大事業に取り組み続ける渡邊ガバナーの決意の雄姿はクラブ全体に勇気をもたらし、難題も多い地方都市での大会主管クラブにあっては、終極、「真心のおもてなし」を目指して準備が進められた。

大会も近づいてきた折りにガバナーよりエイドの特命を受けたのでした。10月1日、新千歳空港に降り立たれたRI会長代理田口良一様、絢子様ご夫妻を、渡邊ガバナーと共に迎えて致しました。

好天の当日は、渡邊ガバナーが今年度重点目標の一番に掲げている『小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を応援しよう』の施設の在る丸加高原キャンプ場へご案内申し上げます。

ご夫妻のキッズキャンプに対する並々ならぬ熱い思いを感じることが出来ました。ご熱心な質問は、難病に苦しむ子ども達への限りない愛情を感じさせるものでした。この時、真のロータリアンとしてのお姿を学ばせて頂きました。ご夫妻の「そらぷちキッズキャンプ」へのこの思いは、大会当日のRI会長代理としてのご挨拶の中でも表明され、「そらぷちキッズキャンプ」への多額なご寄付という形で表現されました。

田口ご夫妻には長年に亘る国際ロータリー歴や、崇高な見識をお持ちのPastガバナーとして、多くのご指導を頂きましたし、本大会参加者には幾多の感動を与えられました。

慣れないエイドの役目も、ご夫妻の温かいお気遣いのお言葉とご指導のもとで、どうにか終えることが出来ました。この度の貴重な出会いに、感謝以外の言葉は見つかりません。最後に、渡邊ガバナーのお言葉を借りて「ロータリークラブ及びロータリアンにとって、ロータリーを発展させる最も有効なチャンス」として、滝川IRCは多くの事を学んだ有意義な一大イベントとして、長く語り継がれるであろうことを記して置きたいと思います。





地区大会回顧

地区大会記念 囲碁大会

囲碁大会部会長
伊藤 和 男

平成21年9月20日、今年度のRI第2510地区「地区大会」プログラムの先頭を切って、記念囲碁大会が日本棋院北海道本部囲碁会館で開催された。

大会は、神部地区代表幹事および篠島地区大会実行委員長の挨拶で始まり26名の登録参加のもと、A・Bクラスに分かれての対戦となった。

力を出し切ったの5時間半にもおよぶ熱戦が繰り広げられ、場所を近隣のKKRホテル札幌に移動し表彰式と懇親会が開催された。

上位成績は次のとおり。

	Aクラス		Bクラス	
優勝	戸井 敏夫	六段(札幌幌南RC)	中垣 陽一	二段(滝川RC)
準優勝	伊藤 長英	六段(苫小牧北RC)	石田 実	三段(室蘭東RC)
3位	高島 英寿	六段(札幌幌南RC)	戸部 謙一	初段(札幌西RC)
4位	五十嵐達明	四段(滝川RC)	日下 健三	初段(恵庭RC)
5位	南部 昭憲	四段(札幌真駒内RC)	伊藤 進	初段(恵庭RC)

表彰式および懇親会においては、毎年度ご参加いただいている伊藤長英DPGの講評と乾杯で宴に入った。表彰式を終えると恒例の優勝者の喜びの挨拶や、次年度ホストクラブ(札幌RC)吉田副会長による次年度大会へ向けての意気込みがご披露されるなど、終始和やかなうちにも記念囲碁大会の全課程が修了した。

囲碁と言う競技は、碁石のごとく白黒をつける真剣勝負であるが、懇親会では趣味を同じくするロータリアン同士の友情と懇親を深める「中間色」に思える。

この記念囲碁大会の開催にあたり、囲碁会館のスタッフは勿論多くの方にお世話になりました。特に、札幌幌南RCの創立45周年記念囲碁大会が共催され、花を添えていただいたことに感謝いたします。

地区大会記念ゴルフ大会を終えて

ゴルフ大会部会長
佐藤 茂

平成21年10月2日降水確率60パーセントの朝、今日雨が降れば何人のキャンセルが出るだろう、組合せをどうしようか、懇親会また表彰等いろいろと考えながらゴルフ場に向かうと意外と天気を持ちそうなお空模様なので一安心。

受付準備をしながら今日雨が降っていないのは部会長の私の日ごろの素行の良さの賜物だと冗談を言いながらも、内心は最後まで降らないでほしいと思いながらセスナ機から始球式のボールを落下するのにセスナ機と地上との無線連絡をし、無事に成功して拍手喝采を頂きパイロットの当クラブ池田会員もたいへん喜んでおりました。

あとは渡邊ガバナー、川口会長の始球式を経て参加メンバーが順次スタートしていけば取り合えず50%は成功。

71名のエントリーを頂き、当日は全員参加していただきました。遠くは三時間近くも車を運転して来て頂いたメンバーもあり、心より感謝を申し上げます。最後の二組が雨に当たったのはご勘弁頂ければ幸いです。

準備にそれなりの苦労はありましたが終わってしまえば全部忘れえました。

A・Bクラス分けの分け方が最後まで決まらず、打合せをしているときにふと出た言葉。「自分の成績である程度順位は想像付くよね、真ん中位だと拍手している方が多いよな、真ん中で分けると楽しみが出るんだけどな。」その言葉が決定打になり今回のクラス分けをさせて頂きました。

優勝賞品「米一俵」いかがでしたか。地方からいらっしゃるのに持って帰るのが大変ではないかと思いつつ、滝川産の賞品を出したいとの思いから「滝川産ななつぼし」を選ばさせて頂きました。

急遽、表彰式に田口良一RI会長代理ご夫妻がご出席頂けることになり、ご挨拶のお願い、またプレゼントのお願いを快諾頂きありがとうございます。

今回プレーして頂いた空知カントリークラブは山岳コースで思うようにスコアが出なかったかとは思いますが、お近くにお立ち寄りの際は地区大会を思い出して是非再度挑戦してみてください。

参加頂いた皆さん、ありがとうございました。



地区大会回顧

記念講演を終えて

記念講演部会長 三品優次

国際ロータリー第2510地区大会が、人口44,000人の滝川市に於いて10月3、4日開催された。

私は、対応に苦慮しながら脚本家の倉本聰氏をお迎えし「あたり前の暮らしを求めて」と題し講演していただきました。

倉本先生は富良野塾を26年維持していましたが、来年幕を降ろします。開塾にあたり2つの掟を決め、その一つは借金をしないこと。そのために開塾時に所持していた400万円が無くなれば活動を中止し、収入が出来れば再び始めるという繰り返しで現在に至る。二つ目は、行政の補助を受けない。補助を受けると管理責任者が発生し、その処理に時間が取られすぎることが理由であり、現実的に塾生には自己責任を基本とし26年間いろいろな事故が発生したが保護者も含めトラブルは一つもなかったことが26年間塾の存続となった最大要因となったこと。

人間が生活する上で大切な、水の問題が開塾2年目で発生した。湧き水を利用していたが、まったく水が出なくなった。原因不明ですが上流で大規模な森林伐採が行われていた。水がめとなっている森の重要性に目を向けている日高地区の漁業者は森作りに力をいれている。カナダではたくさんの鮭が上がっていき熊がエサとし鳥も食べます。森は食い散らかしたエサで一杯になり、それが森林を育てる栄養素になる。この様な森は他の森と比べ50%生育が早くなり、海と森は共存関係にあるが、日本の現況はダム、砂防ダムで海と森の関係を断っている。

森林はもう一つ重要な酸素供給の役割をはたす。葉っぱを忘れ売買される材木をどんどん伐採し森を荒らしている。地球は先人からの借り物です。自然からの利子だけ利用で終わらせないで今は元金に手を付け、このままでは地球が壊れる。



現代は表面上進歩している様に思いますが、心がそれについて来ていない感じを受けている。日本ではいろいろな事件が多発していますが、それに起因している様に思います。

皆様もたまには考える時間を作ってほしいです。

記念講演会に出席していただいたロータリアンの皆様、至らぬところがたくさんあったと思いますが、お許し下さい。

地区大会回顧

スパウス(配偶者)・新世代プログラム

新世代担当部会長 **山崎 修**

接待・スパウス部会長 **米倉 慎一**

2009年10月4日(日)午前11時30分～午後4時00分

秋風が心地良い中、スパウスと新世代で総勢55名の皆様にご参加いただきました。

本会議場を予定時刻より若干遅れ気味で出発いたしました。目指すは滝川が一望できる丸加高原。ちょうどこの時期は、チョッチャンこと黒柳朝さん(黒柳徹子さん母)がきっかけで滝川市の“市の花”となったコスモスの花が丸加高原を彩っておりました。参加者からは滝川市中心部からこんな近くに、大自然と牧歌的な雰囲気が味わえる高原があるなんて素晴らしいという感嘆のお声も頂戴いたしました。各々の皆様がコスモス畑の中で写真撮影などを楽しみながら丸加高原の景観を楽しんで頂いたようです。

その後、丸加高原伝習館にて、滝川の食材や特産を生かしたコースランチを堪能していただきました。

その後、注目の「そらぷちキッズキャンプ」の見学に向かいました。このキャンプの設立のため現場の中心的人物として活躍されています佐々木健一郎氏に「そらぷちキッズキャンプ」の理念や活動内容をスライドや動画を交えながら講演頂きました。あいにく雨天のため、昨年滝川RCがお手伝いさせていただき完成した「そらぷち木道広場」にはご案内は出来ませんでしたが、そらぷちの社会的な意義などは皆様にも伝わったと確信しています。新世代の参加者の中には、是非ボランティアでキャンプに参加したいという方もいらっしゃいました。雨脚が強まる中、この日最後の目的地の赤平市にある靴「いたがき」本店に見学に行きました。ここではすべての製品が自社加工ということで、靴の製造工程を皮の素材から実演を交えながら丁寧に説明をして頂きました。4時間半の工程でしたが、充実したプログラムであったことと思います。



そらぷちキッズキャンプへの寄付

今地区大会で決議されました、「本大会はそらぷちキッズキャンプに一層の協力することと支援金を寄贈することを決議致します」に則り、11月6日、そらぷちキッズキャンプ理事、浅野房世氏(東京農業大学教授)を通して支援金を寄贈いたしました。

大会登録をされた方お一人200円相当で総額30万円です。会員の皆様へ感謝いたします。

なお、同日、田口RI会長代理からお預かりしました寄付金もご寄贈いたしました。(地区大会幹事 中島 健)





ガバナー補佐レポート

ガバナー補佐として半年過ぎて

第2510地区 第4グループ

ガバナー補佐 **荒 紀 男**Norio Ara
(札幌RC)

ガバナー補佐としての半年が何とか過ぎた所です。7月から9月までガバナー公式訪問に備えての各クラブ協議会の参加、そしてガバナーに随行しての訪問、あっという間の3ヶ月でした。クラブ訪問の際には温かく迎えて頂き有難い事でした。公式訪問のトップは札幌北RC(7月13日)、菅原会長以下43名(内女性5名)のクラブです。財団セミナーの開催、チャリティーイベント等を積極的に行い、さすが40年の歴史あるクラブと関心しました。2番目は穴倉会長以下39名(内女性4名)の札幌西北RC(7月16日)です。会長のクラブ目標は5年前の在籍50名達成です。中学生のスポーツ大会、WCSの支援にも積極的です。3番目は札幌手稲RC(7月18日)、福尾会長以下34名(内女性2名)のクラブです。今年度は創立40周年の年。地域としっかり向き合っていて、西区、手稲区の中学校のスポーツ大会支援、高校生奨学金制度、WCSなどにも取り組んでいます。4番目(7月28日)は札幌はまなすRCで、丹羽会長以下19名(内女性4名)のクラブです。バーミンガム国際大会では第4グループ中最多の登録をし、小さいながらも団結力があります。会員が石狩市社会福祉協会の「ボランティア証」を所持、石狩市のふれあい広場、高齢者や身障者のイベントに参加、介護支援も行っている。5番目(8月11日)は札幌西RCです。石丸会長以下63名(内女性4名)。50年の歴史と伝統があり、矢橋直前ガバナー在籍のクラブで、さすがに十分な手応えがありました。石丸会長の指導力がクラブの団結をしっかりサポートしており、9月15日には4クラブ(あけぼの、西北、手稲、西の各クラブ)合同例会を開催しました。6番目(8月26日)は札幌モーニングRC。児玉会長以下52名のクラブです。早朝の例会前の体操は全員で行い、体を解してから例会。会員の笑顔がとても素晴らしいものでした。このクラブは特にインターアクトに積極的にとり組んでいます。8月19日は移動例会が札幌龍谷学園高校で開催され、朝5時よりインターアクター20名が韓国で習ってきたピンバ丼をご馳走してくれました。また、インターアクター達は積極的にボランティア活動をし、盲導犬育成募金、みどりの羽根、赤い羽根募金、老人ホーム、保育園での清掃活動や行事のお手伝いにも参加しています。7番目(9月11日)の訪問は安澤会長以下16名の札幌あけぼのRCです。街の清掃活動、他クラブからの協力要請が有ればいつでも参加するという、地域に密着した積極的なクラブです。一番の自慢は24回続いている札幌市内中学校合唱演奏会を中学教育の一環として応援していることで、常に子供達の育成に心配りをしているクラブです。8番目(9月16日)は札幌RC、中田会長以下121名のクラブです。次年度は佐々木正丞ガバナーが誕生します。地区の皆様のご協力をお願いします。なお、平成22年4月24日(土)の第4、第5グループのIMは札幌プリンスホテルに変更になりました。参加をお待ちしております。

ガバナー補佐レポート



ロータリークラブを訪問して

第2510地区 第10グループ

ガバナー補佐 **近藤 宣明**

Nobuaki Kondo
(森RC)

昨年12月12日、第2510地区「次年度ガバナー補佐会議」が開催。あれから早一年が過ぎようとしている。本当に補佐としての役割を果たしていけるのだろうか、そんな思いを強くしていたあの時期。

それがもう次年度の私を推薦しなければならない次期を迎えている。

私の第10グループの渡邊ガバナーの公式訪問は、7月21日の函館セントラルRC(鍋谷会長)に始まり、函館RC(柴田会長)、函館亀田RC(遠藤会長)、七飯RC(菅原会長)、長万部RC(井上会長)、そして私のクラブでもある森RC(向中野会長)で終了した。

どのクラブでも渡邊ガバナーのロータリー活動への熱い思いが届けられたと思う。私はこの公式訪問の前に前述のクラブの例会に出席させて頂きました。ガバナーの目指す4つの方針を伝えるためです。

そして、各クラブの個性、雰囲気但至少でも感じたい、クラブ奉仕をこの目で確かめたいと。

今、温かく迎えて下さった日が思い出されます。

特筆すべきは、今年度、3つのクラブで節目となる記念すべき周年記念式典が開催されました。

函館セントラルRC(5周年)、七飯RC(40周年)、函館RC(75周年)。

誕生5年の函館セントラルRCは若い会員が中心となって素晴らしい存在感を示してくれました。

七飯RCは会長が目指す「コンパクトでも四大奉仕の活動を全員で守り続ける」が、当日の会員の笑顔となって思い出されます。函館RC、まさに“歴史と伝統”でした。柴田会長の点鐘の音、アンティークとおぼしき鐘、戦時中の統制下、夜間例会が暗がりのローソクの灯りの下で鳴り響いていたのだろう。

私は、昨年度でもない、来年度でもない今年度、ガバナー補佐として、このような素晴らしい機会に遭遇出来たことに感謝しております。そして、大きなクラブ、小さなクラブが会員数に関係なく協力し合い、ロータリーの理念と実践を果たしている姿を見せて頂きました。正にロータリーのバッジの歯車のように。

まだ今年度の半ばとは言え、次年度の足音がひたひたと近づいて来てます。今、この原稿を書きながら、第10グループの最初のガバナー公式訪問の際の、自分自身のあの緊張感をもう一度振り返り、引き続き訪問させて頂く各クラブ例会での新しい人との出会い、新しい発見が出来る事を願う今日この頃です。



第2回 台日国際扶輪親善会報告

国際ロータリー 第2510地区

直前ガバナー **矢橋 温郎**

Haruo Yahashi
(札幌西RC)



2009年10月10日第2回(1回目は東京)台日国際扶輪親善会が今回は台湾台中市日月潭雲品酒店において開かれました。

最初にこの会の貢献者の故佐藤千寿氏に対する黙祷に始まり、歓迎の辞を林土珍理事長からあり、日本からの参加者は千玄室元RI理事、日台ロータリー親善会前川総裁を始めとし総勢223名、台湾からの参加者218名で盛大に開催された。

次回は2011年6月10日京都グランビアホテルで開催される事が決定しましたので、皆様のご参加を希望致します。

2009～2010年度 RRIMC主催 会員増強委員会会議報告

地区会員増強委員会

委員長 **矢橋 温郎**

Haruo Yahashi
(札幌西RC・PG)

10月14日、仙台ホリデイインに於いて開催されました。黒田RI理事も御出席の上、RRIMCの方々の御出席を得て開催され種々の討論がなされました。

午後からは会員維持についてのディスカッションがあり、有意義に終わりました。

皆様何卒、会員増強には御協力を賜りますよう御願い申し上げます。

参考：当地区との比較

2009年8月末現在の

会員数	2,778名
女性会員数	104名
クラブ数	73クラブ
本年度目標数	137名

2009年8月末全国平均

会員数	2,731名
女性会員数	115名

ガバナー公式訪問

10月

10月8日(木)

7G 千歳ロータリークラブ

10月8日(木)、渡邊ガバナー、加藤ガバナー補佐を迎え、地区で今年度51番目となる公式訪問を受けました。会長・幹事会、クラブ協議会でクラブの現状や課題などをテーマに懇談。例会ではガバナー補佐が第7グループの公式訪問状況や来年5月29日のIMの説明をし、ガバナーを紹介しました。

ガバナーは、ガバナーを引き受けた経緯を、千歳クラブの佐藤バスターガバナーとの関わりなども交えて話されました。基本方針「環境・人・子どもに目を向けよう」を掲げ、具体的に支援している「そらぷちキッズキャンプ」を説明。特に昨年、埼玉県「千歳ちゃん」という7歳の子がキッズキャンプを大変楽しみにしながら実現を前に命が尽き、代わりに両親がキャンプを見て感激し、千歳ちゃんの遺骨をキャンプ場の木の下に散骨した話を初披露。出席者は深い感銘を受けました。



スローガン	浩然の気～ロータリアンは茄子の花～
創立年月日	1968年 4月26日
RI認証年月日	1968年 6月20日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	ANAクラウンプラザホテル千歳

10月9日(金)

9G 洞爺湖ロータリークラブ

渡邊ガバナー、黒田ガバナー補佐をお迎えして午前10時45分から会長・幹事会11時30分クラブ協議会に入り、渡邊ガバナーより「そらぷちキッズキャンプ」取組みの経過及び今後の活動計画の説明を受け、一人一人の意識改革によって実現されることが多々あることに共感しました。

各委員長出席のもと今年度の活動実施計画を発表しました。

例会場に移り定例の12時30分より、渡邊ガバナーより温かな人柄がにじみ出る卓話を賜り会員一同聞き入りました。今年度のクラブ運営に役立てていきたいと思っております。



スローガン	奉仕と親睦
創立年月日	1969年02月03日
RI認証年月日	1969年02月24日
スポンサークラブ	伊達ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテル万世閣

10月13日(火)

9G 伊達ロータリークラブ

午前10時からホテルローヤル2階会議室で会長・幹事会が行われ、会長から来年4月に予定していた当クラブ設立50周年記念式典がGSE受入れにより6月5日に変更となったことを報告。11時からはクラブ協議会が行われ、渡邊ガバナーから「環境・人・子どもに目を向けよう」の基本方針について具体的に説明された。続いて各委員長から活動目標や事業計画が紹介され、渡邊ガバナーから総括と質疑応答が行われた。12時30分からの例会では、渡邊ガバナーから「55名の会員が大変よくまとまって活動している印象を受けました」とお褒めをいただきました。さらに、ガバナー就任までの話と国際協議会の模様をユーモア交えながら披露。また、渡邊ガバナーが掲げる今年度のスローガン「そらぷちキッズキャンプ」の取組みについてアドバイスを受け、当クラブの支援方法については、栗本会長から紹介された。





スローガン	親睦(ぼく)に重点を置き、楽しいクラブ運営
創立年月日	1959年11月17日
RI認証年月日	1960年 1月 8日
スポンサークラブ	室蘭ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテルローヤル

10月13日(火)

9G 室蘭北ロータリークラブ

10月13日、渡邊ガバナーと黒田ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

16時30分より、会長・幹事懇談会が行われ、当クラブから、会長、副会長、幹事、副幹事の4名が出席し、クラブの現状の悩み等を聞かれ、長期に渡り、欠席している会員に対しての対策や、RACの会員の減少で、思うように活動ができない等について会員を増やす対策等をお聞きしました。

17時30分より、クラブ協議会が行われました。四大奉仕委員会と小委員会を含め、20委員会の活動計画を報告し、その委員会に対する活動内容について励ましのお言葉や、アドバイスなどをいただき、1時間の予定が足りないくらいの活発な意見交換ができたクラブ協議会でした。

18時30分より、例会が行われました。通常のセレモニーの中で、新入会員の入会式が行われたため、渡邊ガバナーより、バッジを付けていただき、新入会員に対し、長く活動されるよう、激励のお言葉をいただきました。セレモニーの後、ガバナーより講話をいただきました。地区目標でもあります「そらぶちキッズキャンプ」について、ガバナーの熱い思いで取り組んだ経緯と、支援に対し、クラブ会員に理解を求め、会長はじめクラブ内に思いが伝わったような気がしました。その後、食事に入りましたが、円卓のテーブルでは、気さくなお人柄が見え、和やかな会話のうちに例会は終了いたしました。



スローガン	みんなの力を結集して「ときめきのあるクラブに」
創立年月日	1971年12月19日
RI認証年月日	1972年 1月 1日
スポンサークラブ	室蘭東ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテルサンルート室蘭

10月14日(水)

9G 室蘭東ロータリークラブ

10月14日午前9時に渡邊ガバナー、黒田ガバナー補佐と室蘭3クラブ会長が新宮室蘭市長を表敬訪問いたしました。

10時より中嶋神社蓬峽殿例会場にて会長・幹事懇談会11時からクラブ協議会が行われ各委員長より活動計画が、発表され、それに対し温かいお言葉でご指示戴きました。特に来年2月の当クラブ幹事となるIM開催に渡邊ガバナーがご出席戴けることで、「そらぶちキッズキャンプ」の支援の輪をさらに大きくしようとの意識が各委員に伝わりました。

12時30分より公式訪問例会。会員緊張の中、拍手をもって渡邊ガバナーをお迎えし、黒田ガバナー補佐から経歴紹介を戴きました。講評ではユーモアと温かな人柄がしみ出る話しかけで、出席者笑顔の中、記念撮影を行い例会を終了しました。



スローガン	和やかな雰囲気にあふれた例会
創立年月日	1961年 1月25日
RI認証年月日	1961年 4月26日
スポンサークラブ	室蘭ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	中嶋神社蓬峽殿

10月14日(水)

9G 登別ロータリークラブ

10月14日午後4時30分会長・幹事会

黒田ガバナー補佐による進行のもと、会長よりクラブの現況と課題、今後の活動等が報告されました。渡邊ガバナーからは一つ一つ丁寧に説明、助言をいただきました。

午後5時30分クラブ協議会

会長・幹事会同様、黒田ガバナー補佐の進行により四大奉仕委員長よりそれぞれ活動計画、その進捗状況の報告がありました。各委員会の懸案事項についてはガバナーより助言があり、各委員長や出席会員もロータリー活動の理解を深めた様子でした。

午後6時30分例会、懇親会

夜間例会ということで、渡邊恭久ガバナーのお気遣いで約20分の短い卓話になりました。

地区協議会や地区大会に参加していない会員にとって、ガバナーのお話を聞くのは初めてで、その「感動的で説得力がある内容」にその後の懇親会が盛り上がったのは言うまでもありません。

上田会長のルーツは滝川市にあり、ご両親は三浦華園で

結婚式をあげられました。会員の登別厚生年金病院、時田院長は前任が滝川市立病院副院長、宮武元ガバナー補佐は渡邊ガバナーとは同期のJC理事長で旧知の仲、次から次と関係者続出……楽しい懇親会でした。



創立年月日	1969年12月14日
RI認証年月日	1970年 1月 2日
スポンサークラブ	室蘭東ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテル平安

10月15日(木)

9G 室蘭ロータリークラブ

10月15日ガバナー公式クラブ訪問が行われ、渡邊ガバナー、黒田ガバナー補佐が来会されました。

例会でガバナーは今年度重点方針である“そらぷちキッズキャンプ”の目的と活動の経過を話され、「ロータリアンの協力のもとに支援の輪が大きく広がることを期待します」と実現に向けて強い意欲を示されました。当クラブでは先頃作成した支援の幟を会場に配置、また受付入り口には募金箱と支援をよびかけるパネルを設置し全面協力していることを表しました。

また例会に先立ち行われた、クラブ協議会では、四大奉仕委員長により今年度活動計画と経過報告が行われ、それぞれ渡邊ガバナーによる評価をいただき、他の委員会活動においても活動プロセスと継続事業の重要性について話されました。



スローガン	ロータリーの活動はあなたの手で、英知ある行動を進めよう
創立年月日	1936年10月26日
RI認証年月日	1936年12月 5日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	室蘭プリンスホテル

10月20日(火)

1G 深川・妹背牛ロータリークラブ

10月20日(火)渡邊ガバナー、田中ガバナー補佐、清水ガバナー補佐室長をお迎えし、深川・妹背牛ロータリークラブ合同公式訪問が行われました。渡邊ガバナーにおかれましては、73クラブ中59番目の公式訪問であり、「このような合同の公式訪問は初めて」との事でございました。合同会長・幹事会、クラブ協議会では田中ガバナー補佐の司会によりスムーズな、また和やかなうちに進行され、ロータリークラブ全体の運営が厳しい中、「妹背牛RC、深川IRCとも、どちらもそれぞれのクラブの良さを、今後ともしっかりと守って行ってほしい」との渡邊ガバナーのお言葉をいただきました。また深川IRCにおいてのCLPの在り方を御指導いただきました。合同例会におきましても、RI会長テーマ、地区基本方針の説明をされ、さらに「そらぷちキッズキャンプ」支援活動に関する卓話では感動的なスピーチをいただきました。

渡邊ガバナー、田中ガバナー補佐のお人柄で、楽しく有意義に合同例会が出来ました事に心より感謝申し上げます。



深川ロータリークラブ

スローガン	Enjoy Rotary Again
創立年月日	1959年 2月 3日
RI認証年月日	1959年 4月16日
スポンサークラブ	旭川ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	通常12:30、夜間毎月最終火曜18:00
例会場	プラザホテル板倉

妹背牛ロータリークラブ

スローガン	友誼と奉仕
創立年月日	1967年 1月18日
RI認証年月日	1967年 2月 6日
スポンサークラブ	深川ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	通常12:30、夜間毎月第1水曜(5月~10月18:30/11月~4月18:00)
例会場	妹背牛商工会館



10月21日(水)

1G 小平・羽幌・留萌ロータリークラブ

10月21日(水)毎年開催している3クラブ合同例会に渡邊ガバナー、田中ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。午後4時より合同会長・幹事会、5時より合同クラブ協議会を開催、各クラブの今年度の活動計画を発表いたしました。午後6時30分より3クラブ合同夜間例会が開催され、渡邊ガバナーよりRI会長テーマ、地区運営についてお話があり、ガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」にかかる熱意が感じられました。本日の夜間例会にて3クラブとしても余興でゲームを行い、その益金を「そらぶちキッズキャンプ」の募金と致しました。

ロータリーを出会いの場とし、ロータリーを通じての友情を深め合うこの合同夜間例会にガバナーを迎え、より一層ロータリーを身近に感じる1日となりました。



小平ロータリークラブ

スローガン	会員相互の和を大切に、小平クラブの灯を未永く
創立年月日	1974年 7月15日
RI認証年月日	1974年 8月22日
スポンサークラブ	留萌ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時15分
例会場	小平町文化交流センター

羽幌ロータリークラブ

スローガン	新たな歴史に更なる奉仕活動を
創立年月日	1979年 5月16日
RI認証年月日	1979年 6月 6日
スポンサークラブ	留萌ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分 毎月第2・4週18時30分
例会場	はぼろ温泉サンセットプラザ

留萌ロータリークラブ

スローガン	親睦でクラブの活力を、そして奉仕は足もとから
創立年月日	1961年 2月 1日
RI認証年月日	1961年 4月20日
スポンサークラブ	旭川西ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時15分
例会場	留萌産業会館

10月26日(月)

3G 栗山ロータリークラブ

10月26日渡邊恭久ガバナー、嵯峨第3Gガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問を受けました。

午前10時より会長・幹事懇談会が行なわれ、11時からクラブ協議会と続き、当クラブ松原会長よりクラブ活動の特徴、引き続き四大奉仕委員長より活動計画を基に実施状況について報告後、渡邊ガバナーより所見・講評をいただきました。

公式訪問例会では、4名の新入会員にガバナーより本年度のテーマバッジを装着して頂き、出席者全員がテーマバッジ装着と云う中で開始されました。ガバナーから就任に至った経緯と今年度の重点目標4点のうち、特に「そらぶちキッズキャンプ」の設置について詳しい説明がなされました。

渡邊ガバナーの熱意が十分伝わり、当クラブとしても何らかの支援を検討していきたいと考えています。



スローガン	奉仕
創立年月日	1970年 1月16日
RI認証年月日	1970年 2月 4日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時15分
例会場	ホテルパラダイスヒルズ

10月27日(火)

12G 白老ロータリークラブ

10月27日10時、渡邊ガバナー、菅野ガバナー補佐にお出掛けいただき会長・幹事会が行われました。テーブルに置かれた「そらぶちキッズキャンプ募金箱」に目をやられ、「そらぶちキッズキャンプ」の意義を熱心にお話くださいました。また、会長からのクラブの現況、課題等の報告にもご助言をいただきました。

続いているクラブ協議会では、菅野ガバナー補佐の進行のもと、各委員長からの活動計画及び進捗状況報告に、WCS

事業の継続、青少年交換学生の派遣などについて丁寧なご指導をいただき、特にポリオ撲滅のために協力するという
ことに、力強く思われておられるとのことでした。また、2
度のRI会長賞受賞に対してもお褒めの言葉をいただきました。

クラブ例会では、ガバナーに選出されたいきさつも披露
され、地区大会に参加できなかった会員にとっては、ガバ
ナーの話される「そらぶちキッズキャンプ」の様子に理解
が深まったようです。

例会後、隣接するアイヌ民族博物館を見学されました。



スローガン	地域・社会の貢献できるロータリアンを目指します
創立年月日	1979年 6月17日
RI認証年月日	1979年 9月 7日
スポンサークラブ	登別ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	白老観光センター

10月27日(火)

12G 苫小牧北ロータリークラブ

グランドホテルニュー王子に渡邊恭久ガバナーと菅野
ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われました。午後4
時から行われた会長・幹事会では、高橋会長が継続事業の
あり方について質問をしたのに対し、渡邊ガバナーは同じ
事を何年も続けていると新しいことが出来ないで、今ま
ではあまり良くないと言われていたが、ジョン・ケニー氏
の哲学によると継続は力なりということで、良いものはド
ンドン続けるべきとの考えもあり、続けるべきか止めるべ
きかの論議をするのではなく、結果を見て決定することが
大切だとのことをご意見をいただきました。

クラブ協議会では四大奉仕委員長により、各委員会の今
年度これまでの事業の取り組みについて発表をさせて頂
きました。疑問に思っている社会奉仕と職業奉仕の違い、
会員の拡大についてのご意見をいただきました。

例会はまず菅野ガバナー補佐よりガバナーのプロフ
ィールが紹介され開催されました。渡邊ガバナーは本
年度掲げている四つの重点目標の一つ、「そらぶちキッズ
キャンプを支援しよう」ということで、「そらぶちキッズ
キャンプ」支援に至るまでの経緯をお話いただきました。
自分の家と病院しか行き来できない子供たち、友達のい
ない子…そんな子供たちに普通の子と同じ遊びを経験
させたい。生きる夢を持たせたい。埼玉県に住む小児ガ
ンを発症した子の病気の経過を通して、その思いをお
話いただきました。心が熱くなりました。当クラブとし
てもできる限りのご協力ができるよう努力してまいり
ます。

和やかな雰囲気の中、公式訪問が無事終了致しました。



スローガン	楽しい例会を目指し積極的に声をかけ
創立年月日	1970年 1月20日
RI認証年月日	1970年 2月 4日
スポンサークラブ	苫小牧ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分(第4火曜日18時00分)
例会場	グランドホテルニュー王子

10月29日(木)

3G 岩見沢ロータリークラブ

ガバナー公式訪問は、渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐、
福井地区幹事をお迎えして、10月29日(木)午前10時より
会長・幹事会、午前11時よりクラブ協議会、12時30分より
ガバナー公式訪問例会を開催しました。

会長・幹事会では、地区大会の話になり、嵯峨ガバナー補
佐が「素晴らしい大会でした」と大いに盛り上がりまし
た。クラブ協議会では、各委員長から活動報告があり、渡
邊ガバナーより貴重な所感をいただきました。例会では、ガ
バナーが掲げる4項目の重点目標のご説明があり、特に「
そらぶちキッズキャンプへの支援」に関しての熱い思いを
語っていただき、会員一同心に迫るものを感じながら拝聴
致しました。当クラブに関しても空知の中心であり本家に来
たような感じがしますとの言葉もいただき、沢山のアドバ
イスや感動をいただき無事公式訪問を終えることが出来
ました。



スローガン	みんなで目指そう明るい未来
創立年月日	1954年 5月 5日
RI認証年月日	1954年 6月 1日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	ホテルサンプラザ



第37回ローターアクト地区協議会を終えて

赤平ローターアクトクラブ

地区協議会実行委員長

立川 真由美

Mayumi Tachikawa

平成21年10月17日、無事に「第37回地区協議会」を終えることが出来ました。

今年度、第2510地区のローターアクターは60名となり、クラブ数も減少してきています。しかし、常に連絡を取り合い互いに行き来し、いつ・どこで・どのような活動がなされているのかなどの情報交換が出来ているということがプラス面です。地区協議会は本来であれば、日々の活動について語り合う場となりますが、このような現状も考慮し、今回は「ローターアクトで未来を築こう」というテーマのもとに開催させていただきました。参加された一人ひとりが、指導者として必要不可欠であるコミュニケーション・リーダーシップ・セルフコントロールについて、なにか一つでも気づきやプラスに生ることを見つけることができたなら、ホストクラブとしてこんなに嬉しいことはありません。

私たち赤平ローターアクトクラブにとりましては、とても良い機会をいただきました。半数以上が地区協議会を初めて経験するなか、今振り返ると決してきれいごとでは語ることの出来ないドラマの数々がありました。そのようななかで成し遂げることが出来たのは、ただ協力し合うだけではなく、一人ひとりが全力でぶつかり合った結果であると感じました。私自身、メンバーの支えがあったからこそ実行委員長の務めを果たすことができたのだと心から感謝すると同時に、会長でありながら「なんて素敵なクラブだろう!!」と誇りに思います。このように素晴らしい場であるローターアクトがこれからも永遠に続いていきますよう祈念いたしまして、実行委員長の挨拶とさせていただきます。この度は本当にありがとうございました。





モントリオール国際大会のご案内

2010年6月20～23日

Aコース行程表

国際大会参加とモントリオール6日間
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

6月18日～6月23日

Bコース行程表

国際大会参加とバンクーバー・カナディアンロッキー周遊8日間コース
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

6月15日～6月22日

※詳しくはガバナー月信11月号を参照下さい。

〔申込締切〕 2010年1月22日(金)

*当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機の座席の関係から、
先着順で受け付け満員になり次第締め切らせて頂きます。

〔お問合せ・お申込先〕 株式会社 日本旅行北海道 札幌支店
札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階
電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174
担当：齊藤・西村

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	道島 尚 光	会員(1回)	10月 2日
	田中 一 廣	会員(1回)	10月 2日
	渡辺 寿 一	会員(1回)	10月 2日
千歳セントラルRC	土居 栄 治	会員(6回)	10月16日
	佐々木 俊 英	会員(1回)	10月16日
	高塚 信 和	会員(1回)	10月16日
札幌 R C	市川 唯 行	会員(6回)	10月23日
	中田 輝 雄	会員(1回)	10月23日
	佐々木 正 丞	会員(1回)	10月23日
札幌西北 R C	三上 直 彦	会員(4回)	10月30日

■ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	板垣 勝	会員	10月 2日
	早坂 勝	会員	10月 2日
	多田 康 司	会員	10月 2日
	宗方 裕 之	会員	10月 2日
千歳セントラルRC	稲津 寿 一	会員	10月 2日
	井上 英 幸	会員	10月16日
	入口 博 美	会員	10月16日
	大野 馮	会員	10月16日
	斎藤 博 司	会員	10月16日
	佐藤 文 雄	会員	10月16日



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

浦河 R C	桑田美智代 会員(1回)	10月 1日	札幌北 R C	三味 正明 会員(2回)	10月28日
札幌 R C	佐々木正丞 会員(2回)	10月 6日	深川 R C	成田 昭彦 会員(4回)	10月29日
登別 R C	遠藤 秀雄 会員(4回)	10月 7日		渡辺 一義 会員(4回)	10月29日
函館東 R C	池垣 清信 会員(22回)	10月13日	砂川 R C	石家 裕二 会員(1回)	10月30日
札幌真駒内 R C	佐々木 敦 会員(5回)	10月 9日		内野 司 会員(2回)	10月30日
	神谷 英光 会員(12回)	10月16日		山崎 義彦 会員(1回)	10月30日
	中原 孝 会員(8回)	10月16日			
	西島 國治 会員(2回)	10月16日			
伊達 R C	笹木 学 会員(1回)	10月27日			
函館北 R C	弗田 和則 会員(1回)	10月28日			

■米山功労クラブ

浦河 R C	5回	10月 1日
砂川 R C	12回	10月30日

例会日・例会時間・例会場の変更等について

砂川 R C	12月16日(水)夫婦忘年会 18:30～ 場所:砂川パークホテル 12月23日(水)、30日(水)休会
江別 R C	12月17日(木)夜間例会「家族例会」 18:30～ 場所:江別市民会館小ホール 12月24日(木)、31日(木)休会
江別西 R C	12月15日(火)の例会を下記に変更 12月18日(金)年末親睦家族例会 18:00～ 場所:マシキドルパ 12月29日(火)休会
岩見沢 R C	12月17日(木)の例会を下記に変更 12月19日(土)家族忘年例会 18:00～ 場所:北海道グリーンランドホテルサンプラザ 12月24日(木)休会 事務局の年末年始休業:12月26日(土)～1月5日(火)
岩見沢東 R C	12月29日(火)休会
小樽銭函 R C	12月17日(木)の例会を下記に変更 12月18日(金)年末家族会 18:00～ 場所:和風レストラン銭函大山 12月31日(木)休会
千歳 R C	12月17日(木)夜間例会「クリスマス家族会」 12月31日(木)休会
長沼 R C	12月28日(月)休会
室蘭 R C	12月17日(木)夜間例会「家族親睦例会」 18:00～ 場所:室蘭プリンスホテル 12月31日(木)休会
室蘭東 R C	12月23日(水)、12月30日(水)休会
室蘭北 R C	12月15日(火)夜間例会「クリスマス家族例会」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭 12月29日(火)休会
白老 R C	12月 8日(火)の例会を下記に変更 12月 9日(水)登別RC創立40周年記念式典(登別・白老合同例会) 18:00～ 場所:登別グランドホテル 12月22日(火)移動夜間例会「クリスマス会・忘年会」 18:30～ 場所:いちひろ(白老町萩野341～17) 12月29日(火)休会
苫小牧 R C	12月18日(金)の例会を下記に変更 12月17日(木)移動夜間例会「クリスマス・忘年会」 18:00～ 場所:ホテルニドム(苫小牧市字植苗) 12月25日(金)休会
苫小牧北 R C	12月22日(火)移動夜間例会「忘年会」18:00～ 場所:グランドホテルニュー王子 12月29日(火)休会

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



杉村 孝 会員 (白老RC)
平成21年10月10日逝去(享年79歳)
ロータリー歴
1979年6月17日 入会(チャーターメンバー)
1984~1985年度会長
1998~1999年度第7分区分代理
表彰関係
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
・米山功労者



得地 一久 会員 (岩見沢RC)
平成21年10月24日逝去(享年78歳)
ロータリー歴
1983年8月 入会
2001~2002年度 第48代会長
表彰関係
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
・マルチプル米山功労者
・15年間 100%皆出席



菅原 文雄 会員 (千歳RC)
平成21年11月2日逝去(享年62歳)
ロータリー歴
1994年5月 入会
2000~2001年度 幹事
2003~2004年度 国際奉仕委員会 委員長
2004~2005年度 SAA委員長
表彰関係
・ポール・ハリス・フェロー



藤澤 武 会員 (苫小牧東RC)
平成21年11月7日逝去(享年90歳)
ロータリー歴
2007年3月15日 入会

新入会員の紹介

(敬称略)



いがわ としみつ
井川 敏光
(岩見沢東RC)
入 会/10月6日
職業分類/美容業



あかさき こうそう
赤崎 幸三
(室蘭北RC)
入 会/10月13日
職業分類/介護老人保健施設

文献資料室便り

1. 2009年7月1日~10月31日迄の文献資料室の貸し出し状況は下記のとおりです。

【ビデオ貸し出し状況】

No.	タイトル	貸出数	クラブ名
4	それはあなたに始まる	1	新札幌
5	最も重要な人物	1	美唄
9	ロータリー青少年指導者育成プログラム	1	余市
17	ロータリー・インフォメーションマニュアル	1	新札幌
19	われらのつとめ 四つのテストとは何か	1	新札幌
35	(財)ロータリー米山記念奨学会	2	岩見沢、栗山
39	渋沢栄一翁とRCの職業奉仕	2	美唄、新札幌
45	ロータリー財団:ロータリーの国際的ビジョン	1	岩見沢
59	新世代のためのロータリープログラム	1	新札幌
61	活動する国際奉仕 WCSに関するビデオによる研修	1	小樽南
62	タイ・ノンカイRCとの共同奉仕(WCS)	1	小樽南
88	米山月間によせて	1	栗山
89	霧の岬 命の診療所	1	室蘭北
97	一人でも多く地雷の被害から救おう	1	栗山

【図書貸し出し状況】

009	ロータリー職業奉仕事例集	1	小樽南
013	職業奉仕の働どころ	1	小樽南
066	職業奉仕委員会活動について考える	1	小樽南

【その他貸し出し状況】

ロータリーソングCD	2	札幌南、札幌東
------------	---	---------

新札幌RC、小樽南RCでは複数の貸し出し利用がありますので、次号では両クラブの利用状況をお知らせしたいと思います。

2. 資料室では、文献(書物、DVD、ビデオ)資料リストを改訂中で12月中には完成予定です。各クラブでリストを大いに活用していただきたいと思います。また、リスト更新の記念に来春迄にロータリー文献の学習会を開催したいと思います。



文庫 通信

(266号)

地区大会講演から

書名	著者/地区	発行年	ページ	
◆「ロボットと共生する未来」	古田 貴之(D.2790)	2009	6P	※
◆「違うから面白い、違わないから素晴らしい」	宮本 亜門(D.2670)	2009	12P	※
◆「日本に喝を入れる」	上坂 冬子(D.2580)	2009	2P	※
◆「日本の進路」	小泉純一郎(D.2760)	2009	10P	※
◆「琵琶湖は地球環境への小さな窓」	嘉田由紀子(D.2650)	2009	6P	※
◆「歴史に根ざしたまちづくり」	森谷 尅久(D.2650)	2009	12P	※
◆「アフリカの子どもたち」	田沼 武能(D.2820)	2009	8P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー(12月・1月)

ガバナー事務所年末年始休暇
 12月28日(月)~1月5日(火)まで

12月 家族月間		1月 ロータリー理解推進月間	
1(火)	ガバナーエレクト/次期地区米山奨学委員長合同セミナー(東京)	1(金)	元日
2(水)		2(土)	
3(木)		3(日)	
4(金)		4(月)	
5(土)		5(火)	
6(日)		6(水)	
7(月)		7(木)	
8(火)		8(金)	
9(水)	登別RC創立40周年記念式典(登別) 地区補助金委員会(札幌)	9(土)	
10(木)		10(日)	
11(金)		11(月)	成人の日
12(土)	次期地区ガバナー補佐会議(札幌)	12(火)	
13(日)		13(水)	
14(月)		14(木)	
15(火)	国際大会第1 締切日	15(金)	
16(水)		16(土)	札幌幌南RC創立45周年記念式典(札幌)
17(木)		17(日)	~24日(日) 国際協議会(米国・サンディエゴ)
18(金)		18(月)	
19(土)		19(火)	
20(日)		20(水)	
21(月)		21(木)	
22(火)		22(金)	
23(水)	天皇誕生日	23(土)	
24(木)		24(日)	
25(金)		25(月)	
26(土)	第1回ガバナー指名委員会 佐々木ガバナーエレクト壮行会	26(火)	
27(日)		27(水)	
28(月)		28(木)	
29(火)		29(金)	
30(水)		30(土)	
31(木)		31(日)	

2009年12月のロータリーレート 1ドル90円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.10.31	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	2	89.10
	羽幌	4	45	48	3	1	91.04
	妹背牛	4	9	9	0	0	80.55
	小平	5	11	11	0	0	83.64
	留萌	4	41	43	2	1	87.39
	小計		138	144	6	4	86.34
2	赤平	4	29	32	3	1	98.00
	芦別	4	37	38	1	0	88.82
	砂川	4	55	54	-1	0	95.85
	滝川	5	96	96	0	2	81.00
	小計		217	220	3	3	90.92
3	美唄	4	33	33	0	0	89.81
	江別	5	34	34	0	1	89.41
	江別西	4	30	30	0	3	87.50
	岩見沢	5	85	86	1	0	94.12
	岩見沢東	3	33	36	3	4	86.07
	栗沢	4	24	24	0	1	94.00
	栗山	4	27	28	1	2	100.00
	当別	4	31	31	0	0	89.92
小計		297	302	5	11	91.35	
4	札幌幌	4	102	122	20	0	97.06
	札幌あげぼの	5	13	15	2	1	95.90
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	85.53
	札幌北	3	43	42	-1	5	92.08
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	76.88
	札幌幌西	4	58	57	-1	4	93.05
	札幌西北	4	40	40	0	5	95.40
	札幌手稲	5	33	37	4	2	93.42
小計		359	383	24	21	91.17	
5	札幌東	5	118	123	5	0	97.94
	札幌清田	4	18	18	0	4	98.33
	札幌幌南	5	61	64	3	0	99.64
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	98.34
	札幌南	3	80	80	0	0	97.95
	札幌大通公園	3	12	13	1	4	74.33
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	70.00
	新札幌	4	28	28	0	2	84.80
小計		358	367	9	19	90.17	
6	岩内	5	19	21	2	0	78.00
	倶知安	4	40	40	0	4	77.20
	小樽	4	65	69	4	0	92.06
	小樽南	4	76	76	0	1	91.24
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	3	9	9	0	0	96.26
	余市	4	41	41	0	4	86.00
	小計		272	279	7	11	84.68

10月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,789人(104人)
増加会員数	89人
当月平均出席率	86.56%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.10.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	70.30
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	76.30
	恵庭	4	35	40	5	1	84.37
	北広島	4	16	16	0	0	92.19
	長沼	3	20	20	0	3	80.00
	由仁	4	11	11	0	1	82.50
	小計		176	183	7	10	80.94
8	えりも	4	21	22	1	0	86.35
	三石	4	15	15	0	1	90.00
	様似	4	22	23	1	1	77.20
	静内	4	70	75	5	1	83.50
	浦河	4	36	36	0	2	100.00
	小計		164	171	7	5	87.41
9	伊達	4	55	55	0	0	81.81
	室蘭	4	41	44	3	0	90.12
	室蘭東	3	36	39	3	0	91.46
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	100.00
	小計		205	214	9	4	91.21
10	函館	4	83	86	3	0	82.57
	函館亀田	3	42	40	-2	2	92.84
	森	4	34	39	5	0	65.40
	七飯	4	17	17	0	0	73.50
	長万部	4	9	9	0	0	69.37
	函館セントラル	4	31	31	0	1	70.16
	小計		216	222	6	3	75.64
11	江差	4	18	18	0	2	59.00
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	97.19
	函館東	4	43	44	1	4	88.64
	函館北	4	28	28	0	0	94.65
	北斗	5	17	17	0	1	61.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
	小計		166	169	3	7	75.08
12	白老	4	28	27	-1	0	83.80
	苫小牧	4	48	51	3	2	92.85
	苫小牧東	4	27	27	0	2	98.15
	苫小牧北	4	29	30	1	2	100.00
	小計		132	135	3	6	93.70
合計		2,700	2,789	89	104	86.56	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

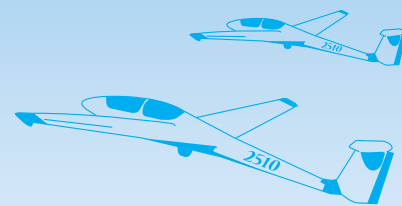
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

1



CONTENTS

- ガバナーレター 1
- 第38回ロータリー研究会報告 2
- 第38回ロータリー研究会報告 3～6
- ガバナーエレクト研修セミナー報告 7
- ロータリー財団地域セミナーに参加して 8～9
- インターシティーミーティング(IM)を終えて 10
- 北海道ローターアクト交流会を終えて 11～12
- 2010～2011年度ガバナー補佐会議が開催される 13
- ガバナー公式訪問 14～16
- モントリオール2010国際大会最終のご案内 17
- 新会員の紹介
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について 18
- クラブ幹事の変更について
文献資料室だより・会員訃報 19
- 米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付 20
- 文庫通信・地区カレンダー(1月～6月) 21
- 出席率・会員数 22

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



新年明けましておめでとうございます

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川RC)

地区内会員の皆様におかれましては、ご家族がお揃いでご健勝の中に希望に満ちた新しい年を迎えられたこととお察し申し上げます。

さて、昨年は日米ともども政権が交代し、とりわけわが国においては、更なるデフレや二番底を迎えようとしている経済不況、混乱する一般社会や国際社会での不安定さは、新しい年を迎えてこれから気になることであります。

国際ロータリーとロータリー財団は、一昨年の世界金融危機、同時不況の渦に巻き込まれ、世界中のロータリアンから不安と関心を集めていましたが、最新の情報では、RIは今年度初から9月までの市場成果で1,100万ドル、財団では、5,800万ドルの投資収益を上げ、RIの予備金も6月期より増え続けており、当然、今会計年度のプログラムの運営費や、経費のために債券の精算はしていないとのこととあります。市場はこれからも不安定さが続くと思いますが、それぞれの努力で新しい年は不安が払拭する年になりますようにと願っております。

地区や小生にとっても、昨年はとても速い一年でありました。7月1日、2700名の地区会員でスタートしましたが、7月末2764名、8月末2778名、9月末2782名、10月末2789名と微々ではありますが減少することなく、着実に増加してきたことは各クラブのご努力の賜と敬意を表するものであります。

1月、サンディエゴの缶詰の国際協議会でジョン・ケニーRI会長から「ロータリーの未来はあなたの手に」の今年度テーマを受け、帰国後ガバナー補佐研修セミナー、地区チーム研修セミナー、クラブ会長エレクト研修セミナーでRI会長の思いや具体的な方針を届けて以来、公式的な行事や会議、セミナーが7月のガバナー就任まで続いてきました。

ガバナー就任以来、73クラブの公式訪問は丁寧に回らせていただき、各クラブの多くが、その地域から特別に期待されていて、クラブの伝統、文化を引き継ぎ地域性を生かしながら活動している事に改めて認識を得ることができ、公式訪問を恙なく終了することが出来ました。

10月3～4日の第2510地区の地区大会は1480名が滝川の地に集い、ロケーションの不便、地方都市ゆへの施設の不自由さがあっても関わらず、会員多くの支援とご理解を頂き、初期の目的が果たせたと自画自賛をしています。それにはこの地区大会のRI会長代理に盛岡の田口良一PDGのご出向を頂いたことでした。氏の品格と温情なお人柄は参加会員を魅了し、随所で親しく会員とお話を下さるなどで地区大会の深みと内容を豊かにし、熱い大会にお力を頂戴した事が大会の成功を印象づけた事でした。田口良一PDGをRI会長代理として迎えられた幸運は、昨年のヒットと言っても過言ではないと思っております。

今年度ガバナー任期も残すところ半年。「百里の道も九十九里を持って半分とす」の諺通り、地区のために最善を尽くしながら汗することを誓いつつ年頭のご挨拶といたします。



第38回ロータリー研究会報告

国際ロータリー 第2510地区

パストガバナー **丸山 淳士**

Jyunji Maruyama
(札幌真駒内RC)

2009年11月18日から20日、東京、ホテルグランパシフィック LE DAIBAを会場として、第38回のロータリー研究会が開催された。

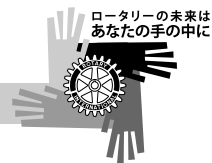
招集者は黒田正宏2009-11年度国際ロータリー理事。

ジョン・ケニー会長ご夫妻の他韓国、台湾、米国など海外来賓の他、エド・フタ事務総長も出席された。

18日は、GETS、ロータリー財団セミナー、RI会長招宴が開催され、19日に開会式に続き第一日目の本会議では、報告事項として、2011-12年度のRI会長ノミニーにインドのカルヤン・バネルジー氏が選考された事が報告された。特別講演として日本交流分析学会理事長、杉田峰康氏の「最近の若者の心の叫び」があり、ポリオ撲滅のセッション。第2日目はメンバーシップとリーダーシップ、続いて職業奉仕と倫理のセッションが開かれ、続いて水・環境保全と保健、2010年規定審議会、識字率向上そしてオープンフォーラムとして参加者との議論も熱く交わされ、充実した研究会であった。

2510地区からは、渡邊ガバナーをはじめ、富原、石垣、伊藤、森本、小林、佐藤、塚原、丸山、酒井、矢橋各PG、佐々木GE、熊澤GNが元気に参加された。





第38回ロータリー研究会報告

国際ロータリー 第2510地区

パストガバナー **酒井 正人**

Masato Sakai
(函館五稜郭RC)

11月18日から20日まで第38回ロータリー研究会が黒田正宏(八戸南)RI理事の招集で東京台場のホテルグランパシフィックLE DAIBAで開催されました。対象者はゾーン1,2,3のガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーで関係者を含めると669名(海外38名)の登録があり、第2510地区からは渡邊恭久ガバナーをはじめとして、本会議にご婦人を含めて16名が出席しました。

来賓としてはJohn Kenny RI会長ご夫妻をはじめとして台湾、英国、韓国からRI理事ご夫妻の参加がありました。他にGlenn E. Estess財団管理委員長ご夫妻、李東建直前RI会長、Ed Futa事務総長の出席がありました。

早朝から夕方までの長時間にわたるハードなスケジュールにもかかわらず、熱心に最後まで聞き入るシニアリーダーの姿勢にはロータリーに対する情熱が感じ取れました。

以下にプログラムの要点をまとめて記載しましたが、後日発行される詳しい公式の報告書でご確認をいただきたいと思います。



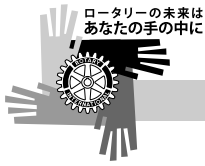
*** 本会議第1日目 ***

「ロータリー財団未来の夢計画」TRF田中委員

年次寄付が9,868万ドル総額は158,920万ドル。日本の寄付は1,545万ドルで世界の10%。昨今の経済状況下で管理委員会は過去のプログラムを苦渋の判断の中で廃止している。少なくともDDFを守ることを最優先にして様々な財政改革を実施している。

「ロータリー日本財団の動向」岩井 敏日本財団理事長

7年前、寄付金の税制上の優遇措置を受けるべきとして、特定非営利法人NPO法人を設立したが、これを解散し、6月11日に一般財団法人ロータリー財団を設立した。基本財産として関西国際大会の剰余金等1億1千万円を組み入れている。

**「2011-12年度RI会長ノミニー指名委員会報告」渡辺好政指名委員**

2009年8月10日委員会がありカルヤン・バネルジー氏(インド)が選任された。

「ロータリー米山記念奨学会報告」板橋敏雄理事長

現在の留学生800人に大学院14万円、大学10万円を毎月支給している。正味財産は8,300万円の増加、投資損失はゼロである。民間の奨学財団として日本で第1位であった。

*** 第1セッション「新世代への奉仕」****「日本の青少年交換・ローテックス・IACの現状と問題点」****関場慶博RI青少年交換委員会委員**

青少年交換プログラムは日本では受入れと派遣合計で800人前後であったが、最近では400人～300人迄減少した。日本だけが減少している。その理由の資金的問題で一つのクラブが受け入れることが困難なこと、ホストファミリーの成り手が少ないことである。二つ目には宗教、言語、文化の違いで発生するトラブルも問題がある。

*** 第2セッション「ポリオ撲滅を目指して」****「ポリオ撲滅を目指して」エステスTRF委員長**

世界のロータリアン10万人以上が参加して一億三千万人の子供たちに接種した。撲滅の宣言ができるまで、継続したチャレンジを御理解いただきたい。

「台湾でのポリオ撲滅プログラム参加」RID謝 三連(台湾)

2007年1月5日インドで、一斉投与に参加する機会を得た。10月24日はポリオディーと決定した。

「パープル・ピンキープロジェクト」RIDデビット・リニアット(英国)

ロータリーをPRし、参加を促し、1ポンドを寄付すると2人の子供に予防接種が出来るとキャンペーンをした。主なターゲットは学校であった。ポリオを投与したときに、二重に投与しないためその子供の小指の爪に紫の印をつける事を参考にして、寄付をした子供の小指に紫の塗料を付けることにした。「紫の小指」のニュースが流されてから、キャンペーンが浸透し、「ブーム」になった。

「韓国でのポリオ撲滅プログラム事例」RID李 奎恒(韓国)

撲滅が困難な原因はポリオワクチン投与が必要な子供にたどり着くことが困難な状況や財政不足が最大の障害。「倦怠感」もあることも知っているし、関心が薄れているという問題もあった。事例として3690地区のロータリアンがインドで1000人のタイで3000人の子供に投与している。北朝鮮へポリオワクチン投与の支援をした。北へ35万ドルを寄贈し、80の冷蔵庫と2台のトラックを寄贈した。



「ポリオ撲滅への日本での現況」RID宮崎茂和(福井)

日本34地区へアンケートを取った。34地区中26地区から回答を得た。内容は

- ・地区の意識
- ・決議案07-68「ポリオが最優先目標」に対する認識
- ・3回目の募金目標の達成に対して
- ・ポリオワクチン投与の地区

「ポリオ撲滅への新たな展開」RRFC北 清治(浦和東)

ここ数年間はポリオキャンペーンにとって試練の年であった。「もどかしい」状況である。ポリオは1%への戦いであり、問題を抱えている国だけ残っている。

地区にDDFの20パーセントの寄付をお願いし、一般市民を対象とした募金活動を実施するよう各クラブに奨励してほしい。

*** 本会議第2日目 ***

* 本会議第3セッション 「メンバーシップとリーダーシップ」

「日本の会員数の変動」桑原 茂RRIMC(塩釜)

- ・会員数の動向 123,853名が91,835名に減少(2009年6月末)
- ・女性会員の重要性
- ・会員所属年数 1~3年 29% 3~5年 29% 11年以上 53%
- ・出席率が10年連続して低下している。

「世界での会員数とクラブ数の変動について」藤林豊明RRIMC(横浜鶴見北)

2009年6月末は33,790クラブ、1,234,527人であったが、10月31日現在では、33,695クラブ、1,216,983人の会員がいる。経費を減らす、例会の食事の金額を削減、例会場をホテルから安い所へ替える、昼食や夕食を止めて、お茶だけの例会にして努力しているクラブがある。これからは例会の開催曜日、時間についてもっと柔軟な組み合わせで対応が必要な時代が来たようだ。

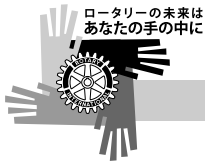
「ロータリアンとしてのリーダーシップ育成の具体的な方法」川妻二郎PDG(広島南)

多くのクラブの会長や指導者は、ロータリーに関する僅かな知識しかもたず、特に自クラブ以外のことや、クラブ活動を前進させてゆくのに必要な指導力が乏しいままに就任しているケースが多いようだ。リーダーシップこそが、私たちのクラブを成功に導く重要な要素である。

* 本会議第4セッション「職業奉仕と倫理」

「職業奉仕と職業倫理」(私の職業奉仕論)安平和彦PDG(姫路)

「ロータリー」とは、職業人の最も優れた倫理運動である。ただの倫理運動ではなく「職業人の経営哲学・経営の帝王学」「お金の儲け方を教えてくれる職業倫理運動」この中心思想が「The Ideal of Service」(奉仕の理想)という考え方である。

**「ロータリーの奉仕活動（職業奉仕以外）での倫理的な意思決定事例」川尻政輝PDG（東京世田谷）**

ロータリーは歴史的には職業倫理を重んじる事業及び専門職業人の集まりであり、個人的にも社会的にも、また職業上も高い倫理性と道徳的な価値観をもった活動が求められている。ところが、ロータリーが国際的に拡大し、奉仕活動が多様化した今、国際ロータリーのレベルで職業と倫理・道徳が不可分といえるでしょうか。

*** 本会議第5セッション「水・環境保全と保健」****「海外での地区奉仕活動事例」新藤信之PDG（東京立川こぶし）**

毎年ミクロネシアでソーラーアクアシステムによる海水から真水を取り出すプロジェクトを行っている。当初は米国製のものを使用していたが、現地で作成することで経費を節減できた。この度は上海で金型を作りプラスチック製にして現地組み立てをすることで大幅なコストダウンになった。

「地区での環境保全事例」櫻井権司PDG（東京武蔵野）

地区内の会員の協力を得てテレビ、冷蔵庫、エアコンの買い換え時に新旧の製品を一定期間使用時の消費電力を実測した。冷蔵庫、エアコンについては10年前のものとの差は大幅な削減になったが、テレビは大型を購入する傾向になり逆に増になった。

*** 本会議第6セッション「2010年規定審議会」****「2010年規定審議会重要提案」田中 毅PDG（尼崎西）**

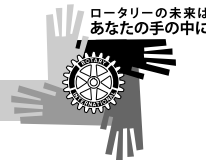
規定審議会は2010年4月にシカゴで開催され、全世界から219の立法案が提案されている。E-クラブを規定する件は、これを存続させるために提案された。クラブ自治権に関する提案はCLPに問題提起するために出されたものと思われる。会員については従来に加えて、法人会員、準会員など数多くの会員資格が提案されている。

*** 本会議第7セッション「識字率向上」****「フィリピンでの識字率向上を中心とする3Hプログラム」石井良昌PDG（尼崎西）**

オーストラリアのPGリチャード・ウオーカー博士が主として先住民に英語を教える為CLEを開発した。この方法によるマニラ近郊での実施例を説明。CLEの教え方は単に英語を覚えるのではなく、お料理を作らせるなどアクティブな行動で英語を身につけさせる。

「識字プロジェクトの可能性」富岡義勝2830地区識字率向上コーディネーター（八戸）

識字率向上運動は「貧困の連鎖」を断ち切り、保健衛生面での向上、社会的格差の減少を目標にするなど、人道的側面が強調されてきた。各地区、クラブは識字に関する事業について実効性のあるプロジェクトを計画すべきだと思われる。ポリオ、水保全の対象となる地域は、識字率向上がのぞまれていることが多いと思われる。



ガバナーエレクト研修セミナー報告

国際ロータリー 第2510地区

ガバナーエレクト **佐々木 正 丞**

Masatsugu Sasaki
(札幌RC)

「GETS」ということは、何かしら、おそろしいもの、として私の中にイメージづけられていた。子供の頃の「抜き打ちテスト」と同じような感じである。そのGETSに行ってきた。それは思った程ではないとも言え、或いは、それ以上だったかも知れない。

運悪く開講1番目の質問は私に飛んできた。「あなたの地区の長期計画について説明して下さい」途端に私の胃の腑は上がり下がりした。「長期計画とは何のことだ？ロータリーは単年度主義ではないのか…？」度胸をきめて答えようとした。「アイ・ドント・ノウ」と。ところが、世の中にはまじめな人も居るもので、横合いから「先生、それは、こうこう、こういう場合のことで良いんですか」と。それに呼応して何人かの声が重なり、やがて先生は私に指名していることを忘れてしまったのか、次のテーマに行ってしまった。「助かった」という思いと、若干の反省があった。他の人は熱心だなと。

クラス編成替えと担当の先生も変って、二度目のご下問があった。それは会員増強のテーマである。ここでも私は失敗した。良い解答が出来なかったのである。「先生の言われるような勢いで北海道においては会員増強は出来ません。ロータリーの社会貢献とは寄附をするだけかと言われてしまいます」。ここでもまた、他の地区の人々の立派な発言が続発した。いわく、「米山学友会でクラブができました。」また、いわく、「職業分類を見直しました…」。札幌に帰ってから、私は何人かの人に私の発言について聞いてみた。「あなたの言うのが当然です。そんなに、そんなに、寄附をしろ、人を増やせ、なんてうまくいくものではない」という声が多かった。が、私にはしこりが残った。「では、他のクラブの人達のあの情熱はどうしたことだ」と。確かに先生(研修リーダーと呼ぶ)の熱心さに引きづられた面もあるのかもしれないが、「少し違う」と私は思った。「よその地区だって経済的に苦しいはずだ。要は『ロータリー』についての理解が私とは、まるで違うのではないかと」。

もともとロータリーには四半世紀以上在席しているから、その輪郭についてはわかっているつもりだった。しかし、「何の為にロータリーに入っているのか」という問いに自分自身が明確に答えられない。「やり直した!」と思った。

来たる地区大会において、また、ガバナー公式訪問において、私は地区内ロータリアンと議論してみたい。



ロータリー財団地域セミナーに参加して

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

Hideharu Iwaki
(札幌南RC・PG)

財団の地域セミナーに参加したのは、これで3度目になりますが、この研究会と併行したセミナーの他に、毎年7月1日に実施されるセミナーを加えると6回目になるのです。どうも年度、年度によつて取扱い手続きが変化することが多く、特に今回は財団が実施しようとしているプログラムに事業資金の減少の関係からか、教育的プログラムを減少させて、人道的プログラムに移行しようとするスタンスに変化しているように感じられます。それは社会的なニーズによる変化だと思われます。それによって、未来の夢計画にとり上げられた補助金制度を多く採用しようとするようになっております。

以上は大づかみで申しあげましたが、ロータリー財団に対する考え方には変化はありません。そして、ロータリアンが成すべき仕事は奉仕であり、その奉仕も多くの種類がありますし、その1つに財団のプログラムへの御理解を深めて戴き、より更なるロータリー財団への御理解を戴くことによって、浄財への心が開けることとなります。そして、御寄附への道すじが明るく見えるものと信じております。

I プログラムについて

A 従来までの主なプログラム

(1) 教育的プログラム

- ① 1学年度国際親善奨学金
- 2009-10 1学年 77名
- マルチイヤー 54名
- 3,6ヶ月 12名
- 計 143名

従来の国際親善奨学金は2011年10月1日
で締切

2011-12年度は受入れを実施し、
2013-14年からは新補助金制度となるの
で、新地区補助金となります。

② GSE

WFを使う場合 2010-11年度

③ ロータリー平和フェロウシップ

当地区は該当者なし

④ 新地区補助金の枠の中でマルチイヤー 奨学金

文化研修

(2) 人道的プログラム

① 地区補助金

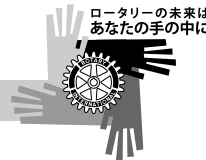
2013-14年度 新補助金制度の下での
グローバル補助金または新地区補助金
となります。

② マッチング・グラント

2010-11年度 ノンパイロット地区同士
のマッチング・グラント

2011-12年度 同上

2012-13年度 同上



2013-14年度 新補助金制度の下でのグローバル補助金または新地区補助金マッチング・グラントの件数は、1560件で書式が変更しました。

- ③ ボランティア奉仕活動補助金は廃止しました。
- ④ ポリオ・プラス・プログラム
国際ロータリーもロータリー財団も全力をあげる。

B未来の夢計画（これからの財団プログラム）

(1) 新地区補助金

地区の意思により、人道的、教育的に支援する。

① グローバル補助金、新地区補助金

◎ 人道的プログラム

平和と紛争、疾病予防、水と衛生、母子の保健、基礎教育、経済開発、地域開発はDDFによって支出

◎ 国際親善奨学金は奨学金となる。

世界での件数904件(2008-09)マッチング・グラントは人道的プロジェクトとなる。2ヶ国が力を合わせて、人道的プロジェクトを実施する。日本の参加チームは22地区GSEは職業研修チームとなる。(世界は558チーム、日本は15チームが参加)滞在費、旅費をDDFで賄うことができる。交換であることは義務付けない。地区もクラブも参加できる。

◎ 会計制度の明確化

新補助金制度は2013-14年から全地区が参加することになります。

以上が、かいつまんだ今後のプログラムの要点ですが、2013-14年度から本格的な実施になるので、より深めた研鑽をして地区会員の皆様に対して、御説明に努めて、御理解を深めさせていきたいものと考えております。

II 寄付

(1) 年次寄付は日本全体で、2011-12年度は			
DDF	585,000千円	50%	
WF	585,000千円	50%	
計	1,170,000千円		

運営費と人件費が使用されます。

- (2) 恒久基金寄付は元金は使わないが、投資収益でDDFとWFに向ける
- (3) 用途指定寄付
寄付の種類については、省略致します。

以上について、片岡前室長さんから説明があり、DVDによるものであるから当地区も入手しました。

III その他

2008-2009年度のロータリー財団の財政については、川尻RRFCが財政の正常化についての説明をされた。

ロータリー日本財団の動向について、岩井ロータリー日本財団理事長より説明があつたが、日本全体が公益法人の改善を実施している時に、ロータリーが日本に寄付の使用先が日本国内に向けていない寄付金は政府では許可がなかなか難しい点を述べられた。

ロータリー2億ドルのチャレンジはインドのポリオの現状をスライドで我々に訴えていたが、日本ではポリオは少ないであろうが、世界ではまだまだの様である。

ロータリーカードの推進と恒久基金の重要性を述べられた。

以上、具体的なプログラムの御説明を記しましたが、今は改正の過渡期的な期でもあり、十分な解説は難しいのですが、今のところを御紹介を申し上げ、財団地域セミナーの御報告と致します。



インターシティーミーティング(IM)を終えて

第2510地区 第12グループ

ガバナー補佐 **菅野 嘉一**

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

私がガバナー補佐への推選を受けて、早いもので1年を過ぎ、何かと現在忙しい思いをしています。担当各クラブは苫小牧クラブ・苫小牧北クラブ・白老クラブ・所属クラブの苫小牧東クラブであります。

IMが苫小牧グランドホテルニュー王子において10月17日15時より132名の参加者の中で行われました。残念ながら渡邊ガバナーは出席できず、神部代表幹事の出席のもと行われました。渡邊ガバナーの基本方針が「環境・人・子供に目を向けよう」とのことでしたので環境に対しての事業を組むことで決まりました。私の所属クラブは長年に渡り地域の環境に関心を持ち、いろいろ環境問題に取り組んできました。中学校の生徒さんをお願いして環境に関する標語を募り、その中で環境標語を中学生から集めた時に、苫小牧は郵便番号が053から始まるので053(ゼロゴミ)を頭にもって来て、ゼロゴミ(053)のまち苫小牧という標語が入選をしました。その後公園等に看板を設置してゼロゴミの街にという考えから、市役所でも「053」を利用するようになりました。そんな関係もあり、IMecoライフ大作戦(053ステージ)と題して、苫小牧市環境衛生部ゼロごみ推進室長、若林義則氏を招いて開催しました。講演の中で、市民一人ひとりが自分たちの暮らしを見つめなおし、ゴミの減量化へ向けて行動することでゼロごみのまちを目指す「ゼロごみ大作戦」を苫小牧市として取り組んだ。でも環境問題とはごみだけではありません。そこで私たちの生活と環境の深い関わりを知り、より環境にやさしいライフスタイルで毎日を暮らせるように「地球環境」「資源環境」「自然環境」「環境教育」という4つのテーマを柱に、さまざまな環境問題に町ぐるみで取り組むことを目指してみんなでガンバロウ、そしてecoライフ大作戦を理解して欲しいと話されました。苫小牧市民の目標として「1人1日10gのごみ排出量の削減」「1人1日1.5kgのCO²排出量の削減」を実現させようと訴えていきましょう。

私も話を聞いていて、ごみは女房に任せっきりで分別もキチンと出来ないありさまで、ごみの減量には実感としてなかなかしていなかったことに気づき、又、会員の皆さんも、話としては分かるが実行するには努力が必要との話がありましたが、私たちロータリアンとして地域を指導していくものにとって、勇気と実行が必要と考え12グループの中で少しでも多くの人々に理解をしてもらえる様に行動していかなければと思っております。

北海道ローターアクト交流会を終えて

第2510地区ローターアクト

第8回北海道ローターアクト交流会
実行委員長

枝村 達也

Tatsuya Edamura

平成21年11月22日・23日の両日、千歳市にて「第8回北海道ローターアクト交流会」を開催いたしました。ご多忙中にも関わらず沢山のロータリアンの皆様にご参加を頂き誠にありがとうございました。私たち千歳ローターアクトクラブの現メンバーが、このような大きな行事をホストする事が初めてでしたので不安な事ばかりでした。準備期間中には提唱ロータリークラブを始め、沢山のロータリアンの皆様、他クラブのアクター達から、様々なアドバイスを頂き、また、当日ご参加頂きました皆様方のご協力のもと、無事に交流会を成功させる事が出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

今回の交流会のテーマ『CO²+~Community One 2500+2510=1~』のもと、1日目のプログラムでは、コミュニケーションを図りながら、交流や親睦を深められる様に、『ペットボトルロケット製作』を行いました。ロータリアンの皆様にもご参加頂き、中にはアクターよりも熱心に、楽しそうに製作に取り掛かっているお姿を拝見し、とても嬉しく感じました。今回の交流会で、2500地区のアクターと交流や親睦を深められた事はもちろんの事、沢山のロータリアンの皆様と楽しいひと時を過ごせた事も、本当に嬉しく思います。

2日間という限られた時間ではございましたが、実行委員長という役目を担い、様々な事を経験し、学ぶ事が出来ました。交流会が無事に終了するまでは、不安や緊張ばかりでしたが、今は達成感で満ち溢れています。交流会を通して身に付けた事を、今後のアクト活動に活かして行きたいと思います。今後、より良い活動を行う為にもローターアクトクラブに対するご支援・ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

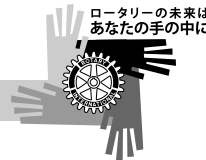


北海道ローターアクト交流会の趣旨と経緯

【趣旨】 同じ北海道で活動する者同士、地区という垣根を越えて、情報交換を行い、親睦を深め、自分自身の職業やアクト活動に良い影響を与える環境を提供する。そして両地区の交流強化、自己研鑽を促す。

【経緯】 2500地区1998～99年度地区協議会の会長クラス懇談会にて、第2510地区の情報がほとんどない為「交流会をしてはどうか」という意見が上がり、これを受け翌年度の役員が2510地区と協議し、2001年10月21日帯広市にて両地区ガバナー立会いの下「友好調印式」が執り行われた。その内容は「以降3年以内に、交流会の実施・継続・内容について、両地区で協議をして答えを出す」というものであった。2002年11月23・24日両日に、記念すべき第1回交流会が2500地区のホストにより開催された。以降、毎年両地区交互にホストをして開催していく事となり、本日第8回北海道ローターアクト交流会の開催に至る。





2010～2011年度ガバナー補佐会議が開催される

国際ロータリー 第2510地区

次期代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

2009年12月12日(土)に標記会合が開催され、地区内12名の次期地区ガバナー補佐が札幌グランドホテルに集りました。

当日は、冒頭佐々木ガバナーエレクトからご挨拶があり、その後、塚原地区研修委員会リーダー(パストガバナー)から「ガバナー補佐就任にあたって」、丸山地区研修委員会委員(パストガバナー)から「会員増強について」、酒井地区研修委員会委員(パストガバナー)から「ガバナー補佐の役割について」、それぞれご講話を頂きました。

佐々木ガバナーエレクトは挨拶の中で、①来年1月に開催されるサンデイエゴでの国際協議会で次期RI会長のRIテーマを勉強してくる。②地区の目標については、RIテーマを受けて補佐の皆さんと相談し、2月27日の地区チーム研修セミナーで発表したい。③今後の行事として、2月27日に地区チーム研修セミナー、3月13・14日に会長エレクト研修セミナー、4月18日に地区協議会、そして10月16・17日に地区大会を開催予定している。④地区大会では、ロータリー活動の原点・初心に戻って、クラブ活動の現況(奉仕活動、親睦等)を見つめ直し、地区内の実情を補佐や会長さんに発表してもらい、一般会員とも意見交換をしたいので、現補佐からの引継ぎを十分に行ってもらいたい。⑤クラブ公式訪問は、個別訪問を原則とするが、皆さんのご要望を別途お寄せいただきたい等の話がなされました。

会議では、お三方のパストガバナーから密度の深いお話をいただき、これからの活動に大いに参考になったものと思われませんが、各クラブの会長エレクト、クラブ次年度役員等の皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問

11月

11月5日(木)

5G 札幌東ロータリークラブ

快晴の秋空となった11月5日、午前10時から渡邊ガバナー、江口ガバナー補佐、神部地区代表幹事をお迎えし、荒岡会長・鈴木会長エレクト・坪井幹事・矢橋副幹事の7名で会長・幹事会を開催致しました。

荒岡会長から、創立50周年を終え100周年に向けて第一歩となる今年度、更なる価値あるロータリーを築くため、この経済不況の中「企業あつてのRC」という観点から、倫理を正して職業紹介をし合い、活発な職業奉仕活動を通じ地域経済に貢献したいという思いで、毎月1回、「夢を叶える職業紹介」を行う例会や、「ヒブワクチン接種促進活動」などの取組みについて掘り下げた意見交換を行いました。

11時からクラブ協議会を開催し、当クラブ各委員長より、今年度の活動計画と活動状況等について説明し、ガバナーから一つひとつ示唆に富んだ講評を頂きました。

例会では、特に「そらぶちキッズキャンプ」への支援に対する熱い思いをお聞かせ頂き、終始和やかな雰囲気の中で、公式訪問は終了いたしました。



スローガン	出会いを大切に、友愛の輪を広めよう!
創立年月日	1959年2月19日
RI認証年月日	1959年3月14日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	札幌パークホテル

11月10日(火)

3G 当別ロータリークラブ

11月10日(火)渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。会長・幹事懇談会、クラブ協議会と渡邊ガバナーの温なお人柄と嵯峨ガバナー補佐の的確な進行に助けられ、当クラブの活動状況をご報告申し上げ、ご指導いただきました。例会では渡邊ガバナーより「そらぶちキッズキャンプ」へ支援をするきっかけやなぜ支援するのかというお話、そして子どもたちにどのような影響を与えているのかを伺うことができました。話を伺いつつ、その子どもや親たちへ想像を巡らせ、共感をする事の重要性を再度確認いたしました。



創立年月日	1976年4月6日
RI認証年月日	1976年4月19日
スポンサークラブ	札幌北ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	(株)田西会館

11月12日(木)

2G 芦別ロータリークラブ

11月12日(木)、渡邊恭久ガバナー、北谷ガバナー補佐(神部地区代表幹事、福井地区幹事)をお迎えして公式訪問が開催されました。午前中の会長・幹事会では、櫻井会長より芦別の地域事情とクラブの現状の報告の後、ガバナーよりクラブの活性化について貴重なアドバイスをいただきました。



続くクラブ協議会では各委員会より活動報告がされ、ガバナーより、当クラブが従前から行っている「物故者追悼例会」「ロータリーの森の整備」「海外青年協力隊のカンボジア難民活動に対する支援」や今年度の新規活動である「ロータリー新聞の発行と芦別市内全戸配布」「小鳥の巣箱作り」、「個人寄付で3人のマルチプル・ポール・ハリス・フェローと5人のポール・ハリス・フェローが達成されたこと」等の報告に対し、温かいご評価と「ロータリーの公共イメージを高める運動の必要性」のご助言をいただきました。

午後からの例会では久々に100%出席を達成でき、ガバナーの温かいお人柄と第2グループご出身ということも相まって、和やかに盛会のうちに全日程を終了することが出来ました。



スローガン	ロータリーに対する市民の認識と理解を深める
創立年月日	1957年12月4日
RI認証年月日	1958年3月18日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分
例会場	芦別商工会議所

11月12日(木)

3G 美唄ロータリークラブ

午後4時30分より渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐、福井地区幹事をお迎えして、会長・幹事懇談会が終始和やかな中で行われました。

続いて5時20分よりクラブ協議会を開催し、ガバナー、ガバナー補佐のご指導を頂き、多くの事を学び改めてロータリーの良さを教えさせられました。

6時20分の記念写真の後、1776回の夜間例会での渡邊ガバナーの講話では、ガバナー就任の経緯という身近な話題から重点目標である「そらぷちキッズキャンプ」のお話まで、熱心にわかりやすくお話し頂き、とても有意義な公式訪問で有りました。



スローガン	自他共栄
創立年月日	1973年5月31日
RI認証年月日	1973年6月7日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分
例会場	美唄ホテルスエヒロ

11月24日(火)

2G 赤平ロータリークラブ

11月24日(火)午前10時よりガバナー公式訪問が始まりました。

73クラブ中の71番目の訪問となりました。

渡邊ガバナーも「身内のクラブへの訪問の心持」と述べられ、協議会・例会も、お互いリラックスした雰囲気の中で、有意義な公式訪問となりました。

渡邊ガバナーは重点目標のひとつの、小児がんの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」にふれ、子ども達への思いを熱く語られ、広く支援を要請されました。この熱き思いは我々の心にも響きました。例会終了後、出席者全員で記念撮影をして終了しました。



創立年月日	1960年12月13日
RI認証年月日	1961年2月9日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	赤平市交流センターみらい

11月25日(水)

2G 砂川ロータリークラブ

砂川パークホテルに渡邊ガバナー、福井地区幹事をお迎えし午前10時から会長・幹事会、午前11時からクラブ協議会、そして午後0時30分からの例会を開催いたしました。

会長・幹事会では、そらぶちキッズキャンプの質疑に対して熱っぽく語られ、その後、女性会員についての意見交換がありました。

クラブ協議会の途中から神部地区代表幹事もご出席され、各委員長からの活動報告に対し、渡邊ガバナーから明快なご助言を頂きました。

例会での講話では、地区大会のお礼、国際協議会、7つのテーマ、キッズキャンプの心温まる事例等をお話されました。



スローガン	先達の良質と情熱(おもい)を未来の懸け橋に
創立年月日	1970年1月13日
RI認証年月日	1970年1月30日
スポンサークラブ	滝川ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会会場	砂川パークホテル

11月26日(木)

2G 滝川ロータリークラブ

11月26日(木) 渡邊ガバナーがおおよそ3ヶ月間を経て、73クラブ最後の公式訪問がホームクラブにて行われました。

川口会長をはじめとするクラブ会員が「歓迎 親愛なる渡邊ガバナー」の言葉のもと本当にご苦労さまでしたの気持ちのもと迎えることが出来ました。

公式訪問例会を行うにあたり11時より会長・幹事懇談会にはじまり例会へと進んで参りました。渡邊ガバ

ナーより各それぞれのクラブを廻られ様々なクラブの味わい、また伝統とか習慣とか地域の風土とかそれぞれのクラブの香りをもとにお話を伺い、あらためてロータリークラブについて学習させていただきました。また一致団結のもと足並みを揃え主管しました地区大会においても多くのクラブより高い評価をいただいていることを述べられ、あらためて感激を賜りました。そして地区の本年度の基本方針のもと4つの重点項目の中のひとつである「そらぶちキッズキャンプ」についてもお話を受け、日頃から強く滝川として自負してはいますが今後の更なる支援の大切さを再認識を致しました。

73クラブの公式訪問は終わりましたが今後12グループのIM、10クラブの周年行事、WCS事業の検証ツアー、モンリオールでの国際大会等、多忙な日々が続くことと思いますが、今後も引き続きご活躍をされますよう滝川クラブ会員が心よりお祈り申し上げます。



スローガン	人の和 クラブの和
創立年月日	1958年8月16日
RI認証年月日	1958年11月13日
スポンサークラブ	旭川ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会会場	ホテルスエヒロ





CANADA
20-23 JUIN/JUNE
MONTREAL 2010
ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

モントリオール2010国際大会最終のご案内

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 **酒井 正人**

Masato Sakai
(函館五稜郭RC・PG)

第一報で既にご案内いたしました。2010年RI国際大会は6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モントリオールで開催されます。当地区のオン・ツー・モントリオール委員会は国際大会のためA・Bの2コースを企画いたしました。最終日程・料金が確定いたしましたのでご案内いたします。

Aコース行程表

旅行代金 お一人様 305,000円

(ビジネスクラス利用代金885,000円) (シングル利用58,000円プラス)

目次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/18 (金)	新千歳発	08:15	航空機	国内線にて成田へ(又は羽田経由) 出国審査後、空路シカゴ経由 又北米内乗継にて モントリオールへ (日付変更線通過)	×	×	機内
		成田着	09:55					
		成田発	11:45	航空機	着後:入国審査を済ませ、 ホテルへ (モントリオール泊)	ホテル	×	×
		シカゴ着	09:15					
		シカゴ発	11:15	航空機				
モントリオール着	14:25	航空機						
2	6/19 (土)	モントリオール 滞在	終日		■終日自由行動 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
3	6/20 (日)	モントリオール 滞在	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(夜) ※詳細は改めてご案内いたします。 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
4	6/21 (月)	モントリオール 滞在	終日		■終日自由行動 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
5	6/22 (火)	モントリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、 ニューヨーク又は 北米内乗継にて 帰国の途へ (機内泊)	ホテル	機内	機内
		ニューヨーク着	11:30					
		ニューヨーク発	13:10	航空機				
6	6/23 (水)	成田着	16:10	航空機	入国手続き後、 国内線にて新千歳へ (又は羽田経由) 着後解散	機内	×	×
		成田発	18:40					
		新千歳着	20:25					

※注意:発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル:クラリオンホテル又は同等クラス。

★最少催行人員:6名 ★添乗員:現地係員がご案内いたします。

■A・Bコースとも旅行費用に北海道ナイトの料金は含まれておりません。

【申込締切】 2010年1月22日(金)

*当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機座席の
関係から、先着順で受付満員になり次第締め切らせて頂きます。

【お問合せ・お申込先】

株式会社 日本旅行北海道 札幌支店
札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階
電話:011-208-0170 FAX:011-208-0174 担当:斉藤・西村

Bコース行程表

旅行代金 お一人様 550,000円

(ビジネスクラス利用代金1,030,000円) (シングル利用85,000円プラス)

目次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/15 (火)	新千歳発	13:45	航空機	国内線にて成田へ(又は羽田経由) 出国審査後、 空路バンクーバーへ (日付変更線通過)	×	×	機内
		成田着	15:25					
		成田発	19:00	航空機	着後: バンクーバー市内観光と キャピラノ渓谷観光 (バンクーバー泊)	機内	○	○
バンクーバー着	10:50	専用バス						
2	6/16 (水)	バンクーバー ビクトリア バンクーバー	終日	フェリー	[終日]フットチャートガーデンと ビクトリア市内観光フェリーで ビクトリアへ。四季折々の花々 が美しいフットチャートガーデン・ 州会議事堂を観光 (バンクーバー泊)	ホテル	○	○
3	6/17 (木)	バンクーバー発 カルガリー着 バンフ着	午前 昼 夕方	航空機 バス	空路、カナディアンロッキーの玄関口、 カルガリーへ。着後:バンフへ ◆サルファース山の展望台からロッ キーの山々のパノラマをお楽しみ いただきます。 着後:ホテルへ (バンフ泊)	ホテル	○	○
4	6/18 (金)	バンフ カナディアン ロッキー バンフ	終日	専用バス	(終日)世界遺産カナディアンロッキー観光 ◆コロフト氷河の雄大な山々の 景観や「カナディアンロッキーの宝5」 とたたえらるるレイク・ルイス・ペイト レイク等の魅力をお楽しみください。 コロビア大氷原では、雪上車による観光を お楽しみください。(バンフ泊)	ホテル	○	○
5	6/19 (土)	バンフ カルガリー発 モントリオール	午前又は午後 夕方又は夜	航空機	バスにてカルガリーへ 空路、モントリオールへ (カナダ国内乗継あり) 着後:ホテルへ (モントリオール泊)	ホテル	○	○
6	6/20 (日)	モントリオール 滞在	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(夜) ※詳細は改めてご案内いたします。 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
7	6/21 (月)	モントリオール発 トロント (バンクーバー)	08:00 12:00	航空機 航空機	出国手続きを済ませ、 トロント又は バンクーバー経由にて帰国の途へ (機内泊)	ホテル	機内	機内
8	6/22 (火)	成田着	15:05	航空機	入国手続き後、 国内線にて新千歳へ (又は羽田経由) 着後解散	機内	×	×
		成田発	19:00					
		新千歳着	20:40					

※注意:発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル

*バンクーバー:ハイアットリージェンシー又は同等クラス。

*バンフ:リムロックリゾート又は同等クラス。

*モントリオール:ヒルトン・モントリオール・ラベル又は同等クラス。

★最少催行人員:15名 ★添乗員:全行程同行いたします。

【国際大会登録に関して】

*事前登録の最終締切は3月31日です。それ以降は現地での登録となります。*大会登録はe-mailかFAXでRIに直接申し込んでください。
登録費はお一人様325ドルです。*登録方法の詳細は2010年国際ロータリー年次大会「登録およびチケット申込書式」を参照ください。

新会員の紹介 (敬称略)



阿戸 孝之

あと たかゆき

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 土木業



川西 正敏

かわにし まさとし

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 各種商品小売業



名取 一仁

なとり かずひこ

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 貨物自動車運輸



津田 憲彦

つだ のりひこ

(苫小牧RC)

- 入 会 / 11月27日
- 職業分類 / 石油精製



徳丸 康敏

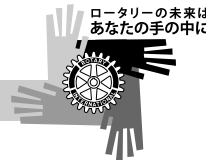
とくまる やすとし

(岩見沢RC)

- 入 会 / 11月19日
- 職業分類 / 損害保険業

例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

砂川RC	1月13日(水)新年交礼会 16:30～ 場所:砂川パークホテル
滝川RC	1月7日(木)新年会 18:00～ 場所:滝川ホテル 三浦華園
江別RC	1月7日(木)、1月28日(木)移動例会 12:30点鐘 両日とも例会場は、セレモニーホールはやし大麻(江別市大麻中町26番地1)
江別西RC	1月12日(火)の例会を下記に変更 1月16日(土)新年夜間例会 18:00～ 場所:いろは居酒屋(江別市野幌町57-2)
岩見沢東RC	1月 5日(火)休会 1月19日(火)の例会を下記に変更 1月14日(木)岩見沢RC・岩見沢東RC新年合同交歓会 18:00～ 場所:ホテルサンプラザ
小樽RC	1月12日(火)夜間例会 17:45～ 場所:グランドパーク小樽
伊達RC	1月 5日(火)休会
室蘭RC	1月28日(木)例会時間を12:30から18:00に変更
室蘭東RC	1月27日(水)創立49年記念家族同伴夜間例会 18:30～ 場所:蓬峽殿
室蘭北RC	1月5日(火)夜間例会「新年交礼会」18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老RC	1月 5日(火)休会 1月26日(火)新年家族例会 18:00～ 場所:白老経済センター(白老町大町)
苫小牧RC	1月1日(金)休会 1月8日(金)夜間例会「新年家族会」18:00～ 場所:グランドホテルニュー王子



クラブ幹事の変更について

函館五稜郭RCの幹事が12月1日より下記の方に変更になりましたのでご連絡致します。

新幹事 **上加淳悦** (じょうか じゅんえつ) 職業分類:冷暖房設備工事

勤務先: 上加冷機工業(株) 代表取締役

〒041-0805 函館市赤川1-3-4

電話 0138-46-7701 FAX 0138-46-8678

自宅: 〒041-0835 函館市東山3-16-8

電話 0138-56-8005

文献資料室だより

小樽南RCの見延庄三郎ガバナー補佐(第6グループ)より文献資料室を利用しての感想とご意見をお寄せいただいておりますのでご紹介致します。

【文献資料室にお礼と期待】

見延庄三郎(小樽南RC)

物事はその因って来る原因や経緯がわからないと真の理解が得られないことがよくあります。決議23-34もその典型例です。

普段は不勉強でもロータリアンは務まりますが、地区の役員やクラブ会長等のリーダー職に就けば、理論武装も必要になります。そんな時ロータリーの図書館が文献資料室です。時々利用し、情報の質と量の補強に役立っている事に感謝しています。

札幌の合同事務所内にこのような資料室があることを多くの会員は知らないのでは? もっとPRしてはどうでしょう。

最近インターネットを利用し、ガバナー月信に掲載されている文庫通信から居ながらにして情報を取ることが出来、助かっています。文献資料室もインターネットを通しての情報発信機能を持てたら、もっと会員に喜ばれるのではないのでしょうか。

苫小牧北ロータリークラブ 会員訃報

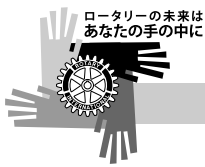
謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。



千葉辰一 会員

ちば たついち

- 平成21年11月30日ご逝去(享年 82歳)
- ロータリー歴
1989年1月10日入会
2001~2002年度 会長エレクト
2006~2008年度 国際奉仕委員会 委員長
2009~2010年度 出席委員会 委員長
- 表彰
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
15年間100%皆出席



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

留 萌 R C	二ノ宮	清 信	会員 (1回)	11月30日
美 唄 R C	吉 村	誠 治	会員 (5回)	11月11日
美 唄 R C	井 門	英 明	会員 (6回)	11月26日
札幌あけぼのRC	砂 原	雅 治	会員 (3回)	11月24日
札幌西北RC	三 上	直 彦	会員 (10回)	11月 6日
札幌東 R C	加 藤	國 彦	会員 (1回)	11月30日
札幌東 R C	須 田	幸 男	会員 (3回)	11月30日
札幌東 R C	鈴 木	俊 幸	会員 (1回)	11月30日
札幌東 R C	吉 山	八 郎	会員 (7回)	11月30日
札幌真駒内RC	金 坂	和 正	会員 (6回)	11月13日
札幌真駒内RC	吉 村	洋 吉	会員 (20回)	11月13日
札幌真駒内RC	丸 山	淳 士	会員 (4回)	11月20日
室 蘭 R C	松 岡	健 一	会員 (10回)	11月20日

■米山功労クラブ

札幌東 R C (36回) 11月30日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	永 井	久 之	会員 (3回)	11月27日
深 川 R C	山 田	圭 二	会員 (1回)	11月27日
羽 幌 R C	大 石	洋 一	会員 (1回)	11月20日
羽 幌 R C	舟 橋	隆 宏	会員 (1回)	11月20日
留 萌 R C	行 徳	幸 治	会員 (1回)	11月30日
留 萌 R C	平 井	誠 治	会員 (3回)	11月30日
留 萌 R C	渡 部	英 次	会員 (5回)	11月30日
江 別 R C	八 島	壯 之	会員 (2回)	11月 6日
札幌北 R C	小 林	俊 之	会員 (3回)	11月20日
札幌西北RC	小 林	秀 樹	会員 (1回)	11月13日
岩 内 R C	井 戸	幸 夫	会員 (1回)	11月13日
小 樽 R C	菰 田	尚 正	会員 (1回)	11月27日
室 蘭北 R C	村 井	玄 乙	会員 (2回)	11月30日
苫小牧北RC	伊 藤	竹 雄	会員 (5回)	11月27日
苫小牧北RC	菊 地	芳 彦	会員 (2回)	11月27日

■ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	長谷川	幸 央	会員	11月27日
羽 幌 R C	出 口	治 康	会員	11月20日
江 別 R C	石 堂	了 正	会員	11月 6日
小 樽 R C	上 浦	庸 司	会員	11月27日
小 樽 R C	清 水	雅 章	会員	11月27日
伊 達 R C	早 瀬	芳 宏	会員	11月20日
室 蘭 R C	飯 尾	哲 也	会員	11月20日



文庫通信

(267号)

このたびは昨年度の
会計報告をさせて頂きます。

ロータリー文庫 2008~2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普 通 預 金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定 期 預 金	0	負債合計	199,364
現 預 金 合 計	8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	23,296,150	委員会費	1,398,642
雑 収 入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃貸管理費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当 期 合 計	23,431,287	当期合計	27,941,340
前期繰越収支差額	12,963,669	当期収支差額	△ 4,510,053
収 入 合 計	36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F http://www.rotary-bunko.gr.jp
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009~2010年度 地区カレンダー (2010年1月~6月)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地 区 の 行 事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 I M、クラブ周年行事	
2 0 1 0 (平 成 22 年)	ロータリー理解推進月間	1	7(木)~11(月) 9(土) 23(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 WCS検証ツアー(タイ・ノンカイ) 2010学年度米山奨学生選考試験 (札幌) ガバナー補佐会議(札幌)	16(土) 18(月)~24(日)	国際協議会(米国・サンディエゴ)	札幌幌南RC45周年記念式典	
	世界理解月間	2	27(土)	ガバナー補佐研修セミナー(札幌)	6(土) 12(金)		苫小牧北RC40周年記念式典 小樽南RC50周年記念式典 第6グループI M 第9グループI M 三石RC40周年記念式典 第8グループI M	
	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日 (2/23)		27(土)	地区チーム研修セミナー(札幌)	12(金) 13(土) 14(日)			
	識字率向上月間 世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ローターアクトの日 (3/13)	3	13(土) 13(土)~14(日)	2010年3月終了米山奨学生歓送会 会長エレクト研修セミナー(札幌) ロータリー財団セミナー・ 米山セミナー(予定)				
	ロータリー雑誌月間	4	2(金) 18(日)	スウェーデン第2630地区より GSEメンバー受入(~5/1) 地区協議会(札幌)	3(土) 11(日) 23(金)~24(土) 24(土) 25(日)~30(金)	第3700地区(韓国)地区大会 2010年規定審議会(米国・シカゴ)	第10・11グループ合同I M 第1グループI M 第4・第5グループ合同I M	
		5	1(土)	スウェーデン第2630地区へ GSEメンバー派遣(~5/30)	22(土) 22(土) 29(土) 29(土)		砂川IRC40周年記念式典 第2グループI M(予定) 函館五稜郭RC40周年記念式典 第7グループI M(予定)	
	R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6	5(土) 6(日)	米山学友主催家族懇親会 新旧地区委員長・ガバナー補佐 合同引継会議(滝川) 帰国財団学友報告会(予定) ローターアクト地区年次大会 インターアクト地区年次大会	5(土) 5(土) 12(土) 20(日)~23(水) 26(土)	国際大会(カナダ・モントリオール)	恵庭RC40周年記念式典 伊達RC50周年記念式典 栗山IRC40周年記念式典 札幌手稲RC40周年記念式典	
		7 ~ 9	渡邊年度残務整理					

2010年1月のロータリーレート 1ドル90円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.11.30	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	2	88.08
	羽幌	4	45	47	2	1	86.96
	妹背牛	4	9	9	0	0	83.34
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	1	80.61
	小計		138	143	5	4	84.16
2	赤平	3	29	32	3	1	92.30
	芦別	4	37	38	1	0	84.46
	砂川	4	55	54	-1	0	95.34
	滝川	4	96	96	0	2	75.00
	小計		217	220	3	3	86.78
3	美唄	4	33	33	0	0	92.59
	江別	4	34	34	0	1	92.65
	江別西	3	30	30	0	3	87.70
	岩見沢	4	85	87	2	0	96.77
	岩見沢東	3	33	36	3	4	93.03
	栗沢	4	24	24	0	1	100.00
	栗山	4	27	27	0	2	95.00
	当別	3	31	31	0	0	90.14
小計		297	302	5	11	93.49	
4	札幌幌	4	102	125	23	0	97.55
	札幌あけぼの	4	13	15	2	1	93.30
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	85.96
	札幌北	4	43	42	-1	5	92.27
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	70.12
	札幌西	3	58	57	-1	4	92.24
	札幌西北	4	40	39	-1	5	96.05
	札幌手稲	4	33	37	4	2	92.57
小計		359	385	26	21	90.01	
5	札幌東	4	118	122	4	0	98.50
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	64	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	96.67
	札幌南	3	80	81	1	0	98.77
	札幌大通公園	4	12	13	1	4	76.90
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	63.30
	新札幌	4	28	28	0	2	83.75
小計		358	367	9	19	89.74	
6	岩内	4	19	20	1	0	74.33
	倶知安	4	40	40	0	4	73.50
	小樽	3	65	69	4	0	90.48
	小樽南	4	76	76	0	1	85.80
	小樽銭函	4	22	23	1	2	77.00
	蘭越	4	9	9	0	0	80.55
	余市	4	41	40	-1	4	83.00
小計		272	277	5	11	80.67	

11月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,786人(105人)
増加会員数	86人
当月平均出席率	84.80%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.11.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	57	0	3	75.00
	千歳セントラル	3	37	38	1	2	88.60
	恵庭	4	35	41	6	2	85.76
	北広島	3	16	16	0	0	83.34
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	11	0	1	80.00
	小計		176	183	7	11	82.53
8	えりも	4	21	22	1	0	96.34
	三石	4	15	15	0	1	88.30
	様似	3	22	23	1	1	71.00
	静内	4	70	75	5	1	83.59
	浦河	3	36	36	0	2	100.00
	小計		164	171	7	5	87.85
9	伊達	3	55	55	0	0	78.18
	室蘭	4	41	44	3	0	65.12
	室蘭東	3	36	40	4	0	90.80
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計		205	215	10	4	84.53
10	函館	4	83	86	3	0	75.25
	函館亀田	3	42	40	-2	2	93.69
	森	4	34	39	5	0	66.00
	七飯	3	17	17	0	0	70.60
	長万部	4	9	9	0	0	69.37
	函館セントラル	3	31	30	-1	1	56.06
小計		216	221	5	3	71.83	
11	江差	3	18	18	0	2	72.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	97.69
	函館東	3	43	44	1	4	80.30
	函館北	4	28	28	0	0	86.48
	北斗	4	17	17	0	1	57.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
小計		166	168	2	7	73.91	
12	白老	3	28	27	-1	0	83.70
	苫小牧	4	48	52	4	2	82.81
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	91.45
	苫小牧北	3	29	29	0	2	97.78
	小計		132	134	2	6	88.94
合計		2,700	2,786	86	105	84.80	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail: rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

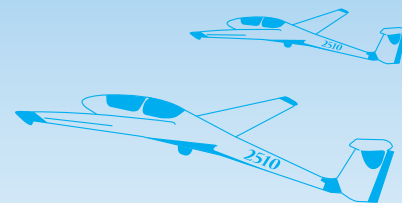
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

2



CONTENTS

- 新年度活動計画の策定にあたって☒……………1
- 世界理解月間にあたって☒……………2
- 世界理解月間に因んで☒……………3
- ガバナー補佐レポート☒……………4～6
- 第3グループIM報告☒……………7
- ローターアクト事業報告☒……………8
- クラブ事業紹介☒……………9～10
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます☒……………11
- ローター財団へのご協力に感謝申し上げます
例会日・例会時間・例会場の変更等について……………12
- 2010-11年度RIテーマ紹介……………13
- 新入会員の紹介・文献資料室だより
文庫通信・ロータリーレート☒……………14
- 地区カレンダー(2月・3月)☒……………15
- 出席率・会員数☒……………16

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



新年度活動計画の策定にあたって

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

当地区佐々木正丞ガバナーエレクトは、前後を加えると10日余をかけてアメリカのサンディエゴにおける国際協議会に出席をし、RI会長エレクトに会い、RI会長のロータリーにかける思い、2010～2011年度の会長方針やターゲット、各重要課題や懸案事項を確認をし、現況の認識と問題点の抽出がなされ、各テーマについて激しい討論を行い、問題意識を新たに加えながら先日帰国された筈であります。これから、ご自身の思いの中にこれを整理して地区の方針が作られ、間もなくわれわれに知らされたり、呼びかけられてくる事になると推測をしています。

クラブ会長エレクトは地域に根ざしたこれまでの奉仕の活動をベースに、クラブ会長エレクトのロータリーへの思いと奉仕理念の提唱を盛り込み、国際ロータリーと地区のガバナーエレクトからの方針を待って、クラブの奉仕活動の計画を仕上げるのが地区内クラブの多くと公式訪問を終え感じたことでもあります。

会長エレクトを含むクラブのリーダーは、自らのクラブが効果的なクラブになるように工夫や知恵を駆使して計画に取り組む、今がその時期かと推察しています。その効果的な要素の先ず第1は、何よりも現会員の維持であり、会員を増強することです。第2は、地域において奉仕の実践とその評価、クラブが地域に存在する理由の明確さであり、会員の参加がその基本になり魅力となります。第3は、国際ロータリーの名の下に世界と関わる魅力と奉仕の責務を感じ実践することです。そして第4は、ロータリーの継続性と活動の実践のためにリーダーの養成であり、研修であります。これらの4つの要素を背景に効果的なクラブ作りを目指し、新年度の計画をお立てになりますように期待をいたしております。

当地区の多くのそれぞれのクラブは、まことに一つ一つが味わいのある運営をしており、われわれのクラブが一番と誇りを持っておられるのは、とても大切な事でもあります。この誇りがステータスとなり、更なる発展へのエネルギーである事は論を待ちません。しかし他のクラブもまた一番と、異なった手法や、テーマを見つけ、よって効果的な奉仕の成果を上げていることにも気がつかねばなりません。

これから開催されるクラブ対象のPETS、地区協議会、各セミナーなどではクラブのリーダーにとって情報の収集、意見交換などの場として積極的に効果的な参加になるようにと期待をしております。



世界理解月間にあたって

地区国際奉仕委員会

委員長 **中村 真規**

Masaki Nakamura
(札幌西RC)

2月是世界理解月間です。世界中のロータリアンが国際奉仕プロジェクトについて考える時だと言われていています。

ロータリー章典には、ロータリアンや一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事であり、クラブは2月の世界理解月間に世界平和に不可欠な理解と親善を強調したクラブ・プログラムと活動を実施するようにと述べられております。また、1905年2月23日は、ポール・ハリス他3人が、シカゴで初めて会合を開いた日であり、ロータリーの創立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日とし、国際理解と友情と平和にむかって献身するよう要請されています。

世界理解月間はロータリアンが他の国々のクラブと関係を築き、共にプロジェクトを立ち上げる最良の機会です。多くのロータリアンは国際プロジェクトに参加して、初めてロータリーの意味を本当に理解することができたといっています。その経験が親睦、奉仕に新たな広がりをもたらします。ロータリーの青少年交換学生、国際親善奨学生、GSE、米山奨学生等の活動は、グローバルな相互理解に貢献しており、世界社会奉仕(WCS)プログラムは、援助を必要とする国々と、労力や資金を喜んで提供する人々とを結びつけています。また、ロータリーセンターは、国際関係や紛争の調停・解決について研究する奨学生のために2年間の修士課程プログラムを提供しています。国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられているのです。このようにロータリーにおいては世界平和実現のためのいろいろな活動が行われています。そして、2510地区においても、精力的なWCS活動が行われているのはもちろんのこと、各クラブでも青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の奉仕活動が積極的に行われていることは大変心強いことです。しかし、地区の国際奉仕委員会の委員長として、反省大なるは、皆さんが積極的に活動している各クラブの青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の活動が地区の国際奉仕の枠と若干異なっているため、地区国際奉仕との連携が十分取れていないことがあります。地区内の各クラブが積極的に活動している青少年交換やGSEの事例をもっと国際奉仕活動として、今後、取り上げられるように連携を密にしなければなりません。

ポール・ハリスは「地上に平和を、すべての人に善意を」といっています。世界理解月間にあらためて、国際奉仕、世界平和を考えてみるのが、そして、ロータリアンのみならず、一般の人にもロータリーの心を知っていただくことが、世界の平和につながることを期待します。



世界理解月間に因んで

地区世界社会奉仕委員会

委員長 **出村 知佳子**

Chikako Demura
(札幌北RC)

2月是世界理解月間ということで、委員長名に世界がついた委員会の委員長として投稿させて頂きたいと思います。

最近では本当に外国が身近になりました。私共も事業に関する海外とのやりとりをメールで日々行い、時には外国の相手から携帯に電話が来たり、更に最近ではスカイプという大変便利なものが出来、数十円でテレビ電話ができてしまいます。おかげで私たちのような海外とやりとりをする委員会は数段事業をやすくなっているのは確かです。以前はFAXや手紙のエアメールでのやりとり、苦労も多かったものと思います。

私共は委員会活動を通して、事業の検証などに訪れる機会にも恵まれ、タイ、インドネシアなどの国にも訪問をしてきました。そこで感じることは、地元の方やロータリアンのホスピタリティーの高さです。豪華な食事や場所などよりも、気持ちで一生懸命にもてなしをしてくれます。もてなされることにあまり慣れていない私達は、それを多少窮屈に感じたり、御返しをしなくてはとったりすることも多くあります。ですが、もてなしを受けるというのも国際マナーであり、返礼よりも相手が喜んでくれることが相手にとって一番嬉しいことです。一緒になって喜び、楽しい時を過ごすことは、何よりもお互いを理解することができます。またアジアの国に行きますと、日本のニュースが数多く伝えられています。多くのアジアの国の方々にとって、日本という国はあこがれの国でした。礼儀正しく、勤勉で、安全で、経済大国。日本を目標にという言葉も何度も聞きました。時代は変わり、これからの日本がどうなっていくのかを人々は見ているのだと感じる今日この頃です。

それはロータリーの世界でも同じではないでしょうか。これからの日本のロータリーの進む道を世界のロータリアンは注目をしているのではないかと感じます。日本のロータリーは諸外国においても、多くの奉仕活動をしてきました。それが今後、更により現地の方たちと理解しあい、交流しわかち合いながら進めていくことが必要になっていくことを感じます。

交流を通し、相手を理解し、違いを理解し、お互いに言い合える関係作りをすること……。簡単でわかりきったことのようにですが、ロータリーの奉仕活動を実施するにもやはりここに尽きるということ、活動の中で教えて頂きました。

これを、これからも地区の皆様と共に楽しんでいきたいと改めて感じるこの「世界理解月間」です。

2010年1月8日より渡邊ガバナーと共にタイ、第3340地区を検証ツアーにて訪問しています。レポートはまた後日報告させて頂きますが、その交流の様子を写真にて紹介いたします。





ガバナー補佐レポート

第1グループの現状報告

第2510地区 第1グループ

ガバナー補佐 **田中公一**

Kohichi Tanaka
(留萌RC)

8月下旬から9月にかけて4クラブの訪問をし、地区大会への協力と、「そらぷちキッズキャンプ」への支援をお願いいたしました。各クラブとも積極的で感謝いたしております。小平RCは鬼鹿町と小平町で約15kmも離れており、11名の会員中4名が鬼鹿地区に住んでおり、吹雪の例会出席は命がけです。妹背牛RCは、今回初めて訪問させていただきました。例会日が水曜日で留萌RCと同じなので、ガバナー補佐でなければ、まず訪問する機会はなかったと思います。会員数は少なくとも、地区大会には小平RC同様、全員登録していただきました。また夏でも使用できるカーリング場があり、妹背牛RCも大会を主催しております。長田会長が役員をされていることから、将来オリンピック選手が妹背牛町から育つ可能性は充分にあります。深川RCは相撲にたとえると東の正横綱で、第1グループの中では、一番長い歴史と伝統を持つクラブです。どのクラブも悩みは同じで平均年齢が毎年1歳ずつ増えるわけですから会員増強が急務です。訪問時のプログラムは、プレーパークについての記録映像が上映されておりました。また活動計画書には1年間のプログラムが決まっていたことにも感心いたしました。西の正横綱は羽幌RCで、創立30周年を迎えたばかりの一番若いクラブです。グループ内で一番勢いがあり訪問しても気が楽でした。特に3回目の12月12日の夜間例会では、会員夫人が同じテーブルで仲良く談笑しており、羽幌RCの謎が一つ解けました。ガバナー補佐の経験を、留萌RCに役立てる事が出来れば、訪問させていただいた4クラブのご恩に報いることが出来ると思います。今年度、渡邊ガバナーのご指導のもと第1グループを担当させていただき、地区重点目標に「そらぷちキッズキャンプ」を掲げていただきました。丸加高原に近い各クラブは、目に見えるかたちでの奉仕が可能です。深川RCには医療関係者が多く、滝川市医師会の強力なバックアップもありますが、緊急時にはお手伝いが充分可能と思います。「そらぷちキッズキャンプ」に最も近い妹背牛RCにはカーリングを子ども達に体験してもらえます。またプレ・キャンプですが、2年後に軌道に乗った時には、リピーターの子供達には是非カーリングも体験して欲しいのです。滝川に無いものが『日本海』です。羽幌、小平、留萌RCが協力して、来年8月のサマーキャンプでは難病と戦っている子ども達のために、生きた魚を海水と一緒に運んで丸加高原で釣りを楽しんでもらいます。目に見える奉仕の実現がきっと会員増強に結びつくこと確信しております。この計画は年度内ではありませんので、實藤次年度ガバナー補佐(羽幌RC)さんに引き継ぎいたします。



ガバナー補佐レポート

回 想

第2510地区 第8グループ

ガバナー補佐 山田博継

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

平成20年10月16日、2008～2009年度第2510地区第8グループのIMを、当時の園ガバナー補佐(浦河RC)のリーダーにより開催された時、次期ガバナー補佐として紹介を受けた折からその任務の重さを感じ始め、同年12月13日札幌に於て開催された次期地区ガバナー補佐会議に出席し緊張の中に議題が進行し、塚原パストガバナーの「ガバナー補佐就任の前に」という講演を聴くにつれ、段々とその責務の重さを尚一層強く痛感したことです。

しかし、次に講演された丸山パストガバナーが、ロータリアンであっても本当にロータリーの事を知っているのは20パーセント程である、と言われ無知の私にとって少し心が和らいたところでした。

時は経ち、クラブ会長・幹事研修会、そして地区協議会(研修会)が行われ、やがて、第8グループの渡邊ガバナー公式訪問の時となり、先ず私の所属する三石RC(8月3日)から始まり様似RC(8月4日)、浦河RC(8月4日)、静内RC(8月5日)、えりもRC(8月6日)と順次ガバナーに同行させて戴き、どのクラブも好意と友情とをもって温かく迎えて下さり、各クラブが方針及び活動計画に基づき熱心に発表されました。

ガバナーの重点目標である一番目の方針、「そらぶちキッズキャンプ」を支援しようということについて、ガバナーの明瞭にして心打たれる話を重ね重ね聞くにつれて、難病と闘い、ややもすれば短い命をもって人生を終わろうとする子ども達が、今日、一日一日を明るく楽しく一生懸命になって過ごす事の出来る施設を支援することが、ロータリアンであり私共大人の思いやりではないかと自ら心痛したことです。

私のクラブですが、社会奉仕委員長もこの方針に強く心を引かれ、先般門別の道営競馬参観するに当たり、貯金箱を用意し馬券が的中した人はその配当の一部を「そらぶちキッズキャンプ」支援にと醸出したのを手始めに、以来随時ボックスに入れる様にしております。

次に「WCS」の支援ですが、2年前に小さなクラブでも容易に支援することを知り、三石RCは地区の活動に過去2年参画し、今年も少額であるが支援したところです。その検証に行く縁を頂き、最初はタイ国のチェンマイでの「セキ」工事、ノンカイの「浄水器」設置の検証であり、2回目はインドネシア国のジョグジャカルタの孤児院への「マット贈呈」の視察、ジャカルタの児童館へ「文房具」の贈呈、タイ国チェンマイの「セキ工事の体験」をして来ました。改めて感じた事は、それぞれの地での子ども達との出会いで、素直で明るく生きている印象を持った事と、各RCの皆さんも一生懸命になって奉仕活動を行っている様子を伺うと共に、私達にも親切に対応して頂いた事を感謝しております。

今後共、渡邊ガバナーを始め地区並びにグループのロータリアンの皆様のご指導とご協力を懇願申し上げます。

ガバナー補佐レポート

上半期を終えて

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **加藤 寛治**

Kanji Katoh
(北広島RC)



ガバナー公式訪問を含め3度のクラブ訪問、そして9月の会長・幹事会、引き続き地区大会と日々の仕事に加え上半期のスケジュールをなんとかこなす事が出来ました。最近になってようやく余裕を持ってガバナー補佐の仕事が出来るようになってきたというのが現在の心境です。

第1回目のクラブ訪問の際には渡邊ガバナー方針、考え方が上手く伝えることができたかは自信が持てませんが、その中の重点目標である「そらぷちキッズキャンプ」への支援についてはご理解が得られたのではないかと思います。ただ今後どのような形で協力して頂けるか、課題も残されており、各クラブにはより一層のご理解とご協力を頂けるよう努力したいと思っております。会員増強については、1クラブ純増1名以上の目標をあげられましたが、4名増強したクラブもあり、12月現在、第7グループ全体として5名の増加で推移しております。09～10年度内には10名程度の会員増強が出来るものと思っております。

各クラブの委員会活動ですが、社会奉仕委員会については各クラブとも新規事業を計画するというよりは、例年行われている事業を継続し、より充実した内容にしながら地域社会の貢献に努めていくという傾向にあります。青少年交換委員会については、グループ内で2名程度の交換留学生を受け入れ、派遣を行っております。第7グループとしては今まで交換留学生の派遣を40名近く実施して参りましたが、最近では一部歓迎してくれる学校もありますが、公立高校の留学生受け入れがかなり難しくなっております。従って今後の交換留学生の派遣に関しては先細りになってしまうのではないかと危惧しております。おそらく他グループも同様ではないかと思います。青少年国際交流の更なる発展の為に地区として公立高校に留学生受け入れの要請を働きかけて頂くよう望みます。

この半年間、各クラブの会長、幹事はじめ会員の皆様とも親しくお付き合いをさせて頂く様になり、これからは気楽な気持ちでクラブ訪問が出来そうです。しかし、ガバナー補佐にとって最大の行事であるIMが5月に予定されています。今年度は「CLPの取り組みについて」をテーマとし各クラブより今後のクラブ運営について発表して頂き、その後討論形式で進行しようと考えております。第7グループは3クラブが会員数20名以下で、これからのクラブ運営に不安を感じていると思っております。他クラブに於いても会員の高齢化、会員数の伸び悩み、クラブ運営のあり方など問題点を抱えているのではないのでしょうか。このIMによりクラブの活性化、発展に繋がればと思っております。

残り6ヶ月の任期となりましたが、各クラブがより一層緊密な関係を構築し、協力しあえるようなグループにしていきたいと思っております。



第3グループIM報告

第2510地区 第3グループ

ガバナー補佐 **嵯峨 義輝**

Yoshiteru Saga
(岩見沢RC)

国際ロータリー第2510地区第3グループIMは、2009年11月28日(土)午後1時30分より渡辺孝一岩見沢市長、渡邊恭久ガバナー、佐々木正丞ガバナーエレクト、地区内ガバナー補佐、神部地区代表幹事にご臨席いただき、岩見沢RCをホストクラブとして、233名の出席を得て、ホテルサンプラザ(岩見沢市)において開催されました。

厳しい経済、社会環境の下、今地域に求められているのは我々ロータリークラブの、又、ロータリアンの“熱さ”ではないのかというIM運営委員会での時代認識を受け「明るい未来のために、熱き思いを！」をテーマとして話し合われました。

基調講演は、元参議院議員で野球解説者の江本孟紀氏に「江本孟紀の熱き語らい」と題して講演いただきました。人生には不運に見舞われることもあること、蛙が大海に出て、世の中にはすごい人がいっぱい居ることを知ったこと、なりたいという強い思いを持ち続ける重要性、人との出会いが人生を変える等々、示唆に富む話を熱く語っていただきました。

その後、8クラブ各会長よりクラブ運営にかける熱き思い、地域への取り組みの思いをそれぞれ語っていただきました。厳しい時代に大きく会員増強を果たしたことを報告した会長、メーキャップの効用を説き、メーキャップツアー実施の事例発表などもあり、各会長ともクラブ運営への思いを、熱く報告いたしました。又、第3グループは、出席率の高いクラブが多く、ガバナーから講評でお褒めをいただきました。地域への取り組みでも、どのクラブも特色のある事業が多々あり、首長が例会の場に赴き感謝状を交付し謝意を表すなど、地域が必要としている事業の発表がありました。交流会には、基調講演者の江本孟紀氏も参加していただき、ロータリアンと気軽に記念撮影に応じるなど、非常に和気あいあいとした雰囲気の中で情報交換が行われたことを付記し報告と致します。





ローターアクト 事業報告

E~CO+(エコプラス)

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Ando
(札幌南RAC)

今年度のローターアクトの地区ターゲットは「ECO+」です。この地区ターゲットに決めた理由は、地区としてみんなで一つのことをやりたかったというのが一番の理由でした。手間やお金がかかると続けることができないのでひとりひとりが日常的にできることを考え、地区として初の試みとして「エコキャップ活動」をやろうと思いました。この地区ターゲットにはいろんな意味が込められています。

その文字からE→ENJOY・C→COMMUNICATION。みんなECO(いい子)で楽しく、親睦をはかり、エコ(ECO)活動しよう。そして、エコ活動を通して地区全体の活動も活発になり、みんなの団結が深まりますようにという願いを込めました。+(プラス)は、会員増強の意味が込められています。

今年度も半分が過ぎたところで、エコキャップ活動の報告をさせていただきます。

今まで集めたペットボトルのキャップの数は88,280個で、ポリオワクチンに換算すると110.4人分になります。800個で1人分のワクチンになります。まだまだたくさん集めていますので、ペットボトルのキャップを頂ける方いらっしゃいましたらご一報頂けたら幸いです。よろしくお願いたします。

ペットボトルのキャップも分ければ資源となり、リサイクルにもなります。一人ではできませんがみんなで協力して集めていきたいと思えます。



集めたペットボトルのキャップ





クラブ事業紹介

親子暗唱大会のご報告

札幌幌南RC社会奉仕委員会

委員長 **和田 壬三**

Jinzo Wada

1. 私は職業柄、離婚事件やモンスタークレーマー事件を扱うことが多くその主たる原因が感情表現の不適切さに由来すると感じていたし、外国の政治家に比し我国の政治家の表現能力の乏しさも顕著である。これは我国の教育が寺子屋教育の延長で表現能力の養成を怠った結果であるから表現能力の養成に役に立つ事業を、それに加えて家庭奉仕にも役立つ事業を行おうと、新世代委員会(大作佳範委員長)と共同で、名文を親子や児童に暗唱、発表して貰い優秀な子を表彰する機会を与える親子暗唱大会を札幌市の教育関係者や音声教育専門家の協力を得て、前年度から準備を始めて本年度に実施しました。
2. 2月初め、豊平小学校でプレ大会を実施し、アンケートの結果、参加児童全員から短時間で暗唱出来たこと、楽しかった、再度参加したいとの感想を得、又、鑑賞者からも感動の声を聞き、成功を確信し、更に、当事業は、当クラブ45周年記念事業にも採用され、針谷実行委員長、柳幹事、海野、田澤正副記念事業委員長などの強力な支援の下実行することが出来た。
3. 対象地域(豊平区、清田区)内で交通の便も良い豊平小学校の体育館をお借りすることにしたが、結果としては、レンタルの椅子代だけの出費で済みました。
チラシは、柳幹事のアイデアで1万5千枚を、実施要領は小山東山小校長の協力で200枚作成して、夏休み前に全会員が関係する学校に宣伝し、対象の清田区、豊平区の校長会へ羽部会長、中川幹事が向うへお願いし、対象区内の小学生全員に一枚ずつ渡すことが出来た。
その結果、独唱、群読、親子合わせて予定の約50組の参加を得た。
4. 丁度A型インフルエンザが大流行中であり、学校閉鎖や学年閉鎖のため、欠席者が続出。結局31組で実施することになった。
5. 審査は、大牧市教委指導主事、福田北海道国語科教育研究連盟会長、鈴木小学校長会会長、萬崎HTBアナ、当会から私の5名で担当し、事前に審査基準、審査要領を統一し、司会者とは柳幹事が綿密に打ち合わせ、中野社会奉仕副委員長には、子供の氏名を何度も点検して頂くなどの準備をして頂いた。
6. 平成21年10月18日(日)には、ローターアクトを加えて全員参加で会場作り、会場までの案内、審査委員との打ち合わせ、受付、参加者の誘導、報道機関への対応、救護など各班に分けて取り組み何のトラブルもなく無事に終了出来、当日の様子はビデオに収め、最優秀の子らの場面は、平成22年1月16日の45周年記念式典で放映して、各組の受賞者を表彰することにした。
HTB、UHBから取材があり短時間ではあったが、放映された。
地区から、江口ガバナー補佐、阪崎地区社会奉仕委員長のご臨席を頂き最後まで熱心にご鑑賞いただきました。
7. 子供たちや参加者の反応は、4項目のアンケートを実施したところ参加者34名から回答があり、その要点は、①練習開始は1ヶ月以内からが大半②暗唱に要した時間は長文が多かったに拘わらず、2週間以内が大半③発表する自信がついた達成感、親子友人との連帯感を得たなど良かった点を上げる子が多く、緊張したと言う子が若干ただで悪かった点を上げる子は少なかった④暗唱大会に取り組んで楽しかった。達成感や協力の楽しみを得た。再度参加したい。勉強になったなど多くの子供や親から(中には付き添いの先生からの添え書きにより)好意的な感想を得たが、他方で再度参加したいという声にどう応えるかという新たな課題を抱えることになった。



クラブ事業紹介

夢を叶える職業紹介

札幌東RC職業奉仕委員会

委員長 赤 泊 史 昭

Fumiaki Akadomari

札幌東RCは前年50周年を終えて、今年度は次の100周年に向け新しいスタートを切りました。当クラブ荒岡会長は『夢を探し、夢を追い、夢を叶える』出会いを大切に友愛の輪を広めよう！と述べられています。100年に1度という世界経済不況の中で今日ほどロータリーの高い道德水準、職業倫理が語られることはないと思います。今年度の職業奉仕委員会では、このことを踏まえ、会員同士が互いの職業を理解することによって信頼と自らを向上させ、職業奉仕の実践に繋がられるような活動を目指しております。互いの職業を知る手段として直接会話される時を除いてはネームプレート、会員名簿でしょうか。おそらくそれだけで職業の内容を把握することは難しいのでは。仕事の内容が解ればもっと互いに有効活用が出来る部分も生まれてくるかと思えます。クラブの規模にもよりますが、例会で食事しながらの会話程度では仕事の中身を知ることは難しいのではないかと。私たちは毎月1回、例会で『夢を叶える職業紹介』と題して、会員による職業紹介を行っております。第2例会日を職業紹介の日と決め、5～6名の会員による1人3～5分の持ち時間内で自社のアピールをしていただきます。そして紹介終了後に会場からの質問など、意見交換をしております。結果、会員同士が仕事上の取り引きが出来たとの報告も聞いております。また職業紹介の例会にあわせて、毎回ヴァイオリンとピアノの演奏を聴いて、雰囲気盛り上げております。職業紹介と演奏がセットで行われ、会員の楽しみの1つになっております。





米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

滝川 R C	神部 洋史	会員(8回)	12月24日
	川口 義弘	会員(4回)	12月24日
	塩尻 一幸	会員(4回)	12月24日
	鈴木 英也	会員(1回)	12月24日
	高木 敏行	会員(1回)	12月24日
	吉田 正治	会員(13回)	12月24日
岩見沢 R C	中塚 力	会員(3回)	12月25日
	佐藤 紀征	会員(4回)	12月25日
	山本 辰勇	会員(3回)	12月25日
	山根 良隆	会員(1回)	12月25日
栗沢 R C	本田 正一	会員(5回)	12月 2日
札幌西 R C	石丸 修太郎	会員(3回)	12月15日
札幌西北 R C	西岡 憲廣	会員(2回)	12月 3日
札幌東 R C	広瀬 清	会員(6回)	12月25日
札幌真駒内 R C	中原 孝	会員(9回)	12月11日
札幌南 R C	夏井坂 信幸	会員(4回)	12月22日
余市 R C	嘉屋 達雄	会員(1回)	12月 4日
室蘭 R C	吉澤 政彦	会員(1回)	12月11日
室蘭東 R C	金沢 智光	会員(1回)	12月25日
	村木 一夫	会員(4回)	12月25日
函館亀田 R C	宮崎 穰	会員(1回)	12月 7日
七飯 R C	川又 修治	会員(1回)	12月17日
	宮村 拓郎	会員(2回)	12月17日
	上野 一義	会員(8回)	12月17日
	度会 元紹	会員(1回)	12月17日
	伊藤 道雄	会員(5回)	12月 7日
函館セントラル R C	鍋谷 操子	会員(12回)	12月 7日
苫小牧東 R C	菅野 嘉一	会員(2回)	12月28日
	高井 昌機	会員(1回)	12月28日
苫小牧北 R C	伊藤 竹雄	会員(5回)	12月28日

■米山功労クラブ

滝川 R C	26回	12月24日
岩見沢 R C	27回	12月25日
栗沢 R C	5回	12月 2日
札幌手稲 R C	22回	12月25日
室蘭東 R C	6回	12月25日
七飯 R C	4回	12月17日
函館セントラル R C	2回	12月 7日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

滝川 R C 吉田 正治 会員 12月25日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川 R C	林 憲雄	会員(1回)	12月18日
滝川 R C	川口 義弘	会員(2回)	12月25日
	篠島 弘	会員(7回)	12月25日
	鈴木 忠男	会員(4回)	12月25日
栗沢 R C	岩田 隆	会員(1回)	12月18日
札幌手稲 R C	山地 庸夫	会員(1回)	12月25日
札幌南 R C	南 舘全次	会員(3回)	12月11日
長沼 R C	池内 昌之	会員(1回)	12月30日
	辻野 つね子	会員(1回)	12月30日
室蘭 R C	高柳 安昌	会員(1回)	12月 4日
函館セントラル R C	伊藤 道雄	会員(4回)	12月30日
	小泉 護太郎	会員(5回)	12月30日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲 R C	阿部 光行	会員	12月25日
札幌東 R C	梅沢 英行	会員	12月30日
余市 R C	川向 基紀	会員	12月 4日
長沼 R C	三輪 崇穂	会員	12月30日

■ベネファクター

函館東 R C 池垣 清信 会員 12月 4日

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別西 R C	2月16日(火)休会
小樽 R C	2月 9日(火)の例会を下記に変更 2月12日(金)小樽地区3クラブ合同例会 12:00～ 場所:グランドパーク小樽
長沼 R C	2月 1日(月)の例会は 1月31日(日)新年家族移動例会のため振替休会 2月15日(月)の例会は2月14日(日)移動例会のため振替休会
室蘭 R C	2月 4日(木)の例会は 2月13日(土)IMのため振替休会 2月11日(木)休会
室蘭東 R C	2月17日(水)の例会を下記に変更 2月 6日(土)第8回あれこれなんでも相談室 場所:室蘭市民会館 2月13日(土)第9グループIM 場所:蓬らい殿
室蘭北 R C	2月16日(火)休会(2月13日第9グループIMの振替休会) 2月23日(火)夜間例会「クラブフォーラム」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老 R C	2月 9日(火)の例会を下記に変更 2月 6日(土)苫小牧北RC創立40周年記念式典 15:00～ 場所:グランドホテルニュー王子
苫小牧 R C	2月 5日(金)の例会を下記に変更 2月 6日(土)苫小牧北RC創立40周年記念式典
苫小牧北 R C	2月 5日(金)の例会を下記に変更 「苫小牧北RC創立40周年記念式典」 日時:2月 6日(土)式典15:00、祝賀会16:30 会場:グランドホテルニュー王子 グランドホール



2010-11年度RIテーマ

「地域を育み、大陸をつなぐ」 Building Communities -- Bridging Continents



2010年国際協議会にて地区ガバナー・エレクトへ向けて講演するレイ・クリンギンスミスRI会長エレクト。

2010年国際協議会の開会本会議にて、「California, Here I Come」という音楽と共にステージに現れたレイ・クリンギンスミスRI会長エレクトが、2010-11年RIテーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」としたことを発表しました。

このテーマを決めるにあたって、RIのこれまでのテーマを振り返った、と会長エレクトは話します。その中でロータリアン以外の人々に訴えかけるテーマがほとんどないことに気づきました。

「そこで私は、“ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること”と“ロータリアンに自分たちの活動の意義を再認識してもらうこと”、この2つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました」と会長エレクトは説明します。「ロータリーの現在の使命を表し、私たちが得意とすることに焦点を当て、最終的に次のテーマを選びました。“地域を育み、大陸をつなぐ”」です。

自身の50年にわたるロータリー経験から、地元と海外の地域社会に焦点を当てたいという思いが生じたと言います。例えば、ロータリー財団の国際親善奨学生として1年間南アフリカに留学した経験を持つ会長エレクトは、米国ミズーリ州のユニオンビルという小さな町から海外留学した初めての学生でした。

夕方の講演というテーマ発表のタイミングは、過去の協議会からは異例のことでした。これは進んで変化を受入れようとする会長エレクトの姿勢を反映しています。もはやベスト・プラクティスではなくなった伝統的な慣習を見直し、適切な場合は、新しい伝統を始めるべきであるとガバナー・エレクトに奨励しました。

会長エレクトはまた、国際舞台におけるロータリーの活躍に寄与してきたロータリアンに敬意を表しました。協議会に出席している元RI会長や元役員と会い、ロータリーの歴史との結びつきを深めるようガバナー・エレクトに促しました。

(記事: Donna Polydoros 国際ロータリー・ニュース: 2010年1月18日より抜粋)

新入会員の紹介 (敬称略)



わたなべ りつこ
渡辺 律子(恵庭RC)
★入 会/H21.11.18
★職業分類/葬儀



さくらい みきかず
櫻井 幹員(小樽RC)
★入 会/H21.12.1
★職業分類/総合リゾート



みなみ あきひろ
南 明広(羽幌RC)
★入 会/H22.1.7
★職業分類/一般自動車販売



かさい りきち
葛西 利吉(七飯RC)
★入 会/H22.1.12
★職業分類/木造建築工事

◆文献資料室だより◆

新札幌RCより文献資料室を利用しての感想とご意見をお寄せいただいておりますのでご紹介致します。

当クラブでは、地区の各月間には、そのテーマに基づいて担当委員長による卓話を企画しています。

話だけでなく、ビデオを活用した視覚的なアピールは、会員に理解を広めたり実感してもらうのに非常に効果的だと思います。

但し、ビデオを流すだけで終わるのでは何も成りませんので、自分のクラブとの位置付けや果たすべき役割をしっかりと踏まえた内容になるよう努めています。

新札幌ロータリークラブ
幹事 有田京史



文庫 通信

(268号)

最近のロータリー情報から

書 名	著者/地区	発行年	ページ
◆「奉仕理念の提唱者アーサー・フレデリック・シェルドン」	田中 毅(D.2580職業奉仕セミナー講演集)	2009	22P ※
◆「職業奉仕における個人と職業の倫理」	深川純一(D.2580職業奉仕セミナー講演集)	2009	19P ※
◆「『ロータリーの心もとめ』より」	海田 司	2009	4P ※
◆「国際ロータリーのビルダー」	塚原房樹(私の"Rotary Notes")	2009	3P ※
◆「井坂孝の説いた職業倫理を踏襲して」	鈴木清次(井坂孝の足跡)	2009	8P ※
◆「職業奉仕に誇りを！！」	村上有司(D.2640月信)	2009	1P ※
◆「職業奉仕について」	原田寛太郎(D.2730月信)	2009	4P ※
◆「ロータリアンは同業者・業界でもっと積極的行動を」	竹中秀夫(D.2680月信)	2009	1P ※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年2月のロータリーレート 1ドル90円



地区カレンダー(2月・3月)

2月 世界理解月間		3月 識字率向上月間	
1(月)		1(月)	
2(火)		2(火)	
3(水)		3(水)	
4(木)		4(木)	
5(金)		5(金)	
6(土)	苫小牧北RC創立40周年記念式典(苫小牧)	6(土)	2010-11年度全国会員増強セミナー(横浜)
7(日)		7(日)	
8(月)		8(月)	
9(火)		9(火)	
10(水)		10(水)	
11(木)	建国記念の日	11(木)	
12(金)	小樽南RC創立50周年記念式典及び 第6グループIM(小樽)	12(金)	
13(土)	第9グループIM(室蘭)	13(土)	2010年3月終了米山奨学生歓送会(札幌) 会長エレクト研修セミナー(札幌)
14(日)	三石RC創立40周年記念式典及び 第8グループIM(新ひだか町)	14(日)	会長エレクト研修セミナー(札幌) 地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー(札幌)
15(月)		15(月)	
16(火)		16(火)	
17(水)		17(水)	
18(木)		18(木)	
19(金)		19(金)	
20(土)		20(土)	
21(日)		21(日)	春分の日
22(月)		22(月)	振替休日
23(火)		23(火)	
24(水)		24(水)	
25(木)		25(木)	
26(金)		26(金)	
27(土)	ガバナー補佐研修セミナー(札幌) 地区チーム研修セミナー(札幌)	27(土)	
		28(日)	
28(日)		29(月)	
		30(火)	
		31(水)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.12.31	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	88.47
	羽幌	4	45	47	2	1	85.35
	妹背牛	3	9	9	0	0	77.78
	小平	4	11	11	0	0	86.36
	留萌	4	41	43	2	1	87.15
	小計		138	143	5	4	85.02
2	赤平	4	29	32	3	1	80.00
	芦別	4	37	38	1	0	83.78
	砂川	3	55	53	-2	0	94.96
	滝川	3	96	96	0	2	79.00
	小計		217	219	2	3	84.44
3	美唄	4	33	33	0	0	94.44
	江別	3	34	33	-1	1	95.09
	江別西	4	30	29	-1	3	93.10
	岩見沢	3	85	86	1	0	92.64
	岩見沢東	4	33	36	3	4	90.33
	栗沢	3	24	23	-1	1	95.70
	栗山	3	27	27	0	2	98.72
	当別	4	31	30	-1	0	90.61
小計		297	297	0	11	93.83	
4	札幌幌	3	102	125	23	0	95.32
	札幌あげぼの	4	13	15	2	1	93.30
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	94.74
	札幌北	3	43	41	-2	5	92.86
	札幌モーニング	3	51	50	-1	0	71.08
	札幌幌西	4	58	56	-2	4	90.22
	札幌西北	4	40	38	-2	5	93.90
	札幌手稲	3	33	36	3	2	92.59
小計		359	380	21	21	90.50	
5	札幌東	4	118	120	2	0	97.19
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	3	61	64	3	0	99.40
	札幌真駒内	3	31	29	-2	3	96.47
	札幌南	3	80	77	-3	0	97.04
	札幌大通公園	3	12	12	0	3	76.90
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	70.00
	新札幌	3	28	26	-2	2	89.49
小計		358	356	-2	18	90.81	
6	岩内	4	19	20	1	0	78.84
	倶知安	3	40	40	0	4	73.80
	小樽	4	65	70	5	0	88.67
	小樽南	4	76	76	0	1	84.10
	小樽銭函	4	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	83.33
	余市	3	41	40	-1	4	91.00
	小計		272	278	6	11	82.11

12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,758人(103人)
増加会員数	58人
当月平均出席率	85.70%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.12.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	56	-1	3	77.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	81.58
	恵庭	3	35	41	6	2	82.06
	北広島	4	16	16	0	0	87.50
	長沼	3	20	20	0	3	81.70
	由仁	4	11	10	-1	1	92.50
	小計		176	181	5	11	83.76
8	えりも	4	21	21	0	0	90.90
	三石	3	15	15	0	1	91.10
	様似	4	22	23	1	1	76.10
	静内	3	70	75	5	1	85.51
	浦河	4	36	37	1	2	99.32
	小計		164	171	7	5	88.59
9	伊達	4	55	58	3	0	82.75
	室蘭	4	41	44	3	0	79.06
	室蘭東	3	36	40	4	0	71.73
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	3	31	31	0	1	87.10
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計		205	218	13	4	84.97
10	函館	4	83	86	3	0	80.99
	函館亀田	4	42	39	-3	2	94.60
	森	4	34	39	5	0	75.00
	七飯	4	17	16	-1	0	70.60
	長万部	3	9	9	0	0	70.30
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	64.66
	小計		216	218	2	3	76.03
11	江差	4	18	14	-4	1	80.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	98.06
	函館東	4	43	44	1	4	86.77
	函館北	3	28	28	0	0	90.48
	北斗	4	17	17	0	1	60.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
	小計		166	164	-2	6	77.55
12	白老	4	28	26	-2	0	82.00
	苫小牧	3	48	52	4	2	79.48
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	85.57
	苫小牧北	4	29	29	0	2	93.88
	小計		132	133	1	6	85.23
合計		2,700	2,758	58	103	85.70	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

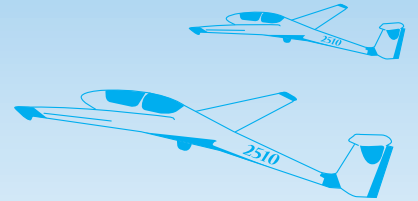
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

3



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1
- 国際協議会に参加して☒……………2
- ガバナー・ノミネー決定宣言☒……………3
- 一番最後のガバナー公式訪問を終えて☒……………4
- クラブ訪問報告☒……………5
- 下半期 第1回 ガバナー補佐会議☒……………6
- 地区補助金支給の現況☒……………7～8
- タイ・ノンカイへのWCS検証ツアー報告☒……………9～10
- ローターアクト海外研修報告☒……………11～12
- 韓国第3700地区・地区大会参加ツアーのお知らせ
2009-10年度会長賞についてのお知らせ☒……………13
- 新入会員の紹介・訃報☒……………14
- 米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力を感謝申し上げます☒……………15
- クラブ事務所及び例会場の変更について
例会日・例会時間・例会場の変更等について
文庫通信・ロータリーレート☒……………16
- 地区カレンダー(3月・4月)
会長エレクト研修セミナー、地区ロータリー財団セミナー、
地区米山セミナー開催のご案内☒……………17
- 出席率・会員数☒……………18

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



世界社会奉仕で

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

7日正月も終わらない1月7日から11日まで、タイ・ノンカイの「地区WCS事業」の検証に18人の地区の仲間達と参加して来た。

これは、当地区の地区内クラブが、タイランドRI第3340地区とマッチング・グラントなどを使いながら、タイ北東部、最貧地区と言われているノンカイにある小学校に、クリーンウォーター装置23基を寄贈した事業を検証するツアーだった。13校を訪問し、生徒、父母、部落の人々から、熱烈な喜びの歓迎を受け、その装置に表示された奉仕参加の寄贈クラブ名と作動状況を確認して帰国した。われわれをタイの国旗と日の丸の旗を振って迎えてくれた子供たちは、黒い目をきらきら輝かし、満面うれしさの表情でこの喜びを表してくれた。今までは、家で集めた雨水の上水しか飲めなかった子供たち、学校を休み、遠くに水を取りに行っていた子供たちがこれから、学校に行き蛇口をひねると直ぐに、安心して飲める綺麗な水が出てくるこの装置は、正に神からの贈り物であった。水は生きるために欠かせない最も大切な物である。ノンカイの人たちが綺麗な水が欲しいと何よりも願っていたこの時、地区内おおよそ3分の1のクラブが、地区WCS委員会の呼びかけに賛同し、世界社会奉仕に参加して頂き、安心して飲める水を与えたのである。これは誠の啖啄同時のタイミングだったと私は感じた事でもあった。

帰国して、静かに思い起こすと、あの装置で、地域の水問題の全てが解決したのでなく、装置が元気に作動している時だけ、水が飲めるのである。勿論、今回のクリーンウォーター装置のこれからのメンテナンスは、部落や学校でしっかり責任を持って維持をしていくという契約書を取り交わしてはいるが、これは対症療法でしかない。この水問題の根本的な科学的解決や基盤による改善、あるいは彼らが今後解決していける手立てやその提案など、善意の思いやりのある奉仕の内容の検討が、これからの大事な課題としてテーブルに上げなければならないと感じた事である。

さて、今月は識字率向上月間である。世界68億のうち、8億人が「読み書きそろばん」が出来ないと言われている。出生率と女性の識字率が、殊の外関係が深いことから、このままで行くと世界の人口が、更に増え続け、それは低開発国の人たちが増えて行くことになるのである。

非識字は就職の機会を奪い、それが貧困に繋がり、貧困なるが故に1億3千万人の子供たちが就学の機会も与えられず、非識字と貧困は悲惨な悪循環を繰り返し、貧困は、疾病、飢餓、犯罪、政情不安、戦争、テロまで引き起こすと言われている。

99.8%の識字率を誇る日本にでも、識字能力の不十分な在日外国人や、外国人労働者やその家族がいることを忘れてはならない。更にインターネットやメールの出来ない情報非識字の問題も話題になっている。この月間の機会に、国際ロータリーの識字率向上メニューなどに目を通し、識字率向上の問題に関心を寄せて頂きたいと思っている。



国際協議会に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナー・エレクト **佐々木 正丞**

Masatsugu Sasaki
(札幌RC)

サンディエゴにおける国際協議会に出席してまいりました。「サンディエゴは好いところ」というのが
パスト・ガバナーのお話でありました。が、あいにくの雨で、また、日中のプログラムのことが頭にあって、
2、3日はおとなしくしておりましたが、雨はだんだん激しくなるばかりで、窓には雷の音がするよう
になり、結局、ホテルから一步も出ず、という結果になりました。

協議会の内容も、稠密で、何でも、R Iの予算等の都合で1日短縮した分をそのまま詰めこんだという
噂で、なる程、文明の国は効率的なものだと思いました。従って、生活のリズムとしては単調そのもので、
食事の味もまたモノクロ風で、後半は果物ばかり食べておりました。

次年度R I会長のレイ・クリングスミス氏につきましては、すでに、このガバナー月信2月号13頁に
記載されておりますように、アメリカ・ミズリー州の人で、ロータリー財団の国際親善奨学生のご経験を
お持ちの方であります。まずは、次期R I会長の2010-11年度のテーマのご披露がありました。ロータ
リーとは何か。ロータリー・クラブとは何をやる団体なのか、というまさにロータリーに真正面から取り
組んだ態度であります。しかも、ロータリアンに対して
だけでなく、ロータリー以外の人にも答えられるよう
なことば、を探し求められたものであります。私どもが
泊まったハイアットホテルの壁には、歴代の会長の方
針額がずらり並んで掲示しておりましたが、レイ・クリ
ングスミスさんは、それらをすべて参照し、簡潔にし
て含意の深いことば、として「地域を育み、大陸をつなぐ」
と決められたのであります。これはしかもロータリー
の原点である四大奉仕部門をも意味しているのです。

来たるべき今後のセミナーにおいて、私は当2510地
区の次年度方針を示すつもりであります。それは一言
でいえば、「ロータリーの原点に戻って」ということにな
らうかと思います。

いよいよ次年度に向けてスタートを切りました。皆
様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。



写真・ロータリーの友より提供



ガバナー・ノミニー決定宣言

2012-2013年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、細川好弘君(静内RC)が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節(13.020.ガバナーの指名手続)に基づき、細川好弘君を2012-2013年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

2010年3月1日

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 渡邊 恭久

2012-2013年度 ガバナー・ノミニー



★会 員 名 ほそ かわ よし ひろ
細 川 好 弘 (静内RC)

★生年月日
1936年(昭和11年)3月9日生(73歳)

★職業分類 広 告
株式会社 細川好弘広告 代表取締役
所在地 〒056-0004
新ひだか町静内緑町1丁目5番24号

★学 歴
1954年(昭和29年)3月
北海道静内高等学校卒業

★職 歴
1954年～ 静内文化興業 株式会社 看板工
1967年～ 細川好弘広告 創業
1988年～ 株式会社 細川好弘広告 代表取締役
1993年～ 屋外広告士
2005年～ 全技連マイスター
2007年～ 現代の名工

★ロータリー歴
1973年11月 静内ロータリークラブ入会
1980～1981年度 幹 事
1987～1988年度 会 長
1995～1999年度 地区インターアクト 委員
1999～2003年度 地区インターアクト 委員長
2003～2004年度 第8グループガバナー補佐
2004～2007年度 地区新世代 委員長
2007～2008年度 地区危機管理委員会 委員長
2008～現 在 地区危機管理委員会オブザーバー

スターフェロー、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー
メモリアル・コントリビューター



ガバナー補佐レポート

一番最後のガバナー公式訪問を終えて

第2510地区 第2グループ

ガバナー補佐 **北谷好文**

Yoshifumi Kitaya
(砂川IRC)

ガバナー補佐に就任し、はや半期が過ぎました。新しいガバナー補佐が次年度に向かって忙しい日々を過ごされていることと思います。一年前の自分のことを振り返ってみますと、時のたつのは早いものだと感慨深いものがあります。

私ども第2グループは赤平・芦別・滝川・砂川の4クラブの比較的少ないクラブ数で構成されております。この第2グループで初めて滝川クラブから今年度渡邊恭久ガバナーが誕生し、精力的に活躍されておりますことは周知のとおりであり、私どもの誇りとするところです。その影響でしょうか、4クラブはいつもより交流が活発になっているように思います。とくに昨年10月に開催された、滝川市での地区大会では滝川クラブの96会員全員一丸となって参加協力している姿を拝見するにつけ、自ずと協力的になってきます。会長、幹事会等を通じ全員登録をお願いしましたが、いろんな意味で見事に地区大会を成功されました。交通の便や宿泊施設それに会場の設営等さまざまな障害をクリアしての成功は、地方都市での見本となるのではないのでしょうか。

ガバナー公式訪問では、例年ですと第2グループでは、7月中に終わるのですが、本年度は、渡邊ガバナーが他グループの公式訪問を優先するため11月に集中しました。

73クラブの最終訪問先は、ホームクラブの滝川クラブでした。

グループ内のガバナー公式訪問は渡邊ガバナーにとっても、訪問というよりも身内のクラブやホームクラブですので、迎えるほうでも、「お帰りなさい」、「お疲れ様です」という雰囲気に対応した次第です。それにしましても、渡邊ガバナーの体力、気力には驚くばかりです。7月から9月の平日は、ほとんど出掛けていたのではないのでしょうか。その間に他の行事や用事も目白押しでしょうし、休む日が何日あったのでしょうか？

グループ内の会長・幹事会は半期で都合4回開催し、各クラブの意思の疎通を図りました。その都度持ち回りで会場を設定していただき打合せをし、その後、親睦をはかり懇親を深めました。わずか4クラブですが、それぞれ特色があり、とてもよい経験をさせていただきました。違いを調べてみると、各々のスポンサークラブの影響があるように思いました。特にニコニコボックスの発表に特色がありました。

今後とも会長・幹事会を介して各クラブとの和を図り、親睦を深めるとともに情報交換を密にし、グループ内の結束を固めていくことを念頭に運営していきたいと思っております。



ガバナー補佐レポート

クラブ訪問報告

第2510地区 第11グループ

ガバナー補佐 **石橋輝夫**Teruo Ishibashi
(函館北RC)

第11グループは函館東RC、江差RC、函館北RC、松前RC、函館五稜郭RC、北斗RCの6クラブです。現在まで公式訪問を含め市内クラブは3回、郊外クラブは2回のクラブ訪問が終わりました。それぞれに特色あるクラブ運営をしておりますので、私が感じたことを含め、お伝えいたします。

◎函館東RC:昭和32年創立、会員44名。

創立52年目になるクラブですが、今年度の古田会長はクラブテーマを『変革とチャレンジ みんな(会員)でクラブ(函館東RC)の未来をつくり(創造)しましょう!』を掲げて、会員の減少をふまえ、みんなの負担軽減を図るため、諸経費も含めて足元から見直ししようと呼びかけております。

◎江差RC:昭和37年創立、会員18名。

今年クラブ創立48年目を迎える、比較的小規模な郊外クラブです。毎年5月には、江差町民の森にある「ロータリーの森」で植樹や草刈りなどを行い、地域にあったプログラムを実践しております。例会も全員参加型で楽しい例会を行っております。今年度の地区大会でガバナー特別表彰を受けた今川徳郎会員の尽力が大きかったと思います。

◎函館北RC:昭和39年創立、会員30名。

私が所属するクラブですが、例年行っている「洞爺丸海難慰霊碑」の清掃活動は、昨年北斗市に呼びかけて行った慰霊碑改修工事が終わり、きれいな場所で、気持ち新たに今年も行われました。又、毎年9月に開催されている「函館ハーフマラソン」への協力活動も継続して行われました。

◎松前RC:昭和44年創立、会員6名。

少人数のクラブですので、なんとか会員増強のお手伝いができないか模索しています。

◎函館五稜郭RC:昭和45年創立、会員55名。

交通事故などが原因で高次脳機能障害になった人への理解と支援を目的とした講演会とコンサート「愛と安全の輪を広げよう」を主催。手作りカメラの作成と撮影など、子供が理科に興味を持ってもらうための事業の応援。その他、函館市民野外劇の後援、五稜郭祭パレードへの参加など、多彩なプログラムを行っております。

◎北斗RC:平成8年創立、会員17名。

市教育委員会、自衛隊、隊友会、父兄の協力で小学生38名が参加し「きっずアドベンチャーキャンプ」を主催。テント設営、炊事、天体観測、ケガの応急処理、牧場での搾乳体験など。このほか薬物乱用防止活動など新世代に対するプログラムを積極的に行っております。

これからIMなども予定しておりますので、引き続き皆様のご協力をお願い致します。



下半期 第1回 ガバナー補佐会議

国際ロータリー第2510地区

代表幹事 **神部 洋史**

Hiroshi Kanbe
(滝川IRC)

昨年10月に行われた今年度の地区大会以来、数か所の周年事業やIMで数人ずつの再会はあったが、なかなか補佐同士が一堂に会する機会が無かった。正月行事を終えたと思われる1月23日(土)、札幌後楽園ホテルにて渡邊ガバナー、12名のガバナー補佐、3名の財務委員と5名の地区幹事さらに「そらぷちキッズキャンプ」の支援策に関する進捗状況把握のため特別に参加頂いた地区社会奉仕委員会の阪崎委員長を交えて、2009-2010年度上半期の報告と今後の予定について厳粛な中にも活発で熱心なガバナー補佐会議を行った。

冒頭、渡邊恭久ガバナーから公式訪問の際の各クラブとガバナー補佐への謝辞、地区大会参加のお礼、さらには「そらぷちキッズキャンプ」に対する取り組みのお礼を述べられた。また今後もお一層ガバナー補佐としてのご尽力をお願いしたいとの開会挨拶で会議が始まった。引き続いて12人のガバナー補佐から、グループごとの上半期の報告を発表。一人5分程度に発言を制限させて頂いたが、それでもかなり凝縮された内容で各ガバナー補佐のお仕事振りが良く理解できた。ガバナー補佐の中には渡邊ガバナーに随行してタイへのWCS検証ツアーに参加されて現地を視察された熱心な活動をされている補佐も2人おられた。報告に関しても各グループの内情説明にとどまらず、ロータリーの現状の認識や将来に向かった問題点の把握など発表され心強いガバナー補佐の集まりだとの印象が残った。ガバナー補佐からの報告は概して会員減少によるクラブ存続の危機感が訴えられたが、逆に少人数のクラブこそがロータリーの真髄に触れることができるのではないだろうかとの貴重な意見も頂いた。最後に今後予定されている各グループのIMや周年事業の周知、GSE受け入れグループとクラブへのお願い、モントリオール世界大会への参加、第3700地区(韓国・大邱市)の地区大会参加などを確認し有意義なうちに会議を終了した。

その後の懇親会では、自由席で温かい親睦の会となったが、席上第5グループの江口ガバナー補佐からの発案で、渡邊ガバナーを支えてきた現ガバナー補佐が「渡邊会」を発足させることを決定し、世話役に第4グループの荒ガバナー補佐を推挙し和気藹々たる雰囲気での会を終えた。



地区補助金支給の現況

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄

Yoshio Suda
(札幌南RC)

1. 適切な補助金の内容について

2008年7月、地区ロータリー財団補助金委員長に就任した時は、まだ文化活動も認めているとの引き継ぎでしたが、年々条件が厳しくなり2008-09年度からその使用は更に難しくなりました。以前から不適格と明記されていた内容については更に明確化され、2009-10年度用に作られた、ロータリー財団地域セミナーハンドブックに記載され、文化的活動には一切使用できなくなりました。具体的にはスポーツ大会の主催、子供の善行の表彰、慰問用楽器の寄贈、書道展、絵画展開催と表彰、コンサート、各種講演会開催など、従来地域と密着しコミュニケーションの場として広く喜ばれてきた種々の催し物一切が、不適格となりました。RI日本事務局からは適切なプロジェクトとは、地区補助金は人道的補助金プログラムの1つで、すべてのプロジェクトは、人道的支援(健康、飢餓、貧困など)に直接的に取り組むものであり、困窮している地域社会、グループ、低所得者層、ハンディキャップを持つ方々、老人などに恩恵があるものでなければならないと再三の指導がありました。受給基準は基本的にマッチング・グラントと同じで、違うのは地区補助金においては地域美化、環境に関するプロジェクトが認められています。

施設のお年寄りをクルージングに招待するプロジェクトは、過度な支援に当たるということで認められない。一般の小学生を環境問題について学ぶためにキャンプに連れていくプロジェクトは、ハンディキャップのある子供たちであれば適格となります。公園、清掃、植樹、誰とでも参加できる無料の環境セミナー、駅前にベンチを設置するなど、地域全体のためになる美化、環境プロジェクトに補助金を使うことは認められています。

どういったプロジェクトなら人道的とみなされるか。

- ① 環境保全プロジェクト: 植樹、花壇、清掃
- ② 識字プロジェクト: 外国人への識字教室、図書への寄贈
- ③ 医療器具贈呈プロジェクト
- ④ 停留所にベンチを置く、地域の案内図
- ⑤ 障害者に役立つプロジェクト: 車椅子や杖
- ⑥ 養護施設に何かを贈るプロジェクト
- ⑦ 職業訓練になるプロジェクト: パソコン教室

補助金使用に関わるすべてのロータリアンによる積極的かつ直接的な関与を推進することが基本となっています。

2. 今年度の活動計画と活動内容について

◎今年度活動計画

今年度よりロータリー財団への申請が変わり、地区がロータリー財団に提出する地区補助金授与計画にクラブ名がないものは、地区補助金を受け入れないことになりました。7月に入ってそのことを2510地区73全クラブに申請するか否かを確認するために書類を発送し、7月17日迄の回答クラブについて本

部と連絡し採用の可能性を打診しました。

◎今年度活動内容

- ① 上記に応募して頂いた19クラブについて、認められなかったのが6件(各種スポーツ大会、コンサート開催、創立記念行事、他国研修生の交流会など)で、13件については再度財団の確認を要することで審議の許可を受けました。
- ② 従来から地域で行われてきたスポーツ大会などの文化的活動は一切認められず、地域のコミュニケーションがなくなり、人道的なもののみ、それも緊急を要しないものは対象にならない。
- ③ 各クラブの社会奉仕委員会が企画するものが多く、申請した額は19件総計で¥5,895,000でしたが、最終的に審査をパスしたものが¥2,107,000で終わりました。審査13件のうち0査定が1件、¥280,000の予算がついたクラブも残りの費用はクラブから捻出できず、事業が中止になり返金となったのが1件がありました。
- ④ 今年度の予算はロータリーレート1ドル¥90のため、例年より少ない¥2,790,000が振り込まれ、審査決定の下記11クラブに送金を済ませ1月8日現在、残¥676,440となっています。(振込手数料¥6,560)

3. 補助金委員会開催記録

1) 第1回地区補助金委員会(09-10-4)

RC (申込年月日)	プロジェクト	開始 終了	申請額	決定額
静内 (09-5)	社会福祉会館にAED設置	承認次第	¥255,000	¥255,000
苫小牧東 (09-7-1)	ウトナイ湖環境保護看板の作製	09-7-1 09-10-11	¥600,000	(保留)
札幌西北 (09-7)	市民憩いの場の環境整備	09-8 09-9	¥500,000	¥400,000
札幌モーニング (09-8-19)	子どもたちの植樹活動支援	09-7-23 09-9-17	¥325,000	¥232,000
芦別 (09-8-27)	自然保護、環境保全、小鳥の巣箱作成	10-5-9 10-5-9	¥50,000	¥50,000
留萌 (09-9)	交通安全運動横断幕	09-9 09-10	¥100,000	¥100,000
札幌南 (09-9-8)	母子・父子家庭の子どもたちへの絵画展示開催など	09-11-1 10-5-15	¥705,000	¥280,000
白老 (09-9-8)	植樹、小学校・高校内桜の苗木	10-6-1 10-6-1	¥70,000	¥70,000

2) 第2回地区補助金委員会(09-12-9)

RC (申込年月日)	プロジェクト	開始 終了	申請額	決定額
余市	環境保全・バイオディーゼルの実際と体験	10-5 10-5	¥300,000	¥150,000
新札幌	高齢者・身障者に対する移動補佐、車椅子寄贈	予算次第	¥300,000	¥300,000
江差	栗の苗木の植樹	10-5 10-5	¥150,000	¥150,000
小樽南	児童図書・絵本寄贈と読書啓蒙講演会	09-10 09-10	¥346,136	¥100,000
室蘭	子供天国(ミニSL走行、スポーツ大会)	09-9 09-9	¥227,800	¥0
苫小牧東	第1回委員会保留	09-7 09-10	¥600,000	¥300,000
札幌南	事業中止			¥280,000 (返金)
			合計(第1回も含む)	¥2,107,000



タイ・ノンカイへのWCS検証ツアー報告

地区世界社会奉仕委員会

委員長 **出村 知佳子**

Chikako Demura
(札幌北RC)

2010年1月7日～11日の5日間、2010年WCS検証ツアーに行ってきました。

今回は渡邊ガバナーを団長に19名のメンバーで実施を致しました。前回訪問出来なかった第3340地区タイ・ノンカイへの検証ツアーです。今回は、クリーンウォーター事業の検証、奨学金事業の実施、そして今年度承認をされた、マッチング・グラントの実施地の視察といった事柄が目的でした。1月に検証を実施するのは初めてでしたが、真冬の訪問ということもあり、タイの小学校の子供達へ「雪だるま」を持参できないかという話になり試みました。まず、出口WCS委員をはじめ、三石RCのメンバーが苦勞して千歳空港まで「雪だるま」を運んでくださり、バンコクまでは無事に着きました。ノンカイへ向かうバンコク-ウドンタニの国内線のチェックインでいろいろとこの「雪だるま」について質問をされ、全ての「雪だるま」の入った箱を一箱ずつビニールでパッキングし直さなければ飛行機には乗せないと言われてしまい、手塚WCS委員、斉藤会員が必死にこの作業をしてくださり、飛行機に乗り込んだのはぎりぎりでした。しかし、「雪だるま」が飛行機に積まれた様子はなく、おそらくウドンタニにこの「雪だるま」は着いていないだろうと諦めの状態でした。しかし、飛行機から降りるときに、窓の中から雪だるまの大きな箱が…。この時には、メンバー一同飛行機の中で拍手喝采でした。

ウドンタニで、第3340地区ノンカイのメンバーの歓迎を受けたあと、その足で小学校のクリーンウォーターの検証へ向かいました。この時は「雪だるま」が、まだ雪なのかそれとも水になってしまったのか心配でした。この日は5つの学校を訪問しましたが、キラキラ瞳の輝く子供達が日本の国旗を振り歓迎してくれる中、持参した「雪だるま」を開けるとともに子供達の歓声でいっぱいになりました。「雪だるま」は無事でした。子供達は初めてみる雪に感動し歓声をあげながら競い合って雪に触っていました。

2日間で13の学校を訪問し、それぞれの学校で大変な歓迎を受け、短い時間ではありましたが、喜びを分かち合いました。参加された皆様からも「2回目だが、また更なる感動をうけた」「現地ロータリーとの絆を更に感じた」「参加者のチームワークが素晴らしかった」などの声がありました。改めて、事業を実施する支援国、実施国のロータリアンと恩恵を受けた地元の方々が共に喜びを分かちあうこのWCS事業の素晴らしさを感じることができました。

今回ツアーに参加された皆様、支援クラブの皆様、そして過密なスケジュールの中ご参加をいただいた団長の渡邊ガバナーに心より御礼を申し上げます。

2009～10年度 第2510地区WCS検証ツアー参加者名簿

渡邊恭久ガバナー、田中公一ガバナー補佐、山田博継ガバナー補佐、福尾札幌手稲RC会長、栗本伊達RC会長、出村地区WCS委員長、志比川地区WCS副委員長、田口地区WCS委員(以下同じ)手塚委員、松原委員、水上委員、出口委員、谷口地区国際奉仕委員、中村三石RC・国際奉仕委員長、三戸札幌手稲RC・国際奉仕委員長、樋口札幌北RC・前幹事、若原札幌東RC・WCS委員長、渡辺里代子(札幌手稲RC)、斎藤昌一(札幌北RC)





ローターアクト海外研修報告



日程:2010年1月21日~25日

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Andou
(札幌南RC)

今年度の海外研修は、タイのチェンマイで研修をしてきました。

☆☆日程表☆☆

1月21日	8:10 新千歳空港発→成田空港→バンコク→20:10 チェンマイ着
1月22日	午前 市内・郊外観光(コブラショー・メーサエレファントキャンプ・首長族の村) 午後 バーンサバイ訪問 夜 ナイトサファリを観光
1月23日	午前 ローターアクターとの交流(小学校のトイレ・浄水器の完成式に出席) 午後 飛んでけ車いすの会の車いすの引き渡し
1月24日	フリー(みんなでドイ・ステープを観光) 19:15 チェンマイ発→バンコク
1月25日	6:45 成田空港着→12:35 新千歳空港着

【今回の海外研修の目的】

1. バーンサバイの訪問

ローターアクトの継続事業として、毎年バーンサバイへの寄付を行ってきました。今年は、札幌南RCの45周年で皆様からいただきました寄付金と、要望がありましたキッチンハイターとカレンダーを持って施設を訪問しました。バーンサバイは、エイズの方のシェルターです。施設の方のお話を聞くことができ、メンバーがこの病気に対して考えるきっかけになったと思います。



2. 現地ローターアクターとの交流

チェンマイローターアクトクラブとの交流です。午前中は、小学校のトイレと浄水器のつけた学校の完成式に行きました。札幌西北RCの寄付で建てたそうです。あと札幌南RCの寄付で建てた図書館で使ってもらう手作り紙芝居も持って行きました。これはいずれも地区WCSとの共同事業だそうです。そのあとは、みなさんで食事をしたり、一緒に買い物に行ったりとローターアクター同士で交流を深めました。



3.「飛んでけ車いすの会」の車いすを現地に運ぶ

飛んでけ車いすの会というNPO法人の団体。日本で使われなくなった車いすをあつめ、発展途上国に旅行者の手によって運ばれます。そして、私たちは2台の車いすを現地に運びました。1台は82歳の女性が使うことになっていて、もう1台は、病院に入院している僧侶が使うことになっています。



今回のタイのチェンマイでいろんなところに行って、見たり、お話を聞いたり、現地のアクターと交流したことで多くの刺激を受け、それぞれに感じるものがあり、とても勉強になりました。海外研修を通じて学んだことを、しっかりと受け止め今後役に立てていきたいと思えます。

◆◆参加者◆◆

- 札幌南RC 3名
- 札幌南RAC 5名
- 赤平RAC 3名
- 千歳RAC 1名



現地のロータリアン、アクターが空港に出迎えてくれました！！！！ ↓



札幌南RCのバナーをランナーチェンマイRC会長ミタヤさんにお渡ししているところ



持っていた紙芝居をお渡ししているところ



完成式の盾をもらっている写真です



韓国第3700地区・地区大会参加ツアーのお知らせ

国際ロータリー第2510地区 代表幹事 **神部 洋史**
Hiroshi Kanbe
(滝川IRC)

既にご案内のこととは存じますが、姉妹地区であります第3700地区・地区大会が4月23日から24日に韓国大邱(テグ)市で開催されます。

当地区ではこの大会の為にツアーを計画いたしました。

最終日程・料金などが決まりましたのでご案内いたします。お申し込みは記載のあります「シーピーツアーズ 滝川営業所」に直接お願いいたします。

コース行程表 旅行代金 お一人様99,800円 (シングル利用30,000円プラス)

日次	月日(曜)	発着地/滞在地	現地時間	交通機関	スケジュール	朝	昼	夕
1	4/22(木)	新千歳空港 釜山空港 テグ市内ホテル	12:15 15:05 夕方	KE772	大韓航空にて空路釜山へ 到着・入国審査を受けた後、貸切バスにてテグ市内へ ホテル到着後、韓国地区大会ツアー参加者での夕食懇親会 【テグ泊】	×	機内食	×
2	4/23(金)	ホテル 慶州観光	終日		ホテルにて朝食をお召し上がり下さい。 終日 専用バスにて慶州観光の予定 夕食→韓国RI会長代理との晩餐会参加 【テグ泊】	○	○	○
3	4/24(土)	ホテル発 テグ市内 東テグ駅発 ソウル駅着 ソウル市内	午前 午後		ホテルにて朝食をお召し上がり下さい。 テグ市内・RI3700地区大会本会議参加 昼食(大会会場にてご用意) テグ市内より送迎バスにて東テグ駅へ KTXにてソウル市内へ ソウル駅到着後専用バスにてソウル市内観光(予定)後、 ソウル市内ホテルへ ホテル到着後夕食会場へ 【ソウル泊】	○	×	×
4	4/25(日)	ホテル発 ソウル仁川空港 新千歳空港	早朝 10:05 12:35	KE765	専用バスにてソウル仁川空港へ 空港にて朝食をお召し上がり下さい。 大韓航空にて空路新千歳空港へ 帰国手続き終了後、解散。	○	機内食	

※注意：発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル：テグ市内→テグランドホテル、ソウル市内→ソウルルネッサンスホテル。★最少催行人員：20名。★添乗員：現地係員がご案内します。

【申込締切】 2010年3月15日(月)

※当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機座席の関係から先着順で受付満員になり次第、締め切らせて頂きます。

【申込・お問合せ先】 株式会社 シーピーツアーズ 滝川営業所
滝川市栄町4丁目9番1号 中央バス滝川ターミナル1階
電話0125-26-1188・FAX0125-22-2158

2009-10年度会長賞についてのお知らせ

■ 会長賞

2009-10年度会長賞プログラムは、ジョン・ケニー会長の「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のテーマを支えるものです。ウェブサイトで入手できる2009-10年度会長賞の要項には、受賞資格を満たすための様々なクラブ活動について詳しく説明されています。受賞資格を得るためには、会員目標(純増1名)を達成し、2009-10年度会長賞要項(900A-09JA)に挙げられた6分野から3つを選び、合計3つの活動を完了しなければなりません。クラブの業績を証明するために、本申込書に記入して署名したものを地区ガバナーに送付し、承認を得る必要があります。

申込書を地区ガバナーに提出する締切りは、2010年3月31日必着となります。

新入会員の紹介 (敬称略)



たかやま けんたろう
高山健太郎(森RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/道路旅客運送業



おがわ きよかず
小川 清和(森RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/環境保全サービス業



かわべ まもる
川邊 守(森RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/温泉旅館経営



ひらい かつひろ
平井 克宏(森RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/水道・配管設備業



よこい くにひこ
横井 邦彦(森RC)
★入 会/H21.9.2
★職業分類/信用金庫



ひらやま ひろし
平山 博(森RC)
★入 会/H21.9.2
★職業分類/生花販売



むさし かずまさ
武蔵 和正(森RC)
★入 会/H22.1.1
★職業分類/飲食店経営



とだ やすひこ
戸田 安彦(白老RC)
★入 会/H22.1.1
★職業分類/葬祭業



すずき かずひろ
鈴木 一弘(白老RC)
★入 会/H22.1.1
★職業分類/飲食業



やまだ かずこ
山田 和子(白老RC)
★入 会/H22.1.1
★職業分類/小売業



ふじい まさよし
藤井 正義(滝川RC)
★入 会/H22.1.7
★職業分類/車両販売・整備業



ささき みわこ
佐々木美和子(新札幌RC)
★入 会/H22.1.13
★職業分類/ホテル



みつじ しゅういち
三井 周一(恵庭RC)
★入 会/H22.1.13
★職業分類/信用金庫



つるが ひでお
敦賀 秀生(千歳RC)
★入 会/H22.1.21
★職業分類/銀行業務



すがわら まさゆき
菅原 正行(千歳RC)
★入 会/H22.1.21
★職業分類/電気及び電子工業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



川上 一 会員 (白老RC)
平成21年12月21日逝去(享年81歳)

ロータリー歴
1979年6月17日入会(チャーターメンバー)
1988~89年度 会長

表彰関係
・ポール・ハリス・フェロー



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

美 唄 R C	高 橋 誠	会員(2回)	1月21日
札 幌 R C	古 野 重 幸	会員(1回)	1月19日
	久保田 俊 昭	会員(1回)	1月19日
札幌真駒内RC	齋 藤 康 嗣	会員(2回)	1月29日
	柴 田 薫 心	会員(2回)	1月29日
千 歳 R C	瀧 澤 順 久	会員(1回)	1月27日

■米山功労クラブ

札 幌 R C 26回 1月29日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江 別 R C	菊 田 政 徳	会員(1回)	12月18日
札 幌 R C	山 中 善 夫	会員(2回)	1月22日
札幌手稲RC	針 谷 龍 宜	会員(6回)	12月25日
	長谷川 壽 朗	会員(2回)	12月25日
千歳セントラルRC	坂 井 治	会員(2回)	1月29日

■ポール・ハリス・フェロー

砂 川 R C	二 橋 邦 征	会員	1月 8日
	二 宮 健 志	会員	1月 8日
札 幌 R C	古 野 重 幸	会員	1月22日
	吉 田 宏	会員	1月22日
函館五稜郭RC	青 田 基	会員	1月 8日
	千 葉 光 夫	会員	1月 8日
	千 葉 孝 志	会員	1月 8日
	蝦 名 康 夫	会員	1月 8日
	濱 中 公 也	会員	1月 8日
	林 真 彦	会員	1月 8日
	池 垣 幸 治	会員	1月 8日
	石 沢 真	会員	1月 8日
	川 村 隆 夫	会員	1月 8日
	菊 地 喜 久	会員	1月 8日
	小 林 大 輔	会員	1月 8日
	小 村 英 弘	会員	1月 8日
	窪 田 良 弘	会員	1月 8日
	工 藤 将 幸	会員	1月 8日
	棟 方 勝	会員	1月 8日
	村 田 信 吾	会員	1月 8日
	中 川 正 光	会員	1月 8日
	高 橋 清	会員	1月 8日
	渡 部 一 博	会員	1月 8日
山 本 能 史		会員	1月 8日

クラブ事務所及び例会場の変更について

白老RCのクラブ事務所及び例会場が3月2日(火)より下記に変更となりますので宜しくお願い致します。

旧事務所及び例会場 白老観光センター → 新事務所及び例会場 しらおい経済センター
〒059-0905 白老町大町2-3-4
電話、FAX番号は変更ありません。

例会日・例会時間・例会場の変更等について

砂川 R C	3月17日(水)職場訪問移動例会 12:30～ 場所:(株)北海道スイコー 3月31日(水)休会
江別 R C	3月18日(木)移動夜間例会 18:30～ 場所:5丁目花寿し(江別市弥生町12-21)
江別西 R C	3月 9日(火)の例会を下記に変更 3月13日(土)ソバ例会 12:30～ 場所:江別市勤労者センター 3月30日(火)は休会となっておりますが通常例会に変更
室蘭東 R C	3月 3日(水)休会
室蘭北 R C	3月16日(火)親睦夜間例会 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭 3月23日(火)休会 3月30日(火)夜間例会「クラブフォーラム」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老 R C	3月 2日(火)移動例会 12:00～ 場所:北味(白老町大町) 3月 9日(火)移動夜間例会「新入会員オリエンテーション・歓迎会」 場所:いちひろ(白老町萩野341-17)



文庫通信

(269号)

地区大会記念講演を中心に!

書名	著者	発行年	ページ	
◆「ロータリーはこれでいいのか」(宇城RC記念講演)	齊藤 和	2009	14P	※
◆「夢とロータリー」(D.2530地区大会)	司 葉子(パネリスト)	2009	7P	※
◆「2580・今・おかげさまの心で夢をかたちに」(D.2580地区大会)	牛来峯聡 他	2009	13P	※
◆「国際ロータリー第2580地区発、地球の温暖化防止」(D.2580地区大会)	鳥井弘之・中上英俊	2009	8P	※
◆「夢をかたちに一心豊かに」(D.2520地区大会)	山田俊和	2009	10P	※
◆「青少年よ、『重力』と遊べ」(全日本RYLA大会報告書)	伴 義孝	2005	12P	※
◆「子どもにあなたがたい心を育む-子育てと塾・学習と教育の違い」(D.2540地区大会)	仁志田博司	2009	3P	※
◆「ロータリーの基本に返ろう」(D.2830地区大会)	島村吉三久(コーディネーター)	2009	12P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年3月のロータリーレート 1ドル90円



地区カレンダー(3月・4月)

3月 識字率向上月間		4月 ロータリー雑誌月間	
1(月)		1(木)	
2(火)		2(金)	スウェーデン第2630地区より GSEメンバー受入(~5/1)
3(水)		3(土)	第10・11グループ合同IM(森)
4(木)		4(日)	
5(金)		5(月)	
6(土)	2010-11年度全国会員増強セミナー(横浜)	6(火)	
7(日)		7(水)	
8(月)		8(木)	
9(火)		9(金)	
10(水)		10(土)	
11(木)		11(日)	第1グループIM(留萌)
12(金)		12(月)	
13(土)	2010年3月終了米山奨学生歓送会(札幌) 会長エレクト研修セミナー(札幌)	13(火)	
14(日)	会長エレクト研修セミナー(札幌) 地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー(札幌)	14(水)	
15(月)		15(木)	
16(火)		16(金)	
17(水)		17(土)	
18(木)		18(日)	地区協議会(札幌)
19(金)		19(月)	
20(土)		20(火)	
21(日)	春分の日	21(水)	
22(月)	振替休日	22(木)	
23(火)		23(金)	
24(水)		24(土)	韓国第3700地区大会(大邱) 第4・5グループ合同IM(札幌)
25(木)		25(日)	2010年規定審議会(米国・シカゴ)25日(日)~30日(金)
26(金)		26(月)	
27(土)		27(火)	
28(日)		28(水)	
29(月)		29(木)	昭和の日
30(火)		30(金)	
31(水)			

2010-2011年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催のご案内

日 時 2010年3月13日(土) 開会:午前10時45分
3月14日(日) 開会:午前 9時

場 所 ルネッサンスサッポロホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1 電話 011-821-1111

2010年 地区ロータリー財団セミナー開催のご案内

日 時 2010年3月14日(日) 午前9時~午前10時55分

場 所 ルネッサンスサッポロホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1

2010年 地区米山セミナー開催のご案内

日 時 2010年3月14日(日) 午前11時5分~午後0時45分

場 所 ルネッサンスサッポロホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1



国際ロータリー第2510地区 佐々木正丞ガバナー・エレクト事務所
〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
電話 (011)207-2510・FAX (011)207-2512 E-mail : rid2510@nifty.com

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.01.31	増減	内女性	
1	深川	3	32	32	0	1	86.48
	羽幌	4	45	48	3	1	86.70
	妹背牛	3	9	9	0	0	81.48
	小平	4	11	11	0	0	84.10
	留萌	4	41	44	3	3	87.15
	小計		138	144	6	5	85.18
2	赤平	4	29	32	3	1	76.20
	芦別	4	37	38	1	0	84.89
	砂川	4	55	53	-2	0	94.14
	滝川	4	96	95	-1	2	76.00
	小計		217	218	1	3	82.81
3	美唄	4	33	33	0	0	87.96
	江別	4	34	33	-1	1	91.66
	江別西	4	30	29	-1	3	91.30
	岩見沢	3	85	86	1	0	91.70
	岩見沢東	3	33	35	2	4	89.17
	栗沢	4	24	23	-1	1	97.80
	栗山	3	27	27	0	2	98.67
	当別	4	31	30	-1	0	88.00
小計		297	296	-1	11	92.03	
4	札幌	4	102	128	26	0	96.36
	札幌あけぼの	4	13	15	2	1	93.30
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	89.47
	札幌北	2	43	41	-2	5	90.24
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	70.67
	札幌西	4	58	57	-1	4	87.88
	札幌西北	4	40	39	-1	6	95.80
	札幌手稲	4	33	36	3	2	88.89
小計		359	386	27	22	89.08	
5	札幌東	4	118	122	4	0	97.38
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	63	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	29	-2	3	93.52
	札幌南	2	80	77	-3	0	98.75
	札幌大通公園	3	12	12	0	3	86.10
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	83.30
	新札幌	4	28	27	-1	3	94.61
小計		358	358	0	19	94.21	
6	岩内	3	19	20	1	0	68.36
	倶知安	3	40	38	-2	4	71.50
	小樽	4	65	70	5	0	85.83
	小樽南	4	76	76	0	1	83.77
	小樽銭函	4	22	23	1	2	80.00
	蘭越	2	9	9	0	0	83.33
	余市	4	41	40	-1	4	84.00
	小計		272	276	4	11	79.54

1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,771人(107人)
増加会員数	71人
当月平均出席率	85.53%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.01.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	78.50
	千歳セントラル	3	37	38	1	2	76.30
	恵庭	4	35	41	6	2	83.41
	北広島	4	16	14	-2	0	87.50
	長沼	3	20	20	0	3	81.70
	由仁	4	11	10	-1	1	97.22
小計		176	181	5	11	84.11	
8	えりも	3	21	22	1	0	92.42
	三石	3	15	15	0	1	95.60
	様似	4	22	23	1	1	84.80
	静内	4	70	76	6	1	89.20
	浦河	3	36	37	1	2	95.50
	小計		164	173	9	5	91.50
9	伊達	3	55	58	3	0	84.48
	室蘭	4	41	44	3	0	69.18
	室蘭東	4	36	40	4	0	82.50
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計		205	218	13	4	84.87
10	函館	4	83	88	5	0	77.15
	函館亀田	2	42	39	-3	2	94.56
	森	4	34	40	6	0	67.50
	七飯	4	17	17	0	0	72.10
	長万部	3	9	8	-1	0	66.60
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	60.35
小計		216	221	5	3	73.04	
11	江差	4	18	14	-4	1	79.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	97.60
	函館東	4	43	44	1	4	84.18
	函館北	4	28	28	0	0	91.08
	北斗	4	17	17	0	1	67.60
	松前	1	5	6	1	0	50.00
小計		166	164	-2	6	78.24	
12	白老	3	28	29	1	1	82.00
	苫小牧	4	48	52	4	2	78.50
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	90.38
	苫小牧北	3	29	29	0	2	97.53
	小計		132	136	4	7	87.10
合計		2,700	2,771	71	107	85.53	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

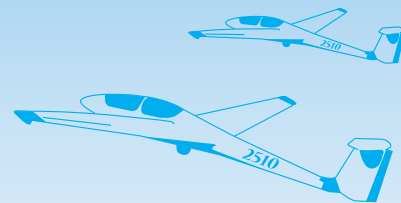
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

4



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 2010-2011年度会長エレクト研修セミナー報告☒…2
- ローター財団セミナー・米山セミナー報告☒…3
- ガバナー補佐研修セミナー・
地区チーム研修セミナー報告☒……………4
- ガバナー補佐レポート☒……………5
- I M報告☒……………6～8☒
- 雑誌月間によせて☒……………9
- 委員会活動報告☒……………10
- 世界各地でロータリーの誕生日を祝賀☒…11～12
- 2010-2011年度 地区協議会開催のご案内☒…12
- 新入会員の紹介・訃報
米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力を感謝申し上げます☒…13
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について
文庫通信・ロータリーレート☒……………14
- 地区カレンダー(4月・5月)☒……………15
- 出席率・会員数☒……………16

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



ロータリーの4月

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

ロータリーにとって4月は、多様な行事が予定をされている月であります。

クラブでは、次年度に向けてのクラブ協議会、新理事会、新委員会などは当然回を重ねていますし、地区においても、地区委員会、クラブ向けの地区協議会など各セミナーの開催があり、更にはスウェーデンからGSE団員を受け入れ、地区内クラブでお世話を頂く事などもこの4月であります。また、6年も交流が続いている姉妹地区韓国の3700地区の地区大会が、4月23日からソウルの東方にある大邱市で開催され、当地区から20余名が参加いたします。地区内5グループもIMをもち、ガバナーが参加する他地区の地区大会が2地区で予定されている月でもあります。また国際的には、関心を寄せているロータリーの進路を協議する規定審議会が3年に1回の今年に開催され、これもこの4月であります。2009-2010年度はもう3/4が終わり、今は当年度のまとめと新年度の準備が重なる時期でもあり、それらが集中してこのようにタイトに感じるのかも知れません。

ロータリーは基本的に、毎年役員が改選される事により、運営の改善や事業の検証と見直し、あるいは継続や新規を容易に検討出来る仕組みになっています。従って新年度の準備には当年度の体験と検証を生かし、クラブの効率的で効果的なロータリー活動の組み立てと、活動の計画が期待されるものであります。

RI会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの歴史は、繋がっている強固な鎖である。それは先人がその時代その時代のロータリーの奉仕への熱い思いを寄せた成果が鎖のそれぞれの環で表わされ、環が繋がって強固な鎖となってロータリーの歴史を表しています」と解説されています。

RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手に」から新旧が活動をしているこの時期に、われわれの成果が強固な鎖の環となって役割を果たし、またその思いがしっかりと次へ繋がり、未来に向かって発展することを、新旧が活動をしているこの4月に望むものであります。

2010～2011年度会長エレクト研修セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

2010年3月13日(土)、14日(日)に標記セミナーが開催され、地区内73クラブの会長エレクトが、ルネッサンス・サッポロホテルに集まりました。

初日は、午前中に佐々木正丞ガバナー・エレクトからRIのテーマと地区の目標について説明があり、その後、塚原房樹次期地区研修リーダー(PG)からクラブ運営等についての講話がなされました。

午後は、6つのグループに分かれての分科会討議がなされ、佐々木ガバナー・エレクトから提示された6つのテーマについて討論が行われました。

それぞれのグループには、次期ガバナー補佐2名と、渡邊ガバナー、佐々木GE、熊澤GN、塚原PG、丸山PG、酒井PGおよび矢橋PGがアドバイザーとして参画し、討論をリードされました。

会長エレクトにとっては、4時間にわたる分科会討議で様々な意見を交換でき、今後のクラブ運営に当たって非常に有意義な内容ではなかったかと思われまます。

分科会討議を終えた後、再び一堂に会してそれぞれの分科会を担当された次期ガバナー補佐から報告が行われ、一日目のセミナーを終了しました。

二日目は、前日から引き続いて会長エレクトと、各クラブの次期財団委員長および次期米山委員長が加わって、「ロータリー財団セミナー」および「米山セミナー」が開催されました。

セミナーでは、財団および米山に係る地区の各次期委員長から活動状況等について説明がなされた後に、現在、中国出身の米山奨学生として学業に励まれている、ミヒライ・ウィーリさんからお話をさせていただきました。

最後に渡邊ガバナーにセミナー全体の講評をしていただいて二日間のセミナーを終了しました。

本セミナーの開催に当たっては、ホストの札幌幌南RCのクラブメンバー全員にお手伝いをしていただき、非常にスムーズに運営できましたことに対して心から深く感謝申し上げます。

- 2010～2011年度 RIテーマ
 - －地域を育み、大陸をつなぐ－
 - －BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS－
- 2010～2011年度 地区目標
 - ① クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
 - ② 地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
 - ③ ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう
「毎年一人100ドル」を協力しよう





ロータリー財団セミナー・米山セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

会長エレクト研修セミナーの第2日目は、各クラブから財団・米山の各担当委員長も参加されて、標記セミナーが開催されました。

財団セミナーでは、冒頭に岩城秀晴・地区ロータリー財団次期委員長(PG)が「ロータリー財団の現況について」説明をなされ、その後「国際親善奨学金」「GSEプログラム」「地区補助金」「財団学友会」について、それぞれ担当の地区次期委員長から説明がなされました。

出席者各位は、昨今の財団の厳しい財政状況を理解し、また財団の「未来の夢計画」についての動向を勉強されて、財団への協力支援を今後とも継続的に積極的に実施する重要性を認識されたものと思われる。



財団セミナー終了後、休憩を挟んで、「米山セミナー」が開催されました。

米山セミナーでは、冒頭に(財)ロータリー米山記念奨学会理事の伊藤長英PGから「米山記念奨学会の現況について」説明がなされ、引き続いて「米山記念奨学金寄附状況」「米山学友会」について、それぞれ担当の次期地区委員長から説明がなされ、さらに米山奨学生の中国出身のミヒライ・ウーリさん(北海道大学博士課程3年)から感銘的なお話をお聞きしました。

米山記念奨学会は、世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動でもあり、その成果は高く評価されております。

しかしながら当事業の財源は、ロータリアンからの寄附によってまかなわれていますが、当地区の実績は全国平均を下回っている状況を踏まえて、ロータリアン各位の一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。



ガバナー補佐研修セミナー

次期地区幹事 **橋本 敏明**

Toshiaki Hashimoto
(札幌RC)

さる2月27日(土)2010-2011年度ガバナー補佐研修セミナーが午前10時から開催された。セミナーをはじめるとあたり渡邊恭久ガバナーよりご挨拶をいただいた。次に佐々木正丞ガバナー・エレクトよりご挨拶と出席者紹介をいただいた。これに続けて国際協議会出席報告および次年度地区目標の概要を話された。詳細については同日午後に行われた地区チーム研修セミナーにて発表された。次に久保田俊昭次期地区代表幹事より次年度地区組織図(案)について説明を行った。引き続き次年度年間計画とクラブ公式訪問日程の発表があり、年間スケジュールの確認と訪問日程に対する次期各ガバナー補佐からの意見を伺った。山中善夫次期地区財務委員長より次年度地区予算(案)の説明があり、国際ロータリー第2510地区のここ数年と将来の財務状況も含めての発表となった。この後出席者同士の意見交換となり、次期各ガバナー補佐から担当グループの課題等が提示され、忌憚のないディスカッションの場となった。セミナーは午前11時30分に閉会した。

地区チーム研修セミナー

次期地区幹事 **橋本 敏明**

Toshiaki Hashimoto
(札幌RC)

2月27日(土)2010-2011年度地区チーム研修セミナーが、午前のガバナー補佐研修セミナーに引き続き午後1時に開催された。開会に際し渡邊恭久ガバナーよりご挨拶をいただいた。次に佐々木正丞ガバナー・エレクトよりご挨拶と出席者紹介をいただいた。これに続けて次年度RIテーマの紹介および地区目標についての基調講演をおこない、次年度にかける地区運営の基本的スタンスを話された。次に塚原房樹次期地区研修リーダー(PG)から「地区リーダーの皆さんへ」という題で講演をいただき、リーダーへの心構えと実行すべき内容とをロータリーの精神に基づき分かりやすく提示された。

久保田俊昭次期地区代表幹事より次年度地区組織図(案)について説明を行い、併せて次年度年間スケジュールについての確認がなされた。次に山中善夫次期地区財務委員長より次年度地区予算(案)の説明があり、次期地区各委員長へ次年度活動に対する予算の枠組みが示された。その後、次期各ガバナー補佐より自己紹介および課題の発表と、次期地区各委員長の自己紹介および次期活動計画について活発な提言がなされた。これまでの説明および議論をふまえて渡邊恭久ガバナーの講評をいただき、熊澤隆樹ガバナー・ノミニの閉会の挨拶で、セミナーは午後4時30分に終了した。





ガバナー補佐レポート

ロータリアンからの好意と友情を頂いて

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

2009-2010年度の地区ガバナー補佐を拝命された時は、責任の重さに耐えうるだけの知力、体力が備わっているかと不安を抱いての、渡邊ガバナーの補佐役としての始まりでしたが、ロータリアンの皆さんのお力に支えられ、何とか任期前半を折り返した所でございます。

この間、各地区、グループの皆さんと共に接する中で、ロータリアンでなければ得る事が出来ないと思われる奉仕をさせて頂く上での感動、及び貴重な勉強をさせていただき、私にとってのかけがえのない大きな財産を頂きました。

私は第5グループの8クラブ(新札幌RC・札幌真駒内RC・札幌東RC・札幌南RC・札幌大通公園RC・札幌セントラルRC・札幌幌南RC・札幌清田RC)を担当する事になりましたが、他のクラブに関しての知識が乏しく、渡邊ガバナーを始め各ガバナー補佐、クラブ会長及び幹事の方々のご指導を頂きまして、5月の第1回会長・幹事会、7月からの各クラブの訪問、11月の第2回会長・幹事会、年が明けましての2010年1月のガバナー補佐会議まで、なんとか皆様のお力をいただき終えたところでございます。

各クラブの会長、幹事とのクラブ協議会の日程等の打合せ、懇親会に訪問するうちに各クラブの会長の運営方針及び取組方の熱意が心に伝わり、各クラブの特色を得る事が出来たように思う所でございます。

訪問の中で感銘を受けた事は、クラブの規模に関わらず一人一人のロータリアンが奉仕活動理念を持ちそれぞれのクラブに合った活動方針を立案して一生懸命奉仕活動を推し進めているという事でした。

私がガバナー補佐を拝命された時に強く心に念じた事「事業の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」が皆さんのように出来ているのだろうか自分自身の奉仕活動を鑑み反省する思いを持ち、再度気を引き締め、取り組んでいかなければと言う思いを皆様のおかげで持つことが出来ました。又、渡邊ガバナーが重点目標の第一に掲げておられました「そらぷちキッズキャンプ」の引続きの応援を、第5グループの皆さんに受けて頂きまして誠に感謝をしております。

各クラブの皆さんから頂いた感動と行動を促す力を基に、第4グループ荒紀男ガバナー補佐、阿部哲夫IM実行委員長と共に4月24日に開催されるRI第2510地区第4・第5グループ合同IM開催の準備を進め、又残り四半期もガバナー補佐としての責務を尽くしたいと思っておりますので、これからもご指導、宜しくお願い致します。



IM 報告

7クラブ総参加型のフォーラム開催

第2510地区 第6グループ

ガバナー補佐 **見延 庄三郎**

Shousaburo Minobe
(小樽南RC)

- ◆開催日 2010年2月12日 午後1～4時
- ◆会場 グランドパーク小樽
- ◆参加者 登録数194名。参加者182名
- ◆IMテーマ 「ロータリーの魅力は何か」
- ◆サブテーマ 「楽しくなければロータリーではない」然し「楽しいだけでもロータリーではない」
- ◆IMリーダー ガバナー補佐
- ◆アドバイザー ガバナー、IM実行委員長
- ◆パネラー 7クラブから選出された会員

(小樽、小樽南、余市、岩内、倶知安、蘭越、小樽銭函各RC)(注・設立年次順)

◆フォーラムの概要

最初の1時間で7クラブのパネラーから夫々自クラブの独特の個性や存在感を示す紹介があり、続いて「ロータリーの魅力」に就いてのプレゼンテーションが行われました。

その後、1時間に亘ってテーマの「魅力」に就いてパネラーを中心に、会場からの発言を含め活発な討論が繰り広げられました。

その中で「ロータリーの魅力」は何と云っても①社会的地位や立場を超えて、ロータリアンであること、②ロータリーは人間修業、自己啓発の場である事。③高度の情報収集の場である事。④ロータリー活動を通して世の為、人の為に尽くすことが出来る。結果の大小に拘わらず、奉仕することによって得られる喜びは金銭に換えられぬ喜びである。「ロータリーは人生の幸せの宝庫」である等、心に響く発表が沢山ありました。

そしてその幸せを掴むにはクラブ活動や奉仕活動に積極的に参加することが大事である事、又社会経済の変化によって直面する困難に対しては、「不易と流行」の精神で、ロータリーの根本理念は変えてはならないが、仕組みややり方などは時代の変化に対応して積極的に変えてゆくべきである等、時間を忘れての熱い討論が交わされました。最後に渡邊ガバナーから「今日のIMは理想的パターンであり、充実したIMでした」との講評を頂きました。

従来のIGF(一般討論会)方式で、知恵を絞り心を寄せ合うことが出来たのはとても良かったと思います。主役を務めた7名のパネラーの率直で真剣な発表とアドバイザーの適切な助言、そして会場からの発言等フォーラム本来のやり取りから、多くの共感や感動を貰うことが出来た事は大きな収穫でした。

次期ガバナー補佐は皆川岩保会員(倶知安RC)。次期IM開催地は倶知安町と決定しました。関係者の皆さんに心からお礼を申し上げ、以上報告と致します。





I M 報告

第9グループIM報告

第2510地区 第9グループ

ガバナー補佐 **黒田 秀雄**Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

RI第2510地区第9グループIMは、ガバナー補佐出身RCが担当となる慣例となっております。グループ6クラブのうち洞爺湖RCを除く伊達RC・登別RC・室蘭RC・室蘭北RC・室蘭東RCが、5年毎のローテーションでガバナー補佐を選出しております。

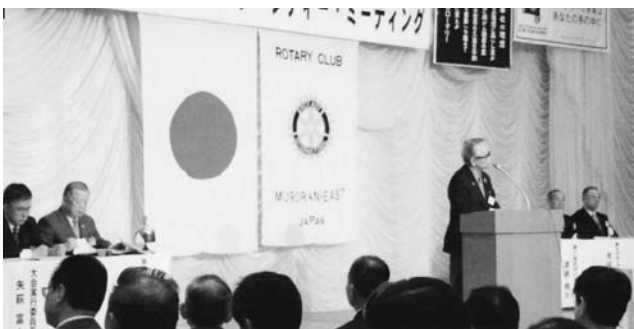
前年私がガバナー補佐指名に内定した時点におきまして、理事会にIM開催の是非について諮問を致しましたところ、全員一致で開催に協力するとの答申を頂き、実行委員会発足の運びとなりました。

2010年2月13日(土)午後3時30分より、第38回IMを蓬峯殿(室蘭市)に於いて開催致しました。御来賓として前日第6グループに参加され、当日第9グループ、翌日第8グループIMに参加予定の超多忙の中、渡邊恭久ガバナー及び第6グループ見延庄三郎ガバナー補佐、遠藤秀雄パストガバナー、神部洋史代表幹事の皆様の御臨席の下開会致しました。

IMのテーマの選定につきましては、室蘭は物づくりとのコンセプトで発展した都市であるとの結論から、『デザインからの街づくり』～ものづくり100年の未来に向けて～と致しました。

基調講演は室蘭工業大学講師真境名達哉氏に御依頼し、更にパネラーとして二人の若いものづくりのデザイナーである、須藤大介氏、登尾真帆氏の作品を紹介しながら発表して頂くことになりました。作品発表後、松永英樹会員の司会によるパネルディスカッションに移りました。このIMのテーマが、参加者の物づくりのヒントの一助となることを期待しながら無事終了致しました。

休憩をはさんだ後、待望の懇親会に移りました。その場では、物づくりの原点の一つである「ボルタ人形」を参加者全員に記念品として用意し、又キッズキャンプに来る小児ガンの子供達へ特大の「ボルタ人形」を寄贈しました。その上キッズキャンプの支援の風船運びゲームに来賓会員に参加頂き、その結果、些少ながら浄財を渡邊恭久ガバナーを通して寄付することができました。参加者全員が楽しい雰囲気の中で、無事終了致しましたことを御報告申し上げます。



IM 報告

インターシティ・ミーティングを終えて

第2510地区 第8グループ

ガバナー補佐 **山田博継**

Hirotsugu Yamada
(三石RC)



RI第2510地区第8グループIMを平成22年2月14日(日)「新ひだか町三石福祉センター」に於て、渡邊 恭久ガバナー、神部洋史代表幹事にご臨席いただき、静内RC33名、浦河RC26名、様似RC13名、えりもRC9名、ホストクラブ三石RC15名と会員夫人10名総数106名の参加を得て開催しました。

私の挨拶の中で、IMは近隣数クラブが集まって開かれるロータリーの会合であり、討論の主な内容は四大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討すると云われていますが、渡邊ガバナーの講演をIMの『要』とした事を申し上げたのです。

渡邊ガバナーは「私の生業とロータリー活動」と題して講演を始められ、講演の冒頭に2012～2013年度のガバナーに、日高管内から始めて静内RCの細川好弘さんを指名委員会に於て満場一致で決定した事を報告され本旨に入りました。

渡邊ガバナーの講演の概要を記しますと、「5人兄弟(姉妹)の長男として看板業を営む家庭に生まれ、幼少の頃は弟子、職人等が住み込み同じ生活をしており、地域が一つになって隣近所の人達が皆父母兄弟の様に過ごした時代であった。そのうち進学を志望し高校、大学へと進み学問を積むにつれて教育に携わりたくなかったが、卒業を間近にした2月2日に父親が急逝し、家族あり弟子職人が多くおり、やむなく社業を継いだ。昔は徒弟制度で弟子入りし、修行を積み努力を重ね才能を生かし、そして感性を高めつつ5年～7年かけ一人前となり一生の職業としたが、現在は学校を出て就職しても好きな仕事でない、きつい仕事は嫌いと辛抱をしないで辞める人が多い。仕事に対する自分の心の置き所、自分の働いている仕事に対して自分の心の持ち方を変えれば、もっと働いていることに対して生き甲斐を感じていくのではないだろうか。ロータリアンは職業分類に於て地域を代表される方々ですのでご自分の職業に対して或いは職種に対して誇りを持って、仕事について若い人達にしっかり伝えて行く、そして仕事を尊重して行く、そういう地道の作業というのが日本の国を再生して行く一つではないかと思っている。私がロータリーに入り35年、職業が違う、社会的立場が違う、そう云う方々が一つのロータリーというテーブルについて、同じ目線で話し合うという事が最初は凄いなあ、恐ろしいなあと思った。ロータリアンはその人の立場、体験、経験、年齢、職業を超越して参加しているのであり、自分の職業というものに対してしっかり自覚しながら社会に向かって奉仕を続けて行かなければならない。」と熱く語っていただきました。

引き続き会場を「みついしふれあいプラザ」に移し、酒井芳秀新ひだか町長及び中島滋新ひだか町議会議長をお迎えし、三石RC40周年記念式典を行い、その後懇親会を催し、酒が気持ち良く心身に浸りてきた頃、当クラブの社会奉仕委員長が予め用意をして置いた「そらぷちキッズキャンプ」支援ボックスを各ロータリアンにお願いしたところ、7万円が集まりました。

斯くして和気あいあいの中ですべてが終了致しました。





雑誌月間によせて

ロータリーの友

地区委員 **中島 健**

Takeshi Nakajima
(滝川IRC)

4月は「雑誌月間」です。国際ロータリー(RI)の公式機関誌『The Rotarian』および、世界31のロータリー地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間で、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

『ロータリーの友』は、RIから承認を受けている31の地域雑誌の一つであり、地域雑誌、または公式機関誌『The Rotarian』どちらかを購読することは、会費納入、例会出席と同じくロータリアンの義務となっています。特に『ロータリーの友』は日本のロータリアンのための情報誌として発行されており、世界や日本のロータリーの種々の活動や現況を知る上で最も適当なものと思われます。

『The Rotarian』は、アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるRI世界本部で発行されていて、99年前の明治44(1911)年に創刊されました。一方、『ロータリーの友』は57年前の昭和28(1953)年1月創刊です。日本のロータリーが拡大、発展して昭和27年(1952-53年度)に東西2つの地区に分かれる時、今後情報も交換しあい、お互い手を携えてやっていこうとの事から、共通の機関誌の創刊が企画され、発刊となったものです。因みに地域雑誌としてRIの承認を受けたのは、30年前の昭和55(1980)年です。1975年以来過去35年間、ロータリアンの購読費と広告を主な収入源として1冊200円(消費税を除く)の安価で維持されています。また、地域雑誌の定義として、「活字版と電子版のいずれをも含む」と規定されていますので、ロータリーの友委員会では、『ロータリーの友』編集・発行のほかにホームページ「ロータリージャパン」の制作・運営にも携わっています。「ロータリージャパン」はロータリアン以外の人々に向けて、ロータリーの活動を載せていますので広報にご活用下さい。また、ロータリアンに向けてはロータリーの情報がきめ細かく載っていますので、何かとご参考にして下さい。

さて、『ロータリーの友』は、余り読まれていないとよく言われます。それは新聞、雑誌、または業界紙と比べて実務的でないので面白くないとの理由だと推測いたします。しかし、『ロータリーの友』はロータリアンのための雑誌であり、ロータリーについての活動や情報、ロータリアン同士の意見交換などを掲載していますので、「ロータリアンとして役に立つか、立たないか」という判断で評価し読んでほしいと思います。まずは『友』誌がロータリアンのための機関誌、情報誌、俗に言えば「ロータリアンの業界紙的なもの」だということを認識して下さい。自分の興味のある所だけでも読んで下さい。その事だけでもロータリーを更に理解することになると確信しています。

各々のクラブは、歴史と伝統に裏打ちされた、その地域に必要な素晴らしい奉仕活動がなされていると思います。しかし、それらの情報が他のクラブへ伝達されないというきらいがあります。一つのクラブでできることには限界があり、情報を交換することにより、それぞれのクラブが更なる発展を遂げていくのではないのでしょうか。まさしく『ロータリーの友』や『ガバナー月信』、他クラブの会報はそんな役割を十分果たしてくれると思います。『友』をはじめ「月信」「会報」には、ロータリアンが必要としているたくさんの情報や思いが載っています。クラブや地区の活性化のためにも、己のロータリーライフの充実感を得るためにも、ぜひ『友』をはじめとする、ロータリーの雑誌を、もっと活用していただければと思います。



委員会活動報告

第4回「5分で出来るホームページ作成講習会」

地区IC委員会

委員長 **光 銭 健 三**

Kenzo Kosen
(北斗RC)

日時:平成22年1月30日

会場:札幌市学習センター ちえりあ(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10)

参加クラブ、委員会:札幌真駒内、小樽、小樽南、苫小牧東、北斗、苫小牧北、美唄、

当別、札幌北、札幌南、札幌西、札幌、えりも、滝川、砂川、学友会、G S E

一般の方への広報や地区内、クラブ内でのコミュニケーションの輪を広げる目的でホームページを活用することは、会員増強や退会防止にも役立つと考えられます。IC委員会では、各クラブや地区委員会の皆様を対象にホームページ作成講習会を開催し、今回で4回目となりました。「5分で出来る…」は少し大袈裟ですが、この講習会では簡単にホームページを作ることができるように、あらかじめひな形を用意したり、各クラブ用のURLを用意して、初めての方でもその場でホームページを開設できるように工夫しています。今回も櫻井政経次年度地区幹事をはじめ多くの皆様に参加していただき、充実した講習会を開催することが出来ました。また講習会終了後の意見交換会でも、楽しい有意義な時間を過ごすことが出来ました。





世界各地でロータリーの誕生日を祝賀

国際ロータリー公共イメージ支援グループ
エリアコーディネーター(アジア担当)

田岡久雄

(京都伏見RC)

2月23日はロータリーの誕生日、毎年、世界各地で有名な建造物にロータリーのロゴマークや国際ロータリーの強調事項である「End Polio Now」のメッセージを投影したり、大きなバルーンや横断幕を目抜き通りや観光地に掲げるなどして、人々にロータリーの活躍をアピールしています。

こういった催しが日本で報道されることはほとんどありませんので、日本の皆さんにはなじみが薄いかもしれませんが、昨年はビッグベンで知られるロンドンの国会議事堂やシドニーの音楽堂など、そして、今年の誕生日には、スペインの有名な大聖堂の正面に「End Polio Now」のメッセージが浮かび上がりました。もし、日本で奈良・東大寺の大仏殿やお寺の五重塔でこのようなことをしたら「景観条例」などに抵触したり、人々の鬱鬱(ヒツツク)を買うことになるかもしれませんが、なんと、エジプトのロータリーは、今年の2月23日にピラミッドに大きなロータリー・ロゴと「End Polio Now」の文字を浮かび上がらせました。ただ、日本でもできそうな行事の参考として、フィリピンのマニラから送られてきた写真には、繁華街での大きなバルーンが写っていますし、ブラジルでは、アルゼンチンとの国境にあるイグアスの滝に横断幕を掲げ、その前で地元テレビ局のインタビューを受けたり、アマゾナス州の首都マナウスでは、派手な「End Polio Now」の旗をつけたパラグライダーがアマゾン川上空を舞うというイベントを繰り広げたりしています。ちなみに、こういった行事は日本ではまだ行われたことがないので、来年度の広報補助金プロジェクトの一つとして企画してご覧になってはいかがでしょうか。



スペインのサンチアゴ大聖堂



エジプトのピラミッド



フィリピン・マニラの繁華街にバルーン登場



ブラジルの観光地イグアスの滝やアマゾン川上空で「End Polio Now」

チリ大地震災害義援金のお願い

南米チリ中部コンセプションの近くで、2月27日未明にマグニチュード8.8の大地震が発生しました。この地震により日本やハワイ、ロシアを含む太平洋一帯に津波警報が出されました。現在でもまだ余震が続き多くの家屋やビルが倒壊し深刻な被害が出ております。また、食料不足による略奪や治安の悪化も懸念されております。

このため、当地区ではチリ大地震により被災された方々のために義援金を募り援助したいと存じます。お手数ではございますが、各クラブ単位で集めて戴き、下記口座へお振込み戴きますようお願い申し上げます。

尚、募金お振込み期限は4月30日と致しますので何卒ご協力の程宜しくようお願い申し上げます。

振込先口座：北門信用金庫本店 普通預金1253825
RI第2510地区代表幹事 神部洋史（かんべひろし）

2010-2011年度地区協議会開催のご案内

日	時	2010年4月18日(日)
		登録開始：午前9時 本会議開催：午前10時
場	所	ホテルさっぽろ芸文館(旧北海道厚生年金会館) 札幌市中央区北1条西12丁目 電話：011-231-9551
指名出席者		次期クラブ会長 次期クラブ幹事 次期クラブ奉仕委員長 次期職業奉仕委員長 次期社会奉仕委員長 次期国際奉仕委員長
資	料	下記資料をご持参下さい 次期クラブ会長：「会長要覧」 次期クラブ幹事：「幹事要覧」 出席者全員：「手続要覧」



国際ロータリー第2510地区 佐々木正丞ガバナー・エレクト事務所
〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
電話 (011)207-2510・FAX (011)207-2512 E-mail : rid2510@nifty.com



新入会員の紹介 (敬称略)



すどう しんご
須藤 真悟(札幌北RC)
★入 会/H22.2.8
★職業分類/弁護士



えびな けん
海老名 健(小樽RC)
★入 会/H22.2.16
★職業分類/海上保険



まつお みちよし
松尾 道義(恵庭RC)
★入 会/H22.2.25
★職業分類/農業協同組合



みやの まさひこ
宮野 正彦(小樽RC)
★入 会/H22.3.2
★職業分類/工業銀行



すずき としのり
鈴木 敏則(伊達RC)
★入 会/H22.3.2
★職業分類/建築工事

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



唯木 久弥 会員 (伊達RC)
平成22年 2月11日逝去(享年81歳)

ロータリー歴
1982年 8月10日入会
1985～86年度 幹事
1993～94年度 会長

表彰関係
・ポール・ハリス・フェロー
・米山功労者
・25年間100%皆出席

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

札幌南 R C	有 田 均	会員(4回)	2月24日
	中 川 勝 之	会員(5回)	2月24日
新 札 幌 R C	瀬 川 俊 男	会員(1回)	2月26日
函 館 東 R C	黒 島 一 生	会員(1回)	2月23日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江 別 R C	高 野 喜世志	会員(1回)	1月29日
札幌西北 R C	大 島 利 一	会員(3回)	2月 5日
	小 川 真 治	会員(4回)	2月19日
札幌南 R C	有 田 均	会員(2回)	2月26日
	関 峯 吉	会員(1回)	2月26日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌南 R C	松 根 壽史男	会員	2月26日
新 札 幌 R C	秦 温 信	会員	2月26日

規定審議会代表議員の変更について

2010年4月25日から30日、シカゴで開催される2010年規定審議会について、代表議員に選出されておりました森本正夫パストガバナーが健康上の理由により辞退されたため、佐藤秀雄パストガバナーが代表議員に選出されましたのでご報告申し上げます。

クラブ事務所及び例会場の変更について

札幌あけぼのRCの例会場が3月26日(金)より下記に変更となりましたので宜しくお願い致します。

新例会場 石屋製菓内「白い恋人パーク」内レストラン「あんとるぼー」
第1例会(夜間例会)は従前同様スポーツレストラン「おうるず」で開催

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別RC	4月29日(木)休会
岩見沢東RC	4月13日(火)休会
小樽南RC	4月30日(金)休会
千歳セントラルRC	4月6日(火)清掃奉仕活動(屋外にて) 4月20日(火)移動夜間例会 場所:エアポートホテルアネックス 4月27日(火)移動例会 場所:清水農園(千歳市清流5丁目)
室蘭RC	4月29日(木)休会
室蘭北RC	4月27日(火)夜間例会「親睦夜間例会」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老RC	4月13日(火)休会
苫小牧RC	4月30日(金)休会



(270号)

ロータリー理解推進のために

書名	著者	発行年	ページ
◆「ポール・ハリスの生涯とロータリーの精神(D.2620月信)」	牧田静二	2009	7P ※
◆「ロータリーについて考えていること」(D.2620月信)	高野孫左衛門	2009	3P ※
◆「ロータリーの綱領 ロータリーの目的に変えよう 改訳試案」(ロータリーの心と原点)	廣畑富雄	2009	4P ※
◆「職業奉仕の一考察」(D.2790月信)	中村博亘	2010	2P ※
◆「ロータリーにおけるリーダーシップ」(純ちゃんのコーナーpartVII)	深川純一・伊丹RC	2009	2P ※
◆「ロータリー理解推進月間に因んで」(D.2780月信)	渡辺治夫	2010	1P ※
◆「楽しさあってこそそのロータリー」(原点回帰)	齋藤直美	2009	5P ※
◆「2月はロータリー理解推進月間です」(D.2720月信)	山崎 勝	2010	2P ※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年4月のロータリーレート 1ドル90円



地区カレンダー(4月・5月)

4月 ロータリー雑誌月間		5月	
1(木)		1(土)	スウェーデン第2630地区へ GSEメンバー派遣(~5/30)
2(金)	スウェーデン第2630地区より GSEメンバー受入(~5/1)	2(日)	
3(土)	第10・11グループ合同IM(森)	3(月)	憲法記念日
4(日)		4(火)	みどりの日
5(月)		5(水)	こどもの日
6(火)		6(木)	
7(水)		7(金)	
8(木)		8(土)	
9(金)		9(日)	
10(土)		10(月)	
11(日)	第1グループIM(留萌)	11(火)	
12(月)		12(水)	
13(火)		13(木)	
14(水)		14(金)	
15(木)		15(土)	
16(金)		16(日)	
17(土)		17(月)	
18(日)	地区協議会(札幌)	18(火)	
19(月)		19(水)	
20(火)		20(木)	
21(水)		21(金)	
22(木)		22(土)	砂川IRC創立40周年記念式典及び第2グループIM(砂川)
23(金)		23(日)	
24(土)	韓国第3700地区大会(大邱) 第4・5グループ合同IM(札幌)	24(月)	
25(日)	2010年規定審議会(米国・シカゴ)	25(火)	
26(月)		26(水)	
27(火)		27(木)	
28(水)		28(金)	
29(木)	昭和の日	29(土)	函館五稜郭RC創立40周年記念式典(函館) 第7グループIM(北広島)
30(金)		30(日)	
		31(月)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.02.28	増減	内女性	
1	深川	4	32	32	0	1	86.26
	羽幌	3	45	48	3	1	81.38
	妹背牛	4	9	9	0	0	86.11
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	44	3	3	84.85
	小計		138	144	6	5	84.08
2	赤平	4	29	31	2	0	82.00
	芦別	3	37	38	1	0	83.33
	砂川	4	55	53	-2	0	96.58
	滝川	3	96	95	-1	2	74.00
	小計		217	217	0	2	83.98
3	美唄	3	33	33	0	0	83.95
	江別	3	34	33	-1	1	89.90
	江別西	3	30	29	-1	3	91.90
	岩見沢	3	85	86	1	0	94.05
	岩見沢東	4	33	35	2	4	83.55
	栗沢	4	24	23	-1	1	95.50
	栗山	4	27	27	0	2	98.00
	当別	4	31	30	-1	0	93.38
小計		297	296	-1	11	91.28	
4	札幌	3	102	127	25	0	95.65
	札幌あけぼの	4	13	15	2	1	93.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	86.84
	札幌北	4	43	42	-1	5	93.23
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	71.21
	札幌西	4	58	57	-1	4	90.13
	札幌西北	3	40	39	-1	6	95.30
	札幌手稲	4	33	36	3	2	89.35
小計		359	386	27	22	89.34	
5	札幌東	3	118	121	3	0	97.08
	札幌清田	4	18	18	0	4	96.43
	札幌幌南	4	61	63	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	29	-2	3	96.30
	札幌南	4	80	77	-3	0	98.70
	札幌大通公園	4	12	12	0	3	79.20
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	77.50
	新札幌	4	28	27	-1	3	96.73
小計		358	357	-1	19	92.74	
6	岩内	3	19	19	0	0	80.93
	倶知安	4	40	38	-2	4	70.50
	小樽	4	65	71	6	0	89.24
	小樽南	4	76	75	-1	1	86.49
	小樽銭函	3	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	94.44
	余市	4	41	40	-1	4	76.00
	小計		272	275	3	11	81.80

2月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,770人(106人)
増加会員数	70人
当月平均出席率	84.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.02.28	増減	内女性	
7	千歳	3	57	58	1	3	78.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	79.10
	恵庭	4	35	42	7	2	87.79
	北広島	3	16	14	-2	0	85.71
	長沼	3	20	20	0	3	90.00
	由仁	3	11	10	-1	1	81.48
	小計		176	182	6	11	83.71
8	えりも	3	21	22	1	0	89.39
	三石	3	15	15	0	1	93.30
	様似	4	22	23	1	1	80.40
	静内	4	70	76	6	1	88.32
	浦河	4	36	36	0	2	67.57
	小計		164	172	8	5	83.80
9	伊達	4	55	57	2	0	77.19
	室蘭	3	41	45	4	0	62.31
	室蘭東	4	36	40	4	0	83.75
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	7	7	0	0	91.00
	小計		205	218	13	4	83.02
10	函館	3	83	88	5	0	77.97
	函館亀田	3	42	39	-3	2	96.40
	森	4	34	40	6	0	62.60
	七飯	4	17	17	0	0	70.50
	長万部	4	9	8	-1	0	68.75
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	65.52
小計		216	221	5	3	73.62	
11	江差	4	18	14	-4	1	75.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	99.02
	函館東	4	43	45	2	4	84.89
	函館北	3	28	28	0	0	91.62
	北斗	3	17	17	0	1	68.60
	松前	1	5	6	1	0	20.00
小計		166	165	-1	6	73.19	
12	白老	4	28	30	2	1	75.60
	苫小牧	4	48	52	4	2	89.95
	苫小牧東	3	27	26	-1	2	92.32
	苫小牧北	4	29	29	0	2	100.00
	小計		132	137	5	7	89.47
合計		2,700	2,770	70	106	84.57	



ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

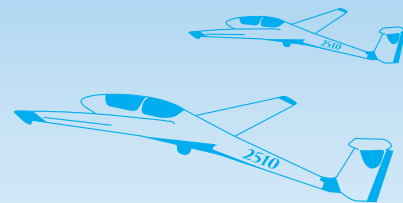
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

5



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 地区協議会報告☒……………2～3
- IM報告☒……………4～5
- ガバナー補佐レポート☒……………6～8
- 地区WCS委員会報告☒……………9
- 第22回全国ローターアクト研修会☒……………10
- 外国でのメーキャップ雑感☒……………11～12
- 新入会員の紹介・訃報
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます☒……………13
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について
ロータリーレート☒……………14☒
- ハイライトよねやま122☒……………15
- 文庫通信・地区カレンダー(5月・6月)☒……………16
- 出席率・会員数☒……………17

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度
【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



会員増強

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡邊 恭久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

今年度RI会長ジョン・ケニー氏が、重点項目で会員増強を呼びかけ、これを受けて当地区も純増1名を各クラブ会長にお願いしています。そのことから、今年度の終盤を迎えたこのとき、第1、2、3ゾーンの全国会員増強セミナーが、先日横浜で開催され出席をしてきました。

従ってここで、会員増強について、改めて少し考えてみたいと思います。

さて、世界の会員数の推移は、世界的に1995年くらいまでは増加の一途で、1,200,000人に到達し、その後、2005年までは横ばいで、2005年からは再び毎年漸増となり、2010年には、1,215,076人に達しました。しかしゾーン別で見ると、アメリカ、カナダのゾーンは大きく減らし、日本も最大120,000人が92,600人に減少しているにも関わらず、ヨーロッパやアフリカ及びアジアは増加の傾向であります。世界全体で見ると、2005年まではアメリカ、カナダのゾーンは世界の35%を占めていましたが、この5年で32%に落ちました。この事は、RIの中核であるアメリカ、日本などが年々減少し、アジア、ヨーロッパ、アフリカが急増をしている事をデータが伝えています。

今、われわれはなぜ会員増強かについては、かつて札幌市内のあるクラブのA氏から公式訪問例会でご質問を頂き、小生も型どおりの考えでお答えした後日、彼からレベルの高いロータリー観のご意見を頂いたことがありましたが、当然、増強はクラブにとっても、あるいは会員にとって関心が深く、組織の永遠のテーマとなっております。

組織を自然に任せると高齢・病氣・死亡・転勤・人間関係の亀裂で会員は減少していきます。どんな組織でも会員減少は死活の問題でありますし、会員が増えると互いに触れあう摩擦熱で、組織は活力や魅力を生み出し、その発する磁力でより新たな人を呼ぶ事になるでしょう。また、会員を増やす事は組織の体力を強化し、財政基盤を確立し、充実した奉仕活動を可能にいたします。組織をいつも生き生きさせておくためにも、新しい人材の導入が必要であります。ロータリー最大の財産は、会員である事は言うまでもありません。更に、会員を増強する事はロータリーの未来を託す人材を得る事で、それは次代への責任を果たす事に繋がります。

平均年齢は、毎年確実に一歳上昇いたします。そして、ロータリーが求める人材は社会的経済的エリートより、謙虚さ、誠実さ、寛容で思いやりのある人柄を求めて会員増強を図らなければならないと思っております。日本はかつて4つのゾーンで2名のRI理事を送っていましたが、会員が減少をした今は、3つのゾーンに縮まりRI理事も1名に減じられました。これは国際ロータリーに対して、物理的に日本の発言力が弱まったと言えます。とりわけ、日本の会員増強については殊の外、関心を持つものであります。

しかし、増強を取り巻く環境や課題には、長引く経済の停滞、少子化、地方の衰微、価値観の多様とロータリー、ロータリー内における思いの温度差、クラブ管理、高齢化、ロータリー情報の不足、会員の規範や倫理観の希薄、ホームクラブに対する誇りと愛着の薄れなどが問題として提起されております。しかし、各クラブの会員増強が困難な理由は、地域、クラブの風土や歴史、現会員、経済環境、増強への思いと実践など様々で、固定でもなく、一率でもありません。

地方の中規模クラブで、5年間退会者が無いクラブ、あるグループの大半のクラブが増強を達成したことなどを確認すると、われわれが考えていた、増強への様々な困難な問題は、そのクラブのリーダーやあるいは、増強委員長や会員の熱い思いと実践が、難儀な客体的要素を好転、あるいはそれを乗り越えて増強が達成したとも言えます。その偉大な結果に、心から拍手を送るものであります。小生の年度もあと2ヶ月であります。どうか「純増1」を目指され、その成果が出ますことを心から願い会員増強のお願いといたします。

ロータリーの未来は あなたの 手の中に！！



地区協議会報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

4月18日(日)、午前10時から、札幌市(ホテルさっぽろ芸文館)に於いて地区協議会が開催されました。午前中の全体会議では、冒頭に矢橋温郎直前ガバナーと伊藤義郎元RI理事がご挨拶をされ、その後、佐々木正丞ガバナー・エレクトが、レイ・クリンギンスミスRI会長エレクトの「BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS(地域を育み、大陸をつなぐ)」という国際ロータリーのテーマを受けて、3項目の地区目標を示されました(「ガバナー月信」2010年4月号参照)。次いで、塚原房樹次期地区研修リーダー(PDG)による講演がなされ、クラブ・リーダーとしての心構えや、クラブ運営上で配慮せねばならない事項等についてお話がなされました。午後からは、6つの分科会に分かれて(会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の六部門)、2時間にわたっての研修が行われました。分科会終了後は、再び一同に会して全体会議が執り行われ、四大奉仕部門のリーダーから分科会報告がなされ、渡邊恭久ガバナーによる所感、佐々木正丞ガバナー・エレクトの謝辞の後、予定の時間内で地区協議会を終えることができました。

地区協議会での研修を終えられたクラブ・リーダーの皆様にとっては、次年度の活動計画を定める上でも、指導者として果たさねばならない役割と責務を認識されて、大いに参考になったことと思われま。なお、今回の地区協議会の開催にあたりまして、札幌西RCにホスト役をお引き受け頂きましたが、万全の体制で臨んで頂き、スムーズな運営を執り行うことができました。また分科会のリーダーやサブリーダーには地区委員の方々にご就任頂き、さらに全パスト・ガバナーの皆さんにはお忙しい中にも拘らずご出席を頂き、アドバイザーとして適切なお指導を賜りました。ここに改めまして厚く御礼申し上げます。

なお、地区協議会の前日4月17日(土)、午後3時30分から京王プラザホテル札幌に於いて「地区協議会打合せ会」が持たれたことを付記させていただきます。



渡邊ガバナー



佐々木ガバナーエレクト



伊藤元RI理事



IM 報告

IMとGSEを終えて

第2510地区 第1グループ

ガバナー補佐 **田中公一**

Koichi Tanaka
(留萌RC)



第1グループのIMは、平成22年4月11日(日)午後2時点鐘で、留萌産業会館で開催されました。

前日、仙台での地区大会に出席された渡邊恭久ガバナーは、新千歳空港から直接、神部代表幹事と遠路来ていただきました。また昨年10月の地区大会と来日が一致しなかったGSEは、IM開催日に留萌での受け入れを調整していただきました。沼舘GSE地区委員長、講演をお願いした金坂GSE地区委員、通訳をお願いしたトーキル・クリステンセンGSE地区委員と、WCS地区副委員長で蘭越RC会長の志比川様にもご臨席をいただきました。今回のIMは、第1グループ内での開催という事になり、他グループのガバナー補佐や、各ロータリークラブには、ご案内をしませんでした。

第1グループ5クラブの、全員登録のご協力を得られたことは、たいへん有り難く、当分は3年ごとの開催当番となりそうです。そのような事情から、特にIMとしてのテーマは設けず、GSEの受け入れと一致したので、メンバーとの交流・親睦を主に開催することになりました。

RI第2360地区スウェーデンから、ロータリアン1名を含む5名のメンバーが、IMにも参加していただき、金坂地区委員には、「GSEについて」の講演を、PowerPointを使ってわかりやすく教えていただきました。2年前のWCSでご一緒したご縁で、トーキル先生には同時通訳をお願いしましたが、GSEチームメンバーからは好評で、日本語の挨拶が続く間も退屈しなかったと感想を述べておりました。

9日(金)のGSE歓迎会で、手打ち蕎麦を実際に体験してもらいましたし、IM懇親会では餅つきにも挑戦して、つきたての餅を食べてもらいました。試食では、館は5人全員が好きでは無いとの答で、逆に全員がイエスと答えたのが、意外にもチョコレートでした。本来は9日(金)から1週間、留萌RCがGSE研修を受け入れなければなりません、留萌には個人研修の場が少なく、後半を滝川RCにお願いしました。川口会長をはじめ、滝川クラブの皆様にご礼申し上げます。お陰様で個人研修プログラムも、たいへん充実したものとなりました。地区HPには第1グループのIMもGSEも写真と記事が掲載されておりますのでご覧ください。IMの記録DVDも今月末のGSE送別会までには完成予定ですので、ご希望がございましたら後ほどお送り致しますのでご連絡下さい。将来、旧第1分区・9クラブの時のように、第1・第2グループが合同で、IMが開催される事を願って報告といたします。





I M 報告

第10・11グループ合同IM報告

第2510地区 第10グループ

ガバナー補佐 **近藤 宣明**Nobuaki Kondo
(森RC)

開催日 2010年4月3日 午後3:00～5:20
 会場 プラザ武蔵(森町)
 参加者 登録数236名 参加者数172名
 IMリーダー ガバナー補佐(第10・11グループ)
 実行委員長 長瀬 賢(森RC)

14年ぶりに森ロータリークラブがホストクラブとして、第10・11グループ(12クラブ)の熱い支援を受けて開催することが出来ました。酒井パストガバナー、神部代表幹事が来賓としてご出席いただきました。ロータリークラブの今日までの歩みを振り返るとロータリーは「人・人との和、人とのつながり」こそが大切と考えます。RI第2510地区の本年度の基本方針にも「環境・人・子どもに目を向けよう」があります。現在工事が進められている北海道縦貫自動車道で、森町に数千年前の縄文時代の「鷲ノ木遺跡」からストーンサークルが発見されました。当時の土器も多く発掘されており、当時の縄文人が、その家族が子どもたちがあの円型のロータリーの中でどんな営みをしていたのだろうか、その時代の縄文人の暮らしに思いをはせ、改めて「人」「人間」をテーマに、現在、国内外で活躍されている國學院大学名誉教授小林達雄先生の講話をいただきました。

今、第10・11グループ(12クラブ)では会員6名、90名のクラブがあります。私達は、厳しい社会環境の中でクラブを守り、より発展させようと努めております。それが出来るということは、そこにはロータリークラブの魅力の何かがあると考えます。各クラブの会長さんより、凝縮された「魅力のメッセージ」を戴き発表出来ました。共通するものは、会員同志の親睦、奉仕、出会い、四つのテスト・例会、など総じて人と人との和を大切にしていた事でした。素晴らしいメッセージありがとうございます。

そして、盛り上がった懇親会ではIMにとって最も大切な友情の輪を広げることが出来ました。第10・11グループのロータリアンのきずなが、さらに深まったと思います。終わりに全てのクラブのロータリアンに心から感謝申し上げます。





ガバナー補佐レポート

第6グループのクラブ紹介

第2510地区 第6グループ

ガバナー補佐 **見延 庄三郎**

Shozaburo Minobe
(小樽南RC)

第6グループは、後志地区の一市四町(小樽市、余市、岩内、倶知安、蘭越町)に所在する個性豊かな7クラブで構成されています。会員数は2510地区全体(2771名)の丁度10%の278名です。以下、創立年次順に各クラブの特徴をご紹介します。

- ① 小樽RC～札幌RCに次いで道内2番目の歴史と伝統を持ち、これまで5人のガバナーを輩出している道内でも屈指のクラブ。(2年後の6人目のガバナーが確定している)。会員数は70名。クラブ年齢は76歳ながら、平均年齢は57歳と若い。古き伝統を守りつつ若い血を入れて活性化が進んでいる。
- ② 小樽南RC～先月、創立50周年を迎え、次なる50年へのスタートを切った。会員数はグループ最多の76名を数え、世代を超えて会員同志の交流が活発で退会者も少ない。地域社会への奉仕活動のみならず、地区委員会活動にも積極的に参画し、地区とのパイプも太い。
- ③ 余市RC～会員数40名。平均年齢55歳でグループで一番若い。女性会員も4名。若い会員を育てる仕組みを作り熱心に取り組んでいる。又、スポーツ等を通して永年若者の育成に努めてきている他(オリンピック金メダル。スキーの舟木選手もその一人)米山奨学生等国际奉仕活動も熱心である。
- ④ 岩内RC～創立48年目。第6グループで唯一35年間に亘って昨年迄ローターアクトクラブを抱え、若者を育ててきた功績は大きい。会員数は20名、今期のクラブテーマは「クラブに新しい活力を」として内部の充実に取り組んでいる。国際交流事業にも情熱を注いでいるクラブである。
- ⑤ 倶知安RC～創立45年目。会員数38名。内女性会員4名。オーストラリア人会員も2名在。今や全道一の国際観光地。「厳しさの中にも和やかな雰囲気」を例会目標としているほか、地域への奉仕活動や地区委員会活動にも熱心に取り組んでいる。
- ⑥ 蘭越RC～創立42年目。会員数はグループ中最少の9名だが、会員一人ひとりのロータリー歴や情熱は抜群で、柄は小さいが存在感は大きなクラブ。会長以下発想がプラス思考で、デメリットもメリットとして活かすバイタリティは模範だ。
- ⑦ 小樽銭函RC～創立35年目。会員数23名、うち女性会員2名。面倒見の良い先輩会員のもと会員の移動も少なく、例会も家庭的な雰囲気の心温まるクラブだ。少年野球大会への支援等地域社会への奉仕活動が活発で、地域にとって欠かせない存在となっている。



ガバナー補佐レポート

残す任期1/6といえども

第2510地区 第9グループ

ガバナー補佐 **黒田 秀雄**Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

去る2008年12月13日にガバナー補佐研修を受け、その心得を消化不良の儘その任につき、そして残す任期も5・6月と2ヵ月となりました。その研修の際受けた塚原地区研修リーダーのロータリーに対する考え方について、ロータリー歴を只々不明に過ごした30年間を再度考える機会を頂きました。

その要旨は、ロータリークラブの究極の目的は、①文化的価値を追求すること②同時に合理的組織管理の必要性が大切であり、更にRIの本質は各クラブの委託を受けた委託機関であり、奉仕活動の実践に関する要請はできるが強制はできないとの事でした。

それに伴う地区の位置づけについては、個々のロータリークラブを支援する為のRIの末端組織であり、地区は奉仕活動の実践母体ではなく、しかもRIの指令はロータリアンを拘束しないと断言されました。

第9グループは、洞爺湖RC・伊達RC・登別RC・室蘭RC・室蘭東RC・室蘭北RCの6RCよりなっております。

ガバナー補佐として個々のクラブ訪問、ガバナー公式訪問の随伴、5回にわたるグループ会長・幹事会、IM、GSEの為の委員会開催を経て、各クラブの運営の特徴、会員のRCに対する意識、熱意、活動に対する積極性等を経験し、学ぶ事の多さを痛感し大変参考となりました。各クラブに対しては、渡邊恭久ガバナーの4つの重点目標を伝えるとともに、特に「そらぷちキッズキャンプ」の支援活動については機会あるごとにその主旨を伝え、さらに第9グループ独自のプロモーションDVDを作製し広報活動の一助とさせて頂きました。IMの懇親会のゲームの中で、僅少なながらも寄付金を送金することができました。

又、前述のRIの指令についてはロータリアンを拘束せず、RIの基本は単一グループにあることを述べた積もりですが、上意下達の習慣がクラブ運営の当然のあり方としているクラブがもしあるとすれば再度、議論の必要があるのではないかと思います。

前半10月中に各クラブへの公式訪問を終え、12月9日には登別RCの創立40周年記念式典がありました。

後半は、2月13日に第9グループのIMを無事終了し、この後4月17日～23日はGSEの訪問団の受け入れ、6月5日は伊達RC創立50周年記念式典、6月19日・20日は2510地区インターアクトクラブの地区大会の室蘭東RCの主管による開催が予定されております。

残り1/6の2ヵ月とはいえ行事が目白押しとなり、気を抜くには任期終了までは残念乍らできそうにありません。



ガバナー補佐レポート

クラブを訪問して

第2510地区 第12グループ

ガバナー補佐 **菅野 嘉一**

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

地区ガバナー事務局より一通のFAXメールが私の会社に届いた。
ガバナー月信への原稿の依頼である。

一瞬なんでこんな年度末の忙しい時期にと思いながら気を鎮めると、ふと私と同じ立場にあるガバナー補佐の方々は同じく忙しく生活している中で、ロータリーライフを楽しんでいるんだと気が付き、ペンを取りました。

先週は、私の担当の苫小牧北RCへ訪問させていただきました。3月23日火曜日PM6:00に前もってクラブ幹事の山田さんに連絡を取って伺いました。

苫小牧北RCは私が所属するクラブの親クラブであります。ガバナー補佐として訪問する時は、やはり緊張するものです。

開式のあと、1月23日に行われたガバナー補佐会議での進捗状況、そしてロータリークラブとして一番大切な会員増強と出席率の向上のお願いをしました。当日の苫小牧北RCのプログラムは私の一番苦手とする、職業奉仕委員長による「職業奉仕によるフォーラム」でありました。

座長は当クラブの委員長であり、地区の職業奉仕委員長でもある、山本雅昭さんでした。山本委員長からはハーバート・J・ティラーによる話で、会社再生と4つのテストはどうして出来たかの話がありました。その中で

- ① 事業及び専門職の道徳的水準を高めること
- ② 自己の職業において高い技術の取得と品質向上に努める
- ③ あらゆる有用な職業の価値を認識する
- ④ 自己の職業技術を会社の問題やニーズに役立てる
- ⑤ 例会で自分の職業に関する卓話をする
- ⑥ 他の会員の職業見学をする
- ⑦ 職業説明や研究会を地域社会で開く
- ⑧ 青少年を個人指導する

等々のお話と説明があり、その後、苫小牧北クラブに所属されております伊藤長英PGからの職業奉仕と社会奉仕とは似通ったところがあり「解りにくいものもあるが、自己の職業を利用した観点に立って考えていけば間違いではない」との説明もあり、社会奉仕は労力やお金を寄付して行い、自己の技術や高い知識をもって奉仕するのは職業奉仕らしいのではないかと等の各会員等からの発言もいただきました。

私にも一言と指示があり、私の会社で毎年実施している中学生を対象としたインターンシップについて説明をさせていただきました。私の会社では地域内にある明野中学校の2年生の生徒20名程度を1日間、自動車の構造と仕組み、会社の内容説明を行い、約6時間ぐらい昼食持参で行きます。特に実習では男の子でも体力が無くホイール付タイヤも持ち上げることが出来ない子が多いのには驚きます。構造の説明では、どうして車が動くのかが解り喜んでいたり一日中、子供達と接していると、こちら側も自分の子供と違った感じで接しられ、有意義であったこと、又、人に教える難しさや楽しさもあり、自身が刺激になること等の話をさせていただきました。

各クラブを訪問する度に色々な出来事や出会いがあり、ガバナー補佐の任務を楽しんでおります。
任期が残り少なくなりましたが最後までご支援宜しくお願い致します。



地区WCS委員会報告

地区WCS委員会

委員長 **出村 知佳子**

Chikako Demura
(札幌北RC)

札幌大通公園ロータリークラブより「モンゴル日本語教材寄贈事業」の報告が届きました。現地を訪問しての検証、交流も実施された旨の報告を頂戴しておりますので、原文のまま掲載させていただきます。この事業により、今後の日本とモンゴルの交流がますます深まることをお祈り申し上げます。

モンゴル日本語教材寄贈事業報告

札幌大通公園RC

会長 **高橋 宏**

1. プロジェクト名 モンゴル国児童書等贈呈
2. 事業計画

モンゴル国の日本語を学ぶ子供たちに、日本の家庭に眠っている児童書・童話・子供百科事典などを贈る。また、日本語を耳で捉える為の音響機器を贈る。

事業目的 モンゴルはアジアの中では極めて親日的な国であり、近年は学校で日本語を学ぶ子供達も増えてきています。その子供達に、日本の家庭に眠っている絵本・百科辞典等を贈り、初期の日本語学習に活用して頂くと共に、日本の生活や文化の理解向上に資する。

対象年齢 第5学年から第8学年
(日本の小学5年から中学2年)

贈答品目 絵本(小学校低学年が読むような絵がついたもの)、子供百科辞典、少年少女文学全集、音楽のカセットテープ、日本語検定3・4級程度の教材、童謡などの音楽テープ(日本語を音で覚えるもの)、いろはカルタ等遊具(日本語で遊ぶもの)

3. 事業予算
30万円(相手先負担10%程度)
地区WCS委員会資金申請金額10万円
4. 相手先RC NIISLEL RC (D3450)
国名 モンゴル国
担当者 Eric Erdenebat Rentsen
5. 協力RC 大阪天王寺RC・大阪住吉RC
6. 実施経過

書籍収集 2008年12月~2009年3月
収集総数805冊

(大阪天王寺RC新書281冊大阪住吉RC新書203冊)

百科事典10冊・図鑑24冊・昔話200冊・伝記26冊・
知育絵本200冊・童話100冊等

書籍梱包 2009年6月20日(会員有志)

書籍発送 2008年6月25日(中国経由船便)
段ボール 10箱 総重量250キログラム

書籍到着 2009年7月31日

ビデオ等購入 2009年8月11-12日

購入品 日本語多読LB 24冊・カルタCD10枚・
アニメDVD 6本

ビデオ等発送 2009年8月12日

(郵便事業札幌支店より成田経由航空便)

ビデオ等到着 2009年8月17日

7. 検証日及び検証方法 2009年8月20日
第23番外国語教育特別学校にて到着品の確認及び
ウランバートル市内の日本語教師7名に贈答品内
容を説明(夏休み中のため子供たちとの交流はで
きませんでした)

8. 支出明細

2009.3.30	古書購入	31,960円	ブックオフ
2009.6.22	梱包資材	4,583円	三櫻社
2009.6.25	書籍送料	66,510円	郵便事業(株) 10箱
2009.8.11	日本語教材	85,008円	紀伊国屋
2009.8.12	ビデオ等	24,674円	紀伊国屋
2009.8.12	航空運賃	14,200円	日本郵便(株)
	合計	226,935円	

※モンゴル側では、DVDプレイヤー等を購入しています。

9. 報告者 札幌大通公園ロータリークラブ

担当者 田中 利男

オイドフ・バトバヤル





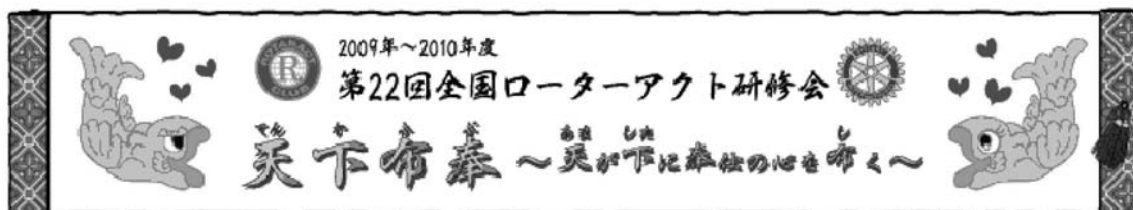
第22回全国ローターアクト研修会

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Ando
(札幌南RAC)

2010年3月13日～14日の2日間、第22回全国ローターアクト研修会が国際ロータリー第2760地区ホストの元、名古屋市で開催されました。当地区からは、ロータリアン1名、ローターアクト4名で参加してきました。1年に1度集まるローターアクトの研修会で、全国から約800名の参加があり、盛大に行われました。とても有意義な2日間でした。今回の研修会のテーマは「天下布奉」ということで天が下(全国)に奉仕を広げたいという気持ちが込められています。これは愛知県にゆかりの深い織田信長が好んで使ったとされる「天下布武」の「武」を、奉仕の「奉(ぶ)」に置き換えたものです。奉仕とはどのようなものなのか？一般的には街頭募金や献血、福祉施設への慰問などが挙げられますが、それに加え、さらなる奉仕があるのではということで、ローターアクターに出来る新しい奉仕を見つけ、何ができるのかを考え、ワークショップが行われました。参加者は、代表出席者プログラムと一般参加プログラムに分かれ、各々で研修に臨みました。そしてホスト地区の皆様のおもてなしには感心するものがあり、とても勉強になりました。会場やプログラムの進め方など、当地区の行事でも活用したいと思うことがたくさんありました。全国ローターアクト研修会に参加すると友達がたくさんできますし、ローターアクト活動の情報交換が出来たり、自分の知らないことを知ることができるとてもいい機会です。活動の幅も広がります。当地区は参加人数が少なかったのですが、次年度は大勢で参加したいです。





外国でのメーキャップ雑感

2001-2004地区国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜

Koki Aoki
(札幌東RC)

本日の例会は私にとって1028回目のロータリーの例会です。44歳に入会し30年の歳月が過ぎ、この間のメーキャップは30%の300回を越え、そのうち外国でのメーキャップは50回を数えました。外国での例会出席は、1994年にGSEの2510地区のチームリーダーとして米国カリフォルニア州の5160地区を3640地区からの韓国チームと一緒に5週間滞在し、地区大会と地区内の63クラブにて韓国チームと競いながら48回の例会出席を行いました。また1999年1ヶ月間にわたってシカゴの国際ロータリー本部で研修をした際には2日に1回は例会に出席し、これに外国でのメーキャップを含むと100回を越えましたので、本日は外国での例会を通して感じたことをお話しいたします。

入会した30年前はRIがまだ出席競争しており、地区内の出席率は99%台の争いでした。その頃はホームクラブ出席60%が奨励され、メーキャップが4回以上連続した場合は自動的に退会という厳しさでした。入会5年目に橋本会長に出席委員長を指名された時は、会長に兎に角休まないで例会出席していればロータリーが自然に判ると教え込まれました。引退した最近では曜日が判らなくなっており、毎週木曜日が基準になって1週間が廻っているのが現状です。このためかホームクラブ出席率は70%台を維持できております。

アメリカ人は過去とか理屈にとらわれない純粋な正義感があり、世の中の人のためと思えば財産や命を惜しまない潔さがあります。アメリカは多様な人々がおり、機会均等さえあれば良く、結果の平等やそれで産まれる安心までは保証するのは無理と考えています。その点均一性の高いわが国では、ある程度の結果の平等まで組み込んだシステムの構築が可能な国とは異なっています。食事する際神に感謝し、神の存在を再確認する米国で、ロータリーの例会でも良くお祈りを経験します。アメリカ人の90%は神を信じており、米国の貨幣と紙幣にはin GOD we trust,我々は神を信じると言う文字が刻んでありますし、アメリカ国歌ではin God is our trust,神にすべてを託すと歌います。しかしヨーロッパの例会ではこのような現象はむしろ少数派であります。例会での国歌斉唱は西ヨーロッパの国では殆ど歌いませんが、米国や開発途上国では良く歌います。米国の卓話では質問が多いですが反面例会での私語は殆ど聞きません。出席率は60%台ですが途中退席は見たことがありません。これは欧州でも同じです。ロータリーの子供である交換留学生が我がクラブ例会と米国を比較して、日本の例会はまるで小学校の教室の様に会長の司会できちんと進められている。しかし例会の途中でぞろぞろ帰るのには驚いたと述べていました。米国の例会は質素であり、年会費は1000ドル内外です。すなわちプロテスタントは勤儉実直、警沢は敵と信じています。会費は会の運営にのみに使われ、奉仕には寄付を使う原則を守っています。このため例会ではニコニコ集めのプログラムが必ず組み込まれています。一方寄付には10万ドル(1000万円)以上の大口寄付が稀ではありません。

私は猪年ですので、外国旅行では猪の置物を集めていますが、探すのが可成り大変です。すなわち猪は本質的には雄の野生の豚ですので、wild boarと言って見せられるのは殆ど豚です。私の父も猪年で知人に私を紹介するのに豚児をよろしくと言っていました。ミュンヘンRCでメーキャップした時にこの話をしましたら、ある会員がミュンヘンの路地にある猪の像に連れて行ってくれました。

米国では会長・幹事がhead tableに座らずゲストとおなじtableに座っていることが多いです。アメリカではよくあなたの奥さんは何をしているかと尋ねられます。この会長にも同じ質問がされましたので主婦house wifeと答えましたが、怪訝そうな顔をして質問に答えていないと言うのです。仕方がないので木版画と里親もしていますと答えたらようやく笑顔を見せてくれました。アメリカでは女性は夫の陰から抜け出して始めて精神的な自立ができると信じており、女性会員が全体の20%います。ポートランド州立大RCでは、高校生の時に青少年交換生であった学生の卓話でした。Home stay中にミンダナオ島の孤児施設を見学し、孤児達を貧困から助けるにはどうしたら良いかを考え、貧困から出るには教育だと感じ、帰国後財団をつくって、ロータリークラブを廻って寄付金集め、施設の子供達に奨学金を与えるボランティア活動を続けているという卓話でした。アメリカ人は決心したら兎に角行動が早く、自分のことと同じ位他人のために尽くす正義感が強く、若者達の底力を実感しました。

最近では例会でもinternetの活用が盛んになり、ポートランドのメトロポリタンRCでメーキャップした時に札幌東RCの会報がいきなり映し出され、これを見た会長が札幌とポートランド姉妹都市提携の際に誕生したクラブですね、50周年おめでとうと祝福されました。世界何処でも会報は簡単にinternetで検出される時代ですので、我がクラブも年に1回くらいは英語のダイジェスト版を用意するのも一つの考えかと思った。またカンサスのウイチャタRCではinternet例会に会員の自宅で登録し、2時間の所定の奉仕活動をするとう出席と見なされる仕組みになっていました。RIはあらかじめ登録しているクラブでは試



験的にinternet例会を認めていました。

姉妹RCのポートランド北RCは、3年前のソルトレークでの世界大会後に寄った際にはまだありましたが現在はありません。アメリカでは会員の減少が起こると簡単にクラブを閉鎖し、複数のクラブが再編成して新しいクラブをつくるのが割に気軽に行われています。ポートランド北RCは昨年メトロポリタンRCに併合され再スタートをしています。この点2510地区ではクラブを閉鎖したことは聞いたことがありません。

我がクラブの国際奉仕は青少年交換から始まり、我がクラブの伝統的行事に成長しました。しかしRIは青少年交換を新世代に移行して、国際奉仕は世界社会奉仕に移行しています。それは20年前から中南米や南米からの交換学生のトラブルが多すぎ、米国の交換学生が減少し、国際奉仕は世界社会奉仕へと傾斜が高まった背景があります。数年前、我が地区とGSE交換をした地区パストガバナーのクラブでmake upしました。Dr. Joeは、その際海外の引退者受け入れプログラム「マレーシア・マイ・セカンド・ホーム」の話をしてくれました。ビザの有効期間を10年で、特に日本、英国からの参加者が1位、2位で日本人の過去3年間のビザ取得者総数は2000人を超えている。申請条件は60歳以上で預金1000万円、月額約16万円の収入、ビザ取得時約450万円の定期預金が義務付けられおり、申請は専門のエージェントが全て代行してくれるということでした。日本以外で日本語を公用語とするロータリークラブに台北東海RCがあります。15年前に創立されたクラブで米山奨学金を受けた人々が創立し毎週金曜日台北の世界貿易センターで例会が開催されています。親日家が多く、台湾に行った際には、金曜日の昼時間を取ってメーキャップしてはいかがですか。例会出席だけでなく、例会後の中華料理や紹興酒は楽しいファイヤーサイドになります。

東RCの姉妹クラブは4クラブありましたが活動が停滞し昨年度に解消しました。姉妹RCは如何なるconceptで行うのか、期間を限定したマッチング・グラントと如何に連動するか、クラブ間の相互交流の目標などをはっきりさせ、同じ程度の規模のクラブ間での再開を期待したいと思います。

韓国人の40%はプロテスタント、フィリピンはカトリック教、周辺のマレーシアやインドネシアはイスラム教、インドはヒンズー教徒とアジアの宗教は多彩です。

韓国などプロテスタントの国では多く、イスラムの国では少ないことが判ります。世界の人口の60%はアジアに住んでおり、アジアのGDPは23%を示しており、21世紀はアジアの時代とも言われていますが、中国政府では中国人によるロータリークラブ開設は認められていません。しかし資金援助を主とするライオンズクラブの開設を中国は最近認められたとのことです。南国ではカジュアルな服装が許されますが、米国の東海岸やヨーロッパの国では我が国と良く似ています。アリゾナのツーソンRCでメーキャップした際に、めずらしくおしゃべりした女性会員がいて、会長はいい服ですねとニコニコを請求していました。

世界で始めて出来たシカゴのロータリークラブはロータリーワンと呼ばれています。このクラブに始めて行ったのはインディアナポリスでの世界大会の時もでしたが、その時は女性の会長さんでした。それ以後3回このクラブでメーキャップしましたがいずれも会長は女性でした。当時324人の会員なのに会場は150人のスペースでした。すなわち入会待ちが多く、会員になり、出席規定除外になった後はフロリダなどに住んでおり、時にホームクラブに来るとのことでした。因に米国で最も会員数が多いのはシアトルRCで730人、ついで昨年世界大会を主催したバーミングハムRCは546人で、アジアではボンベイRCが340人です。我が国では東京RCが332人です。

ロータリーの本部はone Rotary centerと呼ばれ、シカゴ郊外のエバンストン市にあり、500人程度の職員が働いており、日本部門は6人で主に翻訳の仕事を行っています。本部の局長クラスの職員はモーニングクラブのエバンストンライトハウスクラブのメンバーです。定年退職するとロータリーワンに移籍していました。アメリカでは離婚が多いので子供を誰が引き受けるかは大きな問題です。原則として親権は母親の方に行くのですが、その母親が薬物中毒の場合など例外的に祖父側に親権がうつる場合もあり、養育権を得たおじいちゃんの会員が孫を抱きながら卓話をやっていました。

ロータリーでは年1回世界大会が開催されます。日本でも東京と大阪で開催されていますが、アメリカ、ヨーロッパ、その他の順で開催されます。今年はモントリオールで、来年は台風で延期されたニューオーリンズについてバンコック、リスボンとすでに決まっています。北海道ナイトはプリズベン大会から開催され、現在では2500地区にも声かけられ、北海道のロータリアンと交流ができます。また大会中各国が自国の集まりを企画しており、アメリカは州別の集まりもありますので、交流しているロータリアンを探すには便利です。開会式の当日の朝には日本人ロータリアンのための朝食会が開催され、日本のロータリアンとの交流が出来ます。

フランスではワイングラスに少しワインを残している時は注いでくれという合図であり、残さず全部飲んでる時はもう沢山ですとのことでした。イタリアではエレベーターから乗り降りでは女の人より先に乗り降りして何もなかったことを確認してから女性を降ろすのが本当のLady firstであり、女の人を先に降ろすのは失礼だと言われます。国が変わればその国の習慣や考え方も異なりますので、外国の人々を良く理解するには地道な交流の積み重ねは大切です。

好むと好まざるに関わらずロータリーは国際組織です。40%の会員を占め、3年に1回は世界大会を開催するアメリカ人の考え方がロータリーの中に深くしみ込んでいます。しかし多くの人が神を信じる米国の考え方を我々日本人が充分納得出来る一面があるのは当然であります。

私は人生には必要なのが3つあると考えています。それは反省と夢とロマンです。ロータリーの4つのテストは反省の際に有益です。「皆に公平か、真実かどうか、皆のためになるかどうか。好意と友情を深めるか」のロータリー精神の理解には外国のロータリアンとの交流も有益です。私は後、何年生きるか判りませんが夢とロマンは死ぬまで持ち続けたいと思っています。



新入会員の紹介 (敬称略)



わだ こういち
和田 浩一(苫小牧RC)
★入 会/H22.4.2
★職業分類/機械器具・材料卸売



もりたに のぶあき
森谷 信明(苫小牧RC)
★入 会/H22.4.2
★職業分類/石油ガス開発



いべ ひろあき
伊部 廣明(苫小牧RC)
★入 会/H22.4.2
★職業分類/ビルメンテナンス



ささき まり
佐々木麻利(札幌北RC)
★入 会/H22.4.5
★職業分類/ゴルフ場



あきもと ひろゆき
秋元 裕幸(岩見沢RC)
★入 会/H22.4.15
★職業分類/電信電話業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



小川原幸紀 会員 (羽幌RC)
平成22年4月10日逝去(享年70歳)

ロータリー歴
1988年1月1日入会
1993~1994年度 幹事
1996~1997年度 会長
1999~2000年度 SAA

表彰関係
1988年 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

江 別 R C	安孫子建雄 会員(3回)	3月31日
札幌南 R C	川井 一男 会員(3回)	3月17日
	小林 昌志 会員(10回)	3月17日
静 内 R C	佐藤 雅裕 会員(4回)	3月17日
	武岡 大佑 会員(4回)	3月17日
函館東 R C	菅原 憲夫 会員(10回)	3月 9日

■米山功労クラブ

札幌はまなすRC	5回	3月18日
札幌南 R C	35回	3月17日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

千 歳 R C	中山 和朗 会員(2回)	3月31日
函館五稜郭RC	横岡 孝一 会員(2回)	3月 5日
室 蘭北 R C	澤山 豊 会員(4回)	3月31日
札幌東 R C	広瀬 清 会員(5回)	3月12日
	白崎 繁仁 会員(2回)	3月31日
札幌南 R C	斎藤 元護 会員(3回)	3月12日
	徳中 征之 会員(1回)	3月12日
静 内 R C	細川 好弘 会員(2回)	3月19日
	蚊野 好美 会員(1回)	3月19日

■ポール・ハリス・フェロー

函館五稜郭RC	石尾 清広 会員	3月 5日
	上加 淳悦 会員	3月 5日
	金道 雅樹 会員	3月 5日
	中村 喜憲 会員	3月 5日
	大田 英雄 会員	3月 5日
	内山 茂次 会員	3月 5日
森 R C	川村 竹光 会員	3月19日
札幌東 R C	白崎 善太さん(非会員)	3月31日
札幌北 R C	草間 孝廣 会員	3月 5日
静 内 R C	福田 義信 会員	3月19日
	藤沢 澄雄 会員	3月19日

■ベネファクター

札幌東RC	白崎 邦彦さん(非会員)	3月31日
-------	--------------	-------

「ハイチ大地震災害義援金」報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました『ハイチ大地震災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の64クラブから総額2,020,366円(米ドル21,761.81)を頂戴致し3月25日にロータリー財団のThe Haiti Earthquake Relief DAF#296の口座にお振込み致しましたのでご報告致します。

深川RC、羽幌RC、妹背牛RC、小平RC、留萌RC、赤平RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌あけぼのRC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、札幌セントラルRC、新札幌RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、長沼RC、由仁RC、えりもRC、三石RC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

例会日・例会時間・例会場の変更等について

羽 幌 R C	5月13日(木) 移動夜間例会 18:00点鐘 場所:羽幌町内 端焼肉店
砂 川 R C	5月 5日(水) 休会 5月19日(水) の例会を下記に振替 5月22日(土) 第2グループIM 14:30～ 砂川RC創立40周年記念式典 16:30～ 場所:砂川市地域交流センター ゆう
江 別 R C	5月 6日(木) 休会 5月20日(木) 移動夜間例会「観桜例会」 19:00～ 場所:原始林観光(江別市文京台31-4) 5月27日(木) 移動例会 12:30～ 場所:勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103)
江 別 西 R C	5月 4日(火) 休会 5月18日(火) 移動夜間例会 18:00～ 場所:徳寿
岩見沢東RC	5月 4日(火) 休会
小 樽 R C	5月 4日(火) 休会
小樽銭函RC	5月 6日(木) 休会
千歳セントラルRC	5月 4日(火) 休会 5月11日(火)～13日(木) 移動例会「長泉RC25周年記念例会」
長 沼 R C	5月 3日(月) 休会 5月17日(月) の例会を5月15日(土) 第18回長沼国際交流フェスティバルに変更 5月31日(月) の例会を5月29日(土) 第7グループIMに変更
室 蘭 R C	5月20日(木) 職場訪問例会 場所:NHK室蘭放送局 5月27日(木) 例会時間を12:30→18:00に変更
室 蘭 北 R C	5月 4日(火) 休会
白 老 R C	5月 4日(火) 休会 5月11日(火) 移動夜間家族例会「観桜会」 18:00～ 場所:川田憲秀会員邸(白老町栄町) 5月25日(火) の例会を下記に変更 5月26日(水) 移動例会 15:00～ 場所:白老パークゴルフ場(白老町石山)

2010年5月のロータリーレート 1ドル92円



2010年4月13日発行 [月刊]
(財)ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 122

1 寄付金速報 — 2009-10年度も残り3カ月を切りました —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて13.3%減、約1億7千万円の減少となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が18.7%減とここ数ヶ月は大きな状況変化はありません。

今年度まだ普通寄付をご送金いただいていない約160のクラブ会長宛に「2009-2010年度普通寄付金送金をお願い」を3月12日付でお送りしましたが、4月6日現在、まだ84クラブから納入いただけておりません。普通寄付金は当奨学会の安定的な財源となっています。特別寄付金が伸び悩む中、奉仕の実践として、普通寄付金の送金をぜひともよろしくお願い申し上げます。

2 新奨学生のオリエンテーションがスタート

2010学年度の奨学生は826人(休学による延長者3人を含む)となりました。国籍・地域別では中国が402人、韓国116人、台湾51人、その他257人です。奨学金種類別では、修士課程が最も多く374人、次いで博士課程215人、学部課程203人、そのほか地区奨励奨学生、クラブ支援奨学生などがいます。

4月11日を皮切りに5月中旬にかけて、各地区で新規奨学生のオリエンテーションが開催されます。今年度のオリエンテーションでは、DVD「すばらしい贈り物」を上映し、世話クラブ・カウンセラー制度の意義を新奨学生に理解してもらうよう呼び掛けています。また、今年度からは、奨学期間終了後も近況や移転先をカウンセラーに知らせることを確約書に記載し、約束事項として説明していただくことになっています。説明用パワーポイントはガバナーエレクト事務所および地区米山奨学委員長宛にてEメールで送信していますので、ぜひご活用ください。オリエンテーションの席上で確約書に署名をした後、正式な米山記念奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

3 米山奨学生・学友の博士号取得状況



今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が続々と届いています。2009学年度(2009年4月~2010年3月)に博士号を取得した奨学生・学友は48人、累計では3,196人です(4月9日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計をお贈りします。すでに奨学期間を終了した学友も対象ですので、ぜひ事務局までご報告ください。

米山奨学生・学友が博士号を取得したら...? 「学位記」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXしてください(FAX:03-3578-8281)。 ※国内のみの発送となります

お知らせ

奨学生・カウンセラー必携ハンドブック

【奨学生ハンドブック】新規奨学生には合格通知と一緒に大学経由で、継続奨学生には世話クラブへ3月末送付済みです。奨学生としての心得のほか、帰国届や奨学生レポートなど届出書類が付いています。

【カウンセラーハンドブック】初めてカウンセラーをされる方も、すでに経験されている方も必ずお読みください。カウンセラーの体験談や困ったときのQ&Aが満載です。クラブへ送付済みです。



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津・峯

文庫 通信

(271号)

地区大会記念講演から

書名	著者/地区	発行年	ページ	
◆ロータリーの魔法	ピチャイ・ラタクル(D.2730)	2009	5P	※
◆国際ロータリーの長期計画の中核となる価値観について	黒田 正宏(D.2570)	2009	9P	※
◆クラブの活力の再生をめざして-前橋RCのCLP実践事例	曾我 隆一(D.2510)	2009	7P	※
◆ロータリーと夢	三井 章義(D.2640)	2009	11P	※
◆グローバル化と日本の教育	中嶋 嶺雄(D.2600)	2009	12P	※
◆これからの北海道が生き抜く道	寺島 実郎(D.2510)	2009	16P	※
◆私の夢-世界最高齢でチョモランマに挑む	三浦雄一郎(D.2510)	2009	14P	※
◆“夢をかたちに”日中友好秘話-梅屋庄吉と孫文	小坂 哲瑠(D.2570)	2009	4P	※
◆日本のことろについて	境野 勝悟(D.2560)	2009	12P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー(5月・6月)

5月		6月	
1(土)	スウェーデン第2630地区へGSEメンバー派遣(~5/30)	1(火)	
2(日)		2(水)	
3(月)	憲法記念日	3(木)	
4(火)	みどりの日	4(金)	
5(水)	こどもの日	5(土)	恵庭RC創立40周年記念式典(恵庭) 伊達RC創立50周年記念式典(伊達)
6(木)		6(日)	新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継会議(滝川)
7(金)		7(月)	
8(土)		8(火)	
9(日)		9(水)	
10(月)		10(木)	
11(火)		11(金)	
12(水)		12(土)	米山学友主催家族懇親会(余市) 栗山RC創立40周年記念式典(栗山)
13(木)		13(日)	
14(金)		14(月)	
15(土)	倶知安RC創立45周年記念式典(倶知安) 第18回長沼国際交流フェスティバル(長沼) 第15回日本青少年交換研究会(大阪)(~5/16)	15(火)	
16(日)		16(水)	
17(月)		17(木)	
18(火)		18(金)	
19(水)		19(土)	インターアクト地区年次大会(室蘭)
20(木)		20(日)	インターアクト地区年次大会(室蘭) 国際大会(カナダ・モントリオール)(~6/23)
21(金)		21(月)	
22(土)	砂川RC創立40周年記念式典及び 第2グループIM(砂川)	22(火)	
23(日)		23(水)	
24(月)		24(木)	札幌手稲RC創立40周年記念式典(札幌)
25(火)		25(金)	
26(水)		26(土)	
27(木)		27(日)	
28(金)		28(月)	
29(土)	函館五稜郭RC創立40周年記念式典(函館) 第7グループIM(北広島)	29(火)	
30(日)		30(水)	2009-2010年度終了
31(月)			



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.03.31	増減	内女性	
1	深川	4	32	31	-1	1	88.02
	羽幌	4	45	48	3	1	83.91
	妹背牛	4	9	9	0	0	88.89
	小平	3	11	11	0	0	78.79
	留萌	4	41	44	3	3	85.60
小計			138	143	5	5	85.04
2	赤平	5	29	31	2	0	73.00
	芦別	4	37	38	1	0	79.17
	砂川	4	55	53	-2	0	94.76
	滝川	4	96	95	-1	2	78.00
	小計			217	217	0	2
3	美唄	3	33	33	0	0	85.18
	江別	4	34	33	-1	1	86.37
	江別西	5	30	29	-1	3	91.70
	岩見沢	4	85	85	0	0	94.92
	岩見沢東	5	33	35	2	4	81.68
	栗沢	5	24	23	-1	1	98.18
	栗山	4	27	27	0	2	95.19
	当別	4	31	29	-2	0	87.00
小計			297	294	-3	11	90.03
4	札幌	4	102	120	18	0	97.99
	札幌あけぼの	3	13	15	2	1	93.10
	札幌はまなす	5	19	19	0	4	88.42
	札幌北	4	43	40	-3	5	95.12
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	72.77
	札幌西	4	58	59	1	5	89.82
	札幌西北	4	40	38	-2	6	94.35
	札幌手稲	4	33	36	3	2	90.28
小計			359	378	19	23	90.23
5	札幌東	4	118	120	2	0	96.89
	札幌清田	4	18	18	0	4	98.33
	札幌幌南	4	61	62	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	29	-2	3	97.23
	札幌南	4	80	77	-3	0	99.04
	札幌大通公園	4	12	12	0	3	83.30
	札幌セントラル	5	10	10	0	6	68.00
	新札幌	4	28	27	-1	3	91.74
小計			358	355	-3	19	91.82
6	岩内	4	19	19	0	0	79.43
	倶知安	5	40	39	-1	4	71.00
	小樽	4	65	72	7	0	88.98
	小樽南	3	76	73	-3	1	90.00
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	4	9	9	0	0	86.11
	余市	5	41	40	-1	4	89.00
小計			272	275	3	11	82.36

3月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,751人(107人)
増加会員数	51人
当月平均出席率	85.04%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.03.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	57	0	3	75.80
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	85.50
	恵庭	4	35	42	7	2	79.24
	北広島	5	16	14	-2	0	84.28
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	9	-2	1	91.67
	小計			176	180	4	11
8	えりも	4	21	22	1	0	95.45
	三石	4	15	15	0	1	90.00
	様似	4	22	23	1	1	79.30
	静内	5	70	76	6	1	86.20
	浦河	5	36	36	0	2	91.11
	小計			164	172	8	5
9	伊達	4	55	58	3	0	77.58
	室蘭	4	41	45	4	0	77.84
	室蘭東	4	36	40	4	0	72.50
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計			205	219	14	4
10	函館	4	83	88	5	0	79.76
	函館亀田	4	42	38	-4	2	89.87
	森	4	34	40	6	0	68.10
	七飯	4	17	16	-1	0	71.80
	長万部	4	9	8	-1	0	78.12
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	67.24
	小計			216	219	3	3
11	江差	4	18	14	-4	1	77.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	100.00
	函館東	4	43	45	2	4	82.93
	函館北	4	28	26	-2	0	91.97
	北斗	4	17	17	0	1	63.20
	松前	2	5	6	1	0	50.00
小計			166	163	-3	6	77.52
12	白老	5	28	30	2	1	82.00
	苫小牧	4	48	51	3	2	79.11
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	82.63
	苫小牧北	4	29	29	0	2	99.14
	小計			132	136	4	7
合計			2,700	2,751	51	107	85.04



ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

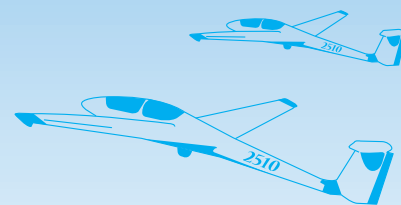
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

6



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 2010年規定審議会報告☒……………2～4
- RI第2360地区GSE受入れ☒……………5
- 韓国3700地区・地区大会報告☒……………6
- 第4・第5グループ合同IM報告☒……………7☒
- ローター財団補助金プログラム事業「料理に使った油で車を走らせる!」☒・8
- クラブ事業紹介「地域を育み大陸をつなぐ」☒・9
- ローターアクトクラブ活動報告「フードパーティを終えて」…10
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます・計報☒…11☒
- 新入会員の紹介・文庫通信☒
- ローターレート☒……………12☒
- 地区カレンダー(6月)☒
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について……………13
- 出席率・会員数☒……………14

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



有終の美

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

2009～2010年度も、残すところ1ヶ月になりました。あっという間の、時の経過です。

年度当初に、地区の重点目標として、小児がんや難病の子供たちの日本、アジアでただ1つの「そらふちキッズキャンプ」を支援しよう。水の確保、飢餓保健、識字率の向上に取り組むWCSを支援し、これに参加するクラブを応援しよう。会員増強は、純増1を目指そう。職業倫理を醸成し、職業奉仕を実践しようと、4つの具体的項目を掲げ、皆さんに呼びかけて来ました。

ここで年度の最後の月を迎えるにあたり、その成果を確かめ、至らぬところには、その実現に向かって汗しなければならないと思い、以下に整理をしてみました。

「そらふちキッズキャンプ」の支援は、ガバナー補佐の積極的な活動を得て、各クラブが様々な支援の方法で取り組みを頂き、その結果、地区内クラブの大半が参加され成果をあげています。

地区外で確認が出来ただけでも、広島、山口、石川、富山、大阪、和歌山、長野、神奈川、栃木、福島、山形などの地区ガバナーは、それぞれの地区月信で地区内会員に「ドラッグストアに置いてあるキッズキャンプ募金箱にトルドロップする輪を広げよう！」と呼びかけて下さり、あるいは仙台、群馬は寄付金をキャンプに寄せてくれたなど、成果は予想以上の反響と結果で表されております。

WCSには、今年度地区内1/3のクラブが参加、1月に実施しましたタイ・ノンカイ検証ツアーには、20名の地区内会員が参加し、現地で事業を確認し、今後に向かってこの事業を充実発展させなければならないという共感を共有するなど、情報理解促進の成果となりました。

会員増強については、年度初め2,700名のスタートが、4月末現在で2,751名であります。現時点では順調ですが、年度末に向かって、各クラブのご努力を更に頂いて会員が増加されることを願っています。

職業倫理の醸成については、会員のそれぞれにとって厳しい現代の仕事の環境の中で、ロータリアンとして4つのテストに照らし活動をされていることと確信をしておりますし、各クラブが職業奉仕を軸にした活動プログラムを組み立てているところが多いことも承知をしております。

ともあれ、4月に規定審議会も終わりロータリーの新しい時代に入って来ました。ロータリーの求めるものは変わらず、しかし時代に叶った運営の方法は変えて行かなければならない事も不易流行なのでしょう。

有終の美を目ざし、ジョン・ケニーRI会長の、その時代、その時代のロータリーの奉仕への熱い思いを実践したその成果が鎖の環となり、その強い繋がりが鎖となってロータリーの歴史を築いて来た。次のため繋がる強い環を作るために、残る1ヶ月を汗して過ごそうと、自分に言い聞かせている今日であります。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」



2010年規定審議会報告

2010年規定審議会

代表議員 **佐藤 秀雄**

Hideo Sato
(千歳RC・PG)

「2010年規定審議会」は、2010年4月26日から4月30日まで、シカゴのマリオット・シカゴ・ダウンタウン・マグニフィセント・マイル・ホテルで開催された。日本の34地区代表議員は4月24日(土)成田空港に8時に集合し、全日本空輸と日本航空とに分乗し一路シカゴへと向かった。翌24日(土)シカゴに8時20分に到着。空港のロビーで1時間ほど遅れて到着する代表議員を待ってホテルへと向かう。シカゴはことのほか寒く、13度ぐらい。午後からは信任状提出、登録、立法案資料の受領。25日(日)午後から諸宗教合同礼拝、オリエンテーション及び開会式、その後、歓迎晩餐会。世界531地区から531人の代表議員が事前登録。しかし、アイスランドの噴火により空港でストップされている代表議員がいて、早く到着することを望む。

以下重要であると思われる制定案・決議案につき記して報告とする。

4月26日(月)(第1日目)

審議会の本番。午前8時30分(3日目からは8時開始となる)の開始であるが、10分前には着席との指示が出る。5階のBallRoomで、午前6時30分から朝食を取り会議に臨む。

午前8時30分。点鐘とともに議長の挨拶で会議が始まる。

■決議10-01「研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励するようRI理事会に要請する件」(フランス第1670地区提案)の主動議がなされ討論に入る。国際ロータリー(RI)の決議により、RIは、クラブ・リーダーシップ・プランを推奨する常任委員会に加えて、研修・リーダーシップ委員会を設置するようクラブに奨励することを検討するものとする。

新会員も古くからの会員も含め、RI並びにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠如しているロータリアンが多く見受けられる。これは、クラブが徹底した定期研修を継続的に提供していないことに起因している。さらにクラブ会長などがクラブの責務を引き受ける前に、指導力を改善する機会が与えられていないロータリアンが多すぎる。デベートが延々と続き、反対意見はクラブの研修リーダーを創設したとしても、研修を受けていないものが研修リーダーとなっても、組織は立ち上がるが中身のないものではないか、或いは地区がクラブ研修リーダーを養成するためのプログラムを作成し教育した後、クラブ研修リーダーによる教育を始めるべきだなど、多彩な賛成反対意見が約1時間にわたり論議の末、採決に入り賛成289、反対216で採択。

■決議10-06「E-クラブの設立」(RI理事会、フィンランド、シンガポール、ブラジル、米国等提案)である。この案件についても相当の時間を費やした。障害者、遠隔地に居住している人々、通常の例会に出られない人達を対象としたものであるとRI理事会は説明するが、反対派はロータリーの基本理念である会員同士の生の親睦、通常例会で行われる卓話、世のため人のために汗を流して行う地域社会への奉仕活動等をE-クラブ会員はどのような方法で実施するのか。地区には一つのE-クラブの設立が最初の原案であったが、その後、幾度かの修正動議の中で2つ置く案が採択され、その後、主動議の採決に入ったが、日本の代表議員は否決に廻り、韓国、米国をはじめブラジル、ヨーロッパの地区ほとんどが賛成。賛成430、



反対85の大差でEクラブが誕生した。

ポール・ハリスもロータリーは時代とともに変遷しなければならないといっているが、時代とともにロータリーも変革を余儀なくされているのであろうか。若者を惹きつけるにはEクラブ(例会時間30分)を設立する以外に方法はない。外国の代表議員はEクラブ誕生により4万人の会員の増強が期待できると豪語する。決議23-34の理念はどこに行ってしまったか。

■決議10-31「例会開催を隔週にすべき」提案。英国、日本、バングラデシュ等から、毎週開催の例会は隔週にすべきだとの提案については、毎週の例会を開催してこそ親睦を図れるのだから、当然毎週開催すべきとの主張が通り、賛成178、反対331を以って否決。午後6時05分終了。

4月27日(火)(第2日目)

■決議10-45「会員の種類の中に法人会員を追加する件」(米国、オーストラリア提案)。法人から代表者4名を届け出て、例会等に代表者が出席できないときは他の3名が交代で出席し、会員拡大を図るというものである。賛成者は、時代は変革を求めている。これからは大企業に入会を勧誘し会員の拡大を図らなければロータリーの将来はない。法人会員を認めれば欠席者がいなくなる。反対者は、ロータリアンは善良な人格を持った人間である。若し、法人会員を認めるとすれば、ポール・ハリス等が執筆したロータリーに関連する文献全部を書き換えなければならないだろう。又法人会員は職業を持っていないし専門職でもないのだからロータリーの綱領にも反する等激論の末、採決に入り、賛成182、反対333で否決。

■10-127 議長は、会員身分の終結に関する件(決議10-56)が終了したところで、突然RI理事会提案の10-127「人頭分担金を増額する件」を主動議とした。多分議場が混乱するのを見越して早めに提案してきたものだ。まず理事会は半期1ドルで年間2ドルの増額を原案としていた。本会議が始まる前に、制定案10-127(改正案)が配られた。それは下記のようなものであった。増額分を半期50セント年間1ドルとし、2010-11年度~2013-14年度支払う。以降「理事会は、年率最高2パーセントまで人頭分担金の増額を許可することが出来る。」という改正案である。昨年のゾーン研究会において黒田RI理事に人頭分担金の増額は反対です、と申し入れをしてみましたので、その点少しは理解されたものと思う。しかし、以降「」内については承認できるものではなかった。デベートに入り、修正動議が出された。それは、以降「」内を削除する動議であり、これには多くの意見が出された。ある元RI会長はゲストとしての発言であるが、ロータリー審議会は株主総会ではない、理事会が一切の責任を負うのだから僅か年間最高2%の増額を、理事会を信頼し承認してはどうかとの発言があった。又、他の理事者は僅か半期50セントの増額のために職員が膨大な時間と労力を掛けて審議会の準備しなければならず、任せてもらいたい。これには多くの代表議員が反発し、一円たりとも立法機関を通さず支出することは出来ない。クラブからの貴重な人頭分担金を理事会の恣意的判断によって増額するような行為は、理事会を信頼するしない以前の問題である、という意見が展開され、以降、「」内を削除するとして修正案は多数を以って可決された。従って、修正された増額の主動議は賛成372、反対136で採択。

考えるに多くの代表議員ではなく、多くの発言者からは半期50セント程度ではなく、2ドルでも3ドルでも運営資金が不足するのであれば増額すればよいとの意見が出された。増額凍結などの意見はほとんど聞くことはなかったし、増額凍結の提案が出来る雰囲気ではなかった。従って、本地区が提案した10-130でRI人頭分担金の凍結は、半期1ドルから50セントに減額されたこと、且つ、理事会が自己の判断によって増額が出来なくなったこと、次回の審議会に人頭分担金の増額凍結を案件として再度提出できること等を踏まえ、本地区の人頭分担金凍結の決議案は撤回することとした。

■決議10-62「地区大会を隔年で開催する件」オーストラリア提案。反対論は、地区大会を隔年でやると親睦が図れない。賛成者は開催地と居住地が3千キロも離れているところもあり毎年参加することが出来ない。賛成174、反対327で否決。18時10分終了。

4月28日(水)(第3日目)

■決議10-87「青少年奉仕を4大奉仕部門に加える件」(提案者米国)。この件については、青少年はこれから時代を背負う国の宝であり、国際ロータリーもこれについては多数のプログラムを用意し実践している。反対論は、確かに青少年は重要な部門である。しかし、国際ロータリーは4大奉仕部門で理論構成されているのだから、いまさら部門を増設する必要もない。社会奉仕部門の基にしっかりと歩みを続けているのではないか。修正動議が出され、青少年ではなく新世代部門にすべしとの動議が通り、その後、主動議が採決、賛成263、反対250で新世代部門が誕生した。

■決議10-112「ロータリアンの子供を財団の補助金・奨学金とプログラムの有資格者とすることを検討するよう、管理委員会に要請する件」(カナダ提案)。

この要請案については、財団本部はイリノイ州にありイリノイ州法が適用となるため法律に抵触することはない。賛成者は、ロータリアンの子供、孫は優秀なものが多い。一般募集しても人員に不足を生じたときなどに資格を与えるべきだ。反対者は4つのテストに反する。採決に入り賛成226、反対288で否決。12時35分終了。

4月29日(木)(第4日目)

■決議10-138「RI理事に弁済された全経費及びRI理事に代わって支払われた経費をRI年次報告書に記載することを義務付ける件」(英国提案)賛成498、反対18で採択。

■決議10-139「管理委員に弁済された全経費及び管理委員に代わって支払われた経費を財団年次報告書に記載することを義務付ける件」(英国提案)賛成504、反対13で採択。

■決議10-140「RI会長指名委員会の委員数を減らす件」(デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、インド、米国等多数提案)前回の規定審議会によって34のゾーン全員によるものと改定したが、元に戻しゾーンの奇数・偶数の17名によって選出すること改定された。賛成346、反対167で採択。

■決議10-167「地区はクラブ数30未満、ロータリアンの数1,000名未満をクラブ数33未満、ロータリアンの数1,200名未満に改定する件」(理事会提案)改定された数未満になると理事会は地区の境界を廃止・変更することが出来ることとなった。賛成202、反対193で採択。18時03分終了。

4月30日(金)(第5日目・最終日)

■決議10-191「カムリーバンクをRI元会長の文書の記録保管所とすることを検討するようRI理事会に要請する件」賛成440、反対56で採択。

■決議10-205「立法案に関する審議会の決定は、クラブの有効投票の少なくとも10%に相当するクラブが反対した場合、その効力は保留されるものとする」を5%に改定する案件。賛成285、反対214で採択。

■決議10-208「ロータリアンは3回を越えて規定審議会に代表議員として出席してはならないとする件」賛成366、反対141で採択。16時30分終了。

今回の審議会の全議案の審議が終了して振り返って見ると、この5日間相当ハードな日々だった。世界の代表議員の顔ぶれは発展途上国の議員は比較的若く、先進国といわれる国々の議員は総じて老齢化が著しい。特に日本は提案者として発言した方の一人は、提案理由を1分以上もオーバーして話していたが、議長も高齢であることを認め、ストップもかけずに話をさせ体調をいたわっていた。

この審議会を通じて、国際ロータリーはどこを指標として変革し、時代の変遷とともに共生していけばよいのか思い悩むところである。E-クラブの誕生、今回は否決された法人会員を会員の種類に加入させる件、4大奉仕部門に新世代奉仕部門を加え5大奉仕部門が誕生したこと、人頭分担金の毎回の増額等を考慮すると、ポール・ハリスが創立した国際ロータリーの基本理念は大きく変革を余儀なくされるように思える。

※「2010年規定審議会の立法案の採否と、採択された立法案の詳細について掲載しています。『ロータリージャパン』ホームページ<http://www.rotary.or.jp>をご覧ください。」



RI第2360地区GSE受入れ

地区GSE委員会

委員長 沼 館 栞

Shiori Numadate
(札幌清田RC)

今年度GSE委員会は、スウェーデンRI第2360地区との派遣交換を行ない、カトリン・アンダーソン・チームリーダー率います3名の女性と1人の男性の5名を受け入れました。RI第2360地区はスウェーデン第2の都市イエテボリを中心とした地区です。GSE派遣交換は今回が15回目となりますが、今までヨーロッパとの交換が一度もなく初めての経験でした。このGSEプログラムは、ロータリー財団の教育的プログラムの一つで、25歳から40歳までの専門職経験の浅い職業人に文化体験や職業経験を通して、国際交流の場を提供する機会であり、国際化の進む地域社会のニーズに対応できる国際人としての専門職の技術と指導力を磨くプログラムです。

チームリーダーのカトリンさんは1930年に創立されたボラスRCの会員で、2002年に会長を経験した温厚な淑女でした。団員のサラ・ストールさんは共同体のメンバーで、観光部門に所属しVarbergの町を“スウェーデンで一番の温泉街”にするべく町興しをしています。カタリーナ・ブラッドさんは事業計画策定の分野においては世界で一番大きな会社でマネージャーをしています。また2005年にワシントンDCにあるスウェーデン大使館でjunior diplomatとして勤務したこともあり、その時に日本とアメリカの友好記念のサクラ祭りでサクラ・プリンセスに選ばれ、その際に日本に興味を持ったとの事です。団員の中では唯一既婚のカミーラ・プラス・マネスタールさんは、皆様もよくご存知のポルボ社の商品開発課長を勤め、飲酒運転防止設備導入の担当をしています。アウトドアのスポーツは何でも好きで、じっとしているのは本を読む時とワインを飲む時ぐらいだと仰る活動的な女性です。ただ一人の男性のデニス・ラーセンさんはNPOの学校関係の仕事で、企業精神を学生に呼び起こす啓蒙活動をしていて、夏期には大学で非常勤講師として企業講座を受け持っています。子供の頃から日本に興味があり相撲、剣道、日本料理にも興味があり伝統的な日本料理を作りたいとの事でした。

彼らは4月1日に千歳へ到着しました。今回は北広島、留萌、滝川、室蘭東、札幌東の5つのクラブにお世話いただきながら、約4週間の研修を行いました。行く先々で大歓迎を受け団員からは、滞在地での素晴らしい体験を通し日本のイメージがより良いものになったこと、このような経験は人生の中で得がたいことの一つであり沢山の方にこのGSEプログラムを味わってほしいとの言葉を頂き、報われた思いです。当委員会では約1年前より準備を進め、地区の皆様のご協力をいただき、受入れメンバーは4月30日に無事帰国の途に着きました。

GSEチーム受入に際しまして、引き受けて頂きましたガバナー補佐の皆様、お世話下さいましたホストクラブ、ホストファミリーをはじめ受入れグループのロータリークラブの皆様、コーディネーターの方々、本当にご協力ありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。各グループでのIMにて沢山の方々にGSEプログラムについてご披露できましたことに感謝申し上げますと共に、ロータリー財団に対するご理解とご支援、並びに更なるご協力を重ねてお願い申し上げます。帰国したメンバーには、日本で得た経験を生かし地域に貢献してくれることを願いながら、GSE受入れについてのご報告とお礼といたします。





韓国3700地区・地区大会報告

地区国際奉仕委員会

委員 谷口正樹

Masaki Taniguchi
(滝川IRC)

4月22日より4月25日まで「韓国3700地区大会参加ツアー」を渡邊ガバナー夫妻、佐々木ガバナーエレクト夫妻・矢橋パストガバナーを始め26名の参加で行いました。2004年の友好地区締結以来続けられている、地区大会の相互訪問です。4月22日(木)新しく完成した新千歳空港国際線ターミナルに集合し大韓航空プサン行の直行便にて出国しました。3時間余りのフライトですが、千歳から一番近い海外旅行はプサンだと実感しました。プサン空港に到着しますと第3700地区のメンバーが横断幕で出迎えてくれました。その中に相互訪問の中心的人物、チェ氏、また昨年訪問していただいた旅行代理店のソウ氏も出迎えてくれました。赤色回転灯を付けた車を先頭にバスにてテグに移動し、早速2510地区訪問団の歓迎会を催していただきました。地区大会を翌日に控える中、宋総裁(ガバナー)を始め多くのパストガバナーそして地区大会担当のメンバーが歓迎をしてくれました。その後、会場を移し3700地区名物カラオケ大会となり韓国の皆さんと打解けることができました。

翌日、我々はテグ近くにある世界遺産「慶州」の観光に行きました。夕刻ホテルに戻り「RI会長代理晩餐会」会場のホテルインターブルゴへ移動し晩餐会に臨みました。渡邊ガバナーを始め2510地区からの参加者の紹介が宋総裁からありました。紹介後、宋総裁、RI会長代理、渡邊ガバナーの挨拶があり会食に入りました。ソプラノ歌手による歌、ピアノ演奏、弦楽器による演奏等が用意され飽きさせることのない内容でした。特に圧巻は奇跡のピアニストの演奏でした。両手に2本づつしか指がないのですが、ショパンを始めとする名曲を素晴らしい演奏で聴かせて頂き、感動しました。昨年も感じたのですが、晩餐会の欠席者が非常に多く、今年も1/3程度の空席がありました。その後、我々は二次会へと移動し、3700地区会員と談笑させていただきました。翌日「地区大会」の会場は大きなホールでの開催でした。煌びやかな照明、レーザー光線の中、スポットライトの照明を浴びて我々ゲストが入場です。宋総裁の点鐘で開会し、地区大会実行委員長挨拶、ガバナー挨拶、RI会長代理挨拶、テグ市長挨拶、渡邊ガバナー挨拶と続き地区内クラブの紹介がありました。この地区大会の式典は昨年もそうでしたが、円卓で、上には果物、菓子、ソフトドリンクが用意され、大変リラックスした中で行われます。中にはビール、焼酎、手料理などをもちこんで式典に挑んでいるクラブもありました。会場にて昼食をいただき宋総裁をはじめ多くの会員のホスピタリティに感謝し、テグを韓国新幹線にて離れソウルへ向かいました。ソウル観光をし、翌朝帰国いたしました。





I M 報告

第4・第5グループ合同IM報告

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 **江口 洸**Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

第4・第5グループ合同IMを4月24日(土曜日)、札幌プリンスホテル国際パミールに於いて開催致しました。

第4グループ386名、第5グループ357名、合計743名の会員に対し483名の会員の方に登録頂き、盛会裡に終了することが出来ました。熱心なロータリアンの皆様及び各クラブ会長、幹事の方々のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

尚、渡邊恭久ガバナーは韓国RI第3700地区の地区大会参加の為欠席でしたが、心強い励ましを頂いております。

第4・第5グループ合同IMのテーマ「ひびきあう大地」の基、阿部哲夫IM実行委員長の開会の挨拶に始まり、来賓の紹介、岩城秀晴パストガバナーのお言葉、三澤龍子IMホスト札幌清田RC会長の歓迎の挨拶が行われました。

基調講演には札幌市出身で音楽家として著名な桐朋学園大学音楽学部教授、木村俊充氏より「共存共鳴」と題し、ご見識溢れるお話しを頂き大なる感銘を受けました。

基調講演の感動もさめやまぬ間に、ふるさとの四季・世界歌めぐりと題した特別コンサートが始まり日本の音楽界を代表するソリストによる素晴らしいハーモニーに会場全体が溢れんばかりの幸福感に包まれ、ロータリアンの皆様の心が癒されて行く様子がありありと感じられました。

IMも後半に入り、諸事お知らせ・休憩を挟んで来道中のGSE、RI第2360地区スウェーデンチームの紹介となり、沼舘GSE委員長が挨拶を行い、石丸修太郎GSE副委員長がGSEメンバーの紹介、続いてスウェーデンチームの自己紹介を頂き、ひと時ではありますが、ロータリアン同士の心のふれ合い、思いが通じた様に思われます。

岩城秀晴PGから講評を頂き、閉会の言葉、点鐘を荒紀男第4グループガバナー補佐が行い、「ひびきあう大地」をテーマにした、第4・第5グループ合同IMをつつがなく見事に幕を閉じることが出来ました。尚、予め用意しておりました、そらぶちキッズキャンプの募金箱を設置させていただき、ロータリアンの皆様をお願いしたところ、5万7千4百円が集まりました。ご協力頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。

閉会后、親睦会が開催され、中田輝夫IMコ・ホスト札幌RC会長の開会の挨拶で始まり、特別ゲストの山形酒田市RCの会員であり、声楽家の池田美保氏のミニコンサートで音楽の世界に溶け込み、優雅で素晴らしい歌唱で華やいたひと時を皆様と共有出来、親睦交流が自然と皆様の心の中に浸透して行くのが随所で見られ私も心が清らかになった様な気が致しました。そして「手に手つないで」を玉井清ソングリーダーと歌うころには会場は素晴らしい一体感に包まれました。

閉会の挨拶を宮村素子IM幹事(札幌清田RC幹事)が行い、親睦会も和やかな雰囲気の中で終わることが出来ました。

第4・第5グループ合同IM・親睦会共に来賓の皆様及び会員各位のお力のお陰をもちまして、大変有意義な1日を過ごさせて頂きました。御礼を申し上げご報告とさせていただきます。



ロータリー財団補助金プログラム事業

『料理に使った油で車を走らせる！』

余市ロータリークラブ

会 長 川 向 基 紀
 新世代委員長 杉 本 彰
 職業奉仕委員長 清 水 義 信

<主 旨>

第2510地区の基本方針である「環境・人・子どもに目を向けよう」を視野にいれ、町内の小学生、保護者、先生方を対象に「環境保全」に対する認識を深めていただき、理解を促したいとの考えで事業を展開した。

<日 時>

平成22年4月29日(木) 8:20~14:00

<場 所>

栄町 ハートバス車庫(集合・解散場所)
 桃内 北しりべし広域クリーンセンター(ごみ焼却施設・リサイクルプラザ)

<テ ー マ>

『地球にやさしい探検隊』

<事業内容>

ハートバス車庫に集合、開会式後BDF(バイオディーゼル燃料)の実演見学と専門員の話聞く(写真1)。出来上がったBDFをバスに給油し、そのバスで北しりべし広域クリーンセンターまで乗車し(写真2)、ゴミ処理場を見学、説明員の話聞く(写真3)。現地にて昼食をとり、自分達で弁当箱、ペットボトル等の分別を実践する。バス車庫に戻り閉会式を行い、エコに因んだ記念品を配布(写真4)。余市教育委員会と道新余市支局の協賛を頂き、町内5小学校から60名以上の参加は「環境保全」に対する認識を深めたものと思います。5月末までに参加者からの感想文の提出をお願いしておりますので、今後の事業展開の参考にしたいと考えています。なお、4月30日に北海道新聞に事業内容が掲載されました。





クラブ事業紹介

「地域を育み大陸をつなぐ」 長沼国際交流フェスティバル

長沼ロータリークラブ

会 長 望 月 良 典
S A A 中 舘 誠 治

5月15日長沼RC主催による第18回国際交流フェスティバルが行われました。ロータリー関連の留学生を初め、町内でALTを務めているクリス、そして本年、私たちの町で過ごしている交換留学生のサムを含め計30名、10カ国からの参加です。午前中の科学フェスティバルに続いての交流フェスティバルに町内の小学生が参加しました。恒例となっているパスポート、そして交流の印としてのTシャツサイン交換、チキンダンスや抽選会など3時間程の国際色豊かなお祭りです。

毎年協力を戴いている長沼高等学校生から「小学生の時に参加しました」という声が聞こえるのは、18年間という積み重ねの大きさを実感するところでもあります。「子供達に世界を知ってもらいたい」。この気持ちで始まったこのお祭りは、まさに私たちの「未来」を育む事業であると言えます。御多忙にもかかわらずこのフェスティバルに御訪問戴きました渡邊ガバナー、留学生を送迎いただいたホストファミリーの方々、そしてこのフェスティバルを応援いただいている多くの皆様に感謝いたします。18年前、長沼RCの創立時より続くこのフェスティバルは、地域から世界を見つめるきっかけであり、そして「地域を育み大陸をつなぐ」活動であることを確信しています。



ローターアクトクラブ活動報告

「フードパーティを終えて」

札幌幌南ローターアクトクラブ

クラブ奉仕・専門知識開発委員会委員長 **奥村昌代**

Masayo Okumura

2010年4月10日(土)エルプラザにて、フードパーティを開催いたしました。

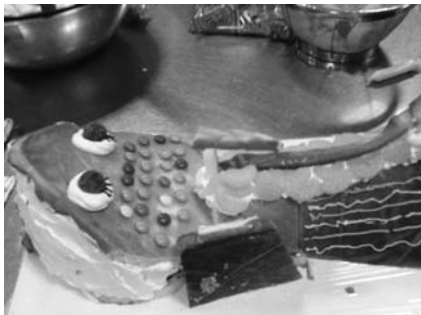
当日ご参加いただきましたロータリアンの方々、誠にありがとうございました。

このフードパーティは、本年度の海外研修(タイ)、全国研修会(名古屋)の報告を行い、料理を通してタイ・名古屋の文化に触れると共に、調理作業を通してロータリアン・ゲストとの親睦。ゲストにローターアクトの活動を知っていただき会員増強につなげる事を目的としています。今年はローターアクト10名、ロータリアン6名、ゲスト9名の合計25名で、タイのグリーンカレーと生春巻き、名古屋名物どて煮、シヤチホコをイメージしたケーキを作りました。準備段階で一番悩ませたメニューがグリーンカレーでした。試食会では、辛さだけは本場でココナッツの風味がない、いまひとつ、でした。少しでも本場の味を再現する為、タイ料理店で味を研究、試作を重ねオリジナルレシピを完成させました。参加者の中にもこのカレーを食べた事がない方が多い様でしたが「おいしい」と好評をいただき、おかわり希望もあった程です。その他のメニューも、おいしく出来上がり、すべて完食。試行錯誤を重ねただけに、「おいしかった」の言葉を頂いた時は本当に嬉しく、達成感が得られました。

報告会では現地での交流会の様子やそこで抱える問題や文化を写真や文章を大きな模造紙にまとめ発表を行い、分かりやすく伝える事が出来たと思います。今回、タイの現状を知り、その上で自分に何が出来るかを考える機会になりました。参加していただいたゲストの方々にも同じように思っていたのなら嬉しく思います。

今回の目的の一つ、会員増強という点では、ゲストとして参加して下さった方が興味を持っていただき、例会にも参加していただいております。現時点では増強とは言えませんが良い方向につなげていきたいと考えております。今後も一般の方へ向けたPRを行っていき、ローターアクトの活動内容や、楽しさ、素晴らしさを伝え増強につなげる機会を設けていきたいと思っております。

私自身、昨年9月に入会し、クラブ奉仕・専門知識開発委員会委員長を任せ初めでのイベント開催。右も左もよくわからない状態で、正直不安もありましたが、周りのメンバーの協力で無事成功することが出来ました。それによりアクトメンバーとの深い友情と信頼関係が結べた事、またこれまで余り話す機会がなかったロータリアンの方々との交流ができた事を大変うれしく感じています。今後も、さまざまな企画を行っていきたくて考えておりますので、ローターアクトクラブに対するご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。





米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢 R C	鎌田 誠 会員(4回)	4月30日	札幌清田 R C	玉井 清 会員(1回)	4月 7日
	北澤 治雄 会員(3回)	4月30日	函館五稜郭 R C	川畑 武裕 会員(3回)	4月 9日
	松村 亮哉 会員(1回)	4月30日		酒井 正人 会員(12回)	4月23日
札幌清田 R C	三戸 和昭 会員(3回)	4月 7日	函館東 R C	渡辺 友子 会員(6回)	4月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別 R C	安孫子建雄 会員(3回)	4月16日
札幌幌南 R C	羽部 大仁 会員(5回)	4月30日
小樽南 R C	野村 定弘 会員(1回)	4月23日
	清水 人司 会員(1回)	4月23日
	斎藤 仁 会員(1回)	4月23日
	西 信博 会員(2回)	4月23日
	斎田 義孝 会員(3回)	4月23日
	大橋 一弘 会員(2回)	4月23日
	廣部 隆夫 会員(2回)	4月23日
函館 R C	竹田 公一 会員(2回)	4月 2日
函館五稜郭 R C	光銭 裕二 会員(7回)	4月16日
函館東 R C	渡辺 友子 会員(1回)	4月23日

ポール・ハリス・フェロー

札幌清田 R C	小仲美智子 会員	4月23日
札幌セントラル R C	小坂 祥司 会員	4月16日
小樽南 R C	山村 弘一 会員	4月23日
	松浦 光紀 会員	4月23日
函館亀田 R C	相沢 好夫 会員	4月30日
函館五稜郭 R C	松井 宏昭 会員	3月26日
	高島 優二 会員	3月26日
	當摩 浩平 会員	4月 9日
	土家 康宏 会員	4月 9日
函館北 R C	阿部 誠太 会員	4月23日

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



赤塚 繁夫 名誉会員 (長万部RC)
平成22年 3月19日逝去(享年90歳)

ロータリー歴
1968年 2月13日 入会
1974~75年度 会長
1983~84年度 第7分区
分区代理

表彰関係
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



河端 利男 会員 (由仁RC)
平成22年 3月28日逝去(享年73歳)

ロータリー歴
1992年 9月10日 入会
(チャーターメンバー)
1993~94年度 会長
2001~02年度 会長

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



野村 昌人 会員 (江別RC)
平成22年 5月 2日逝去(享年57歳)

ロータリー歴
1996年 3月21日 入会
2004~05年度 幹事
2009~10年度 国際奉仕委員長
ロータリー財団委員長
米山記念奨学委員長
米山カウンセラー

表彰関係
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

新入会員の紹介 (敬称略)



たかはし りか
高橋 理佳(留萌RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/事務機器小売



ふくし さちこ
福士 幸子(留萌RC)
★入 会/H22.1.6
★職業分類/税理士



つぼめ みゆき
燕 美雪(留萌RC)
★入 会/H22.1.6
★職業分類/葬祭



せきの さとし
関野 諭(小平RC)
★入 会/H22.4.1
★職業分類/金融



いしくりしんいちろう
石栗新一郎(長万部RC)
★入 会/H22.4.1
★職業分類/銀行



ながはら せいこ
永原 勢子(小樽南RC)
★入 会/H22.4.2
★職業分類/サービス業メディア関連



てらい しょうどう
寺井 紹道(札幌真駒内RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/仏教



あきやま ゆうゆう
秋山 有洋(恵庭RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/仏教



いしかわ としのり
石川 俊則(恵庭RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/機械販売



こもり としあき
小森 俊明(千歳RC)
★入 会/H22.4.22
★職業分類/醸造酒精飲料



はせがわ てつや
長谷川哲哉(留萌RC)
★入 会/H22.4.22
★職業分類/信用金庫



ほそかわ こうじ
細川 浩司(苫小牧RC)
★入 会/H22.4.23
★職業分類/通信機器販売



きくち まさたか
菊池 雅孝(岩見沢RC)
★入 会/H22.5.6
★職業分類/生命保険



はなわ よしたか
花和 嘉貴(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/電気工事



はまだ けんじ
浜田 健嗣(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/写真



さとう まさし
佐藤 正嗣(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/通信機器配布

最近のロータリー情報から

文庫 通信

(272号)

書名	著者/地区	発行年	ページ
◆「ロータリー財団未来の夢計画」	田中作次(第38回ロータリー研究会報告書)	2010	3P ※
◆「RI5カ年財政計画」	黒田正宏(第38回ロータリー研究会報告書)	2010	4P ※
◆「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」	渡辺好政(D.2710月信)	2010	14P ※
◆「今 ロータリーが忘れていた事」	森 三郎(関西ロータリー研究会第55回例会記録)	1999	16P ※
◆「ロータリーの魅力と職業奉仕について」	成川守彦(D.2770職業奉仕研修会)	2010	43P ※
◆「私にとってのロータリーの楽しみ方(パネルディスカッション)」	岩本 忠(コーディネーター・D.2630地区大会)	2009	10P ※
◆「ロータリー-簡単図解(年表とロータリーの考えの変遷その1~3)」	鈴木章夫(D.2520月信)	2009	3P ※
◆「各クラブが行っている活性化アイデア一覧」	(D.2720月信)	2010	4P ※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年6月のロータリーレート 1ドル92円



地区カレンダー(6月)

6月 ロータリー親睦活動月間			
1(火)	ロータリー・コーディネーター説明会(東京)	16(水)	
2(水)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会(東京)	17(木)	
3(木)		18(金)	
4(金)		19(土)	インターアクト地区年次大会(室蘭)(~6/20)
5(土)	恵庭RC創立40周年記念式典(恵庭) 伊達RC創立50周年記念式典(伊達)	20(日)	国際大会(カナダ・モントリオール)(~6/23)
		21(月)	
6(日)	新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継会議(滝川)	22(火)	
7(月)		23(水)	
8(火)		24(木)	札幌手稲RC創立40周年記念式典(札幌)
9(水)	地区補助金委員会(札幌)	25(金)	
10(木)		26(土)	ローターアクト地区年次大会(札幌)
11(金)		27(日)	
12(土)	米山学友主催家族懇親会(余市) 栗山RC創立40周年記念式典(栗山)	28(月)	
		29(火)	
13(日)		30(水)	2009-2010年度終了
14(月)		※ガバナー事務所は6月30日の年度終了後、 引き続き残務整理のため9月30日まで業務を行います。	
15(火)			

例会日・例会時間・例会場の変更等について

砂川 R C	6月23日(水) 夜間例会 18:30~ 場所: 砂川パークホテル 6月30日(水) 休会
滝川 R C	6月10日(木) 「一年を省みて」夜間例会 18:00~ 場所: 滝川ホテル三浦華園 6月17日(木) 休会 6月24日(木) 休会
江別 R C	6月 3日(木)、6月10日(木) 移動例会 12:30~ 場所: 勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103) 6月24日(木) 最終移動夜間例会 18:30~ 場所: 野幌セレモニーホールはやし(江別市野幌町54-5)
岩見沢東 R C	6月15日(火) 通常夜間例会を12:30点鐘に変更 6月29日(火) さよなら夜間例会18:00点鐘 場所: 岩見沢平安閣
千歳セントラル R C	6月 1日(火) の例会を5月29日(土) 第7グループ I Mに振替 6月 8日(火) 移動例会 場所: 清水農園(千歳市清流5丁目)
室蘭東 R C	6月30日(水) 最終夜間例会 18:30~ 場所: 蓬峽殿
室蘭北 R C	6月29日(火) 夜間例会 18:30~ 場所: ホテルサンルート室蘭
白老 R C	6月 1日(火) 移動家族例会「桜の苗木植樹」 12:00~ 場所: 岩崎(白老町社台) 6月29日(火) 移動夜間例会「会長・幹事慰労会」 18:30~ 場所: 蛇の目寿司(白老町社台)
苫小牧 R C	6月25日(金) 年度最終夜間例会 18:00~ 場所: グランドホテルニュー王子

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.04.30	増減	内女性	
1	深川	4	32	32	0	1	91.55
	羽幌	4	45	46	1	1	84.57
	妹背牛	4	9	9	0	0	88.89
	小平	4	11	11	0	0	84.10
	留萌	4	41	44	3	3	84.36
	小計			138	142	4	5
2	赤平	4	29	31	2	0	77.55
	芦別	4	37	38	1	0	78.48
	砂川	4	55	53	-2	0	97.14
	滝川	4	96	95	-1	2	79.25
	小計			217	217	0	2
3	美唄	4	33	33	0	0	87.04
	江別	4	34	33	-1	1	89.40
	江別西	4	30	29	-1	3	85.30
	岩見沢	4	85	85	0	0	93.34
	岩見沢東	3	33	34	1	4	76.27
	栗沢	4	24	23	-1	1	96.40
	栗山	4	27	27	0	3	96.91
	当別	4	31	30	-1	0	90.64
	小計			297	294	-3	12
4	札幌幌	4	102	119	17	0	98.37
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	93.30
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	87.72
	札幌北	3	43	41	-2	6	95.83
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	70.36
	札幌西	4	58	58	0	5	94.16
	札幌西北	3	40	39	-1	6	93.47
	札幌手稲	4	33	36	3	2	94.45
	小計			359	377	18	24
5	札幌東	4	118	117	-1	0	99.31
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	62	1	0	100.00
	札幌真駒内	3	31	29	-2	3	98.77
	札幌南	4	80	77	-3	0	97.73
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.10
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	77.50
	新札幌	3	28	27	-1	3	93.94
	小計			358	351	-7	18
6	岩内	4	19	19	0	0	85.01
	倶知安	4	40	38	-2	4	73.00
	小樽	3	65	70	5	0	84.66
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.80
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	4	9	9	0	0	97.22
	余市	4	41	41	0	3	83.00
	小計			272	274	2	11

4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,753人(109人)
増加会員数	53人
当月平均出席率	86.26%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.04.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	81.40
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	78.30
	恵庭	4	35	44	9	2	84.38
	北広島	4	16	14	-2	0	91.11
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	9	-2	1	88.89
	小計			176	183	7	11
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	88.30
	様似	4	22	23	1	1	82.60
	静内	4	70	76	6	1	84.33
	浦河	4	36	35	-1	2	100.00
	小計			164	171	7	5
9	伊達	4	55	58	3	0	79.31
	室蘭	4	41	46	5	0	81.25
	室蘭東	4	36	40	4	0	73.75
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	91.00
	小計			205	220	15	4
10	函館	4	83	89	6	0	79.75
	函館亀田	4	42	38	-4	2	91.89
	森	4	34	40	6	0	68.00
	七飯	4	17	16	-1	0	72.10
	長万部	4	9	8	-1	0	84.37
	函館セントラル	4	31	32	1	2	67.61
	小計			216	223	7	4
11	江差	4	18	14	-4	1	64.00
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	100.00
	函館東	4	43	45	2	4	82.08
	函館北	4	28	26	-2	0	94.23
	北斗	4	17	17	0	1	70.50
	松前	3	5	3	-2	0	66.00
	小計			166	161	-5	6
12	白老	3	28	30	2	1	82.60
	苫小牧	4	48	55	7	2	78.94
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	84.61
	苫小牧北	4	29	29	0	2	99.14
	小計			132	140	8	7
合計			2,700	2,753	53	109	86.26



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

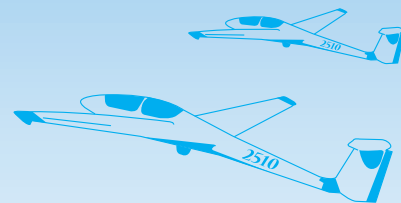
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>

国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

最終号



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 代表幹事退任のご挨拶☒……………2
- ガバナー補佐退任のご挨拶☒……………3～8
- 地区委員会 委員長退任のご挨拶☒……………9～21
- モントリオール世界大会出席報告☒……………22
- GSE・スウェーデンでの記録☒……………23～24
- ローターアクト第37回地区大会☒……………25
- RI第2500地区ローターアクト地区大会に参加して☒……………26
- 2009-2010年度インターアクト年次大会報告☒……………27
- IM報告☒……………28～29☒
- 栗山RC…40周年の節目を祝う
新旧ガバナー補佐 引継ぎ会議報告☒……………30☒
新旧地区委員長
- 国際奉仕委員会ニュース
「チリ大地震災害義援金」報告
「そらぶちキッズキャンプ」支援金の報告☒……………31
- 訃報・新入会員の紹介☒……………32
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます☒……………33
- ローター財団へのご協力に感謝申し上げます☒……………34
- 出席率・会員数☒……………35～36

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



年度を終えて

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

ガバナー就任への準備で2年半、そして本番で1年、あっという間に任期が過ぎてしまいました。短かったようで、また長くにも感じましたが、この歩みは充実した3年半でありました。

3年半前の2006年11月、滝川クラブ総意でガバナー立起への後押しを貰い、非力を承知で受けて以来、滝川クラブは勿論、第2グループ、地区内のロータリアン、パストガバナー、ガバナー補佐はじめ地区委員長、ガバナースタッフの温かく、力強いご支援のもとに役割を果たし、任期を満了することが出来ました。改めてこの誌上を借りて深く感謝を申し上げます。

今、ここでこの1年を振り返ると走馬燈のごとくいろいろなシーンが目に見えかえります。

各研修セミナーは、ガバナー就任前のプログラムで、ガバナー補佐セミナーに続いて、昨年2月、砂川クラブの見事な主管だったPETS、地区チーム研修、財団、米山セミナー、4月の地区協議会、6月の増強セミナーは、当然ながら出席率は各々の責任と自覚によって高く維持され、「入って学び、出でて奉仕」を実践したものでした。これらのセミナーはクラブリーダー、地区内会員に対し伝える、刺激しあう、考える、そして自覚をするもっとも大切な機会を効果的に提供出来たと思っております。

地区大会、IM、周年式典行事などで、地区大会は地方都市での開催ということで、参加者1,500名の収容力、宿泊、滝川へのアクセス、主管する滝川クラブの経験不足などに不安がありましたが、会員の総力、工夫、知恵、熱い情熱でそのハンディキャップを克服したと自賛しております。

IMは、北海道のように遠く広い地区では、地域が抱える問題、情報の交換、交流などのため効果的なミーティングの機能を持っていると確信をしました。各グループは地域の伝統、慣習を合意と共感を基盤に特色あるプログラムで開催をしていました。クラブの周年行事は、5年刻み、あるいは10年、25年の単位で奉仕の歴史を確認検証し、先達に対する労いと感謝、地域社会へ活動の露出は更なる発展への足がかりになり、クラブの周年行事は意義深いものであると感じたことでした。

公式訪問は、地区内73クラブを一部を除いて、一つ一つを丁寧に回ったつもりであります。各クラブは、まちの人々から信頼と期待を受け、地域にしっかり根を張って活動をしておりましたし、そのクラブの慣習が個性となって、独特な味わいを醸し出しているクラブもありました。例会の雰囲気や社会奉仕の地域奉仕は理念や型ではなく、善意と思いやりが和やかさとなり、奉仕の形となって地域の信頼を受けているのだと改めて確認をしたものであります。

そらぶちキッズキャンプの支援、当初地区が事業を持つのはおかしい、あるいは特定地域の振興のためにガバナーが地区内クラブに呼びかけるのは、我田引水との意見もありました。

しかし、そらぶちキッズキャンプ支援には、地区がそのために予算を持つことなく、また、会員の金銭や汗を強く求めるのでもなく、アジアで初めて、日本でただ一つのキャンプ。一人では生きていけない、明日への夢や生きる希望の持てない小児がんや難病の子供たちに、手を差し伸べ彼らが生きよう、また来年もこの楽しかったキャンプに来よう、キャンプで出来た友達にまた会うために、生きる力を自分で呼び起こすこのキャンプが、北海道の地区内に造られたから、それを支援しようでありました。以来、ガバナー補佐の並々ならぬお力で地区内クラブは勿論、地区外のガバナーやロータリアンの支援をも受け、

今では大きく当地区が提唱した人道的な事業として広がりつつあります。ご支援をいただきました皆様に心からお礼を申し上げます。

地区委員会は本年度31の委員会を持ち、諮問性あるいは機動的機能を持つ委員会、事業を推進し、クラブに支援をする委員会など役割がそれぞれ異なりましたが、複数年にわたり準備し、継続的に進めてくれた事業、RIと連携し外国を対象として事業に取り組むなど、専門性と経験を生かし、汗と知恵で成果や実績を上げてくれたことに敬意と労いを申し上げます。

振り返りますと、走馬燈のシーンは限りなく続く、充実した3年半でありました。

あらためて、ご指導をいただき、あるいはお引き立てを下さり、ご支援をいただきました数多い皆様の温かい善意と思いやり心から感謝を申し上げ、年度を終えての挨拶といたします。



代表幹事退任のご挨拶

退任挨拶

国際ロータリー第2510地区

代表幹事 **神部 洋史**

Hiroshi Kanbe
(滝川IRC)

一昨年の7月に矢橋年度のスタートから見習い地区幹事として、大金前代表幹事はじめ札幌西クラブのスタッフに地区運営について教えて頂いたのですが、当然の事ながら傍観者同然の私には何の責任も無く、ただひたすら渡邊年度に恙無く引継ぐことを念頭に置いた、いわば仮免許の試運転でした。ご迷惑をお掛けした前年度スタッフに感謝申し上げます。

滝川クラブは会員数では地区内上位を堅持していますが、地区委員を経験した会員が少なく、地区の情報に疎いため地区運営に支障を来してはいけないとの理由で、指名委員会(会長経験者で構成)のご判断で、見習い幹事の他に矢橋年度のガバナー補佐まで拜命されました。そんなことで準備期間は二足の草鞋を履くことになりました。昨年1月末、渡邊ガバナーが国際協議会から年度テーマを持ち帰り、地区目標の策定などの課題が具体化されると直ぐに2月28日と3月1日の会長エレクト研修セミナー(PETS)となりました。PETSに合わせて、他にガバナー補佐・地区チーム・財団・米山の4つのセミナーのホストを砂川クラブにお願いしたところ、素晴らしい設営とご努力で最初の難関を無事越えることができました。砂川クラブの皆様衷心より感謝を申し上げます。4月には滝川クラブがホストで地区協議会を「地区大会のリハーサル」と捉えて、大会実行委員会に設営をお願いしました。通常、地区大会のホストクラブはPETSや地区協議会のホストをしないで、地区大会に全力を傾注するというのを後に知りましたが、逆に地区協を受けることで良い緊張感を維持して地区大会に臨めたと思います。地区大会のご評価は色々おありでしょうが、地方都市で出来る事はすべて出し尽くしたと思っております。参加戴いた会員諸兄、ご登録戴いた皆様方と、ご協力をいただいた第2グループの皆様方に感謝申し上げ、実行委員会を組織した滝川クラブに最大級の敬意を表します。ありがとうございました。

既に記録誌も配布が終わり、「新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議」を終え、文字通り「政権移譲」の最終段階であります。在任期間中の出会いに感激を新たに、ご迷惑を深謝し、ご尽力に感謝を申し上げます。挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶



ガバナー補佐を終わって

第1グループ担当 ガバナー補佐

田中公一

Kouichi Tanaka
(留萌RC)

第1グループは5クラブで、歴史と伝統の深川RC、人数は少ないのですがチームワークの妹背牛RC、グループ内では一番活気のある羽幌RC、留萌クラブが一番頼りにしている小平RCと個性的なクラブです。訪問時には、どのクラブも歓迎していただき改めてお礼申し上げます。また1985年、岩見沢市での開催以来、札幌以北24年ぶりの、滝川市での地区大会への参加、「そらぷちキッズキャンプ」にも快く協力していただきました。WCS検証ツアーと3700地区大邱の地区大会で、渡邊ガバナーや地区役員の皆様とご一緒できたのも良い思い出です。11名の補佐の皆様と知り合いになれたこと、今後も交流が続くことも特筆すべきことです。第1グループは当分の間、深川・羽幌・留萌の3クラブでガバナー補佐の選出となりますが、第2グループのご理解とご協力をいただき、合同IMが開催出来ましたら、妹背牛RCや小平RCからもガバナー補佐の選出が可能になると思います。退任挨拶を書くにあたり、1年半前、旧厚生年金会館のホテルで開催された、ガバナー補佐予定者の会合でとても緊張していたのを思い出し、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

『ご指導いただき、有り難うございました』



振り返ってみて嬉しかった事

第2グループ担当 ガバナー補佐

北谷好文

Yoshifumi Kitaya
(砂川RC)

1)第2グループから渡邊恭久ガバナーが誕生し、ロータリー活動に携われた事。2)滝川において地区大会を盛会に開催でき、第2グループ全会員の登録を頂いた事。3)赤平、芦別、滝川、砂川の各クラブを回って、渡邊ガバナーに随行し和やかな中に公式訪問を無事終了した事。4)公式訪問とは別に各地を訪問し会長、幹事会を開催し友好懇親を深めると共に、各クラブの皆さんと親しくなれた事。5)地区内のガバナー補佐の仲間と親しくして頂き友好を深める事が出来た事。6)砂川においてIMを実施し、多くの会員に出席頂き感謝すると共に、出村WCS委員長に講話をして頂き大変お世話になった事。7)IMと同日開催の砂川RC40周年記念式典が盛会裡に終了した事。8)IMの開催に当たり、千葉実行委員長、杉本副委員長、山崎幹事を始め砂川クラブの皆さんにお世話になった事。指導力のなさで、多くの会員にご迷惑をお掛けしました。深くお詫び申し上げます。

一年間大変お世話になりました。



ガバナー補佐退任にあたって

第3グループ担当 ガバナー補佐

嵯峨 義輝

Yoshiteru Saga
(岩見沢RC)

早いもので、もう一年の月日が流れてしまいました。補佐を引き受けるにあたり、不安でいっぱいでしたが、グループ内の会長、幹事さんをはじめ会員皆様のご協力で職責を何とか果たすことができました。グループ内事業としての、ゴルフ大会、パークゴルフ大会、IMの開催等、担当クラブの絶大なるご協力をいただき、それぞれが成功裡に履行できたことに心から感謝いたします。クラブ訪問では、好意と友情をもって温かく迎えていただき、それぞれのクラブの特色ある運営を学ばせていただきました。各クラブでは会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも、地域のニーズに沿った奉仕活動など、特色あるクラブ運営に尽力されていることがうかがえました。

貴重な体験をさせていただき、また、楽しい一年間でありました。

最後に、ご指導いただきました渡邊ガバナー、グループ内の会長、幹事をはじめ会員の皆様に心から感謝申し上げます。



一年をかえりみて

第4グループ担当 ガバナー補佐

荒 紀男

Norio Ara
(札幌RC)

一年間、ガバナー補佐として貴重な経験をさせて頂きました。渡邊ガバナーには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ロータリアンとしての社会観、ロータリーに対する献身的な行動は、我々ガバナー補佐のメンバーも私と同じ思いでいた事は過言ではないと思います。

そのモデルクラブが滝川IRCです。人口4万5千人の町に百名のロータリアンが在籍しているクラブは全国でも珍しい事で、昭和33年の創立で53年の歴史があるクラブです。代々引き継がれてきた会長のロータリーに対する熱い思いと、会員同士の地域に対する親睦の和が、常にブレることなくゆっくりゆっくり時を刻んできた成果なのかなと思う一人です。私がこの一年間の間に滝川に8回行き、その内5泊しました。私は夜の滝川の歓楽街が大好きです。まだまだ古き良き時代の街がそこにしっかりありました。人情味あふれた、そして温かく迎えてくれる街、大好きです。

本当にこの一年間ありがとうございました。そして代表幹事の神部さん、御苦労様でした。

ガバナーをサポートしながら2510地区のすべてのロータリークラブの業務をこなし、ガバナーとの名コンビでした。でもまだやらねばならない件があります。それはガバナーが第一の重点目標にしておりました『そらぷちキッズキャンプ』の支援です。小児がんの子供たちに夢や希望を与えるこの支援を、渡邊ガバナーが提唱されたことに私も感動しました。そしてガバナー補佐としての誇りを持ちました。これからも微力ながら応援していくつもりです。本当に感動をありがとうございました。そして滝川IRCの皆様、これからも2510地区の御手本として頑張ってください。



ありがとうガバナー補佐 第5グループ担当 ガバナー補佐 江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

改めて地区ガバナー補佐を拝命された時の事を思い出しております。「事業の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。」この文言を心にガバナー補佐としてロータリアン及び社会の皆様のお役に立ちたいと考えましたが、実際ガバナー補佐として会長・幹事会、公式訪問、と携わってみますと当初心に強く念じた文言だけの事ではとてもガバナー補佐としての責務を遂行して行けないのではないかと思い知らされ、それからの事を悩みましたが、行事が進むに連れ、各クラブの皆様から頂いた感動、行事を促す力に助けて頂き、超我の精神に立ち戻り何とか前半を乗り越えられましたが、一息つく暇もなく第4・第5グループ合同IMの開催準備が押し迫っておりました。

私はこの大役を命じられ、推し進めて行けるか不安でしたが、第4グループ荒ガバナー補佐、阿部IM実行委員長及び会員の方々の力を頂き無事、成功裡に終えることが出来ました。又、ガバナー補佐としての任期をなんとか終えることが出来たのも渡邊ガバナーを初め各クラブの会長、幹事及び会員の皆様、そして行事開催時に於ける関係者の皆様方のお力添えの賜物と感謝をしております。御礼申し上げます。

これからは、ガバナー補佐としての貴重な体験を基に一会員として少しでも社会の役に立てる様一層の努力、研鑽を重ねて行く所存ですので、今後とも皆様方のお力添えをお願いいたします。

ロータリアンとしての素晴らしい1年を頂き、本当にありがとう御座いました。



一年半を振り返って 第6グループ担当 ガバナー補佐 見延 庄三郎

Shousaburo Minobe
(小樽南RC)

—昨年12月、今期ガバナー補佐の委嘱状を頂いてからの此の一年半は、会長時代とは違った意味で質度の高い、我がロータリー人生の一時期となりました。会長は自らがクラブの運営主体でなければなりません、補佐はガバナーと会長、幹事の間にあって両者の機能発揮の為の触媒作用を担当するようなもの。出過ぎず引込み過ぎず、ガバナーの意向を体しつつ、又各クラブの自主性、独自性を損なうことなく支援する…結局気を使った割にはあまり役に立たない存在であったかもしれません。然し、IMだけは補佐の責任執行事項と心得、ガバナーのお力添えと各クラブの理解と協力を頂きながら、「ロータリーの魅力」に就いて語り合った、内容の充実したフォーラムとすることが出来たことは良かったと実感しています。補佐と言う役割は二度とはやりたくありませんが、良い経験をさせて貰いました。本人の意思と能力もさることながら、触媒機能をもっと発揮しやすい位置づけがあればもう少し役に立てたかもしれません。言いわけはこの位にして、皆さんに心から御礼を申し上げます。有難うございました。



一年間を終えて

第7グループ担当 ガバナー補佐

加藤 寛治

Kanji Katou
(北広島RC)

5月29日の第7グループIMをもって、ガバナー補佐としての公式行事をほぼ終えることが出来ましたが北広島クラブを除く、クラブ訪問を23回致しました。複数回訪問しているうちに各クラブの考え方、特徴を理解することが出来ました。

小クラブが多い当グループは会員同士、一致団結し、クラブの活性化、会員増強に努めて頂きたいと思えます。下半期は当グループの行事として4月のGSE受入れ、5月に開催したIMがあり、特にGSEでは他のクラブにもご協力頂き、GSE団員が非常に喜んでおられたのを嬉しく思いました。また、第7グループは交換留学生の派遣も数多く行っており、今後とも発展させていこうと思っております。道立高校を始め、受入れが最近減少しておりますので2510地区としても各学校に協力の呼びかけを是非お願いしたいと思えます。

ガバナー重点方針「そらぶちキッズキャンプ」につきましては徐々に理解して頂き、協力して頂いた事と思えます。特に恵庭RC40周年記念式典と北広島RCでのIMにおいて合計17万円程度の寄付が集まりました。会員の皆様には感謝致します。一年間ガバナー及び地区委員の方々にご指導頂き、改めて感謝の意を表したいと思えます。



補佐の一年をふりかえって

第8グループ担当 ガバナー補佐

山田 博継

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

不安と戸惑いながらガバナー補佐を引き受けましたが、渡邊ガバナーの温かいご指導と第8グループの会長、幹事を始め各クラブの皆様の友情に支えられながらの有意義な一年でありました。

私の補佐年度に、タイ国ノンカイ地区の女子大生2名が三石RCへ研修と交流を深める為来訪し、第8グループ各クラブは固より、他グループのRCの例会に訪問したり、WCS委員と会食する等、多くの方々と交流と親睦を図り、日高、北海道の素晴らしさを印象づけて帰国した事と思えます。又、ガバナーの声掛けがありまして韓国第3700地区大会に参加させて頂き、その大会が厳粛に行われ多くの方々を魅了したことでしょう。合わせてご当地のロータリアンのご厚情に接し大変意義ある大会に参加することが出来ました。

お陰様で一年間、無事に終える事を出来ました。第8グループの皆様の温かいご指導があったからこそと心から感謝申し上げます。



多くの人々の出会いに感謝

第9グループ担当 ガバナー補佐

黒田 秀雄

Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

ガバナー補佐就任の際、ガバナー事務所から名刺を頂戴致しました。当然100枚入りです。当初任期中に交換する名刺の量はたかだか半分も使うこともないと考えていました。6月末現在、手元に残っている枚数はわずか10数枚です。

渡邊ガバナーは勿論、パストガバナー、ガバナーエレクトを始めとしての名刺交換、地区各委員長、委員、各ガバナー補佐との挨拶を交わすうちに約1/3程を使うことになりました。各クラブ訪問、会長・幹事会、IM開催、GSEの実行委員会、年度末の新旧会長・幹事会の引継の際、新役員との名刺交換、その結果が残り10数枚となった訳です。

それぞれの出会いが「一期一会」ではありますが、ガバナー補佐就任の機会を与えて頂ければこそ、多くの人々との出会いでした。

この一年間、第9グループの会長、幹事、役員、会員の皆様の出会いに多くの事を知り、多くの事を学ばせて頂きました。

そして皆様の協力が無事任期を終える事と多くの人々に出会えた事を心より感謝とお礼を申し上げます。



緊張と高揚感の中で...

第10グループ担当 ガバナー補佐

近藤 宣明

Nobuaki Kondou
(森RC)

思えば2009年3月、会長エレクト研修セミナーでのグループ別討論会での発表。そして渡邊ガバナーの基調講演、なにかんづく、ビルゲイツのポリオへの追加支援に対するさらなる負担など、不安と模索の中でのスタートであったと思

出されます。

しかし、この18ヶ月は第10グループの会長、幹事、会員の協力を始め、森RCのメンバーの理解のもとに、その任を終えようとしております。郊外クラブに所属する私は、歴史ある市内クラブを訪問する毎に多くのことを学び、知る機会を頂きました。異なったビジネス・パートナー、そのパーソナリティは自分にとって得がたい友人との出会いとなりました。そして今年度の第10グループでは3クラブが、周年記念式典を開催、森RCも14年ぶりのIMを実施できたことも大きな収穫だったと考えます。又、渡邊ガバナーが提唱した「小児ガン・そらぷちキッズキャンプ」は多くのロータリアンに感動を与えてくれました。第2510地区の役員の方々の皆さま、各ガバナー補佐のみなさん、第10・11グループのロータリアンのみなさん、ありがとうございました。



ほどほどの精神で一年間 第11グループ担当 ガバナー補佐 石橋輝夫

Teruo Ishibashi
(函館北RC)

クラブからガバナー補佐を選出することになり、「君が年金生活で時間に余裕がありそうなので」と指名され、早や一年半。「ほどほどの精神で」と気楽に引き受けましたが、クラブ訪問などで自分の勉強不足を思い知らされました。にもかかわらず各クラブ共温かく歓迎していただき、ロータリーの友情に感謝しております。

また、ガバナー始め地区役員の方たち、ガバナー補佐の皆さんとは初対面で緊張しましたが、直にうち解け、楽しく親交を深める事が出来ました。

担当する地域は道南で、会長・幹事会やIMを始め、何をするにも第10グループと合同で行うのが慣例になっております。IMは今年久しぶりに森RCの主管で開催。会長・幹事会が6回、周年式典は4クラブで行われました。

忘れられない思い出に、韓国RI第3700地区の地区大会に参加したことです。国が違えば大会運営もずいぶん違うなと思いましたが、新入会員や新設のクラブが多く紹介されていました。

ただ一つ気掛かりなのは松前RCです。年度初め6人でしたが、途中で会長、幹事、他1人が退会し、残り3人で継続できるのかと？

なにはともあれこの一年間、皆様には大変お世話になりました。



一年を振り返って 第12グループ担当 ガバナー補佐 菅野嘉一

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

ガバナー補佐の指名をいただいてから約1年半ほどの間ですが、多くのことがありました。

勉強しながらの12グループの訪問であり、反省も多くありました。

渡邊ガバナー年度の最初の公式訪問が7月9日に私の所属するクラブから始まりました。当日は大変緊張した中で渡邊ガバナーを迎えました。後でお聞きしましたが、ガバナーも最初なので大変緊張した事を知り、渡邊ガバナーのやさしいお人柄にふれ、又色々のご指導を受けながら全体としては楽しいガバナー補佐年度でありました。又4月の韓国訪問では、地区役員の方々と楽しい旅行になり感謝、感謝であります。

終りに当たり、地区役員、ガバナー補佐そして12グループの皆さんに感謝申し上げ、ありがとうございましたと終わらせていただきます。



地区委員会 委員長退任のご挨拶

会員増強委員会報告

地区会員増強委員会

委員長 矢橋 温郎
(札幌西RC・PG)

現在の段階では年度末の集計が出ていないので5月末現在で見ると62名の増加となっているが、年度末で大幅に減少するのは例年の通りである。

各々のクラブで会員増強は財政的にも必要であるが、どうしたら会員増強出来るかと云うと大変難しい問題である。私は先ずクラブを立ち直らせる事が先決ではないかと思う。クラブを良いクラブにすれば自ずと会員も増えて来ると考える。

量も大切であるが質の良さを考えて選考されたい。ロータリーは各界で選ばれた人の集まりであるのだから規律は厳守して欲しい。特に出席に関しては…それによって必ず道は開けると思う。

永遠の課題

地区拡大委員会

委員長 塚原 房樹
(札幌東RC・PG)

拡大と会員増強はロータリーの永遠の課題です。

拡大とは、ロータリー・クラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。しかし地区内にそのようなところはなくなりました。国際ロータリーの目的は、全世界にわたってロータリーを奨励し、拡大し、管理することとあります。つまりRIは奉仕理念の提唱と拡大と情報伝達を目的として結成された組織ですから、常に拡大と会員増強を提唱し続けなければなりません。

それを踏まえて年度当初、私は次のような活動方針を立て各クラブに呼びかけました。

1. あなたの近郊に、未だロータリークラブのない町村がありませんか？
2. あなたの地域で、モーニングクラブやイブニングクラブの設立を模索できないでしょうか？
3. 食事は自宅で済ませ、活動費のみの会費の安いクラブの設立はいかがでしょうか？

しかし残念ながら各クラブからの反応はありませんでした。私の力不足を反省しています。

新クラブの結成は、最初は中心都市に1クラブでしたが、やがて各市町村に1クラブ、そして中心都市にはテリトリーを共有した2階建て、3階建てクラブが見られるようになりました。地区ガバナーとしての第一の任務は新クラブを結成することです。しかし現状では地区内に新クラブが結成できるようなところはまずありません。そこでガバナーは苦渋の決断の末、自分のクラブのテリトリー内に既存会員をキーメンとして移籍させ子クラブを作るようになりました。しかしこのことにより会員増強が難しくなります。同じパイの中で競合するので両者とも会員数は伸び悩み、クラブ活動に消耗をきたします。RIは拡大の次の一手としてe-クラブの結成を今年の規定審議会で採択しました。1地区に2クラブまで認めるということですが、例会も開かない、ネット上のサイバークラブが果たしてロータリークラブとして地区内のクラブに受け入れられるのでしょうか。RIの人頭分担金は増えるでしょうが、今後の展開を見守りたいと思います。



退任挨拶

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

2010年6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モントリオールで開催されるRI国際大会にあわせて、例年同様2コースを企画致しました。

モントリオール滞在型で大会出席を主体としたコースと、バンクーバーからカルガリー、バンフを経てモントリオールへ入る観光を兼ねたコースでしたが、両コースあわせても例年と比較して参加者が少なく、中止も視野に入れ検討をいたしました。何とか決行でき、役目を果たすことができ安堵しております。

直接モントリオールへ向かった方々はそれぞれに役目を果たすことが出来たとのことですし、観光組の方々も時間をかけた親睦がはかられ、必要十分な情報収集が出来たと聞いております。オン・ツー委員会は時代には合わないのではとの指摘もありますが、今年度は国際大会委員会の委員をお務めの小沢一彦RI直前理事の肝いりで、各地区に推進担当者を初めて設置しての国際大会でただけに、当地区としてもその責務を果たすことができましたことは地区の皆様のご協力の賜と感謝し、御礼申し上げ、退任の挨拶といたします。

委員長退任の挨拶

地区文献資料室

委員長 肘井 博行
(札幌手稲RC)

1. 地区文献資料室では、他の地区に比類なき量と質の文献を所持しています。これら豊富な資料が「宝のもちぐされ」とならないよう、地区会員及び地区クラブの活用を広げて行くべく努力をしました。
2. また、委員会では、この2年間、多数となりました文献の保存方法について、DVD化などスリム化に努力してきました。「貸出しリスト」を改訂中であり、来期早々に各クラブにお届けできそうです。
3. 次年度は若い、しかも広報関係のプロが委員長、委員となります。そのことで、資料室からの発信も増え、この時代に応じた文献資料室に変わると思われます。より一層、みなさんが利用し易い、文献室の発展を期待し退任の挨拶とします。

CLP導入に向けて

地区クラブ奉仕委員会

委員長 小田切 房之
(札幌東RC)

地区クラブ奉仕委員会は、CLP導入に向けての検討を2年間にわたり議論してきました。

1. 活動計画の指標についてグループごとに集計し現状を把握した。
2. 千歳セントラルRCを訪問しCLP導入の成功事例を学んだ。
3. 「ロータリー運動の祖形再考」を発行。

レイ・クリンギンスミスRI会長エレクトのメッセージに、「クラブに前向きな意欲がみなぎると、地元地域をも元気にすることができる。そして私たちの存在と奉仕によって地域社会が活性化されると新しい会員がもたらされる」とあります。



佐々木ガバナーエレクトは、「地域ニーズを踏まえて地域密着の奉仕活動を実践しよう」と目標のひとつに掲げています。

お二人のメッセージを具現化するにはCLPの導入が最適であります。勿論クラブの地域性や会員数、伝統や文化により手順は工夫すべきでしょう。そこで大切なのは奉仕心のポテンシャルをいかに上げるか“青春の詩”にある様なロマンが必要なのではないのでしょうか。

札幌東RCは昨年50周年記念事業として「ヒブワクチンの定期接種化」運動を3ヶ年計画で実施しました。時代に先駆けた難題でありましたが、本年(2年目)4月、札幌市は半額補助の制度を施行しました。社会奉仕活動を中期間、プロジェクト化したという意味でCLP手法のひとつとって良いのではないのでしょうか。長期的に地域の課題を取り上げてプロジェクトとして立ち上げ、形が整ったら引渡して行く、そんな方法はいかがでしょう、例えば札幌モーニングの「カミネッコン植樹」運動の様な…。第2840地区パストガバナー曾我隆一氏が、CLPは「クラブの活力、元気を再生する」と述べています。正に「伝統的な慣習を見直し明らかにもっと良い方法があれば新しい伝統を始めるべき」であり「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるのです。

IC委員会報告

地区IC委員会

委員長 光 銭 健 三
(北斗RC)

2年目の委員長ということで何か新しい活動としましたが、多くは前年度からの継続事業となりました。4回目となる「5分でできるホームページ作成講習会」を開催し、22名の参加者が受講されました。この講習会ではWord Pressというソフトウェアを利用しているため、特別な知識を必要とせず、ブログ感覚でホームページを作成、更新できます。現在、地区内のホームページ開設クラブは33クラブ、地区委員会では8委員会が開設しています。一般の方への広報や地区内、クラブ内でのコミュニケーションの輪を広げる目的でホームページを活用することは会員増強や退会防止にも役立つと考えられ、今後もこの講習会を開催し、ホームページが増えることを期待しています。地区大会ではブースを開設し、多くの方に訪れていただき楽しい情報交換の場となりました。また今回は過去5年分のガバナー月信を単語検索できるようにしたファイルやロータリー活動に役立つ情報を収録したCD-ROMを配布し好評でした。次年度もさらに内容を充実して制作する予定です。

また委員が分担してメールマガジンを配信しました。内容は『友』インターネット速報、ハイライトよねやま、ロータリー為替レートのお知らせ、地区ホームページ更新のお知らせ等です。現在の登録者数は約500名で、1年間で配信したメールは120件でした。

今年度から地区ホームページをリニューアルし、さらに見やすくなりました。各地区委員会の情報量も増やしました。ガバナー月信を含め、過去のホームページが閲覧可能で、また様々なロータリー関連の資料も保存してありますので地区ホームページは資料保存という面でも役立っていると思います。IC委員会のメンバーはメーリングリスト(メールを出すと登録者全員に同じメールが届くシステム)で頻繁に情報や意見交換をしていますが、時には顔を合わせる会議も必要で、今年度は3回の委員会を開催しました。会議には櫻井次期地区幹事や委員会OBの方にもご出席いただき、たいへん有意義な会議となりました。1年間、皆様の温かいご支援を賜り、また委員会メンバーに支えられ無事に任期を終えられたことを感謝申し上げます。



職業奉仕委員会報告

地区職業奉仕委員会

委員長 山本 雅 昭

(苫小牧北RC)

職業上の高い道德水準、倫理観を各クラブで独自の形でお話していただき、できれば職業奉仕フォーラムを開催し会員同士での意見交換をし、職業人としてのロータリアンのあるべき姿を模索してもらう事、ロータリーの綱領に則り、四つのテスト・職業宣言を会員への理解に努めていただきたいと言う事、そして、子どもたちの出前事業・職場体験に協力していただき、子どもたちの思い出、記憶を高め、未来ある子ども達の手助けをして欲しいとお願い致しました。

本年度はRI会長並びに渡邊ガバナーの重点目標として掲げられた職業奉仕の倫理観を考えていただき、いろいろな形で独自に奨励していただきました。

結果としては、その倫理高揚およびプロジェクト等を奨励し意識を高めていただけたのではないかと思います。

新年度の地区職業奉仕委員会が始まると同時に、第6グループ会長・幹事会での卓話から始まり、10月の職業奉仕月間における地区内クラブからの卓話要請に地区職業奉仕委員会委員の皆様のご協力をいただき対応させていただきました。さらに、出前授業・職場体験に関しては、数十件の問い合わせがあり、委員会から振り分け対応を行っております。その後のフォローができておらず事例の報告が進んでおりませんので、きめ細かな整理を今後進めていかなければなりません。課題を見極める一年ではなかったかと思えます。

心に残った一年

地区社会奉仕委員会

委員長 阪崎 健治朗

(札幌西RC)

この一年は、今までにないほどの多忙な日々でした。通常の活動の他、当年度は滝川にある「そらぶちキッズキャンプ」への取り組みを第一に挙げられた渡邊ガバナーの期待に応えるべき活動が浮上しました。もちろん当委員会だけでできたわけでもなく、全クラブの理解と共感と協働が一つとなつての成果であります。何事も初めは無から始めなければなりません。情報の提供によって「知る」ことになり、知った事によって「理解する」事に繋がり、「実行する」という一本の線によって業は広がり、やがて大きな面となつて効果をあげていくのです。ロータリーはどんなときにも底力を持っており、いかなる苦難も乗り越えるエネルギーとパワーを持っているということを実感しました。そして大勢のロータリアンの励ましを受け、ささやかな支援をすることが出来ました。今回の「そらぶちキッズキャンプ」への行動は単に募金や寄付を主眼に訴えたわけではありません。子ども心に自分のいのちの限界を知り、元気に遊ぶ子どもたちとの間には悔しいが大きな壁を感じ、病院と家との間しか空間を持たない子どもたちの心の深いところでの苦悩を想像すると、わたしたちも何か役に立つことがあると発見したのです。ロータリアンは多くの募金や寄付に優しい心を添えて行動しました。その喜びの一部を分かち合える事が出来たのです。時は過ぎて行きます。しかし私たちの取った行動は、私たちの心を清新にしてくれました。そして子どもたちが一日でも長く生き、いつまでも楽しかったキャンプの思い出を忘れずにと願います。人には生きる時間がどれだけあるのかわかりません。それでも子どもに与えられた時間の中に、大きな声で笑い、見知らぬ病の少年たちと出会い、そしてドクターや多くのボランティアと親しくする場にいた子どもたちは、生きる勇気と希望をもったに違いありません。今度



はまだ参加していない子どもたちにもこの喜びを分かち合う番です。ロータリーは常に目を覚ましています。そしてその目はいつも輝いている、そう感じた一年でした。

ご挨拶

地区国際奉仕委員会

委員長 中村 真規
(札幌西RC)

多くのロータリアンは国際プロジェクトに参加して、初めてロータリーの意味を本当に理解することができたといっています。その経験が、親睦、奉仕に、新たな広がりをもたらします。ロータリーの青少年交換学生、国際親善奨学生、GSE、米山奨学生等の活動は、グローバルな相互理解に貢献しており、世界社会奉仕(WCS)プログラムは、援助を必要とする国々と、労力や資金を喜んで提供する人々とを結びつけています。当2510地区においても、精力的なWCS活動が行われているのはもちろんのこと、各クラブでは、青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の奉仕活動が積極的に行われていることは、大変心強いことです。地区国際奉仕委員長として、力不足でお役に立つことが出来ませんでしたことをお詫び申し上げるとともに、今後もこの国際奉仕の輪が引き続き大きく展開していくことを期待しご挨拶と致します。

WCSが教えてくれたロータリーの素晴らしさ

地区世界社会奉仕委員会

委員長 出村 知佳子
(札幌北RC)

WCS委員会には、副委員長3年、委員長3年の6年間携わらせて頂きました。このうち事業が動きだしてからの5年間、毎年タイやインドネシアの事業の検証ツアーにガバナー、WCS委員、クラブのWCSの皆さんと参加しました。その中で、WCS事業の素晴らしさに圧倒され、相手国の皆さんの笑顔を見て、私達ロータリアンの支援がこんなにも大きな喜びを得ることが出来るのかと強く感じました。これに携わった立場として、地区内の皆様に伝える役目があると思えました。事業を通じて様々な方々にお会いでき、多くの忘れられない、かけがえのない場面を思い出します。事業を行った小学校で子供達がいつまでも追いかけて、見送ってくれる姿、現地のロータリアンが共に喜び涙した姿、持参した雪だるまを拝んでいるお年寄り、厳しい環境の中、笑顔を絶やさない孤児院の子供達、そして共に活動して下さった地区のWCSの皆さんの笑顔。どれもかけがえのない思い出として鮮明に残っています。駆け出しのロータリアンだった私はWCSでの経験を通して、ロータリーの素晴らしさを強く感じた6年間だったと思います。地元の抱える問題の大きさに、時に愕然としながら、自分達は何ができるのだろうかと考え、やはり事業を実施していくことが必要であり、小さな支援なのかもしれないが子供達を幸せにするお手伝い出来る事業であるということを確認しながら継続していくことが出来ました。これまで、事業、ツアーに参加して頂いたクラブの皆様、現地のロータリアンの皆様、いつもサポートして頂いたガバナー、代表幹事、ガバナー補佐の皆様にご心より感謝を申し上げ、委員長退任の挨拶とさせていただきます。今後ともWCSへの御理解、サポートをよろしくお願い申し上げます。

新世代委員会報告書

地区新世代委員会

委員長 松見修二

(函館北RC)

地区新世代委員長を3年間に渡り務めさせて頂き、各クラブの皆様には多大なご協力を頂いたことに感謝申し上げます。この3年間でどのような成果があったかは今以て不解なところで、私なりの感想と意見を述べさせて頂きます。

初年度は、引き継いだ委員会のあり方を基本として計画方針を立て実践に努めました。具体的には地区協議会で分科会を行い、各クラブから新世代の取り組みについての発表と意見交換を行いました。持ち時間に制約があり参加した全てのクラブと意見交換が出来なかったことが反省点としてありました。2年目は、この反省点を踏まえ、上期終了時に各クラブから新世代とこれに関連した社会奉仕活動の報告を頂き、報告書にまとめそれぞれのクラブへ配布しました。

3年目は、新世代月間に因んで各クラブの協力を頂き、ガバナー月信に新世代グラビア写真を掲載しました。3年間担当して地区新世代委員会の私なりの考えを述べます

1. 地区委員会組織図について。

組織図では、インター、ローター、青少年交換委員会の統括委員会が新世代委員会となっているが、各委員会には委員長が居り独自のプログラムで活動していて、情報交換を考慮するならば違った位置付けが必要である。地区新世代委員会の本来の役割は、各クラブの新世代委員会をサポートするもので、ガバナー補佐と同様に各グループ内から担当委員を選出し広い活動が本来の姿と考える。

2. 特別資金の運用について。

インターはじめ各委員会は地区特別資金によってプログラムの円滑な活動を行っている。特にインターはスポンサークラブの会員減少によって資金が窮屈な状態にある。特別資金は新世代関連の各委員会が連携を密にし、資金の有効活用を立案し、各クラブへ情報公開することが望ましいと思われる。

ロータリーを去るに当たり、思うところを述べたが、今後の参考になれば幸いです。

青少年交換委員会報告

地区青少年交換委員会

委員長 渡辺哲則

(札幌東RC)

会員の皆様を始め多くの方々にご理解とご協力を頂き、青少年交換プログラムを宮崎前委員長から継続することができたことに感謝申し上げます。青少年交換委員会はプログラムの性質上、ロータリー一年度(6月30日)で区切ることの出来ない委員会です。11ヶ月以上1年未満(又は、地区間の合意により1学年度)と言う長期プログラムこそがロータリーの最高のプログラムであると思います。ロータリーが青少年育成に注目し、奉仕と平和を創り出す次世代のリーダーを養成する為に、エネルギーと資金を投入することは意義のあることです。特に高校生の長期に渡る異文化体験、文化・国際交流プログラムは、地区、クラブのロータリアン、学校、ホストファミリー、日本語教師、地域住民を始め多くの協力者がこれに関わっています。また、このプログラムに参加した生徒は、人間の「善意」を経験し本気でそのために奉仕する大人の姿を目の当たりにして価値観のパラダイムシフトを経験するのではないかと思います。彼らの価値観や人格形成に大きな影響を及ぼすものと信じています。帰国後、残りの学業を終了し就職、指導力を発揮し、経営者・経営陣になってロータリーに入会し、世界の会員と共に、国家間の架け橋となり世界に向かって共に奉仕をすることが大事なのです。ロータリーの最終目的は



世界平和です。帰国した生徒の1年後の成長した姿を見ていると彼らに大きな希望を見出すことができ、まさにそのために当委員会が有り、クラブ、学校、ホストファミリー皆様を始め多くの方々に、彼らを立派に育て上げることこそ奉仕の最大の喜びであると感じます。今年、規定審議会において、青少年奉仕が第5の奉仕に決定しました。青少年プログラムは、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換です。まさに青少年奉仕そのものです。2009年7月には、カナダ、フィンランドの2名の送別会と、6名の派遣学生の壮行会を行いました。残念なことに2010年3月に1名の早期帰国者が発生しました。今後の防止策を派遣オリエンテーションに盛り込みました。2009年8月には、アメリカ、カナダ、フィンランドの4名の受入、歓迎会を実施。9月には、受入と派遣候補学生他で、ニセコ秋期キャンプ、10月には地区大会に受入・派遣候補学生全員登録、12月にはオーストラリアの受入学生送別会、2010年1月には、オーストラリアの受入学生歓迎会、2月にはインター・ナショナル・ナイトに受入学生(7名)、派遣候補学生(7名)ロータリアン、他の27名の参加、3月にはニセコ春季キャンプ、又、この一年間で委員会開催が16回、受入オリエンテーション2回、カウンセラーオリエンテーション危機管理2回、派遣オリエンテーション8回の実施、次年度は受入、派遣それぞれ7名となります。新年度も皆様のご協力とご支援を頂き、青少年交換プログラムをより素晴らしいものになるように努力して行きたいと思っております。

効果的な活動を構築

地区インターアクト委員会

委員長 若松 孝
(札幌モーニングRC)

1年を振り返ってみて、精一杯やったつもりですが、今イチうまくいかないことばかりだったという印象です。さぞ地区の皆さまにご心配、ご不安を与えたことと思います。その一番は、皆さまにインターアクトのさまざまな活動をなかなか知っていただけていないこと。「インターアクトの活動はよく知らないなあ」と今思われた会員の方、それはこの私の力不足でございます。今後、委員長在任中には、多くのみなさまに「インターアクトってなかなか良い活動している」と言ってもらえるよう頑張ります。次に気になっていることは、提唱クラブの経済的ご負担が大きいこと。海外研修旅行、地区大会への登録、そしてインターアクトの年次大会の運営、参加にしてもお金がかかります。インターアクトクラブが活発になり、人数が増えれば増えるほど負担も大きくなります。言い訳になりますが、提唱クラブへ、これ以上、ご負担を強いるような策はとれないことから地区としても活動が小粒にならざるを得ない。なんとか在任中に経済的負担が少なく、しかし知恵を絞り効果的な活動を構築したいと考えています。

最後になりますが、それぞれの提唱クラブのもと各インターアクトクラブは毎年毎年素晴らしい活動を積み上げており、地域社会にとりましてなくてはならない存在となっています。その活動報告はブログで行っております。一度ぜひご覧になってみてください。 <http://ameblo.jp/2510interact/>
1年間、ありがとうございました。



最後のローターアクト地区委員長うまくできたかな？

地区ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一

(札幌南RC)

通算5年目のローターアクト地区委員長が無事終わったことを確信できずにこの原稿を書いています。それが実感できるのは、もう少し時間がかかりそうです。2009-2010年度は地区内にローターアクトプログラムを広報する事を念頭に活動しました。主にガバナー月信とホームページを活用いたしました。ガバナー月信は担当の中島地区幹事のご協力により、私が忘れた4月号を除き毎号、活動を掲載お願いしました。ここで一年間の活動を紹介いたします。安藤由香里地区代表(札幌南RAC)の発案で、一年間を通し、地区全体で最終的にはポリオのワクチンになる、ペットボトルのキャップを集める「エコキャップ活動」行いました。(月信の2月号に掲載しました)6月の段階で約29万個収集しました。

7月の提唱クラブ委員長会議にはじまり、地区キャンプ

9月稚内→赤平 交通安全自転車リレー

10月地区協議会(赤平市)

11月北海道ローターアクト交流会(千歳市)

1月温泉交流会、海外研修(タイ・チェンマイ)

3月全国ローターアクト研修会(愛知県・名古屋市)

5月2500地区の地区大会の参加(稚内市)

6月26日地区大会(札幌市)以上が主だった行事です。他に地区委員長として真駒内RCと赤平RCの例会で卓話をいたしました。RIがローターアクトを説明している文章で終わります。「ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。」

※現在岩見沢RAC、函館大学RAC、札幌南RAC、赤平RAC、室蘭北RAC、千歳RACの6クラブ約65名のローターアクターが活動しています。

ロータリー財団にご協力を

地区ロータリー財団委員会

委員長 岩 城 秀 晴

(札幌南RC・PG)

2009-2010年度の財団委員会として、その実績を振り返ってみますと、非常に景気の低迷する中を、私どもロータリアンは、ロータリーの理念であります世の善行を行うことをその目標としております故か、財団への御寄附を戴いておりますことは、心より感謝を申し上げます。

11月号の財団月間に「財団を考えてみよう」と題し、1月号には「財団地域セミナーに参加して」をガバナー月信に記載致しました。

11月には22名の方がポール・ハリス・フェローになりました。また一方、各クラブから卓話の要請が5クラブと第6グループの4クラブからも見延ガバナー補佐からの特別な企画により実施致しました。

通常は30分程度ですが、第6グループでは1時間30分の質疑も含めて実施いたしました。特に財団の資金運用による損失の質問がありましたので、誠意をもってお答え致し、より深く財団の理解が得



られたと思いました。

プログラムについては、GSEの2360地区と当地区との交流もあり、その交流に至る派遣団員の指導、育成を行った奥貫氏へは深く感謝を申し上げます。

私は、今度、佐々木、熊澤、細川年度をこの委員長の任にあたることとなりますので、健康に留意して、皆様方に財団への御協力の推進役に就きますので、よろしく御指導賜りますことをお願いしまして御報告と致します。

国際親善奨学金の今後について

地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

7月3日(土)の壮行会で、2010-11年度の奨学生5名(実際には6名ですが、1名はすでにインドに留学中)を送り出して、3年間の委員長の任期が終了しました。この間、お世話になったガバナーを始めとする地区執行部の皆様、当委員会の委員の皆様にご感謝いたします。この3年間、大きな事故もなく、留学生を送ることができたのも皆様のご支援があったからこそであります。また、留学生の候補者を送ってくださったクラブにも感謝申し上げます。選考の結果として、失礼や不手際がありましたら、この場をお借りしてお詫び申し上げます。さて、この伝統のある国際親善奨学金ですが、新補助金の実施に伴って廃止され、地区で新たな奨学金制度を構築していくことが期待されています。その際、感じることは、現在のような1学年度だけの募集では上手くいかないのではないかということです。実は、2011-12年度の奨学生を募集したところ5名の応募しかなく、そのうちの4名を合格させたものの、1名が都合で辞退し、3名の奨学生しか確保できないことになりました。しかも、その3名がすべて道外の方でした。これは1学年度の奨学生は大学院に進学を希望しているという理由が大きいと考えます。従来の語学研修を中心とする文化研修のプログラムは、3ヵ月、6ヵ月の期間であり、年齢や職業など実に多様な方が応募して下さいました。それが1学年度だけになりますと大学院での研究の話題が中心となってしまう、選考するほうも専門的な知識がない分野もあり大変でした。奨学金の意義は人材の養成にあると思いますが、大学院への留学者は帰国してから、当地区に残るとは限らず、日本全国のどこかの大学等に就職の機会を求めます。したがって、当地区で活躍される方はどうしても少なくなってしまう。しかし、当地区の寄付金から、この奨学金が出ていることもまた事実です。やはり、帰国後は当地区で活躍して欲しいし当地区のロータリアンになって欲しいというのもまた当然の意見だと思います。これから新補助金のもとで、新しい奨学金制度を創設する際には、このようなことを是非念頭において頂きたいと思います。これから、過渡期を迎える奨学金の新委員会にも変わらずのご支援をいただきたいし、どうぞ奨学金のあり方をめぐってご意見をお寄せいただければと思います。



GSEプログラムを終えて

地区GSE委員会

委員長 沼 舘 栞

(札幌清田RC)

今期GSE委員会の事業はRI第2360地区との派遣交換プログラムでした。当地区として初めての試みであります重点的GSE(特定の業種に絞った団員の構成)ということで、昨今の社会事情を鑑み、特に高齢者及び障害者に対する介護・支援業務に携わる職業に就いている方々を対象としました。社会福祉・介護の分野に絞った重点的GSEということで、福祉の先進国であるスウェーデンの第二の都市イエテボリを中心としたRI第2360地区から快諾を受け交換事業が始まりました。チームリーダーの都合が合わず、急遽、真駒内RCの丸山淳士PGにお引き受け頂き、丸山リーダーと4名の派遣団員は、4月30日にスウェーデンへ出発しました。4週間の研修を終え帰国した派遣団員は国際人として一回りも二回りも大きくなり、2360地区での歓待の様々や、今後のGSE活動に役立つ意見を数々聞くことができ派遣の成果を頼もしく感じております。これからは今回のプログラムで得た経験を生かし、地域に貢献して頂けることを期待しております。またGSE委員会にとって今回のヨーロッパは初めての交換でありました。

受入れした2360地区からのチームメンバー4人は、優秀でもあり素晴らしい方々でした。当地区内のロータリアンの皆様とすぐにうちとけ、何処へ行っても和気藹々の雰囲気や常を保っていました。地区内の評判も良く行く先々のクラブで大歓迎を受け、親交を深められたことは、国際親善においても地区と地区との相互理解の上でも大変効果的であったと思います。カトリン・アンダーソン・チームリーダーをはじめメンバーの方々の素晴らしいスピーチ、プレゼンテーション、またいつも規律正しい振る舞いなどはこれからのGSEプログラムを考える上にも大いに参考にさせて頂きたいと思えます。素晴らしい派遣交換をすることができるのも、地区の皆様のご協力、ご支援があればこそで、ガバナ、地区関係者の皆様、受入グループのガバナー補佐の皆様、併せて受け入れコーディネーターの皆様等には多大なるお力添えを頂きまして、心より御礼申し上げます。どうぞ今後ともGSEプログラムにご理解とご協力をお願い申し上げます。

アッと言う間のこの一年

地区財団学友委員会

委員長 齋 藤 博 司

(千歳セントラルRC)

2009年6月までは委員長見習いで、高橋前委員長(清田RC)にあれやこれやと引きずり回され?? 右も左も分からずじまいでした。そのうちに、ガバナー事務所へたくさんの書類を提出。財団委員会、他委員会、セミナー、地区大会への出席、当委員会の事業活動への参加と休む間が無かった様に思います。その間に財団学友帰国報告会の開催というメインテーマがあり、これに伴う会議。当委員会と財団学友会主催による学友帰国報告会が、本年度も押し迫った10年6月12日に無事に終了したことが第一の成果でした。反省としては多々ありますが、ロータリアン32名、学友関係者26名の58名による会ではありましたが、時間が足りなく皆様にご心配をお掛けしました。それでも、熱心に帰国報告を見、聞き入っておられ、更に成長して帰国した青年達に惜しめない拍手を送っておられ感銘を覚えました。地区大会でのブース設置について、財団学友会と検討を重ね、前日より滝川に泊まり込みで準備をいたしました。財団親善奨学生の壮行会、GSEスウェーデン派遣団員の壮行会とスウェーデンチームの送別会、みんな不安の中にも目は輝いていました。卓話の依頼があれば、学友の軽いフットワークで、



どのクラブにも出かけました。さらに学友会を知ってもらう為にどのような啓蒙をしていくかが今後の課題です。2001年5月に産声をあげた財団学友会は2011年～12年度に設立10周年を迎えます。この10周年に向け、次年度から実行委員会を立ち上げます。クラブへの啓蒙、地区大会での宣伝、ことある毎に10周年にむけて発信したいと思います。会員の皆様、ご支援、補助をお願い申し上げます。ありがとうございました。感謝！！

補助金委員長2年目を終えて

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄
(札幌南RC)

3年前の秋、次期補助金委員長(3年間)の要請があり、ガバナー、ロータリー財団委員長、補助金委員長出席のもと、それまでの経過について説明を受けました。その多くは、文化的行事で、音楽祭、少年野球・サッカー大会、各種施設の記念事業への協賛、クラブ創立記念事業に対する物品の寄贈、学童のお祭り協賛と植樹事業など、いずれも地域住民(特に少年、少女育成)に密着したもので、中でもスポーツ大会は子供たちが毎年楽しみにしていたものでありました。私が就任した2008～2009年度は、補助金の内容について、スポーツ大会に出す補助金は会場使用料のみに限定され、バス代、食事代、審判に対する報酬は不可となりました。2009年7月に作られたロータリー財団地域セミナーハンドブック(50～56ページ)では補助金の内容が明確に記載され、スポーツ大会の主催、子供の善行の表彰、慰問用楽器の寄贈、書道展、絵画展開催と表彰、コンサート、各種講演会開催などの文化的活動が不適格となりました。RI日本事務局からは適切なプロジェクトとは、「補助金は人道的補助金プログラムの1つであり、全てのプロジェクトは人道的支援(健康、飢餓、貧困等)に直接的に取り組むものであり、困窮している地域社会、グループ、低所得者層、ハンディキャップを持つ方々、老人などに恩恵があるものでなければならない」との指導がありました。受給基準は基本的にマッチング・グラントと同じで、違うのは地区補助金においては地域美化、環境に関するプロジェクトが認められていることです。補助金制度について一番驚いたことは、毎年申請するクラブ以外はほとんど知らないというのが大半で、最初の一年は事あるごとに、PRをして参りました。次第に関心をもっていただく様になり、2009-2010年度はそれまで73クラブ中10クラブにも満たなかったのが20クラブの応募を頂き、文化的活動が認められないために14件の審査となり、最終的に12クラブの承認で終わりました。人道的プログラムに限定となったため100万円以上の予算はなく、10～40万円以内にとどまったのも今年度の特徴でした。申込みが増えたにも関わらず、予算を使い切ることが出来ず返却することになり残念に思います。残された最後の任期をどうやって有効に役立たせることが出来るのか、皆さんの意見も伺いながら進めていきたいと思っております。新年度の地区目標の一つは、地域ニーズをふまえて、地域密着の奉仕活動を実践しようです。補助金を有効に活用して頂くべく、各クラブからの申請を宜しく願致します。



ご挨拶

地区補助金監督委員会

委員長 中山裕視
(札幌真駒内RC)

補助金監督委員会は補助金委員会と一緒に開催されます。補助金の支出が公平且つ適正であるという監督的立場に立って審査をします。09～10年度も多くの補助金申請がありました。

委員会の開催は3回行いました。委員会では全員が十分な検討、話し合いをして慎重に審査して最終承認をしました。近年は補助金申請内容が文化的活動は認められなくなり、人道的なプロジェクトに限られておりますが、地域社会に役に立つ奉仕活動の活性化のために来期も多くの申請があることを期待しております。1年間、ありがとうございました。

地区米山記念奨学委員長を終えて

地区米山記念奨学委員会

委員長 黒澤勝昭
(札幌南RC)

2008年度の地区大会の米山奨学会の展示ブースでの出来事でした。当時の大石委員長から、次年度委員長に予定していた人が急に退会することになったので、何とか引き受けてほしいという要請でした。ロータリークラブでの在籍も浅く、地区でも、まだ委員になって1年も経っていないので、一度は断ったのですが懇願されて引き受けることになりました。幸いなことに2006、2007年度2年間にわたって米山奨学生のカウンセラーを委嘱され、米山記念奨学委員会とは関わりがありましたので、それなりに理解はしていたのですが、実際に委員長の業務を遂行しているうちに大変な仕事であることを痛感させられました。12月に全国34地区のガバナーエレクトと次年度米山奨学委員長の合同セミナーが本部(東京)で開催されます。このセミナーに出席して米山奨学事業についてひととおり学ぶわけですが、2510地区の状況は他の地区に比べると、寄附金事業、奨学生の活動等において学ぶべきところがたくさんあり、今後の課題として残っています。特に、寄附金事業については全国平均(14,475円)を大きく下回り、一人当たりの寄附金は2010年6月末現在10,959円で全国34地区中第25位となっています。当地区の目標金額は普通寄附4,000円、特別寄附12,000円ですが、目標額に対して達成率68.49%という状況です。総額も会員数の減少により減額(2000年度⇒3,749人⇒41,477,321円、2009年度⇒2,825人⇒30,104,709円)しています。会員の皆さまには目標額達成に向けてご協力をお願いいたします。

米山記念奨学生の割り当て数は、前年度の地区の寄附金総額に対して決まります。2011年度の割り当て数は17人です。年々縮小の傾向にありますが、2010年度とは同数です。この受け入れ奨学生を17の世話クラブ、17人のカウンセラーにお願いするわけですが、大学の所在地との関係により特定のクラブに偏る傾向にあります。世話クラブ以外のクラブにできるだけ奨学生を派遣して米山奨学事業について、ご理解とご協力をいただこうと思っておりますので、次年度も引き続きよろしく願いいたします。



1 年を振り返って

地区米山学友委員会

委員長 大石 春雄
(札幌はまなすRC)

昨年の6月、地区米山記念奨学委員長の重責を終えほっとしたのもつかの間、地区代表幹事の神部氏からの要請により、米山学友委員長を引き受ける事になりましたが、早いもので1年が過ぎようとしております。

米山学友委員会は、米山学友会(北海道)のサポートの為に作られた委員会であり、委員長は私で4代目です。私の1年目の目標は、北海道に住んでいる学友約100名の皆様との連絡でした。メール、FAX、電話等を駆使し、連絡が取れた学友は約40人。

今後の課題は、世話クラブ、カウンセラーの皆様をお願いして連絡を取ろうと思っております。6月12日土曜日に、学友委員の谷川淑郎委員(余市RC)のご努力により、『いちご狩り&家族交流会』を余市で開催することが出来ました。余市RCからは、川向基紀会長、吉原伸幹事、クラブ委員長15名の参加をして頂き、マジックショウやカラオケで大変な盛り上がりで終わることが出来ました。余市RCの皆様には大変感謝しております。学友会の行事に初めて参加して下さった孔麗(コリ)さんは、「楽しい一時を有り難うございました。これからも参加したい」と言っておりました。一歩一歩ではありますが学友会の充実に貢献したいとの思いが募る1年でありました。新米委員長を支えて下さいました米山学友委員の皆様にご心より感謝申し上げます。



ロータリーの友地区委員を終えて

ロータリーの友委員会

地区委員 中島 健
(滝川IRC)

ロータリーの友・地区委員は、ガバナーの代理者として、1)ロータリーの友委員会の活動へ、建設的な提言を行う。2)地区内ロータリアンに対して、「ロータリーの友」誌、ホームページの「ロータリージャパン」、およびその他の刊行物についての有効な活用を促す。これが、やるべきおおよその役目です。

年度当初、地区内クラブの会報・週報委員長宛にロータリーの活動の活性化につなげたいと考え、次の封書をお送りしました。

『「友」誌にはたくさんの重要なロータリーの情報が載っています。クラブでは当たり前の活動が他のクラブではとても珍しかったり、またクラブでは他のクラブでの有効な手段を知らず効果の薄い活動になっているということはよくあることです。「友」誌をクラブの活動、事業の参考に活用して下さい。「友」誌を会員に配布する際、「さわり」で結構ですので内容の案内をして下さい。また、クラブの事業について、友委員会や地区に情報として投稿をお願いいたします。投稿については、間をおかず、新鮮なうちに送って下さい。大変重要なことですが、週報の発行、またホームページの立ち上げには、著作権などの知的所有権に気を付けて下さい。「友」誌の記事、徽章、RIのウェブサイトの写真等を利用する場合は特に注意が必要です。また「ロータリージャパン」には「友」誌に掲載しきれない程の沢山の情報や資料が詰まっていますし、会員以外の人たちにロータリーの活動を広く知ってもらう為の広報の要素も含まれています。「友」誌と「ロータリージャパン」をPRするとともに貴クラブのホームページにリンクして、会員並びに一般の人々がアクセスしやすいようにして下さい。「友」誌や「ロータリージャパン」は貴クラブの活動を更に活発にさせる起爆剤となることを確信しております。』

モントリオール世界大会出席報告

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 酒井 正人

Masato Sakai
(函館五稜郭RC・PG)

6月20日からカナダ・モントリオールで開催される国際大会に参加するため第2510地区ではこれにあわせてモントリオールへ直行するAグループとカナダ観光をかねたBグループの二通りのコースで参加者を募りました。両コース合わせて19名の参加申し込みがあり、5月19日札幌グランドホテルにて結団式を行い6月15日から2グループに分かれて目的地モントリオールへ出発しました。

Bグループは佐々木GE、熊沢GN、丸山PGを含む総勢14名でしたがバンクーバーからカナダに入国しカルガリー、バンフを経由してモントリオールに入りました。特に世界遺産でもあるカナディアンロッキーの大自然は北海道の景色になれている我々にとっても筆舌し難いもので、クロウフット氷河の雄大な山々やカナディアンロッキーの宝石に例えられるレイク・ルーズは感動をおぼえるものでした。

佐々木GEは地区内の各クラブからの信任状をあずかっており、国際大会会場へ届けるという大任があります。「西遊記」に三蔵法師が孫悟空、猪八戒、沙悟浄を供に従え、幾多の苦難を乗り越え天竺へ取経を目指す物語がありますが、これに例えてみますと信任状を届ける旅は高さ80mの吊り橋で谷を渡り、山を越え、グリスビー(熊)にも遭遇し、氷河を歩き天竺ならぬモントリオールへの約1万キロメートルの旅になりました。(差し障りが有るとまずいので、誰が三蔵法師で、誰が孫悟空、猪八戒、沙悟浄であるかはここでは記載しないことにします)大会参加登録を済ませ信任状受付ブースへ行くとそこには当地区の岩城秀晴PGがブース内で執務をしているではありませんか。プログラムを開いて確認すると信任状委員会7名の中に日本人としてただ一人、札幌南RC岩城秀晴PGと記載されておりました。多分地区内の何方もこのことは事前に承知していなかったと思われます。驚くと同時にお釈迦様に逆らった孫悟空が遠くの山へ筋斗雲で出かけ悪戯書きをして戻ったらそれはお釈迦様の指であったと言う話を思い出してしまいました。

モントリオール市内は例年の開催都市と比べ歓迎ムードは控えめのように映りました。友愛の広場や分科会は国際会議場で国際研究会やローターアクト関連はそれぞれ別会場で、開会式と閉会式はBellアリーナーと分散しているためか盛り上がりにくい環境に思えました。開会式・本会議は20日午後1時30分と夕方6時30分の2回に分けて行われそれぞれ1万5千名強が参加したようです。日本人の登録は1800名程のようです。

20日夜、A、Bコース参加者とコース外で個別に大会に参加された地区内会員、家族がル・センター・シェラトン・モントリオールホテルに集まり、渡邊恭久Gの挨拶と乾杯で恒例の北海道ナイトを開催しました。参加クラブは滝川RC、札幌RC、小樽RC、札幌南RC、札幌真駒内RC、札幌東RC、札幌北RC、札幌西RC、札幌手稲RC、美唄RC、函館五稜郭RC。2011年は5月21日から25日までニューオリンズで開催される予定ですので皆様のご参加をお願い致します。





GSE・スウェーデンでの記録

GSE派遣チームリーダー

丸山 淳士

Jyunji Maruyama
(札幌真駒内RC・PG)

4月29日にスウェーデンチームの送別会と私たちの壮行会が盛大に開催され、翌日、新千歳まで地区GSE委員の見送りをいただきプログラムが開始されました。成田に一泊し、コペンハーゲン経由でスウェーデンの第2の都市、ヨーテボリに到着したのは現地時間の午後10時過ぎでした。空港に3名の現地GSE委員の方々が出迎えに来ていただきホテルに直行しました。時差ぼけ解消の2日間はあるという間に終わり、最初のプログラム、ポールベリーへと移動しました。到着後、落ち着くまもなくポールベリーロータリークラブ例会にて最初のプレゼンテーションをしました。緊張の中、順調にプレゼンテーションを終え、市内を観光してそれぞれのホストの家庭へと向かいました。翌日から各自、分散してそれぞれの実地学習が始まりました。日本では連休ですがこちらは平日です。どの施設に行ってもゆったりと時間が流れていて、人はほとんどいません。日本のようにどの施設も満杯で人手が足りなく走り回っているような事態には一度も遭遇しませんでした。

家庭では7時から朝食と言っても7時までは人の動く気配はありません。7時にご主人が台所に来て朝食の準備です。どの家庭もほとんどご婦人が朝食の用意はしません。寝ていて起きてこない家庭がほとんどです。起きてきても自分の朝食を作るだけで客やご主人の用意はしません。朝食はどの家庭もだいたい同じで、紙パックのヨーグルトを深めの皿にカップに一杯くらいかそれ以上の量を入れ、そこに果物の缶詰やシリアルを入れるだけです。1分で朝食の準備は完了です。パンは5ミリくらいに薄く切ってチーズやバター、ジャムを大量に塗り黙々と食べます。野菜はほとんど出ません。ミニトマト3個、ピーマン、キュウリそれぞれ1個くらいで4人分の朝食になります。どの家庭にもチューブに入ったたら子のマヨネーズソースの様なものが必ずあって、それをパンや堅めのせんべいのようなパンに塗って食べます。昼食もだいたいバイキング方式で大皿から好きな物を取って好きな飲み物で済ませます。夜のごちそうはスープか肉またはソーセージの煮込みが最大の料理です。毎日毎食必ずジャガイモのゆでた物とシャケがでます。食事の後片付けは主として男性がします。女性は自分の物しか片付けません。日常生活でも女性は外で働いており家事はほとんど男性がしています。庭の手入れも男性の仕事で、別に苦にしていないようです。…スウェーデンに生まれなくて良かった！5日には次のボロースへ移動です。ここは、スウェーデンからのチームリーダー、カトリン・アンダーションのホームグラウンドです。6日にボロース・エストラRCの例会に出席。プレゼンテーション後、それぞれの実地学習です。翌日7日午前8時からのモーニングクラブ、ボロース・ビスカンRC例会に出席。プレゼンテーション後、ボロースの市内見学。ここは織物の町で、織物博物館などを見学しました。8日と9日の土日は週末休みなのでゆっくりできるかと思ったら、ぎっしりとお楽しみプログラムが組まれており、日曜日にはリンネ・マルシェンという遠足に参加、男性は14キロ、女性は9キロの山歩きです。膝はがくがく、足の筋肉はひきつり彼ら

の一步は私たちの3歩、いくらゆっくり歩いてくれても追いつきません。

10日にはアリンソースに移動、例会に出席しプレゼンテーション。12日にはアリンソースの病院にてロボット手術やそれぞれの分野の実習を終日こなし、13、14日とトロハッタンに移動しての中間休暇です。というのも5月13日はキリストの生誕日とかでスウェーデンは休日なのです。2日のホテル生活の間に不要のものなどを日本に郵送。少し荷物を軽くしました。15日にベネルスポークのホストの家へそれぞれ移動。トロハッタン、ボルボの工場などの見学とそれぞれの実習です。19日、それまでの田舎周りから解放され、最初の到着地ヨーテポリです。ここは6日間のホストファミリーとの生活です。しかし…みんな苦戦!!! やっぱり都会人! ?どのホストファミリーも一癖ならぬ百癖の持ち主揃い!! リーダーの私はホストのサマーハウスで再び田舎の山奥に逆送です。ほかの団員も地下室で居候と共同生活や、様々の逆境に忍耐の日々でした。

折角のコンサート鑑賞も現代作曲家のバイオリン協奏曲と交響曲でさっぱり溶け込めず、ひとときの休養とばかり夢の世界の隊員もいました。25日ヨーテポリ近郊のメレンダルに移動して最後のプログラムです。このホストは皆さん常識家で家の中もきれいで最後にふさわしいホストとの出会いとなりました。27日、フェアウェイパーティーをしていただき、ガバナー、GSE委員長、スウェーデンからの団員のうちカタリーナ、サラ、カミラの3名とホストのファミリーが集まってくれました。我がチームはお礼に挨拶と思い出のスライドを映写、余興でソーラン節を演技、最後は三本締めで皆さんの拍手喝采を受けました。…みんなよく頑張りました。翌日、最終日は7時に始まるモーニングクラブでの最後のプレゼンテーションから始まり、終了後それぞれの学習と、昼食後は全員で私のホストの会社、アストラ・ゼネカを訪問しすべてのプログラムを終了しました。

最後の難関は空港での重量オーバーの対応です…。無事にお目にかかれませんでした場合はこの最後の難関を無事に突破した印とってください。この度の準備に尽力をいただいた委員の皆様を始め、スポンサークラブの皆様、地区の関係の皆様にご心より感謝を申し上げます。隊員はこの派遣を通して大きなかけがいのない経験を受けました。我が地区にとっても素晴らしい成果となって還元されることを願っています。





ローターアクト第37回地区大会

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Andou
(札幌南RAC)

2010年6月26日土曜日に札幌市にてローターアクト第37回地区大会が札幌南RACのホストで開催されました。お忙しい中、多くの皆様にご登録、ご出席いただき感謝しております。不手際等があり申し訳ございませんでしたが、反省を生かし今後にかかしていきたいと思います。ローターアクトの地区大会では、一年間頑張ったクラブや会員の表彰式や30歳を迎えた会員の卒業式を行いました。主力メンバーが卒業していき、残ったメンバーでこれからもっと頑張っていけないと改めて実感いたしました。

そして、ローターアクトについて柳地区RA委員長の基調講演をいただき、改めて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。また地区の事業のエコキャップ活動(ペットボトルのキャップを集めて、ワクチンに変え世界の子供たちにポリオワクチンを届ける)を行ってきましたのでその報告も致しました。一年間で集めた数は287,200個でした。ポリオワクチンに換算すると359人分になります。ロータリークラブの皆様方に重ねてお礼申し上げます。新年度より継続事業となりますのでよろしくお願い致します。

私事ですが、一年間お世話になりました。ロータリアンの皆様方には、ご協力、ご尽力賜りまして誠にありがとうございました。地区代表をさせていただき、この経験を生かしローターアクトのメンバーとともにまた活動に励んでいきますので今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



RI第2500地区 ローターアクト地区大会に参加して

地区ローターアクト委員会

委員 **蝦名大典**

Daisuke Ebina
(札幌南RC)

5月15日～16日、稚内で開催されましたRI第2500地区のローターアクト地区大会に2510地区のローターアクター(RA)18名と共に参加してきました。

ローターアクトの地区大会は毎年5月～6月に行なわれることが多く2500地区もこの時期に開催されました。ローターアクトの地区大会ではその年度の各クラブ又は個人の功労に対する表彰が行なわれます。その他30歳という年齢で卒業迎えるため年度末の地区大会で卒業式を行なうのも特徴です。この地区大会でも今期の卒業生を送り出し、1年間の活動報告が発表されました。他は親睦の為にプログラムが用意されておりました。2日間の短時間でしたので、少々タイトな日程ではありましたが当地区でも見習うべき点が多くあったと感心しております。

参加者名

千歳RAC: 齋藤麻紀・滝澤祐子・仲山未来・須藤彩乃・西村英晃

赤平RAC: 関戸祥子・工藤睦美・立川真由美・高橋めぐみ・斉藤鮎美・伊藤明和

札幌南RAC: 安藤由香里・三田宏和・相馬孝江・中川翼・奥村昌代・佐藤友理・川下和光

地区ローターアクト委員: 蝦名大典(札幌南RC)・赤山登(岩見沢RC)





2009-2010年度 インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員会

委員長 **若松 孝**

Takashi Wakamatsu
(札幌モーニングRC)

2010年6月19日(土)20日(日)の二日間にわたり、室蘭にてインターアクト年次大会が開催されました。参加校は第2510地区全てのインターアクトクラブ9校。参加高校生98名と顧問の先生が参加されました。この年次大会は主管が各提唱クラブの持ち回りで開催され、地区委員長は行って挨拶するだけと言っても過言ではありません。今回の主管は室蘭東RC。会場に講師をお招きしてお話を聴くといった大会ではなく、主会場の室蘭市市民会館で行われたのは開会式と閉会式そして食事のみ。あとは、工場見学、夜景見学にボルタ作り。実に高校生を飽きさせない内容。しかもただ楽しいだけでなく、その中に室蘭の誇る「ものづくり」を感じてもらおうという仕掛けです。本当に素晴らしい大会でした。板東会長はじめ、室蘭東RCのメンバーの皆さまのインターアクトに対する思いを感じる充実した大会であったことをここにご報告いたします。



IM 報告



第2グループのIMを無事終了して

第2510地区 第2グループ

ガバナー補佐 **北谷好文**

Yoshifumi Kitaya
(砂川IRC)

RI第2510地区第2グループのIMを5月22日(土)午後2時30分から砂川市地域交流センター「ゆう」において開催いたしました。

当日は五月の爽やかな微風の心地よい日和でした。来賓として渡邊恭久ガバナー、佐々木正丞ガバナーエレクト、神部洋史代表幹事、さらに第1グループの田中公一、第3グループの嵯峨義輝、第4グループの荒紀男、第5グループの江口洸、第6グループの見延庄三郎各ガバナー補佐、地区世界社会奉仕(WCS)出村知佳子委員長と次期第2グループ渡部芳己ガバナー補佐のご臨席をいただき開催いたしました。

第2グループの参加クラブは登録数としては赤平RC25名、芦別RC30名、滝川IRC90名、砂川IRC53名の198名で重複分を省いた実質登録者数は205名です。始めに次期第2グループの渡部ガバナー補佐のご紹介と次年度4クラブの会長、幹事の紹介、続いて前年度ガバナー補佐を務められた神部洋史現地区代表幹事に記念品の贈呈をしました。

第2グループのIMは4クラブの持ち回りでおこなっておりますが、芦別は50周年、滝川も50周年、砂川は40周年、次年度の赤平も50周年記念式典とIMと周年行事が4年連続して続いており、同日開催となっております。

今回のIMのテーマは、「環境・人・子どもに目を向けよう…水」です。このことはジョン・ケニーRI会長の優先項目の一つで「水、保健と飢餓救済、識字率の向上」の奉仕を呼びかけておりますし、渡邊ガバナーも基本方針の中に「環境、人、子ども」に焦点を合わせております。また砂川IRCもWCS委員会の事業に参加させていただいており「水」に関心を持っておりましたので、地区WCS出村委員長に上記のテーマでスクリーンを併用して講演を頂きました。その後、4クラブの会長に、3分ほどの短い時間ではありましたが、ロータリーの奉仕に関するお話をしていただき、最後に渡邊ガバナーに講評をいただきIMを終了しました。

当日は砂川IRCの40周年記念式典と同日開催でしたので、砂川IRCは全員参加のIM、40周年式典となり全員が役割分担した結果、今年度5回目の100パーセント例会を達成することもできました。





I M 報告

IMを終えて

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **加藤 寛治**Kanji Katou
(北広島RC)

5月29日(土)札幌北広島クラッセホテルにおいて、第7グループIMを神部地区代表幹事、佐藤パストガバナーにご臨席頂き、北広島RCがホストクラブとして開催致しました。

朝から晴天に恵まれ、午前9時より6クラブ合同ゴルフコンペを行い、その後午後4時30分よりIMを開催しました。

IMのテーマ「CLPの取り組みについて」ということで、各クラブより今後のCLPの取り組みについて発表して頂きました。

今年度のIMは、昨年度6月の新旧会長・幹事会において、CLPの取り組みについて各クラブの考え方をお聞きしたいと思い1年前よりテーマを設定し、各クラブに内諾頂いておりました。

第7グループは3クラブが20名以下であり、今後のクラブ運営を考えるとCLPを取り入れざる得なく、また他のクラブも同様に会員の高齢化による会員数の減少等問題点を多く抱えていると思います。そのような状況下で今回CLPを取り入れ実際にクラブ運営にいかされているクラブは少ないようですが、これを機に長期を視野に入れ、クラブに合った委員会組織を再編し、地域に合った奉仕活動を実践し、クラブの独自色を見いだして頂ければクラブの活性化に繋がると思います。そうすることによって若い会員の増強を計る事が出来ると思います。

より一層、第7グループの連携を図りながら、情報交換を多くしていく事も必要だと感じました。

IM終了後、交換留学生、米山奨学生を交え、6クラブの懇親会を開催し、交流を深め、有意義な一日でした。

尚、そらふちキッズキャンプの募金箱をゴルフ場、懇親会会場に設置し、合計62,483円の寄付を頂きました。皆様のご協力を深く感謝致します。



栗山RC・・・40周年の節目を祝う

栗山RC創立40周年記念事業

実行委員長 **栲澤忠彦**

栗山RC(松原正和会長、27人)では、平成22年6月12日、創立40周年記念式典を行いました。式典、祝賀会には、近隣のロータリークラブを含め150人が出席し、節目を祝いました。(姉妹提携都市、宮城県角田RCからも11名が参加)当クラブは昭和45年、岩見沢RCのスポンサーで、会員35人で創立、以来時代を見据えて地域に根ざした奉仕活動を展開してきました。

40周年記念事業として「栗山小学校校門の改修」「栗山警察署にプロジェクターとスクリーンの寄贈」を行いました。式典で松原会長は「未来を担う子どもたちを大切にする事業に取り組んでいる。美しい自然を子どもたちに残し伝える為の奉仕活動を続けていこう」と挨拶をしました。



新旧ガバナー補佐 新旧地区委員長 引継ぎ会議報告

6月6日(日) ホテルスエヒロ(滝川市)にて、新旧ガバナー補佐引継ぎ会議と新旧地区委員長引継ぎ会議が開催されました。

午前10時から新旧ガバナー補佐会議が行われ、今年度のガバナー補佐よりグループ毎の報告がなされ、次年度ガバナー補佐からは活動計画、行事予定、抱負などの発表がありました。

午後1時から、新旧の地区委員長が加わり、地区の今年度の活動報告、次年度の活動計画などが発表され、その後、懇親会をもって終了いたしました。





国際奉仕委員会ニュース

第20回日本ロータリー親睦ゴルフ(JGFR)北海道大会が2010年6月14日(月)「20周年記念大会」として小樽カントリー倶楽部にて全国のロータリアンとご家族、96名が参加され開催されました。好天に恵まれ楽しい一日を過ごされ、プレー終了後、懇親会(表彰式)が行われ、おおいに親睦を深めました。

★成績表★

	A 部門			B 部門		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	梅田 鉄夫	新札幌	70.2	嶋田 修作	広島安芸	70.6
2位	石井 隆志	水戸	70.6	熊澤 隆樹	小樽	72.2
3位	谷口 智治	東京世田谷	71.6	渡邊 邦雄	大阪城南	73.8
4位	吉田 純一	福岡南	71.6	矢吹 賢一	総社	73.8
5位	三宅 弘	高松南	72.0	槍木 勝典	八街	75.0
BG賞	星野 昭雄	小樽	G77	三戸 道雄	福岡南	G86

	C 部門(女性)			ベストペアー賞		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	諸川 華蓉	浜松南	73.8	大塚 哲夫、多恵子	豊田中	148.6
2位	大塚多恵子	豊田中	75.8	新井 清、博子	吹田西	151.6
3位	諸川 政子		76.8	諸川 雅一、華蓉	浜松南	152.0
BG賞	諸川 華蓉	浜松南	G93			

※表彰式にて札幌北RC(事務局)がニコニコBOXを実施89,794円が集まりました。有難うございました。

「チリ大地震災害義援金」報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

ガバナー月信にて地区内各クラブに募金のお願いを致しました『チリ大地震災害』の義援金について、既に他団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の18クラブから総額653,985円を頂戴致し5月26日に日本事務局財団室にお振込みしましたのでご報告致します。

妹背牛RC、江別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌手稲RC、札幌清田RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、千歳セントラルRC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、函館セントラルRC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、苫小牧北RC

「そらぷちキッズキャンプ」支援金の報告

地区代表幹事 神部 洋史

(滝川IRC)

各クラブへ支援のお願いをしておりました「そらぷちキッズキャンプ」の支援金の総額を報告いたします。

地区の口座に振り込まれた支援額 4,250,915円
 キャンプへ直接送金された支援額 2,508,938円
 支援金の総額 6,759,853円

お寄せ戴きました浄財は「そらぷちキッズキャンプ」へ寄贈致しますが、これらについては随時ガバナー月信でご報告させて頂きます。ご協力戴きました皆様に衷心より感謝を申し上げます。

なお地区を通して振り込みをして戴きました北門信用金庫の普通口座は7月9日に解約致しましたので、今後ご利用になれません。引き続きご支援される方は、直接「そらぷちキッズキャンプ」へお問い合わせ下さい。

公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ
 ホームページ <http://www.solaputi.jp/>
 〒079-0461
 北海道滝川市江部乙町丸加高原4264-1
 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ
 TEL:0125-75-3200 FAX:0125-75-3211
 E-mail:info@solaputi.jp

また、各クラブへは改めてお礼状を差し上げるつもりでございますので、今回は、ご報告のみとさせて頂きました。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



若山徳次郎 名誉会員 (函館RC)
平成22年 5月14日逝去〈享年93歳〉

ロータリー歴
1949年 3月 9日 入会
1956～57年度 幹事
1984～85年度 会長
2001年 7月より 名誉会員

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー



今村 重孝 会員 (札幌モーニングRC)
平成22年 6月22日逝去〈享年74歳〉

ロータリー歴
1993年 4月 28日 入会
1998～99年度 国際奉仕委員長
2002～03年度 社会奉仕委員長

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

新入会員の紹介 (敬称略)



あかし みつゆき
明石 光幸(余市RC)
★入会/H22.4.1
★職業分類/電気供給



つちや しょういち
土谷 彰一(余市RC)
★入会/H22.4.1
★職業分類/高齢者福祉事業



とも の みる
友野 稔(新札幌RC)
★入会/H22.5.12
★職業分類/自動車用品卸売



あべ まさと
阿部 雅人(苫小牧北RC)
★入会/H22.5.25
★職業分類/歯科医



はまもと すずむ
濱本 進(小樽南RC)
★入会/H22.6.4
★職業分類/包装資材販売



わたなべ あきひろ
渡邊 信(小樽南RC)
★入会/H22.6.4
★職業分類/仏教



テリー・ハマダ(小樽RC)
★入会/H22.6.8
★職業分類/ホテル



おかわら やすし
小川原 靖(羽幌RC)
★入会/H22.6.17
★職業分類/スナック経営



わだ まこと
和田 誠(羽幌RC)
★入会/H22.6.17
★職業分類/団体役員



ともひろ ひろゆき
友廣 久之(苫小牧北RC)
★入会/H22.6.22
★職業分類/酒精飲料販売



えびな おさむ
蝦名 修(羽幌RC)
★入会/H22.6.24
★職業分類/団体役員



ふじもり よしこ
藤森 善子(苫小牧東RC)
★入会/H22.6.24
★職業分類/建物サービス業



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢 R C	武蔵 信一	会員(5回)	5月31日
小樽 R C	泉 侑	会員(1回)	5月26日
	佐藤 慶一	会員(1回)	5月26日
小樽南 R C	小笠原 俊介	会員(1回)	5月31日
	斎田 義孝	会員(2回)	5月31日
	佐藤 甚兵衛	会員(2回)	5月31日
	山吹 啓之	会員(1回)	5月31日
札幌東 R C	荒岡 幹史郎	会員(5回)	5月28日
	米谷 龍三	会員(5回)	5月28日
札幌西北 R C	中嶋 成実	会員(2回)	5月20日
由仁 R C	本間 好道	会員(1回)	5月21日
砂川 R C	佐藤 正一郎	会員(2回)	6月 7日
	高橋 俊美	会員(2回)	6月 7日
滝川 R C	竹田 行宏	会員(1回)	6月18日
江別西 R C	石黒 良平	会員(2回)	6月21日
札幌モーニング R C	中田 繁一	会員(1回)	6月21日
札幌手稲 R C	肘井 博行	会員(2回)	6月29日
札幌幌南 R C	羽部 大仁	会員(6回)	6月29日
	前田 恒雄	会員(1回)	6月29日
七飯 R C	菅原 昭	会員(1回)	6月21日
	上野 一義	会員(10回)	6月21日
函館五稜郭 R C	本間 哲	会員(2回)	6月18日
	福徳 勲	会員(5回)	6月18日
函館東 R C	宮崎 あけみ	会員(3回)	6月 1日
	矢島 千穂	会員(4回)	6月 1日

■米山功労クラブ

札幌東 R C	37回	5月28日
小樽南 R C	10回	5月31日
函館東 R C	22回	6月 1日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西 R C	石丸 修太郎	会員(2回)	5月21日
室蘭東 R C	天谷 富雄	会員(1回)	5月21日
	神島 茂夫	会員(1回)	5月21日
苫小牧東 R C	高井 昌機	会員(1回)	5月14日
	綱木 保利	会員(1回)	5月14日
	松原 實	会員(1回)	5月14日
	水元 修治	会員(3回)	5月14日
	渡部 好治	会員(3回)	5月14日
	川村 義昭	会員(2回)	5月14日
	児玉 和雄	会員(1回)	5月14日
	佐藤 正	会員(1回)	5月14日
	佐藤 正孝	会員(1回)	5月14日
	菅野 嘉一	会員(1回)	5月14日
砂川 R C	佐藤 正一郎	会員(1回)	6月11日
江別 R C	松山 敏則	会員(1回)	6月25日
江別西 R C	後藤 一昭	会員(1回)	6月30日
栗山 R C	廣岡 秀博	会員(1回)	6月 4日
札幌モーニング R C	佐藤 亮蔵	会員(2回)	6月30日
札幌東 R C	荒岡 幹史郎	会員(4回)	6月25日
	志々見 陽一	会員(1回)	6月25日
苫小牧北 R C	山本 秀子	会員(2回)	6月30日

■ポール・ハリス・フェロー

函館五稜郭 R C	相馬 忍	会員	4月30日
室蘭東 R C	上田 康郎	会員	5月21日
	高島 宏	会員	5月21日
北斗 R C	米塚 弘悦	会員	5月28日
苫小牧東 R C	高柳 直己	会員	5月14日
	小幡 直樹	会員	5月14日
	櫻岡 義久	会員	5月14日
滝川 R C	伊藤 和男	会員	6月18日
当別 R C	朴 昶勲	会員	6月11日
	六角 英一	会員	6月11日



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.05.31	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	1	83.74
	羽幌	4	45	46	1	1	86.67
	妹背牛	3	9	9	0	0	81.48
	小平	3	11	11	0	0	81.82
	留萌	3	41	44	3	3	85.52
小計			138	143	5	5	83.85
2	赤平	3	29	31	2	0	81.60
	芦別	4	37	38	1	0	91.67
	砂川	3	55	53	-2	0	98.07
	滝川	4	96	95	-1	2	77.00
	小計			217	217	0	2
3	美幌	4	33	35	2	0	87.93
	江別	3	34	32	-2	1	85.42
	江別西	3	30	29	-1	3	83.90
	岩見沢	4	85	86	1	0	95.06
	岩見沢東	3	33	33	0	4	76.60
	栗沢	3	24	23	-1	1	93.80
	栗山	4	27	27	0	3	99.00
	当別	3	31	30	-1	0	85.85
小計			297	295	-2	12	88.45
4	札幌	3	102	122	20	0	96.64
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	91.23
	札幌北	4	43	41	-2	6	95.00
	札幌モーニング	3	51	52	1	0	73.17
	札幌西	3	58	58	0	5	90.12
	札幌西北	4	40	39	-1	6	92.27
	札幌手稲	4	33	36	3	2	88.19
小計			359	381	22	24	90.83
5	札幌東	3	118	117	-1	0	97.84
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	62	1	0	99.53
	札幌真駒内	3	31	30	-1	3	97.48
	札幌南	4	80	77	-3	0	98.71
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.10
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	63.30
	新札幌	3	28	28	0	3	94.60
小計			358	353	-5	18	91.95
6	岩内	3	19	19	0	0	77.21
	倶知安	3	40	38	-2	4	72.50
	小樽	3	65	72	7	0	88.27
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.50
	小樽銭函	3	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	88.88
	余市	3	41	41	0	3	88.00
小計			272	276	4	11	82.91

5月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,762人(109人)
増加会員数	62人
当月平均出席率	85.83%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.05.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	80.60
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	88.25
	恵庭	3	35	44	9	2	89.92
	北広島	3	16	14	-2	0	85.76
	長沼	2	20	20	0	3	92.50
	由仁	4	11	9	-2	1	86.11
小計			176	183	7	11	87.19
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	93.30
	様似	3	22	23	1	1	76.80
	静内	3	70	76	6	1	84.00
	浦河	3	36	35	-1	2	100.00
	小計			164	171	7	5
9	伊達	3	55	58	3	0	77.58
	室蘭	4	41	46	5	0	91.10
	室蘭東	2	36	40	4	0	72.50
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	3	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
小計			205	220	15	4	85.71
10	函館	4	83	88	5	0	78.52
	函館亀田	4	42	38	-4	2	88.51
	森	4	34	40	6	0	68.00
	七飯	3	17	16	-1	0	71.80
	長万部	3	9	8	-1	0	79.16
	函館セントラル	3	31	32	1	2	66.67
小計			216	222	6	4	75.44
11	江差	3	18	14	-4	1	62.00
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	100.00
	函館東	3	43	45	2	4	78.96
	函館北	3	28	26	-2	0	94.87
	北斗	4	17	17	0	1	63.20
	松前	4	5	3	-2	0	66.00
小計			166	161	-5	6	77.51
12	白老	3	28	30	2	1	85.00
	苫小牧	4	48	55	7	2	81.60
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	83.65
	苫小牧北	3	29	29	0	2	93.96
	小計			132	140	8	7
合計			2,700	2,762	62	109	85.83

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.06.30	増減	内女性	
1	深川	5	32	33	1	1	90.19
	羽幌	4	45	49	4	1	95.83
	妹背牛	4	9	9	0	0	83.33
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	3	80.93
小計			138	145	7	5	86.42
2	赤平	4	29	31	2	0	77.41
	芦別	4	37	38	1	0	89.58
	砂川	4	55	51	-4	0	96.17
	滝川	2	96	91	-5	2	79.00
小計			217	211	-6	2	85.54
3	美唄	4	33	35	2	0	90.51
	江別	4	34	32	-2	1	92.19
	江別西	5	30	25	-5	3	88.30
	岩見沢	4	85	81	-4	0	95.54
	岩見沢東	5	33	27	-6	4	78.52
	栗沢	5	24	23	-1	1	100.00
	栗山	4	27	25	-2	2	97.04
当別	5	31	30	-1	0	88.33	
小計			297	278	-19	11	91.30
4	札幌幌	5	102	115	13	0	96.71
	札幌あけぼの	4	13	13	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	18	-1	4	89.47
	札幌北	4	43	35	-8	6	90.50
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	76.38
	札幌幌西	4	58	56	-2	5	90.15
	札幌西北	4	40	35	-5	5	91.57
	札幌手稲	4	33	34	1	2	90.97
小計			359	357	-2	23	90.72
5	札幌東	3	118	109	-9	0	99.40
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	56	-5	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	26	-5	3	97.32
	札幌南	4	80	74	-6	0	97.44
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.00
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	67.50
	新札幌	5	28	28	0	3	93.35
小計			358	332	-26	18	92.38
6	岩内	4	19	17	-2	0	78.47
	倶知安	5	40	38	-2	4	75.20
	小樽	5	65	68	3	0	89.60
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.43
	小樽銭函	4	22	23	1	2	67.00
	蘭越	3	9	9	0	0	96.26
	余市	5	41	41	0	3	88.00
小計			272	270	-2	11	83.57

6月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,637人(105人)
増加会員数	-63人
当月平均出席率	86.89%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.06.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	54	-3	2	84.50
	千歳セントラル	4	37	34	-3	1	85.00
	恵庭	4	35	44	9	2	87.60
	北広島	3	16	11	-5	0	90.48
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
由仁	4	11	9	-2	1	86.11	
小計			176	172	-4	9	86.03
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	86.60
	様似	5	22	23	1	1	78.30
	静内	5	70	74	4	1	83.46
	浦河	5	36	35	-1	2	100.00
小計			164	169	5	5	88.53
9	伊達	5	55	56	1	0	80.35
	室蘭	4	41	42	1	0	100.00
	室蘭東	5	36	38	2	0	81.54
	室蘭北	5	35	38	3	3	100.00
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
小計			205	212	7	4	89.16
10	函館	4	83	82	-1	0	74.59
	函館亀田	4	42	35	-7	2	89.19
	森	4	34	39	5	0	69.50
	七飯	4	17	14	-3	0	80.40
	長万部	4	9	8	-1	0	78.10
	函館セントラル	4	31	29	-2	2	70.69
小計			216	207	-9	4	77.08
11	江差	4	18	14	-4	1	78.00
	函館五稜郭	4	55	45	-10	0	95.38
	函館東	4	43	44	1	4	82.67
	函館北	5	28	25	-3	0	92.89
	北斗	4	17	17	0	1	66.00
松前	4	5	3	-2	0	66.66	
小計			166	148	-18	6	80.27
12	白老	5	28	29	1	1	85.00
	苫小牧	4	48	53	5	2	76.54
	苫小牧東	4	27	25	-2	3	89.42
	苫小牧北	4	29	29	0	1	100.00
小計			132	136	4	7	87.74
合計			2,700	2,637	-63	105	86.89



1年間、多くの記事の投稿、ご購入にご協力を戴き、担当者一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新年度のガバナー月信編集担当者の皆さまのご健闘をご祈念申し上げます

09～10年度編集委員：安立德章・石黒安雅・鈴木英也
中川一郎・中島 健・深澤和範
福井義昭・細田光人・松原 章



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>